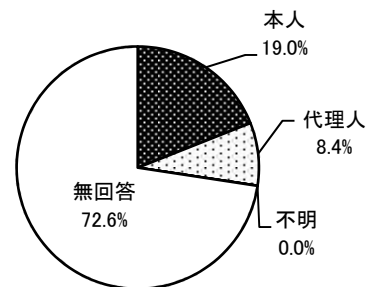


配布数	有効回答数	有効回答率
445	310	69.7%

**属性1 アンケートにお答えになった方 (単数回答 n=310)**

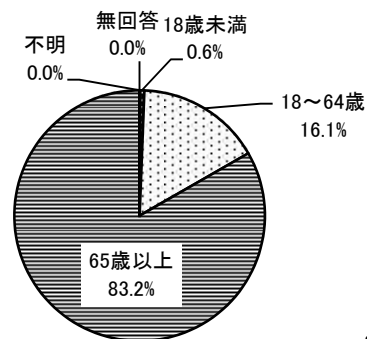
項目	人数	%
本人	59	19.0%
代理人	26	8.4%
不明	0	0.0%
無回答	225	72.6%
合計	310	100.0%



n=310

**属性2 年齢 平成30年7月1日現在 (単数回答 n=310)**

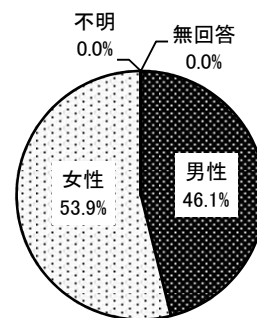
年代	人数	%
18歳未満	2	0.6%
18～64歳	50	16.1%
65歳以上	258	83.2%
不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	310	100.0%



n=310

**属性3 性別 (単数回答 n=310)**

性別	人数	%
男性	143	46.1%
女性	167	53.9%
不明	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	310	100.0%

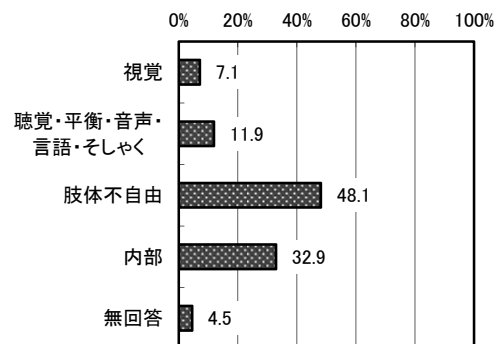


n=310

**属性4 身体障がいの種類・部位 (複数回答 n=310)**

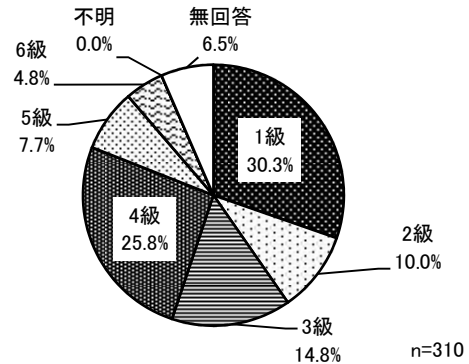
種類・部位	人数	%
視覚	22	7.1%
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく	37	11.9%
肢体不自由	149	48.1%
内部 (心臓・腎臓など)	102	32.9%
無回答	14	4.5%
合計	310	

n=310

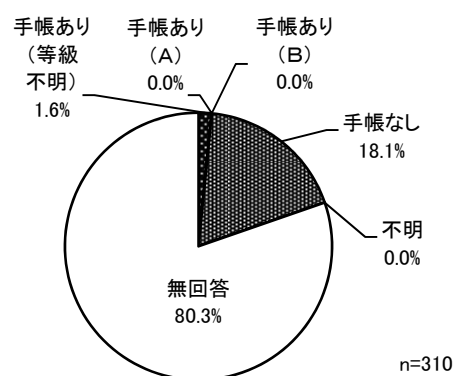


**属性 5 身体障がい者手帳の総合等級 (単数回答 n=310)**

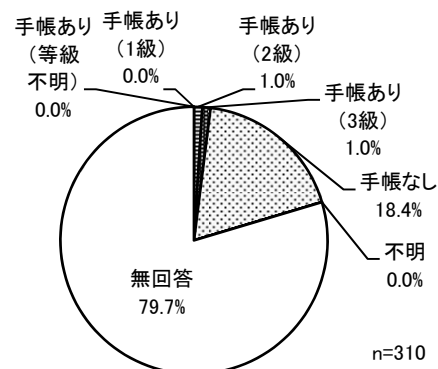
等級	人数	%
1級	94	30.3%
2級	31	10.0%
3級	46	14.8%
4級	80	25.8%
5級	24	7.7%
6級	15	4.8%
不明	0	0.0%
無回答	20	6.5%
合計	310	100.0%


**属性 6 療育手帳の有無・等級 (単数回答 n=310)**

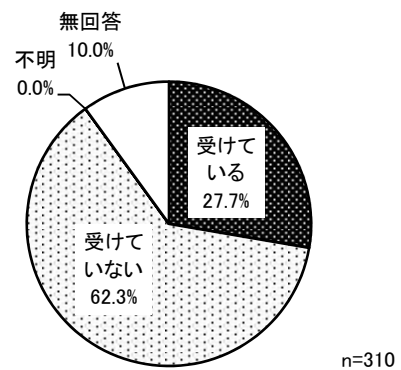
手帳の有無・等級	人数	%
手帳あり (等級不明)	5	1.6%
手帳あり (A)	0	0.0%
手帳あり (B)	0	0.0%
手帳なし	56	18.1%
不明	0	0.0%
無回答	249	80.3%
合計	310	100.0%


**属性 7 精神障がい者保険福祉手帳の有無・等級 (単数回答 n=310)**

手帳の有無・等級	人数	%
手帳あり (等級不明)	0	0.0%
手帳あり (1級)	0	0.0%
手帳あり (2級)	3	1.0%
手帳あり (3級)	3	1.0%
手帳なし	57	18.4%
不明	0	0.0%
無回答	247	79.7%
合計	310	100.0%

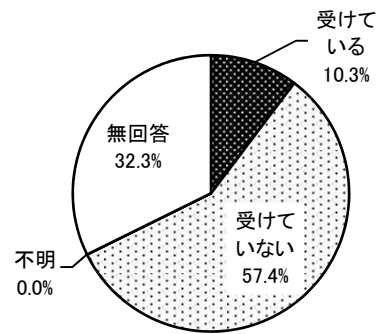

**属性 8 介護保険のサービス利用 (単数回答 n=310)**

項目	人数	%
受けている	86	27.7%
受けていない	193	62.3%
不明	0	0.0%
無回答	31	10.0%
合計	310	100.0%



属性 9 障がい支援区分の認定 (単数回答 n=310)

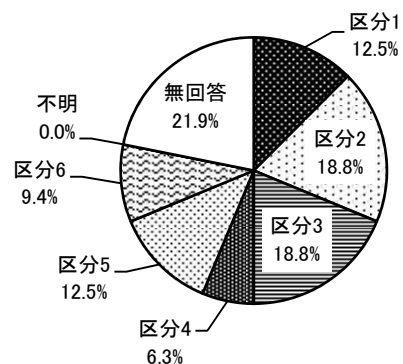
項目	人数	%
受けている	32	10.3%
受けていない	178	57.4%
不明	0	0.0%
無回答	100	32.3%
合計	310	100.0%



n=310

属性 10 障がい支援区分のレベル (単数回答 n=32)

障がい支援区分	人数	%
区分1	4	12.5%
区分2	6	18.8%
区分3	6	18.8%
区分4	2	6.3%
区分5	4	12.5%
区分6	3	9.4%
不明	0	0.0%
無回答	7	21.9%
合計	32	100.0%



n=32

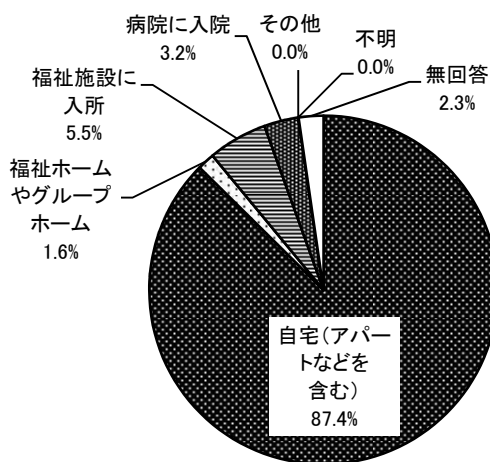
## 【生活の状況】

現在暮らしている場所は、「自宅（アパートなどを含む）」が 87.4%と大半を占めており、次いで「福祉施設に入所」が 5.5%、「病院に入院」が 3.2%となった。家族構成については、「夫婦二人暮らし」が 31.3%と最も高く、次いで「二世帯世帯（親・子）」が 30.3%、「一人暮らし」が 16.5%となっている。

月収（年金、福祉手当、生活保護や仕送りも含む）は、「10 万円～20 万円未満」が 38.1%と最も高く、次いで「5 万円～10 万円未満」が 28.4%、「20 万円以上」が 18.1%となり、『10 万円以上』が 56.2%と過半数を占めている。また、収入がある人に主な収入源について尋ねたところ、「障がい年金以外の公的年金（遺族年金など）（国民・厚生・共済など）」が 61.6%と 6 割強を占め、次いで「障がい年金（国民・厚生・共済など）」が 21.8%、「本人の就労収入（工賃を含む）」が 13.7%となった。

### 問１ あなたは現在どこで暮らしていますか。（単数回答 n=310）

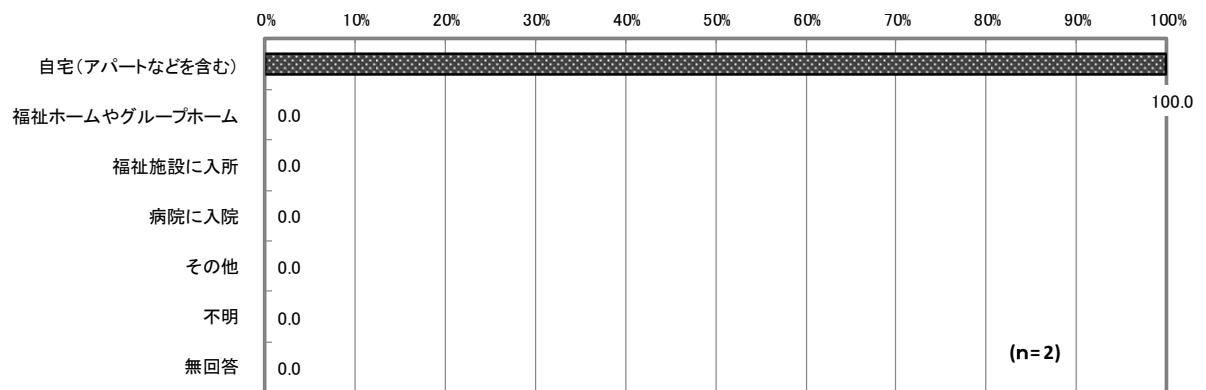
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 自宅（アパートなどを含む）	271	87.4%	2	100.0%	46	92.0%	223	86.4%
2 福祉ホームやグループホーム	5	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.9%
3 福祉施設に入所	17	5.5%	0	0.0%	2	4.0%	15	5.8%
4 病院に入院	10	3.2%	0	0.0%	1	2.0%	9	3.5%
5 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	7	2.3%	0	0.0%	1	2.0%	6	2.3%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



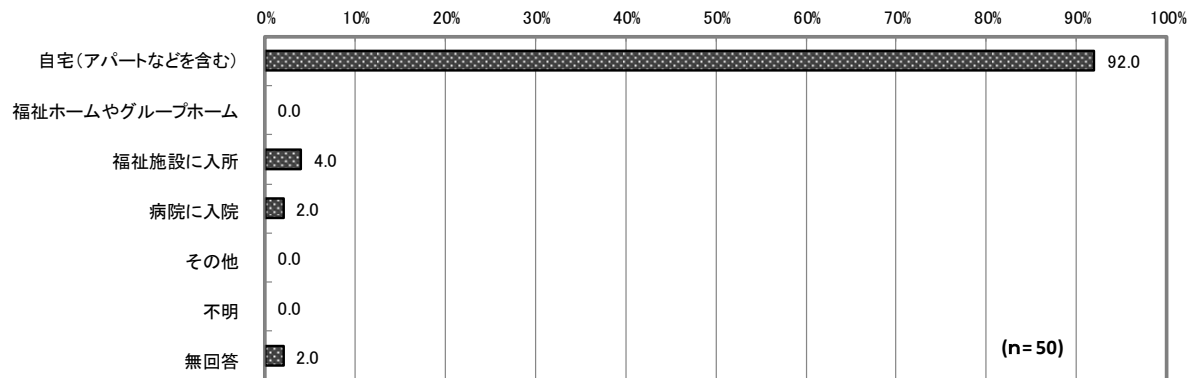
n=310

【年代別】

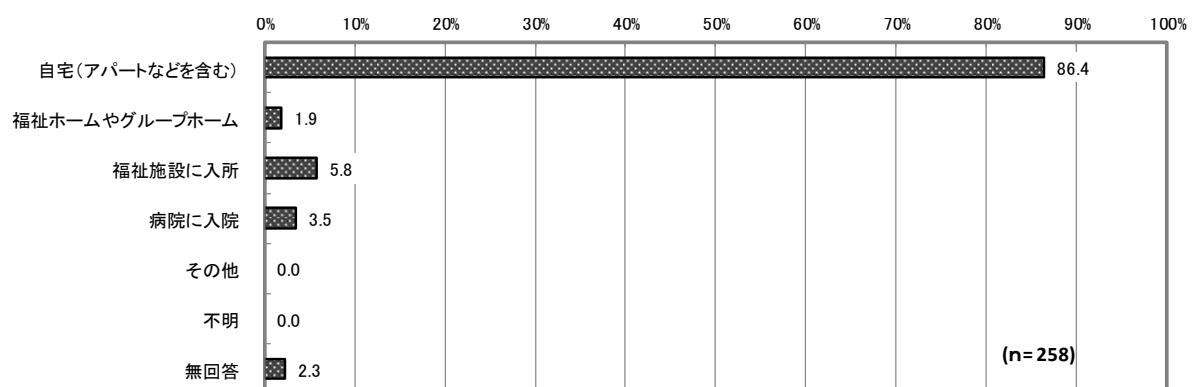
《18 歳未満》



《18～64 歳》



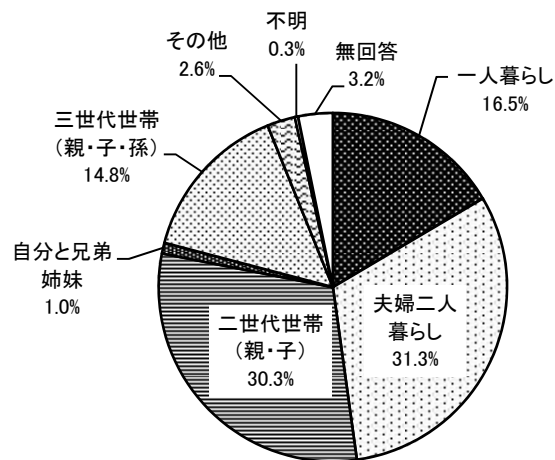
《65 歳以上》



問2 あなたの家族構成をお答えください。施設入所・入院の方は、自宅（実家）の状態をお答えください。（単数回答 n=310）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 一人暮らし	51	16.5%	0	0.0%	7	14.0%	44	17.1%
2 夫婦二人暮らし	97	31.3%	0	0.0%	11	22.0%	86	33.3%
3 二世世代世帯（親・子）	94	30.3%	1	50.0%	26	52.0%	67	26.0%
4 自分と兄弟姉妹	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
5 三世世代世帯（親・子・孫）	46	14.8%	1	50.0%	4	8.0%	41	15.9%
6 その他	8	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	8	3.1%
不明	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
無回答	10	3.2%	0	0.0%	2	4.0%	8	3.1%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

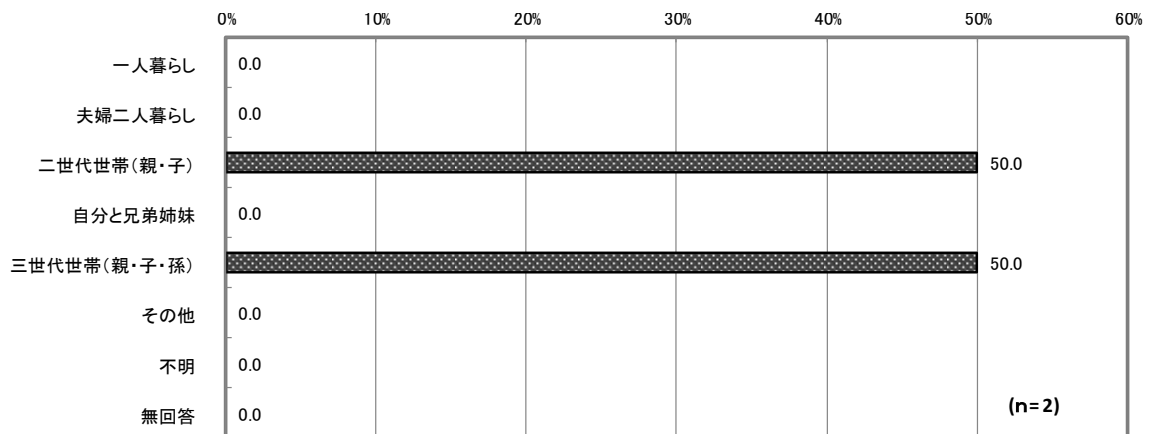
6 その他：主な内訳 四世代（3）甥家族と（1）



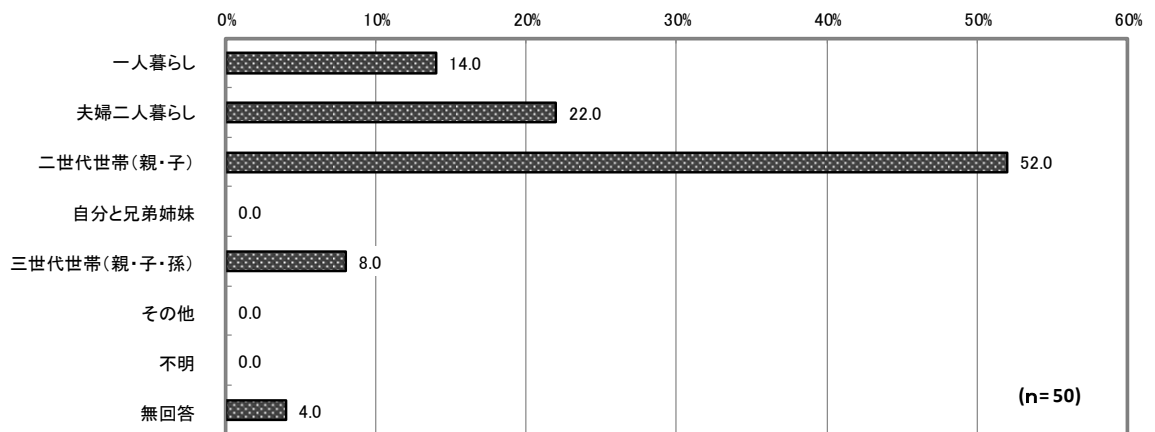
n=310

【年代別】

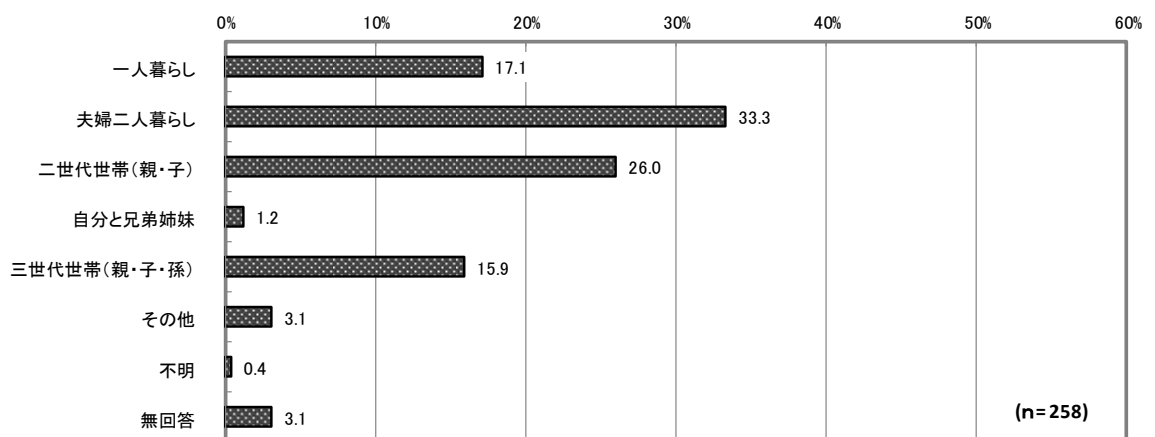
《18 歳未満》



《18～64 歳》

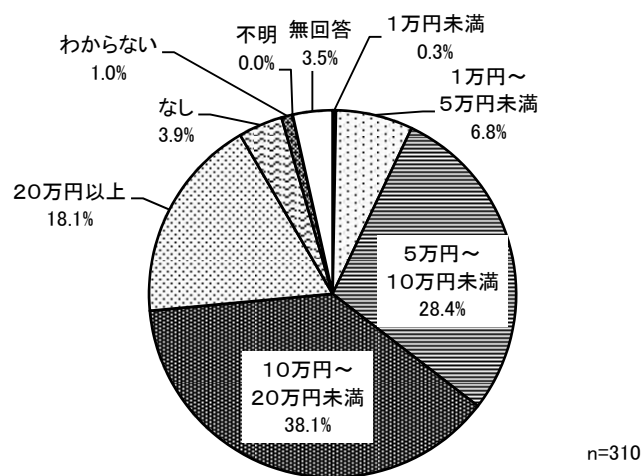


《65 歳以上》



問3 あなたの月収は（年金、福祉手当、生活保護や仕送りも含む）どのくらいですか。税や社会保険料等控除前の額をお答えください。（単数回答 n=310）

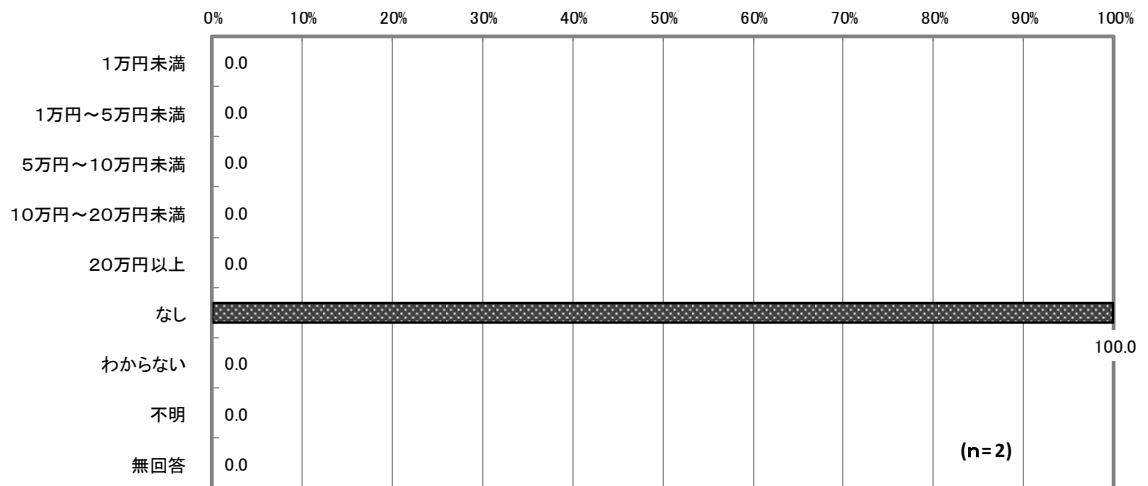
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 1万円未満	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
2 1万円～5万円未満	21	6.8%	0	0.0%	1	2.0%	20	7.8%
3 5万円～10万円未満	88	28.4%	0	0.0%	13	26.0%	75	29.1%
4 10万円～20万円未満	118	38.1%	0	0.0%	15	30.0%	103	39.9%
5 20万円以上	56	18.1%	0	0.0%	12	24.0%	44	17.1%
6 なし	12	3.9%	2	100.0%	7	14.0%	3	1.2%
7 わからない	3	1.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	0.8%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	11	3.5%	0	0.0%	1	2.0%	10	3.9%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



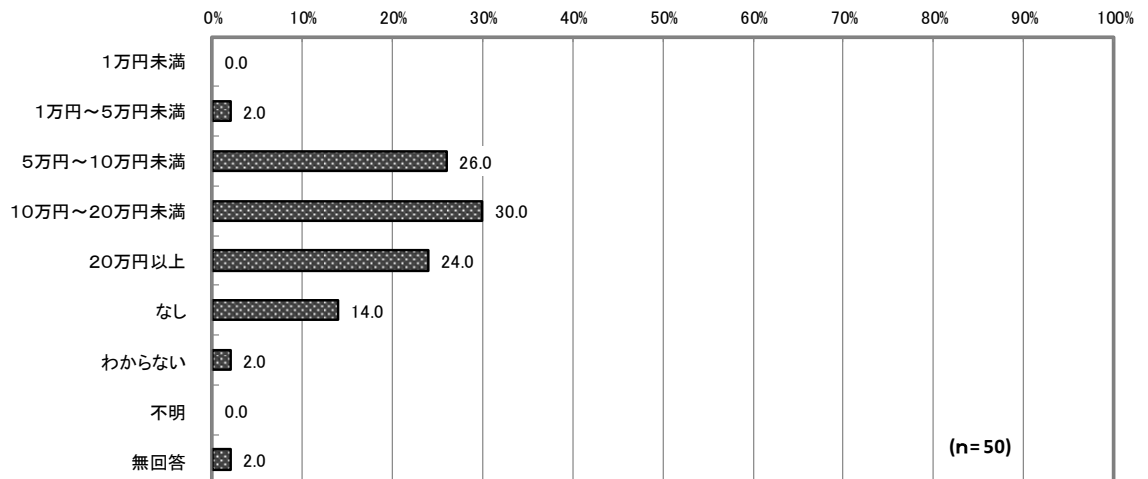


【年代別】

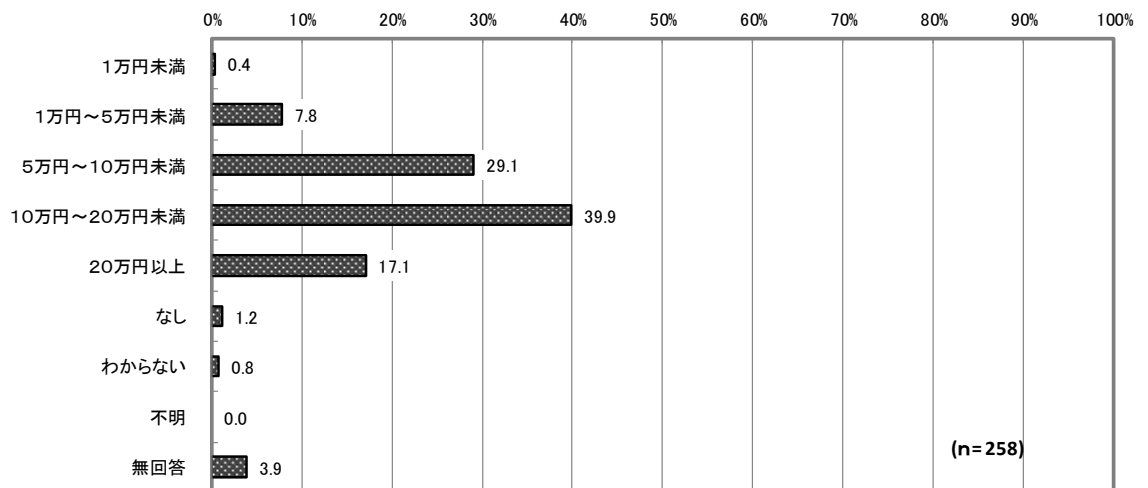
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

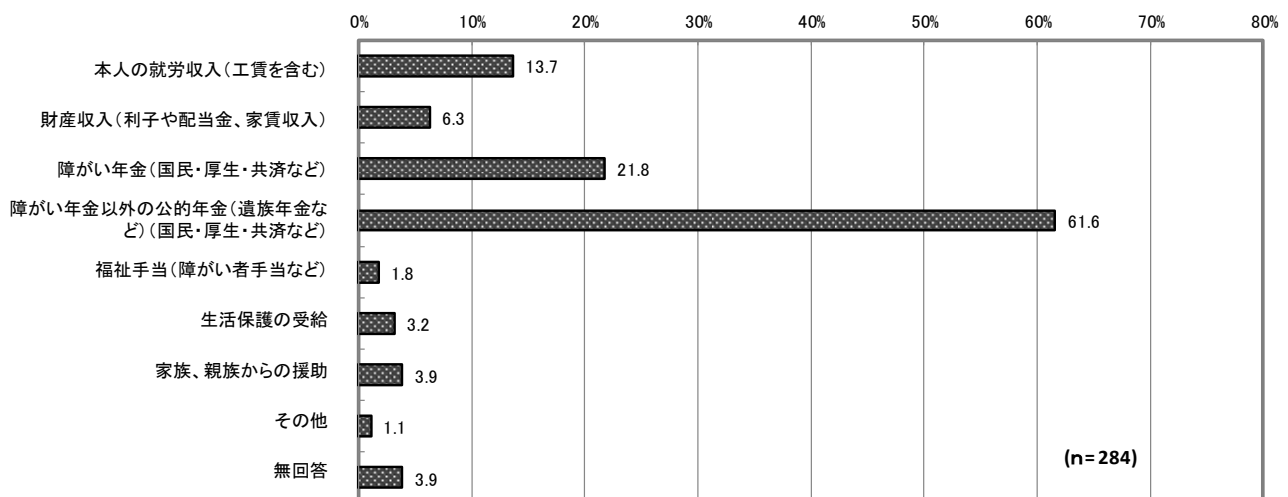


## 問4 問3で「1～5」を回答した方におたずねします。あなたの主な収入源はどれですか。

(複数回答 n=284)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 本人の就労収入（工賃を含む）	39	13.7%	0	0.0%	23	56.1%	16	6.6%
2 財産収入（利子や配当金、家賃収入）	18	6.3%	0	0.0%	3	7.3%	15	6.2%
3 障がい年金（国民・厚生・共済など）	62	21.8%	0	0.0%	12	29.3%	50	20.6%
4 障がい年金以外の公的年金（遺族年金など） （国民・厚生・共済など）	175	61.6%	0	0.0%	5	12.2%	170	70.0%
5 福祉手当（障がい者手当など）	5	1.8%	0	0.0%	3	7.3%	2	0.8%
6 生活保護の受給	9	3.2%	0	0.0%	3	7.3%	6	2.5%
7 家族、親族からの援助	11	3.9%	0	0.0%	4	9.8%	7	2.9%
8 その他	3	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
無回答	11	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	11	4.5%
合計	284		0		41		243	

8 その他：主な内訳 年金（1）生活・住宅扶助（1）労災（1）

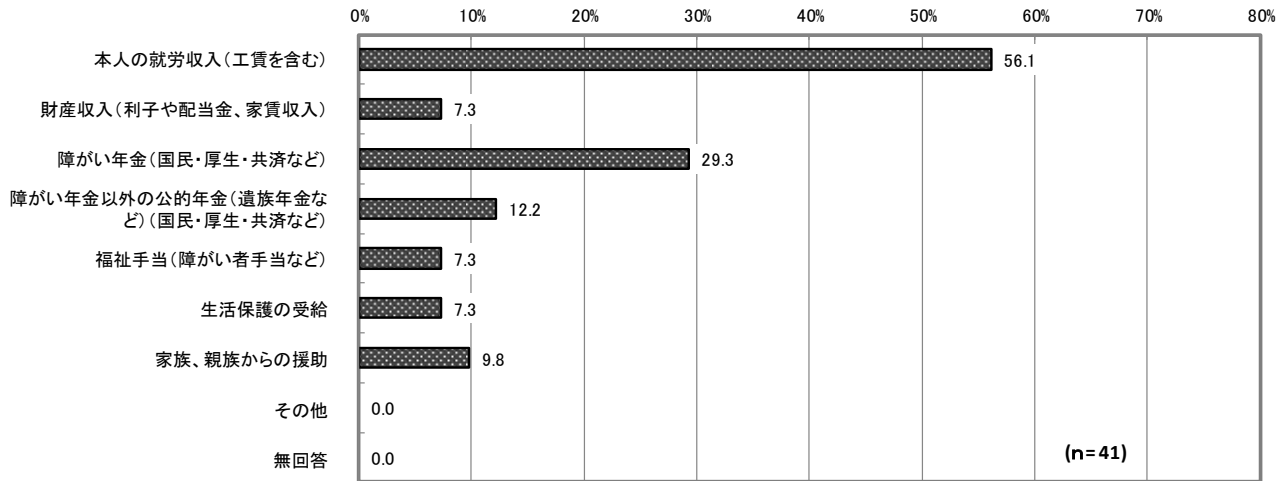


【年代別】

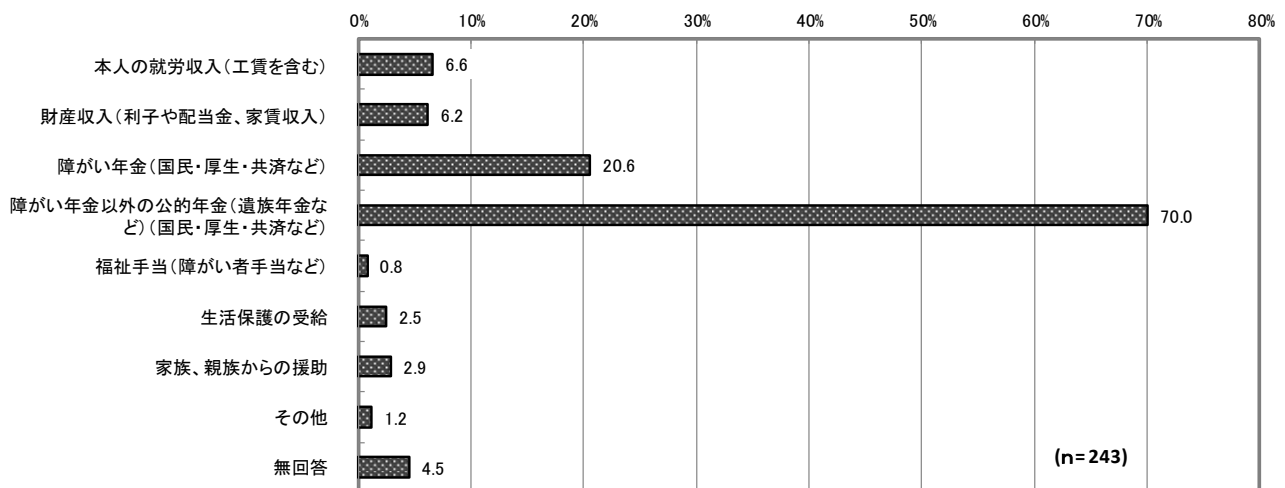
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》



## 【日常生活】

普段の生活の中で困っていることは、「健康」が47.7%と半数弱を占めており、次いで「外出」が22.3%、「収入」が21.3%となっている。

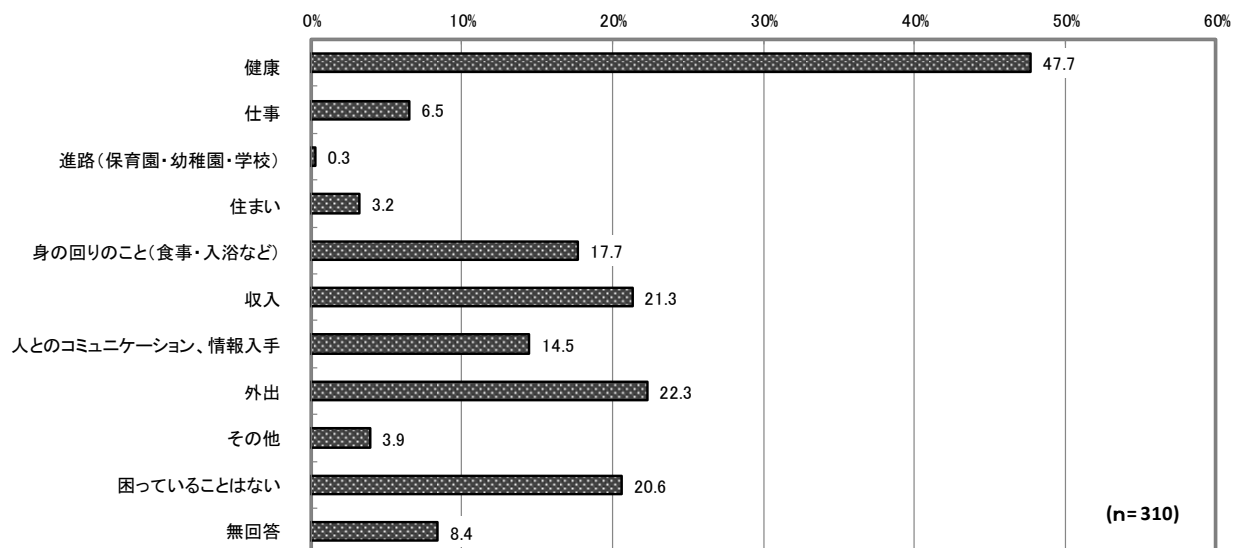
ヘルプカードの認知状況については、「知らない」が71.9%と7割強を占め、「知っている」の13.9%を大きく上回っている。

日常生活で少しでも介助や支援が必要なことは、「ない」が37.7%と4割弱を占めたが、具体的な回答の中では「日用品の買い物」が28.1%と最も高く、次いで「掃除・片付け」が25.5%、「食事づくり」および「通院」が同率22.9%となった。日常生活の中で少しでも介助や支援が必要なおと回答した人に、主な介助者について尋ねたところ、「配偶者」が37.2%と最も高く、次いで「子（子の配偶者）」が26.2%、「ホームヘルパー・施設職員」が15.2%となった。また、介助者の健康状態については、「普通」が52.2%と半数強を占めたが、「高齢で健康状態に不安がある」18.3%、「具合が悪く病気の治療中である」7.8%、「病気がちである」5.2%と、健康状態に不安を抱える人も3割強を占めている。

## 問5 普段の生活の中で困っていることはありますか。 （複数回答 n=310）

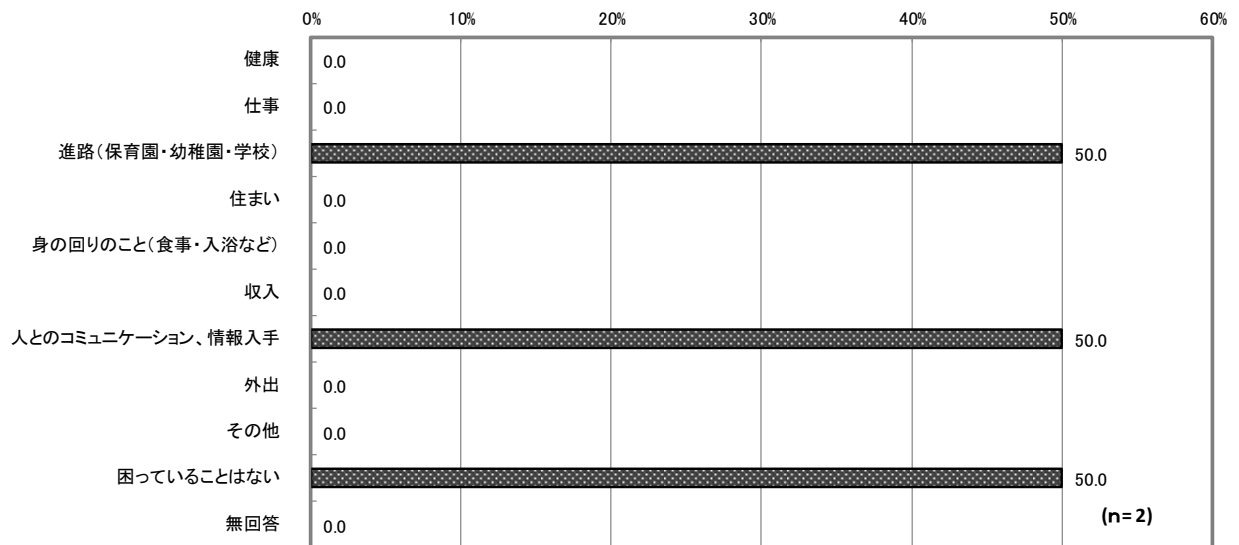
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 健康	148	47.7%	0	0.0%	24	48.0%	124	48.1%
2 仕事	20	6.5%	0	0.0%	10	20.0%	10	3.9%
3 進路（保育園・幼稚園・学校）	1	0.3%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 住まい	10	3.2%	0	0.0%	4	8.0%	6	2.3%
5 身の回りのこと（食事・入浴など）	55	17.7%	0	0.0%	7	14.0%	48	18.6%
6 収入	66	21.3%	0	0.0%	15	30.0%	51	19.8%
7 人とのコミュニケーション、情報入手	45	14.5%	1	50.0%	11	22.0%	33	12.8%
8 外出	69	22.3%	0	0.0%	9	18.0%	60	23.3%
9 その他	12	3.9%	0	0.0%	3	6.0%	9	3.5%
10 困っていることはない	64	20.6%	1	50.0%	10	20.0%	53	20.5%
無回答	26	8.4%	0	0.0%	2	4.0%	24	9.3%
合計	310		2		50		258	

9 その他：主な内訳 自分1人では何も出来ない（2）草とり、植木の手入れ（1）動けなくなったときの通院手段（1）歩行（1）主婦なので家事管理等が思うようにできない（1）掃除（1）通院に関わる全体、生活介護、特に入浴できる施設がほぼない（1）ゴミ捨て（1）物忘れがひどい（1）体力が落ち、移動、外出困難（1）

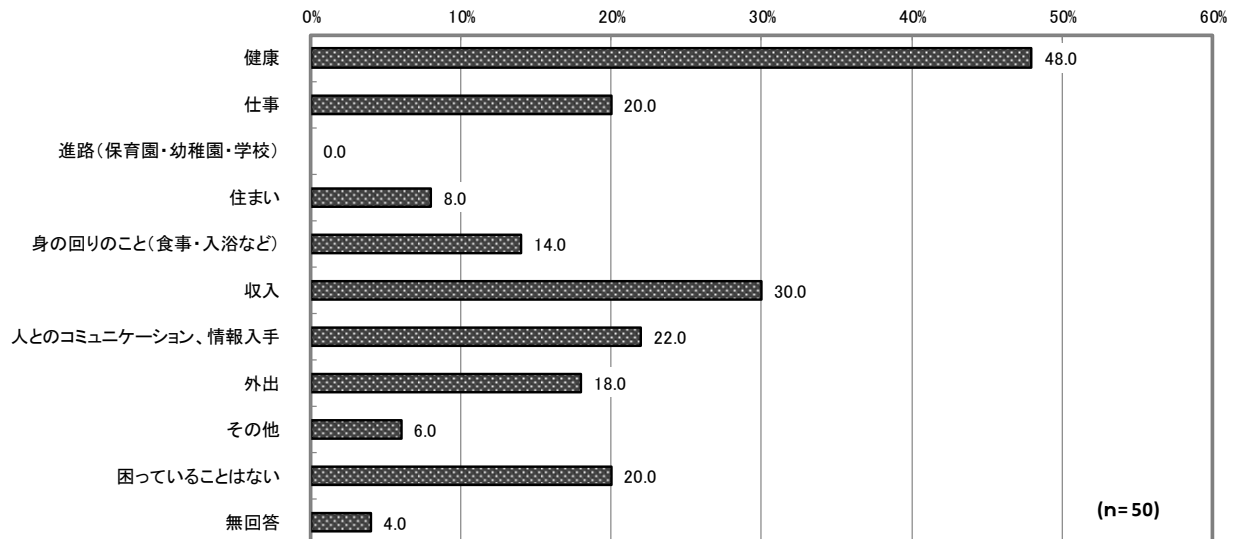


【年代別】

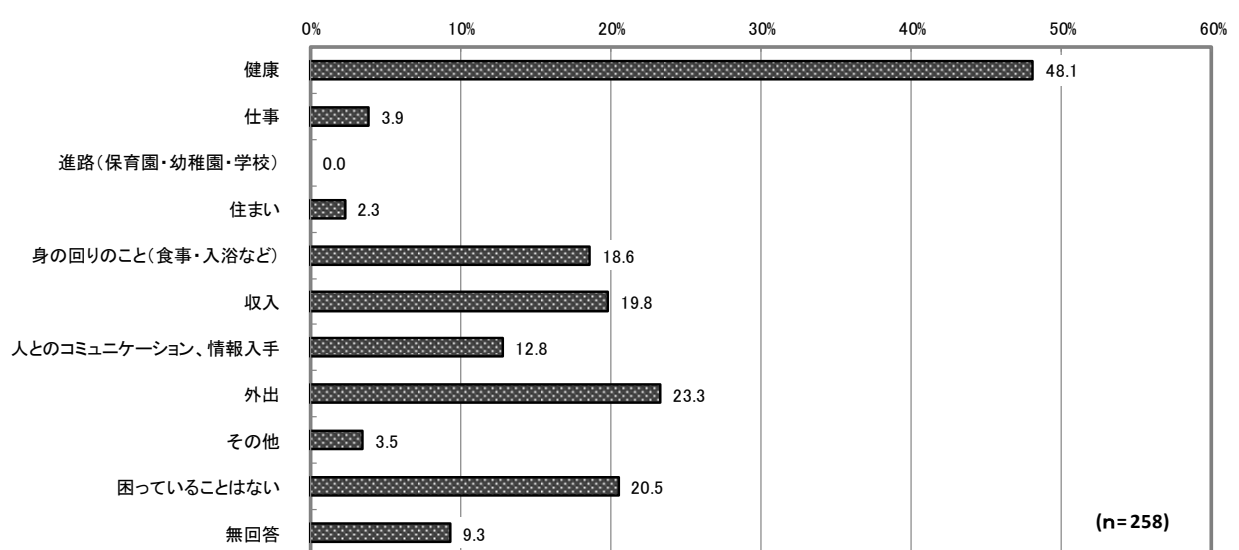
《18 歳未満》



《18～64 歳》

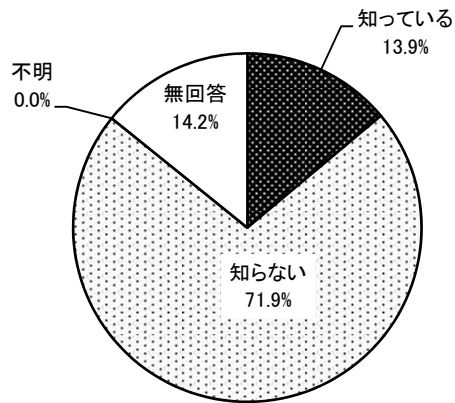


《65 歳以上》



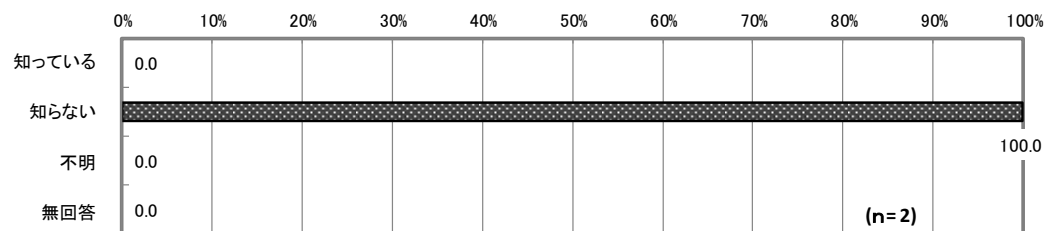
問6 ヘルプカードを知っていますか。(単数回答 n=310)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	43	13.9%	0	0.0%	16	32.0%	27	10.5%
2 知らない	223	71.9%	2	100.0%	29	58.0%	192	74.4%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	44	14.2%	0	0.0%	5	10.0%	39	15.1%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

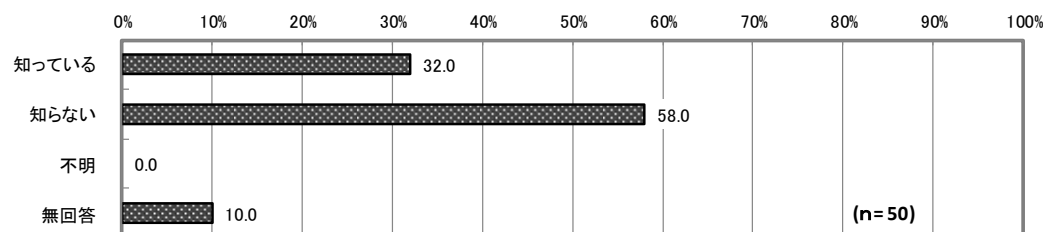


【年代別】

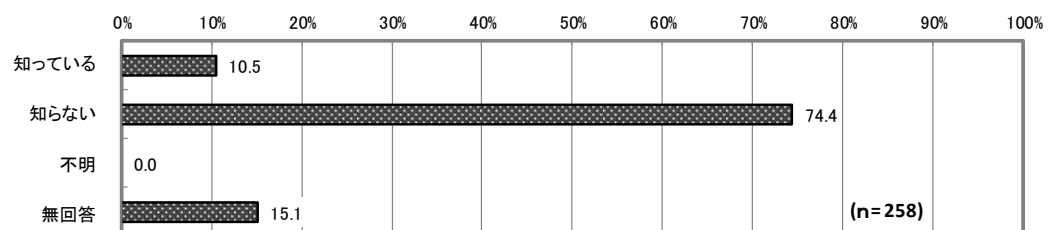
《18歳未満》



《18～64歳》



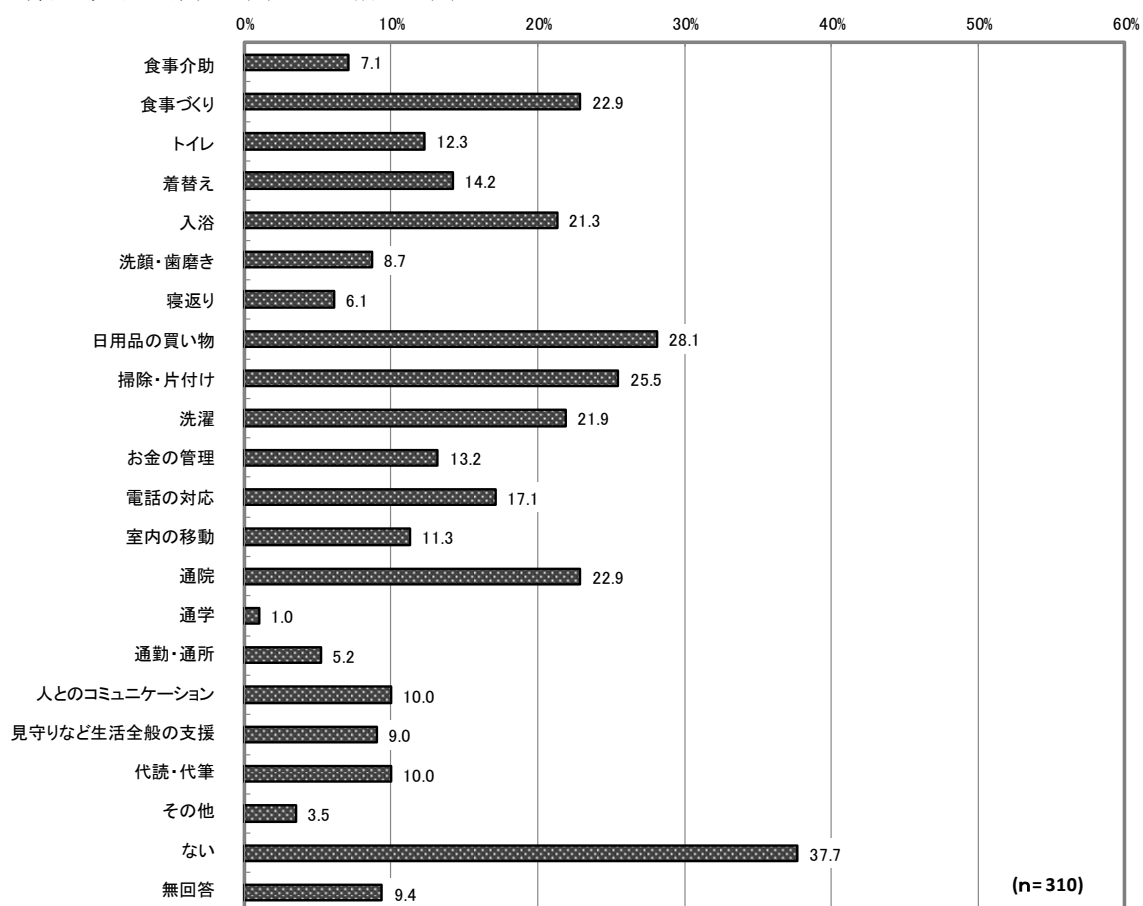
《65歳以上》



## 問7 日常生活で少しでも介助や支援が必要なことがありますか。 (複数回答 n=310)

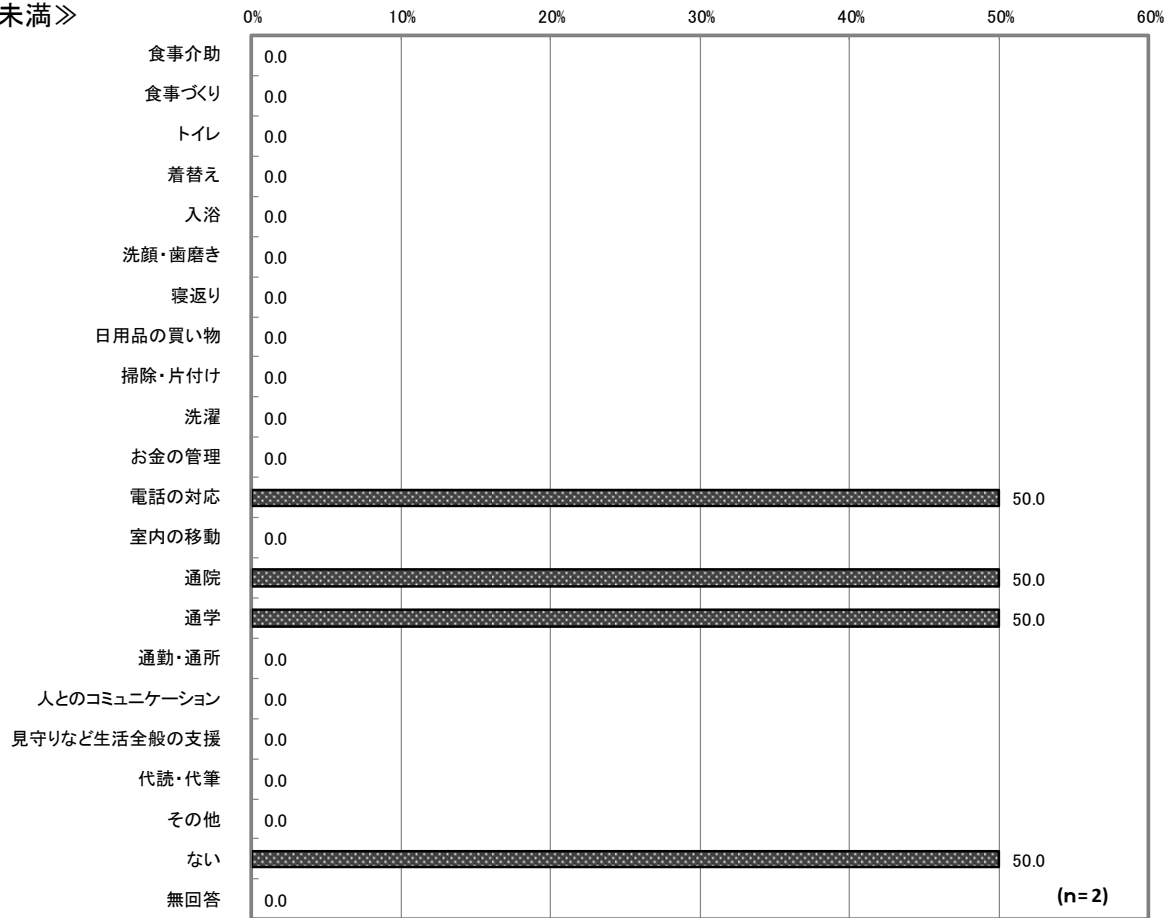
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 食事介助	22	7.1%	0	0.0%	4	8.0%	18	7.0%
2 食事づくり	71	22.9%	0	0.0%	6	12.0%	65	25.2%
3 トイレ	38	12.3%	0	0.0%	5	10.0%	33	12.8%
4 着替え	44	14.2%	0	0.0%	6	12.0%	38	14.7%
5 入浴	66	21.3%	0	0.0%	8	16.0%	58	22.5%
6 洗顔・歯磨き	27	8.7%	0	0.0%	5	10.0%	22	8.5%
7 寝返り	19	6.1%	0	0.0%	4	8.0%	15	5.8%
8 日用品の買い物	87	28.1%	0	0.0%	10	20.0%	77	29.8%
9 掃除・片付け	79	25.5%	0	0.0%	9	18.0%	70	27.1%
10 洗濯	68	21.9%	0	0.0%	7	14.0%	61	23.6%
11 お金の管理	41	13.2%	0	0.0%	4	8.0%	37	14.3%
12 電話の対応	53	17.1%	1	50.0%	5	10.0%	47	18.2%
13 室内の移動	35	11.3%	0	0.0%	3	6.0%	32	12.4%
14 通院	71	22.9%	1	50.0%	8	16.0%	62	24.0%
15 通学	3	1.0%	1	50.0%	0	0.0%	2	0.8%
16 通勤・通所	16	5.2%	0	0.0%	2	4.0%	14	5.4%
17 人とのコミュニケーション	31	10.0%	0	0.0%	7	14.0%	24	9.3%
18 見守りなど生活全般の支援	28	9.0%	0	0.0%	5	10.0%	23	8.9%
19 代読・代筆	31	10.0%	0	0.0%	4	8.0%	27	10.5%
20 その他	11	3.5%	0	0.0%	4	8.0%	7	2.7%
21 ない	117	37.7%	1	50.0%	27	54.0%	89	34.5%
無回答	29	9.4%	0	0.0%	1	2.0%	28	10.9%
合計	310		2		50		258	

20 その他：主な内訳 雪のかたづけ (1) 外出時の介助 (1) ストーマの交換介助 (1) 車の運転 (1) 足のつめ切り、ストッキング着用時 (1) 生活費、身内を含む支援者の確保 (1) つめ切り (1) 薬の飲みの確認 (1) ゴミ捨て (1)

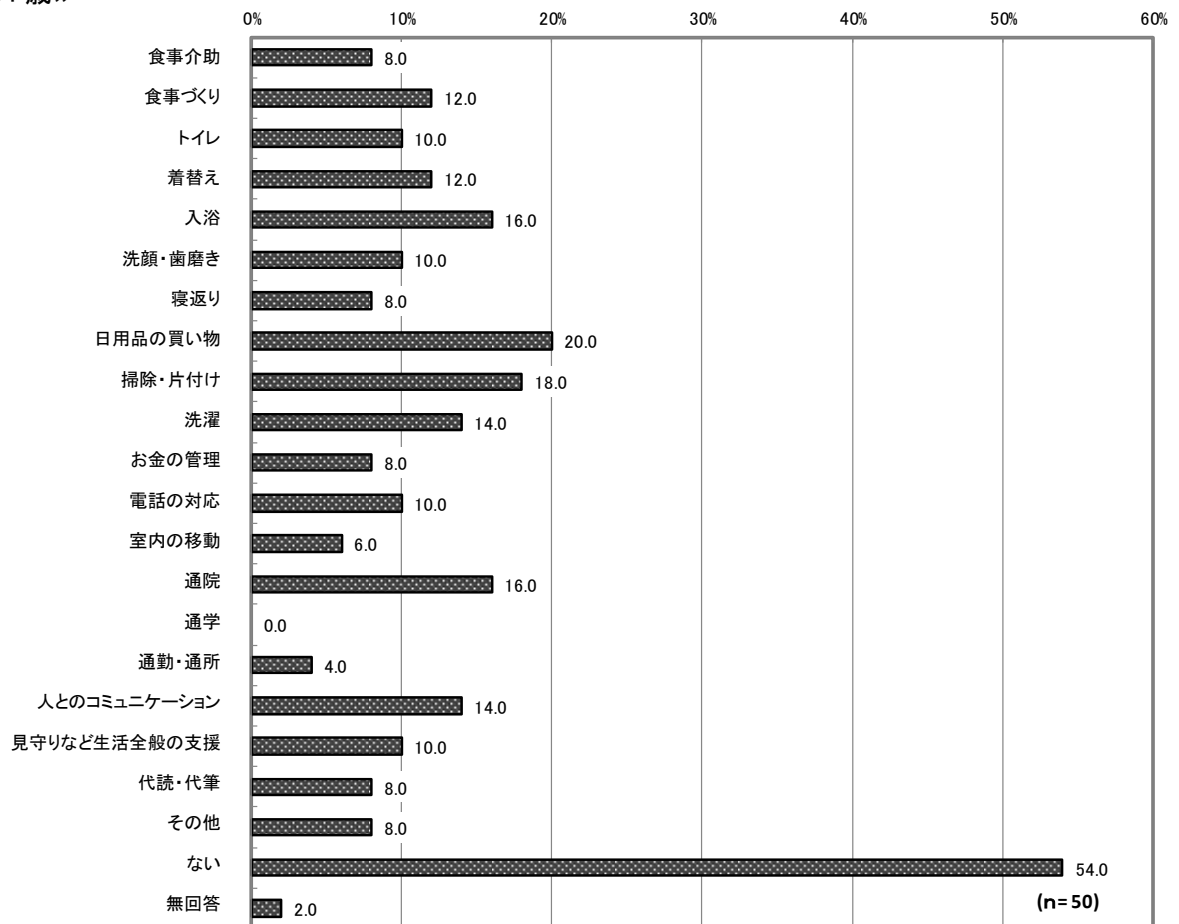


【年代別】

《18 歳未満》

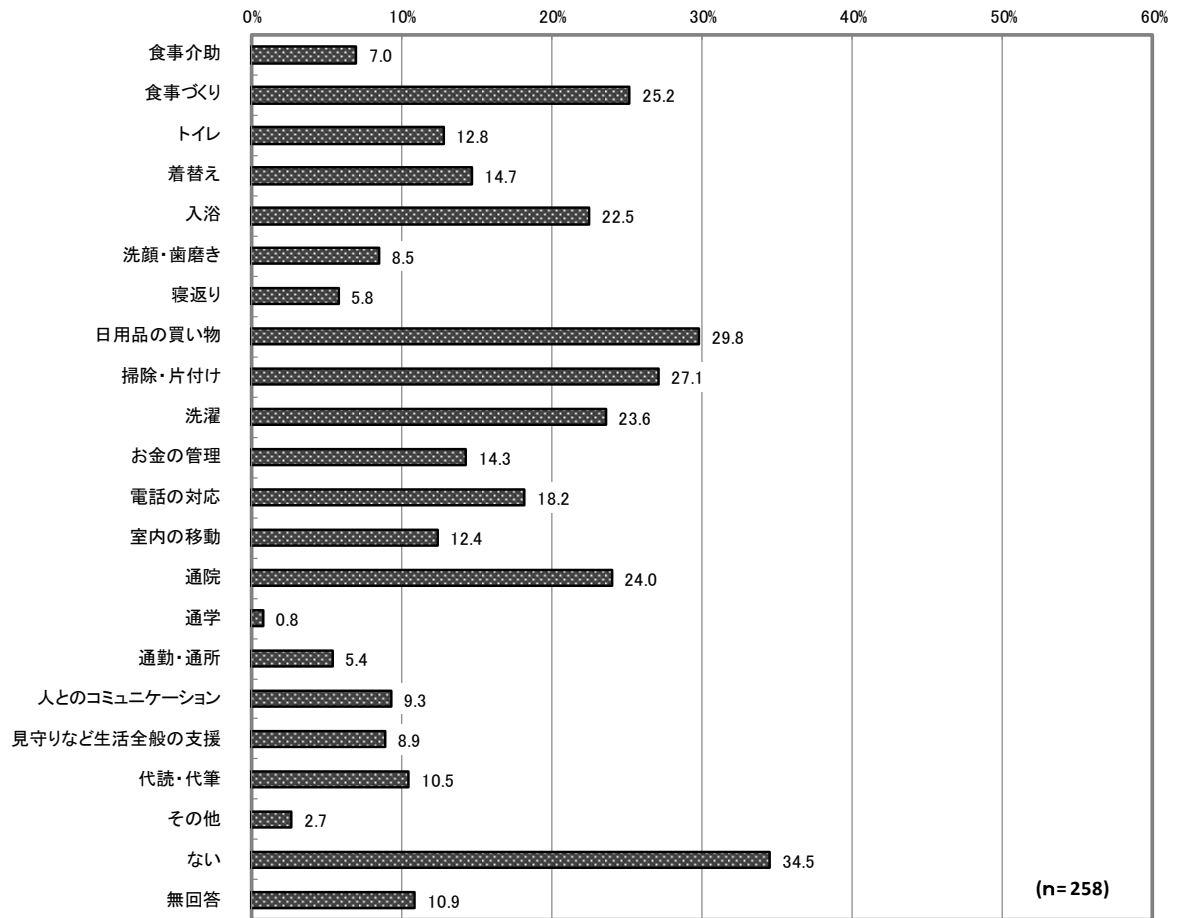


《18～64 歳》





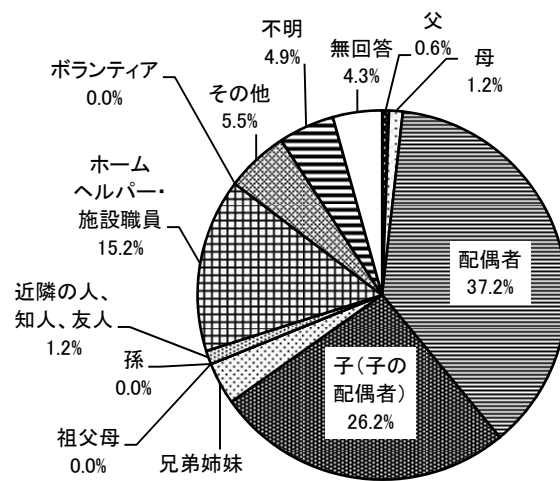
《65 歳以上》



問8 問7で「1～20」を回答した方におたずねします。あなたを介助者している方（介助者）はどなたですか。（主な介助者に1つだけ○印）（単数回答 n=164）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 父	1	0.6%	0	0.0%	1	4.5%	0	0.0%
2 母	2	1.2%	1	100.0%	1	4.5%	0	0.0%
3 配偶者	61	37.2%	0	0.0%	7	31.8%	54	38.3%
4 子（子の配偶者）	43	26.2%	0	0.0%	1	4.5%	42	29.8%
5 兄弟姉妹	6	3.7%	0	0.0%	1	4.5%	5	3.5%
6 祖父母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 孫	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 近隣の人、知人、友人	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.4%
9 ホームヘルパー・施設職員	25	15.2%	0	0.0%	7	31.8%	18	12.8%
10 ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11 その他	9	5.5%	0	0.0%	4	18.2%	5	3.5%
不明	8	4.9%	0	0.0%	0	0.0%	8	5.7%
無回答	7	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	7	5.0%
合計	164	100.0%	1	100.0%	22	100.0%	141	100.0%

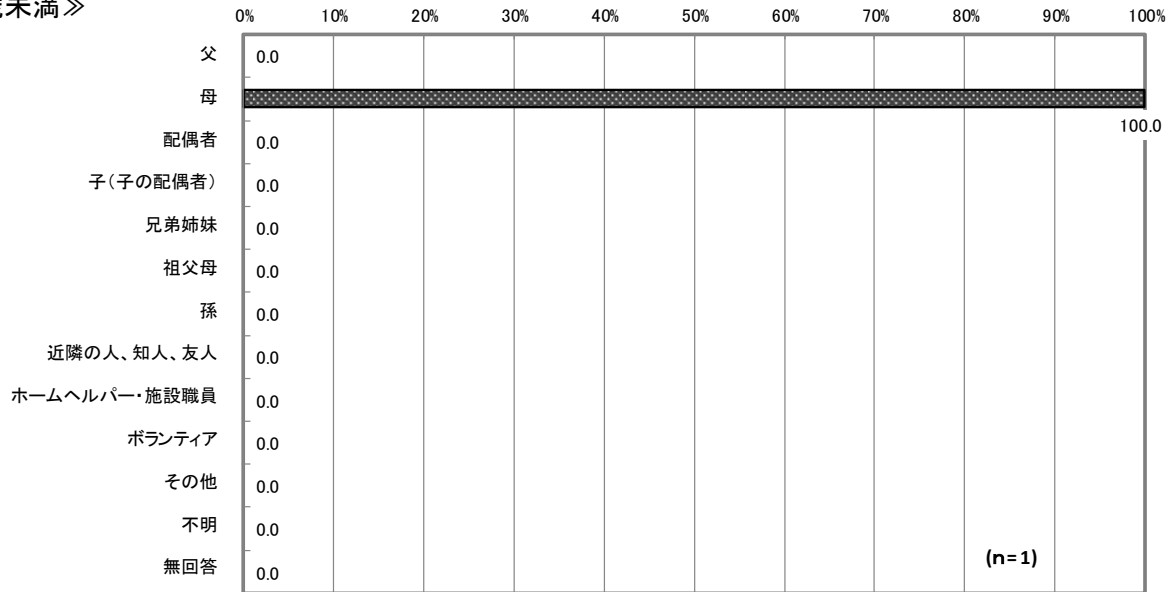
11 その他：主な内訳 いない（5）病院職員（2）甥（1）



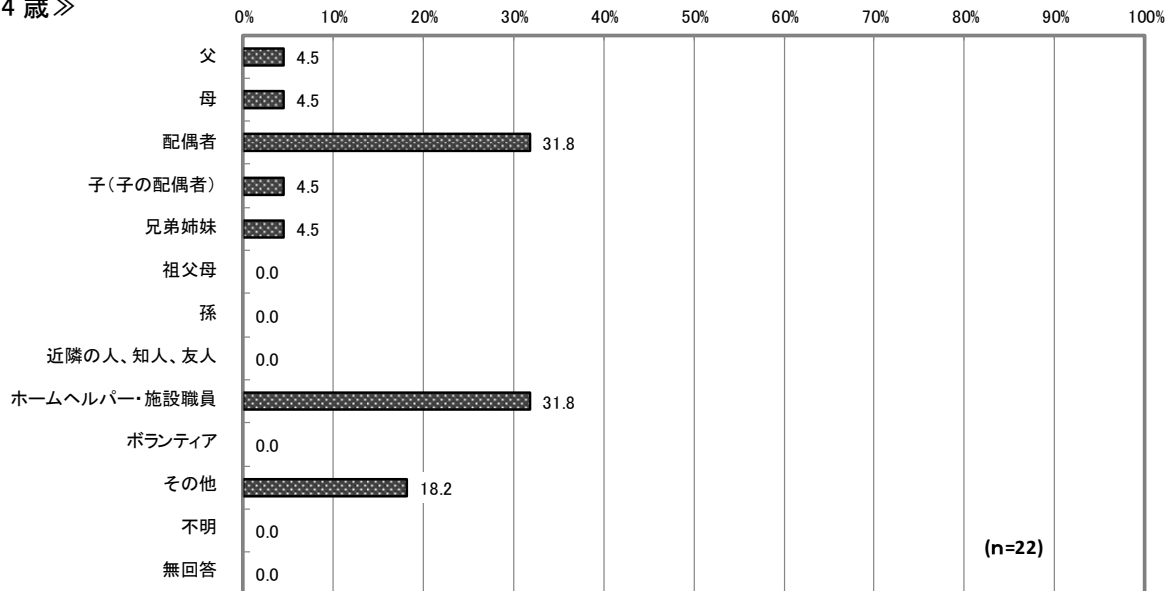
n=164

【年代別】

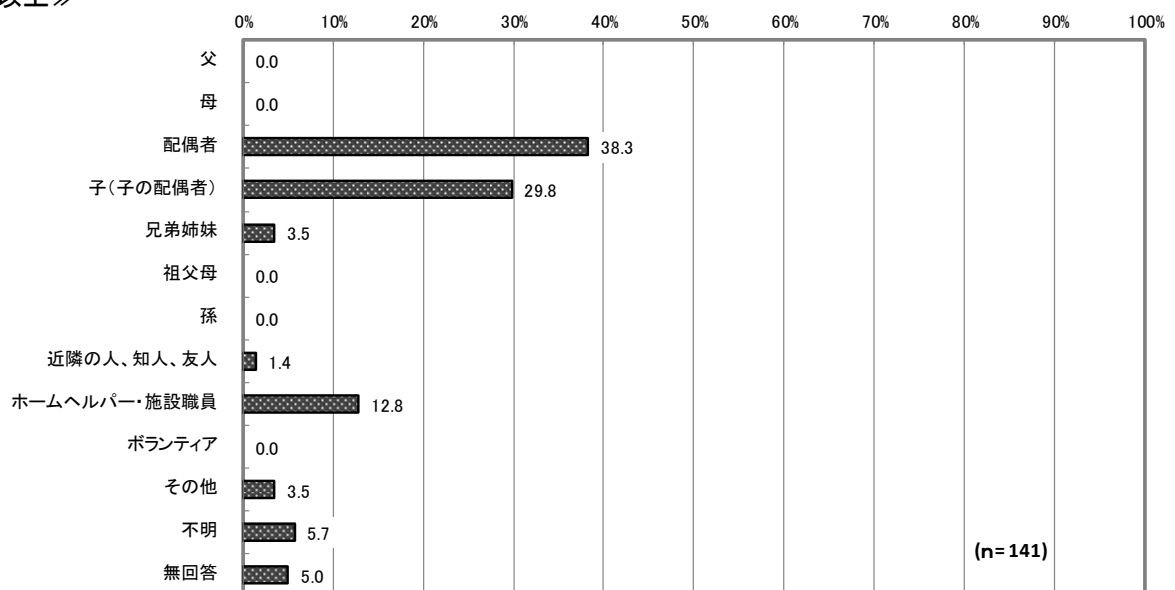
《18 歳未満》



《18～64 歳》



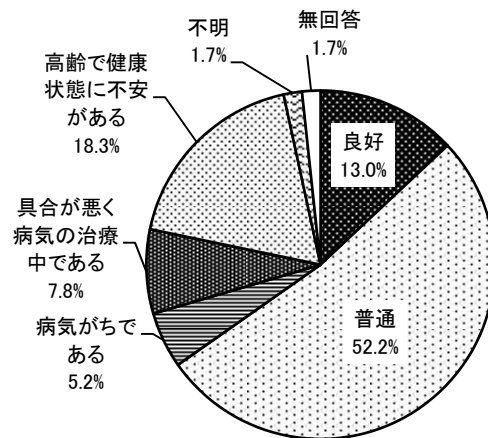
《65 歳以上》



問9 問8で「1～8」を回答した方におたずねします。主な介助者の健康状態はいかがですか。

(単数回答 n=115)

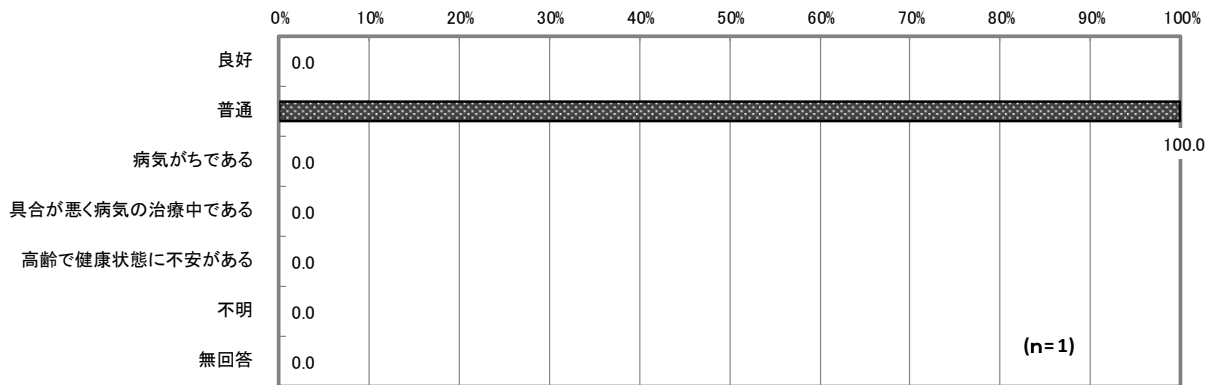
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 良好	15	13.0%	0	0.0%	3	27.3%	12	11.7%
2 普通	60	52.2%	1	100.0%	6	54.5%	53	51.5%
3 病気がちである	6	5.2%	0	0.0%	0	0.0%	6	5.8%
4 具合が悪く病気の治療中である	9	7.8%	0	0.0%	0	0.0%	9	8.7%
5 高齢で健康状態に不安がある	21	18.3%	0	0.0%	1	9.1%	20	19.4%
不明	2	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.9%
無回答	2	1.7%	0	0.0%	1	9.1%	1	1.0%
合計	115	100.0%	1	100.0%	11	100.0%	103	100.0%



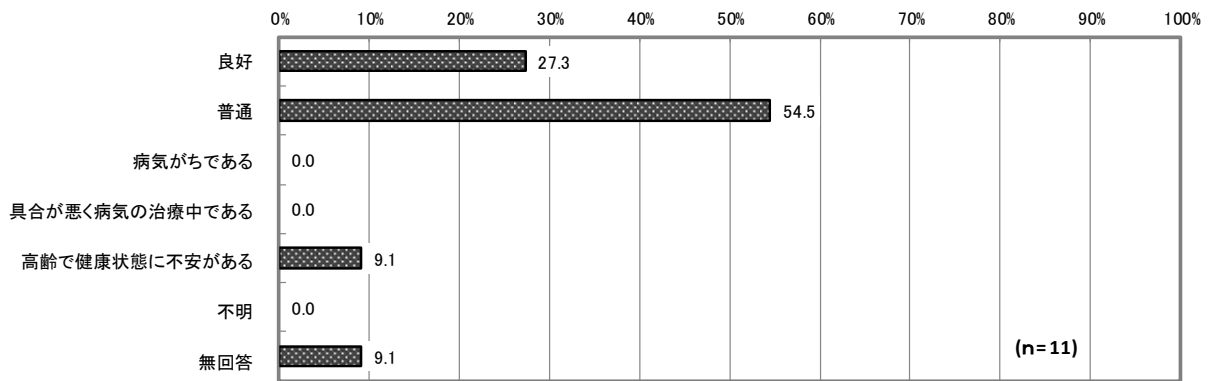
n=115

【年代別】

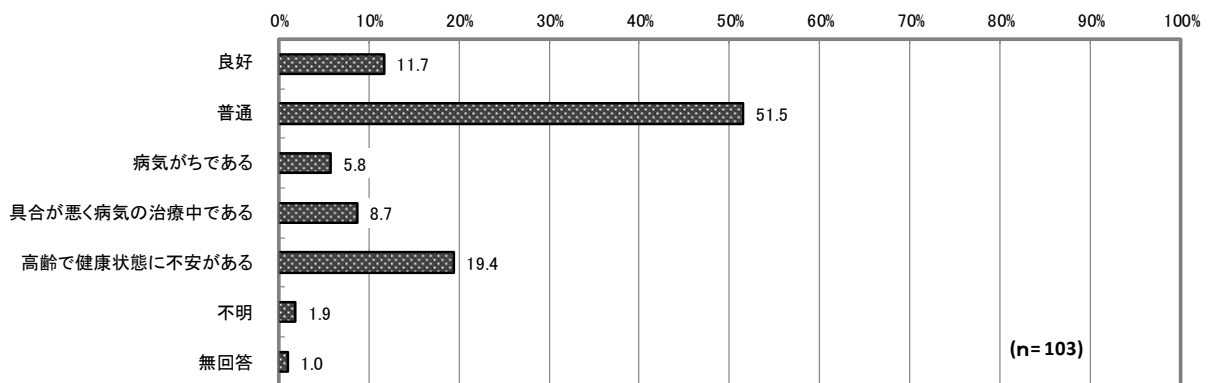
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



**【福祉サービス】**

福祉制度の中で、知っているサービスは、「生活介護（デイサービス）」が61.6%と最も高く、次いで「福祉タクシー券・給油券の交付」が59.4%、「短期入所（ショートステイ）」が57.1%、「居宅介護（ホームヘルプ）」が51.0%となり、これらのサービスで5割以上となった。利用したことがあるサービスは、「福祉タクシー券・給油券の交付」が36.5%と最も高く、「自動車税の減免」が25.2%、「交通料金の割引」が21.0%となり、これら以外のサービスは2割未満にとどまった。また、今後利用したいサービスは、「福祉タクシー券・給油券の交付」が10.0%と最も高く、次いで「NHK受信料の減免」が9.7%、「交通料金の割引」が8.7%となった。

山形市内の身体障がい者入所施設の数については、「不足している」が17.7%と、「ちょうど良い」の12.3%を上回った。全体では、「その他」が42.3%と最も高く、その内訳は「知らない、分からない」等の回答が多数を占めた。一方、定員数については、「ちょうど良い」が14.5%と、「不足している」の12.9%を上回った。定員数についても、全体では「その他」が40.3%と最も高かった。

山形市内の身体障がい者グループホームの数については、「ちょうど良い」が10.6%と、「不足している」の9.7%をわずかに上回った。全体では、「その他」が44.8%と最も高く、その内訳は「知らない、分からない」等の回答が多数を占めた。また、定員数についても、「ちょうど良い」が11.6%と、「不足している」の7.7%を上回った。定員数についても、全体では「その他」が43.2%と最も高かった。

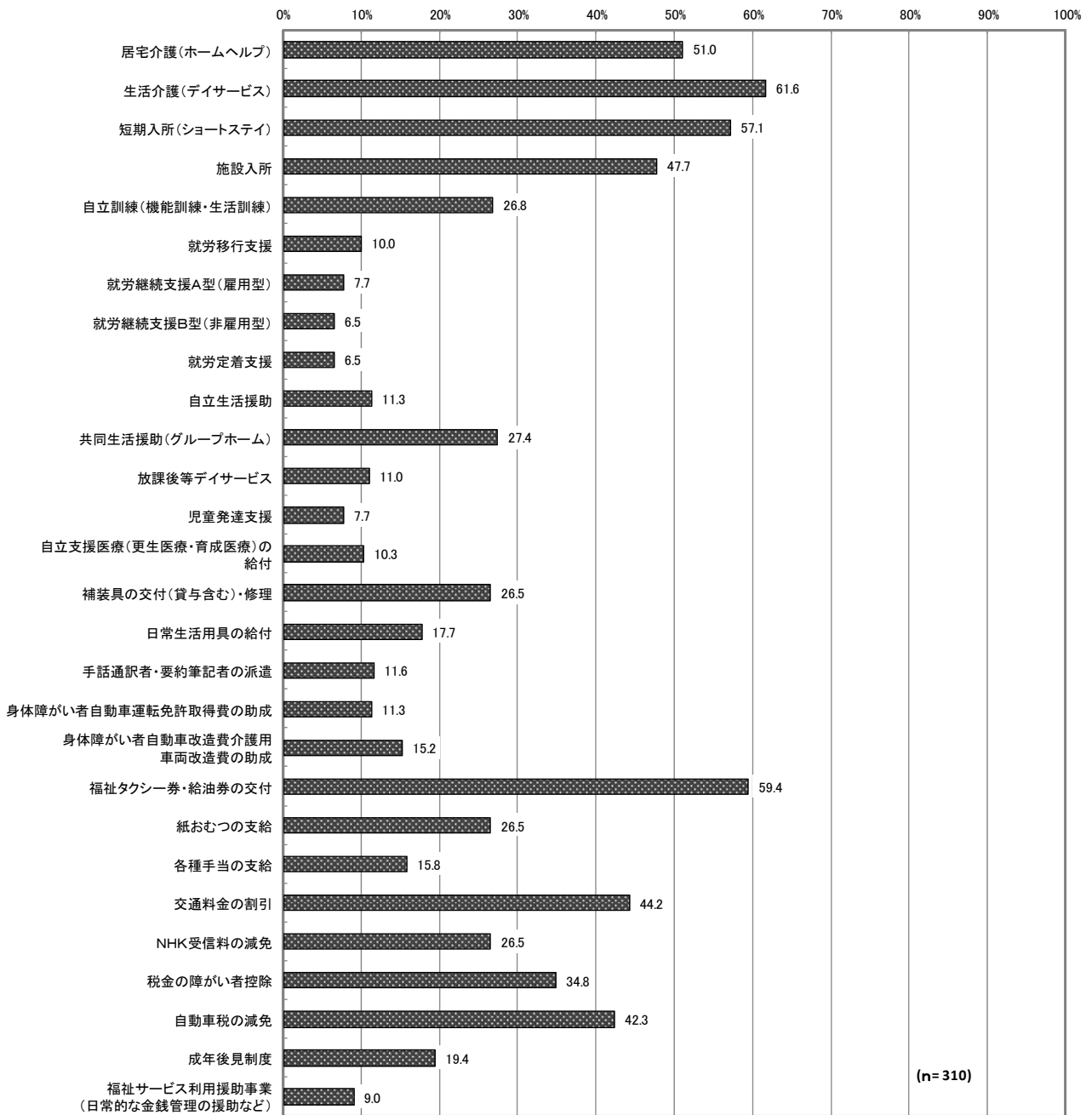
山形市内の身体障がい者通所事業所の数については、「ちょうど良い」が12.6%と、「不足している」の9.4%を上回った。全体では、「その他」が44.2%と最も高く、その内訳は「知らない、分からない」等の回答が多数を占めた。また、定員数についても、「ちょうど良い」が12.9%と、「不足している」の7.7%を上回った。定員数についても、全体では「その他」が43.2%と最も高かった。

問 10 次にあげた福祉サービスの中で、「知っている」「利用したことがある」「今後利用したい」サービスはどれですか。 （複数回答 n=310）

【知っているサービス】

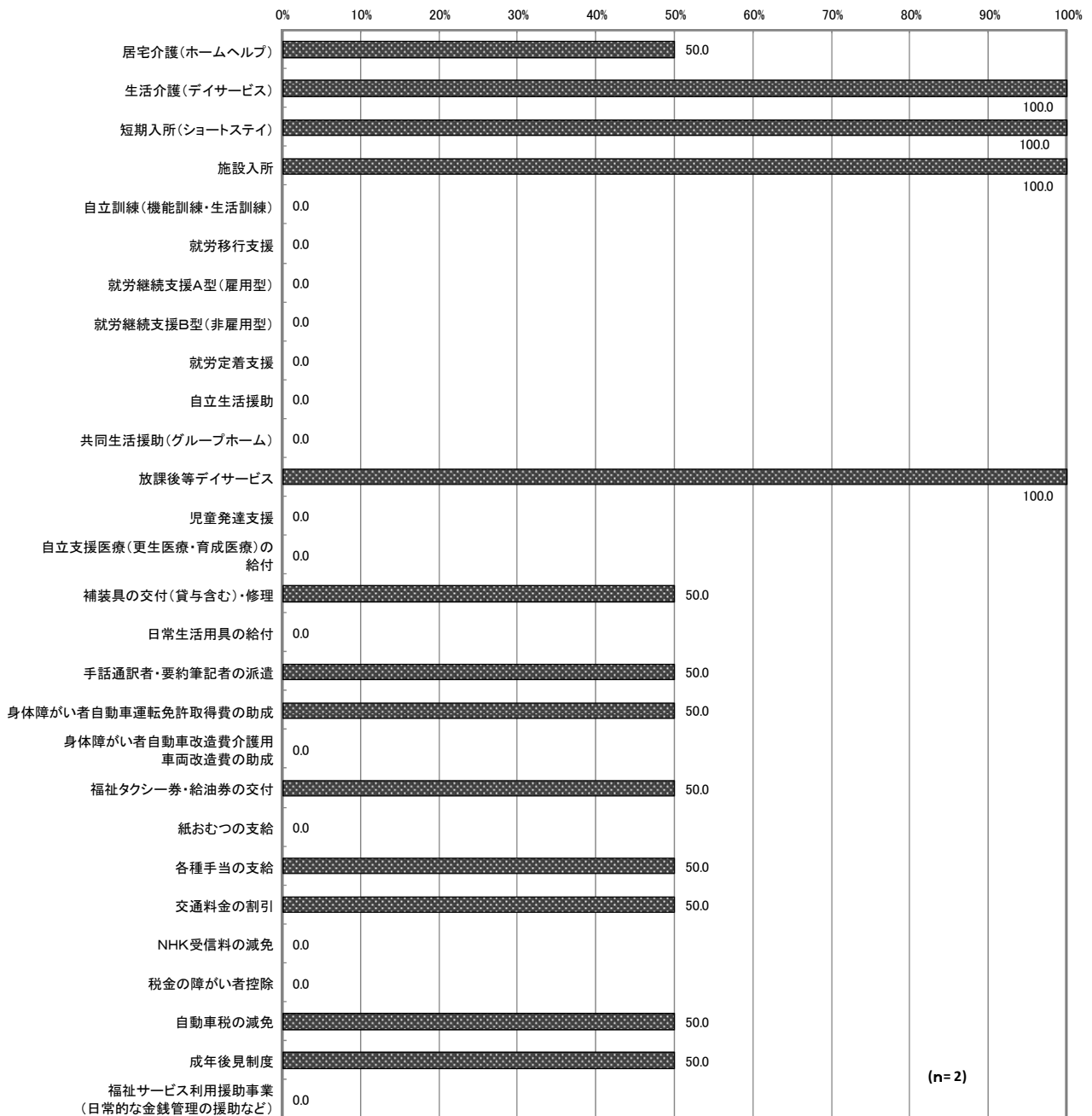
サービス名	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 居宅介護（ホームヘルプ）	158	51.0%	1	50.0%	30	60.0%	127	49.2%
2 生活介護（デイサービス）	191	61.6%	2	100.0%	33	66.0%	156	60.5%
3 短期入所（ショートステイ）	177	57.1%	2	100.0%	33	66.0%	142	55.0%
4 施設入所	148	47.7%	2	100.0%	27	54.0%	119	46.1%
5 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	83	26.8%	0	0.0%	22	44.0%	61	23.6%
6 就労移行支援	31	10.0%	0	0.0%	13	26.0%	18	7.0%
7 就労継続支援A型（雇用型）	24	7.7%	0	0.0%	10	20.0%	14	5.4%
8 就労継続支援B型（非雇用型）	20	6.5%	0	0.0%	8	16.0%	12	4.7%
9 就労定着支援	20	6.5%	0	0.0%	6	12.0%	14	5.4%
10 自立生活援助	35	11.3%	0	0.0%	12	24.0%	23	8.9%
11 共同生活援助（グループホーム）	85	27.4%	0	0.0%	22	44.0%	63	24.4%
12 放課後等デイサービス	34	11.0%	2	100.0%	10	20.0%	22	8.5%
13 児童発達支援	24	7.7%	0	0.0%	9	18.0%	15	5.8%
14 自立支援医療（更生医療・育成医療）の給付	32	10.3%	0	0.0%	14	28.0%	18	7.0%
15 補装具の交付（貸与含む）・修理	82	26.5%	1	50.0%	20	40.0%	61	23.6%
16 日常生活用具の給付	55	17.7%	0	0.0%	18	36.0%	37	14.3%
17 手話通訳者・要約筆記者の派遣	36	11.6%	1	50.0%	14	28.0%	21	8.1%
18 身体障がい者自動車運転免許取得費の助成	35	11.3%	1	50.0%	11	22.0%	23	8.9%
19 身体障がい者自動車改造費介護用車両改造費の助成	47	15.2%	0	0.0%	14	28.0%	33	12.8%
20 福祉タクシー券・給油券の交付	184	59.4%	1	50.0%	35	70.0%	148	57.4%
21 紙おむつの支給	82	26.5%	0	0.0%	19	38.0%	63	24.4%
22 各種手当の支給	49	15.8%	1	50.0%	14	28.0%	34	13.2%
23 交通料金の割引	137	44.2%	1	50.0%	34	68.0%	102	39.5%
24 NHK受信料の減免	82	26.5%	0	0.0%	25	50.0%	57	22.1%
25 税金の障がい者控除	108	34.8%	0	0.0%	27	54.0%	81	31.4%
26 自動車税の減免	131	42.3%	1	50.0%	31	62.0%	99	38.4%
27 成年後見制度	60	19.4%	1	50.0%	12	24.0%	47	18.2%
28 福祉サービス利用援助事業 （日常的な金銭管理の援助など）	28	9.0%	0	0.0%	8	16.0%	20	7.8%
合計	310		2		50		258	

山形市障がい福祉アンケート 「身体障がい」 調査結果

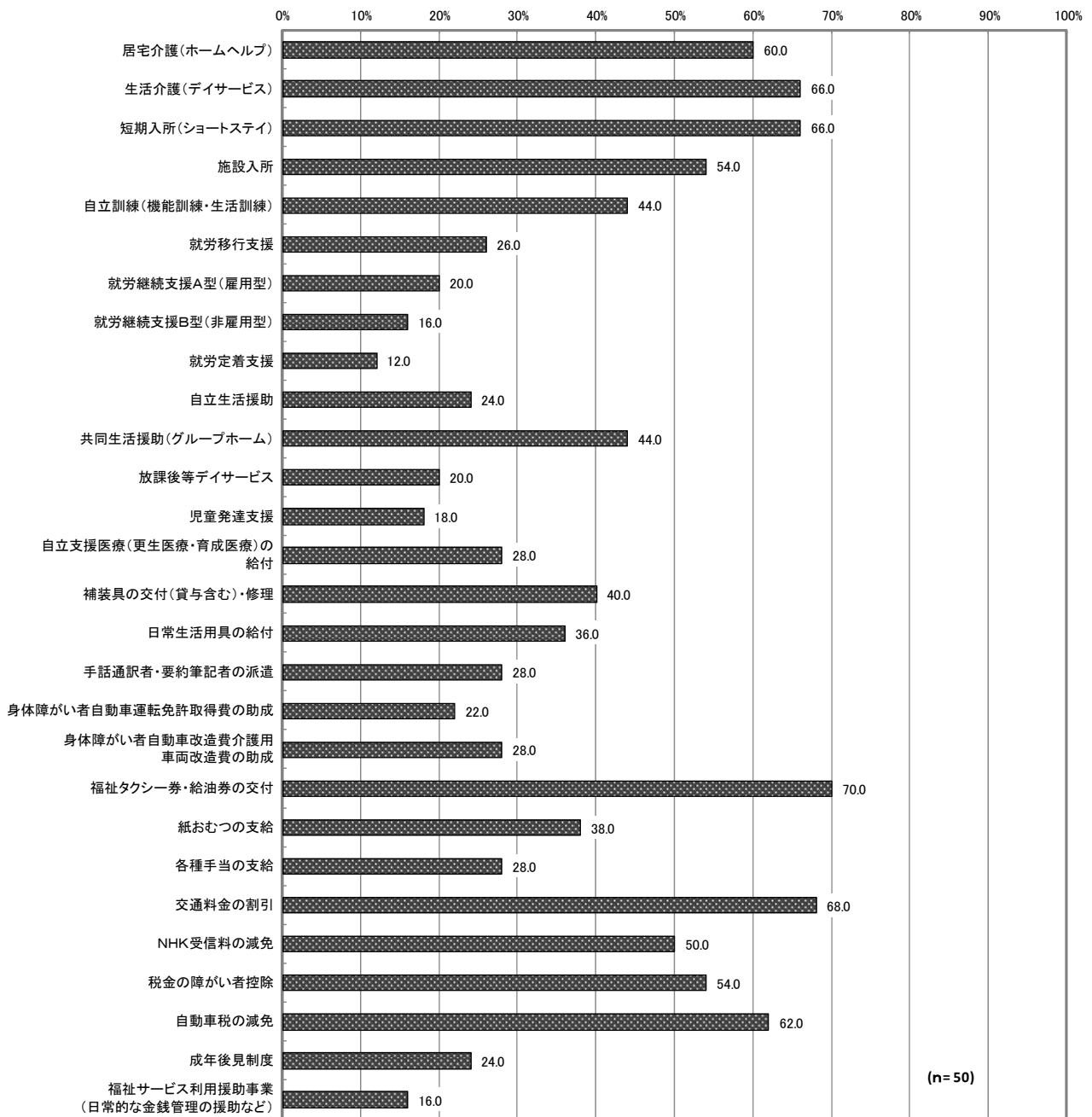




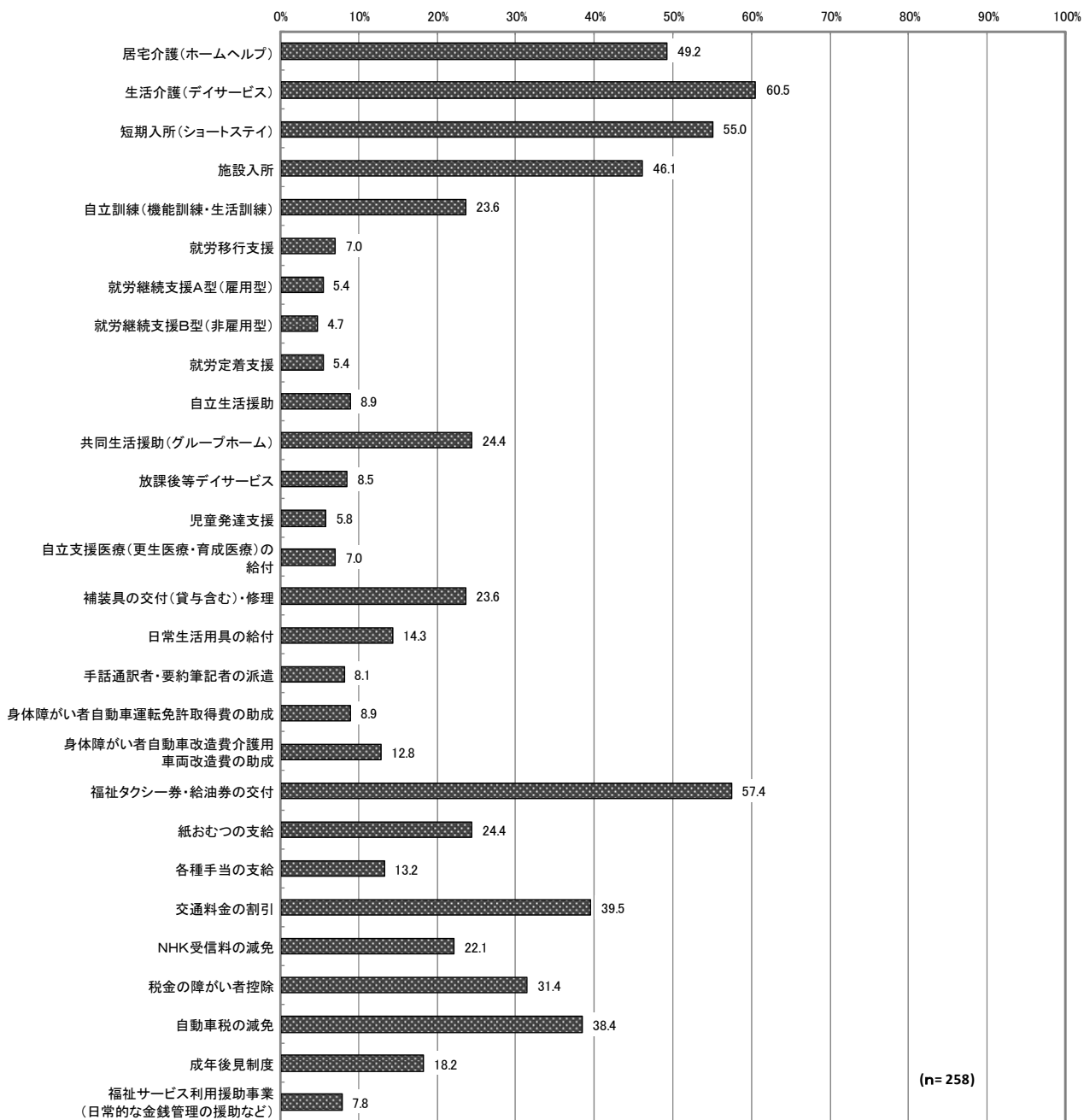
【年代別】  
 <<18 歳未満>>



《18～64 歳》



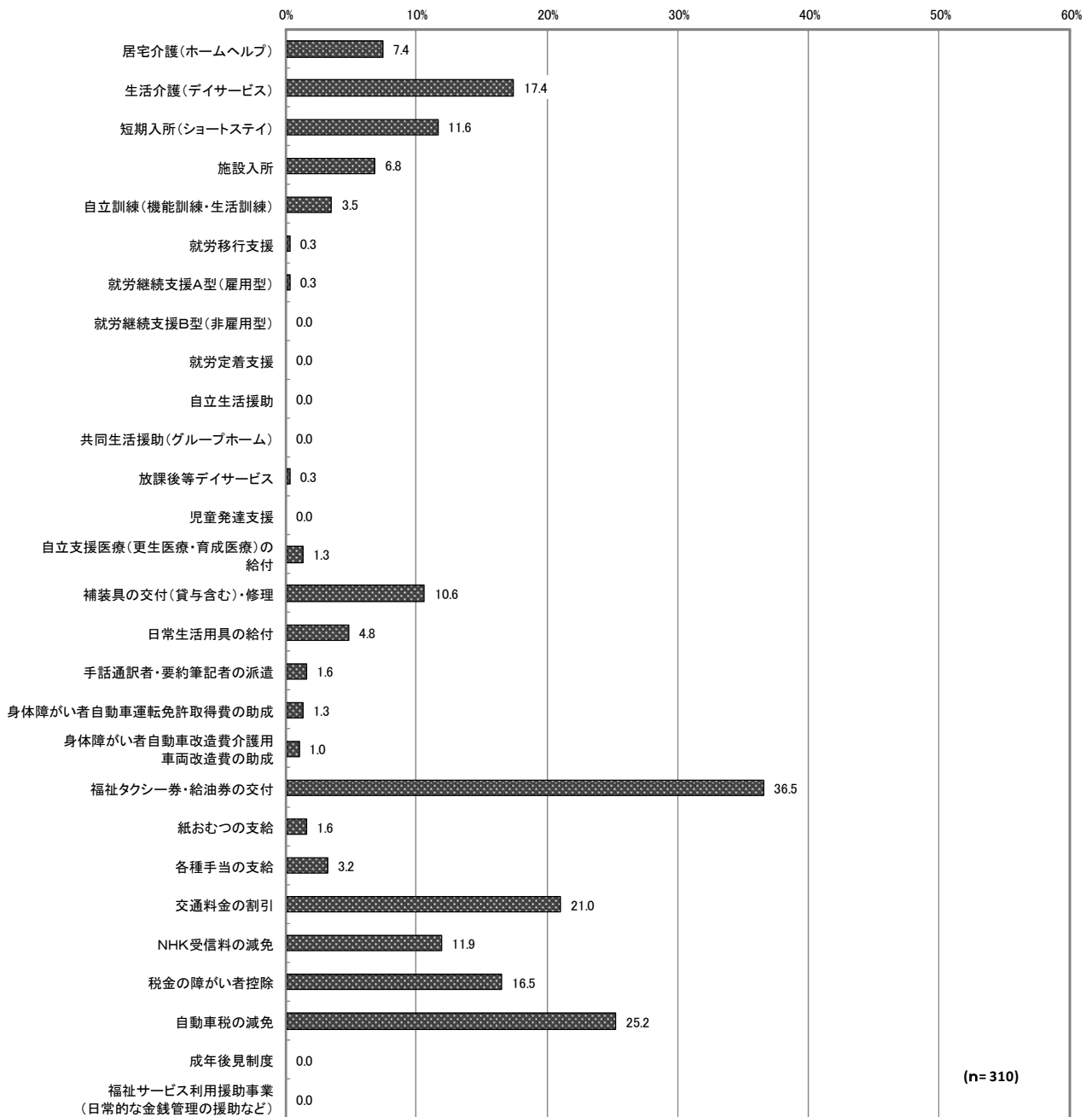
《65 歳以上》



## 【利用したことがあるサービス】

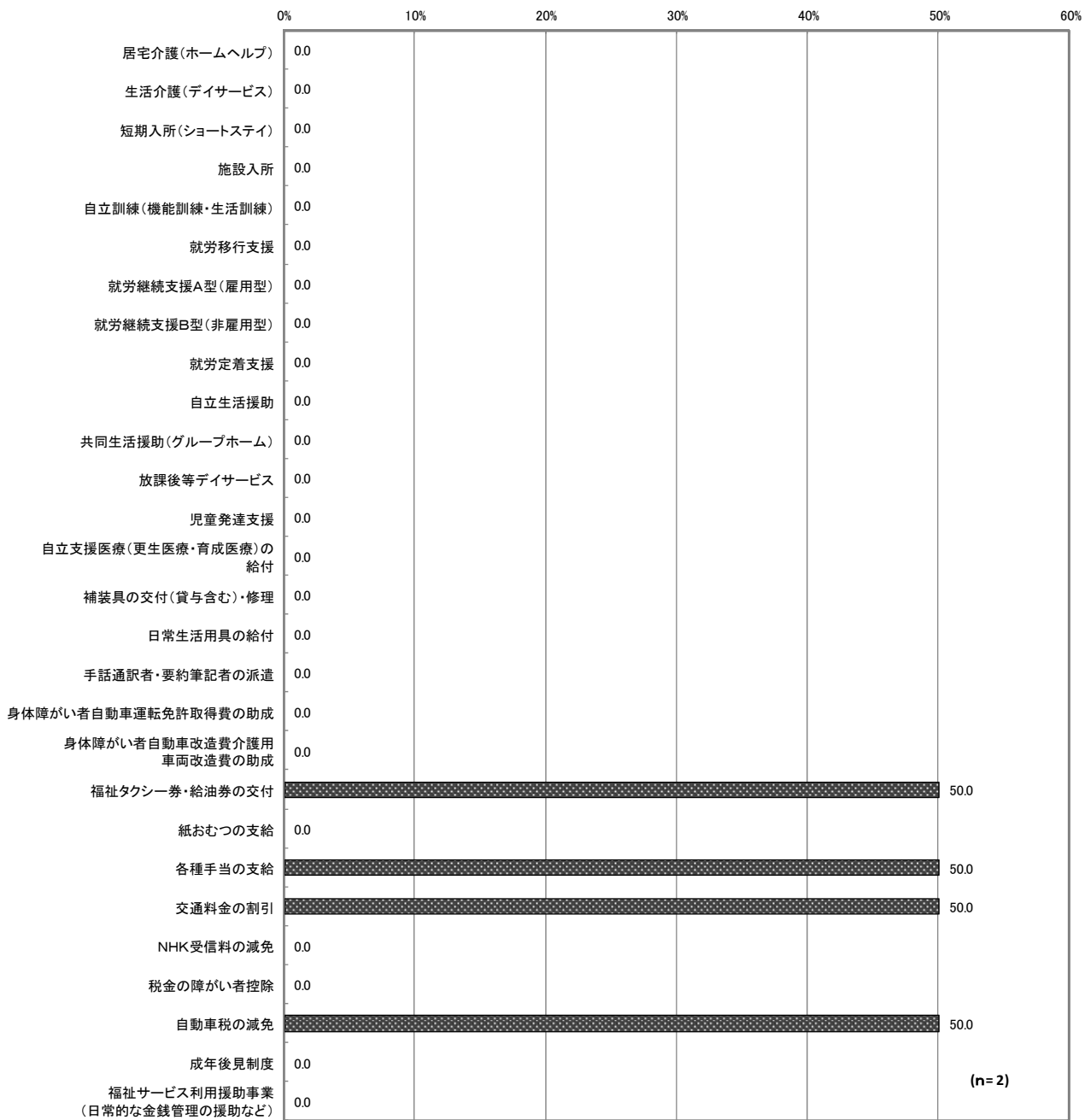
サービス名	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 居宅介護（ホームヘルプ）	23	7.4%	0	0.0%	6	12.0%	17	6.6%
2 生活介護（デイサービス）	54	17.4%	0	0.0%	5	10.0%	49	19.0%
3 短期入所（ショートステイ）	36	11.6%	0	0.0%	5	10.0%	31	12.0%
4 施設入所	21	6.8%	0	0.0%	3	6.0%	18	7.0%
5 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	11	3.5%	0	0.0%	2	4.0%	9	3.5%
6 就労移行支援	1	0.3%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%
7 就労継続支援A型（雇用型）	1	0.3%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%
8 就労継続支援B型（非雇用型）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 就労定着支援	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 自立生活援助	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11 共同生活援助（グループホーム）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12 放課後等デイサービス	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
13 児童発達支援	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
14 自立支援医療（更生医療・育成医療）の給付	4	1.3%	0	0.0%	1	2.0%	3	1.2%
15 補装具の交付（貸与含む）・修理	33	10.6%	0	0.0%	8	16.0%	25	9.7%
16 日常生活用具の給付	15	4.8%	0	0.0%	4	8.0%	11	4.3%
17 手話通訳者・要約筆記者の派遣	5	1.6%	0	0.0%	2	4.0%	3	1.2%
18 身体障がい者自動車運転免許取得費の助成	4	1.3%	0	0.0%	2	4.0%	2	0.8%
19 身体障がい者自動車改造費介護用車両改造費の助成	3	1.0%	0	0.0%	2	4.0%	1	0.4%
20 福祉タクシー券・給油券の交付	113	36.5%	1	50.0%	21	42.0%	91	35.3%
21 紙おむつの支給	5	1.6%	0	0.0%	1	2.0%	4	1.6%
22 各種手当の支給	10	3.2%	1	50.0%	2	4.0%	7	2.7%
23 交通料金の割引	65	21.0%	1	50.0%	13	26.0%	51	19.8%
24 NHK受信料の減免	37	11.9%	0	0.0%	6	12.0%	31	12.0%
25 税金の障がい者控除	51	16.5%	0	0.0%	11	22.0%	40	15.5%
26 自動車税の減免	78	25.2%	1	50.0%	17	34.0%	60	23.3%
27 成年後見制度	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
28 福祉サービス利用援助事業 （日常的な金銭管理の援助など）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	310		2		50		258	

山形市障がい福祉アンケート 「身体障がい」 調査結果

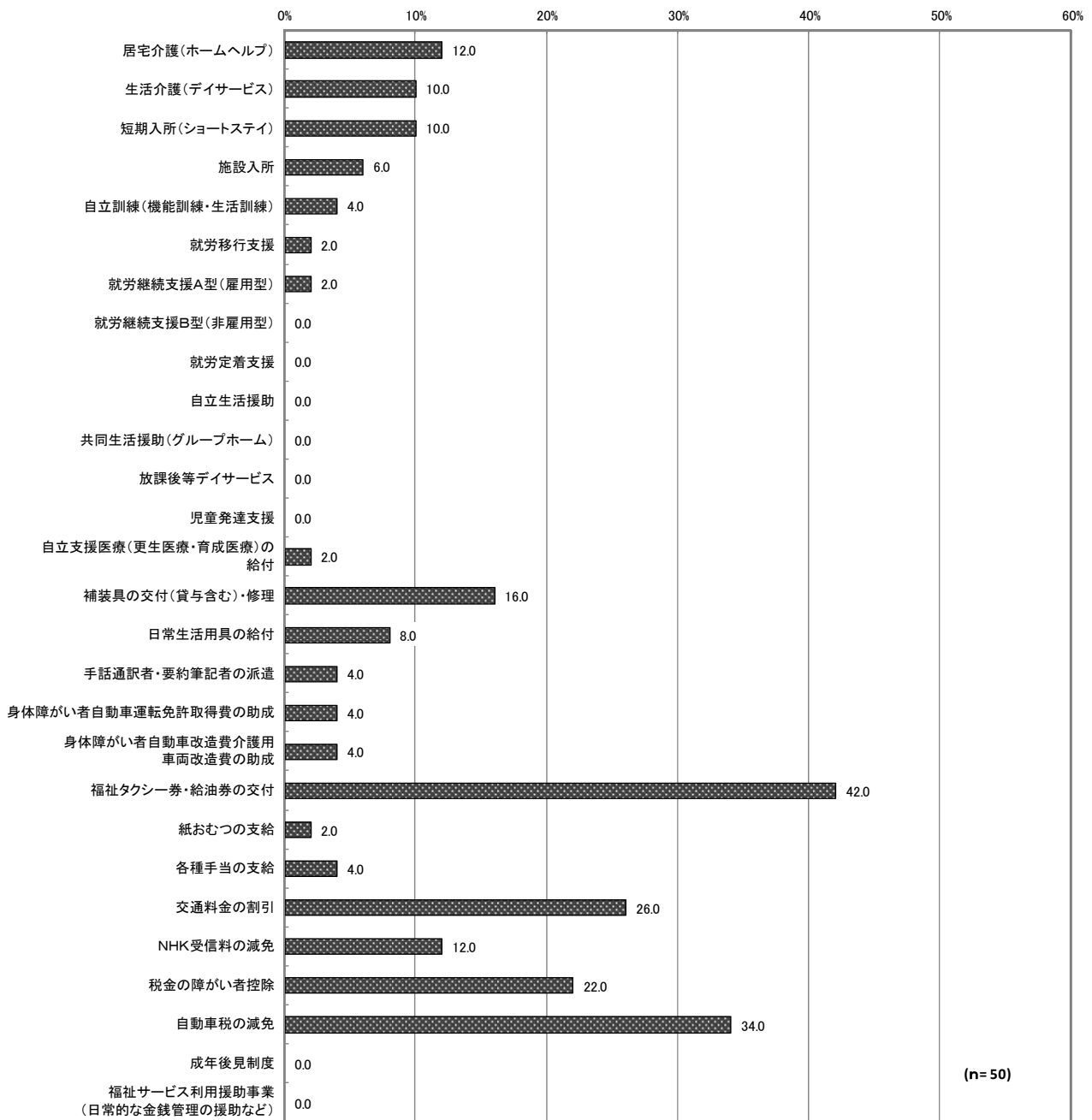


【年代別】

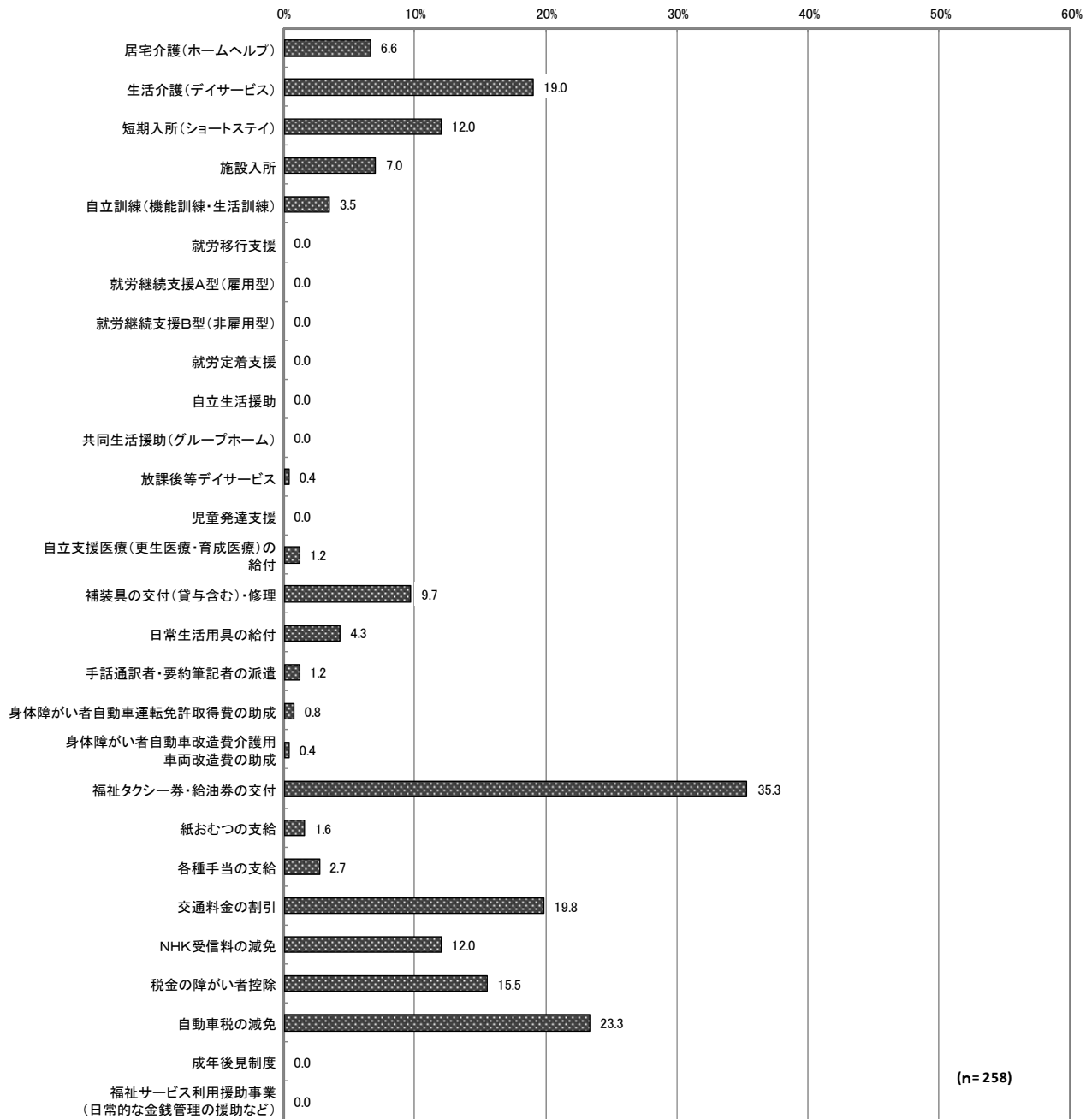
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

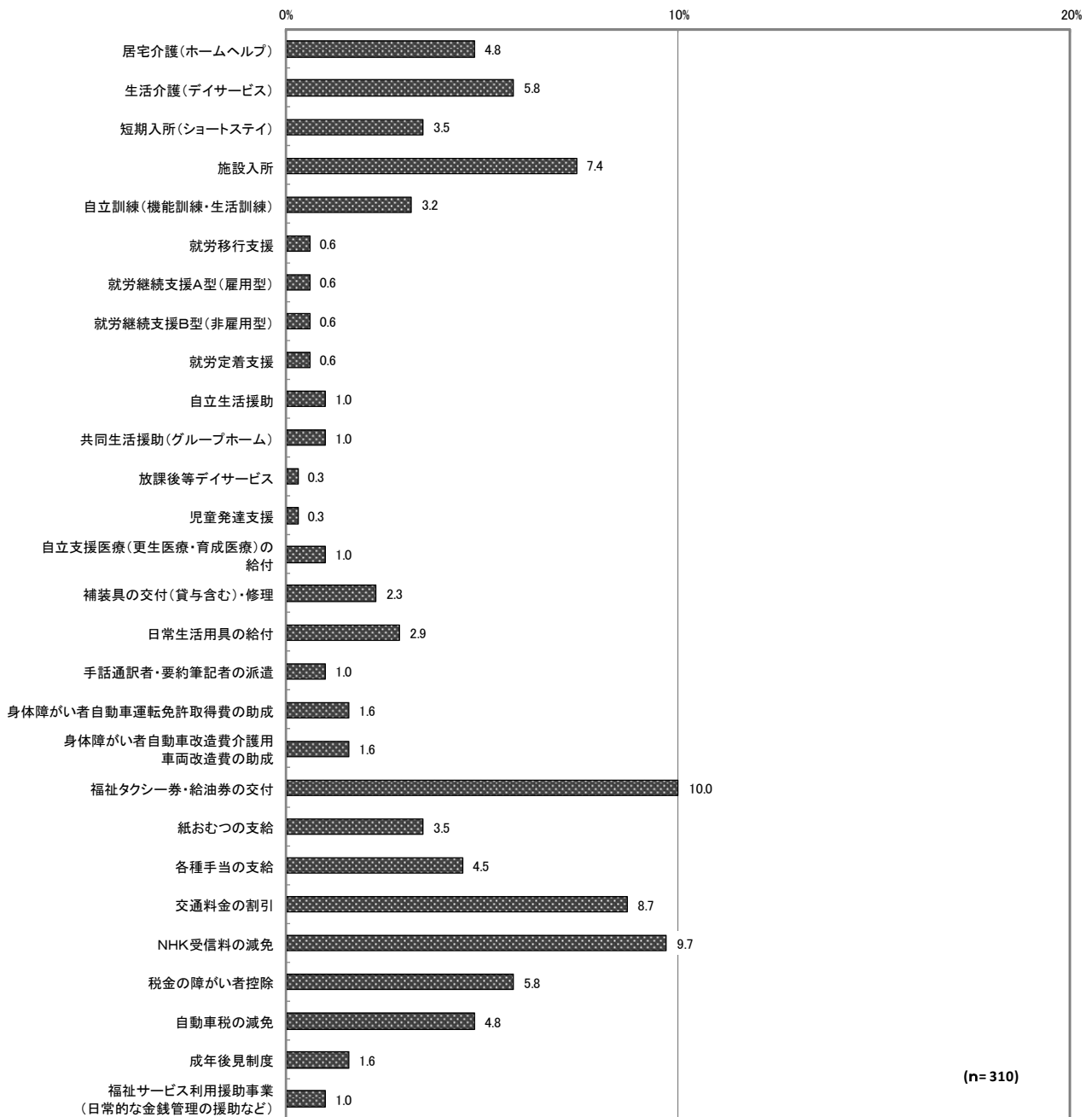




## 【今後利用したいサービス】

サービス名	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 居宅介護（ホームヘルプ）	15	4.8%	0	0.0%	3	6.0%	12	4.7%
2 生活介護（デイサービス）	18	5.8%	0	0.0%	2	4.0%	16	6.2%
3 短期入所（ショートステイ）	11	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	11	4.3%
4 施設入所	23	7.4%	0	0.0%	4	8.0%	19	7.4%
5 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	10	3.2%	0	0.0%	1	2.0%	9	3.5%
6 就労移行支援	2	0.6%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.4%
7 就労継続支援A型（雇用型）	2	0.6%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.4%
8 就労継続支援B型（非雇用型）	2	0.6%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.4%
9 就労定着支援	2	0.6%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.4%
10 自立生活援助	3	1.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	0.8%
11 共同生活援助（グループホーム）	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
12 放課後等デイサービス	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
13 児童発達支援	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
14 自立支援医療（更生医療・育成医療）の給付	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
15 補装具の交付（貸与含む）・修理	7	2.3%	0	0.0%	1	2.0%	6	2.3%
16 日常生活用具の給付	9	2.9%	0	0.0%	1	2.0%	8	3.1%
17 手話通訳者・要約筆記者の派遣	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
18 身体障がい者自動車運転免許取得費の助成	5	1.6%	0	0.0%	2	4.0%	3	1.2%
19 身体障がい者自動車改造費介護用車両改造費の助成	5	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.9%
20 福祉タクシー券・給油券の交付	31	10.0%	0	0.0%	4	8.0%	27	10.5%
21 紙おむつの支給	11	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	11	4.3%
22 各種手当の支給	14	4.5%	0	0.0%	3	6.0%	11	4.3%
23 交通料金の割引	27	8.7%	0	0.0%	5	10.0%	22	8.5%
24 NHK受信料の減免	30	9.7%	0	0.0%	4	8.0%	26	10.1%
25 税金の障がい者控除	18	5.8%	0	0.0%	3	6.0%	15	5.8%
26 自動車税の減免	15	4.8%	0	0.0%	4	8.0%	11	4.3%
27 成年後見制度	5	1.6%	0	0.0%	2	4.0%	3	1.2%
28 福祉サービス利用援助事業 （日常的な金銭管理の援助など）	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
合計	310		2		50		258	

山形市障がい福祉アンケート 「身体障がい」 調査結果

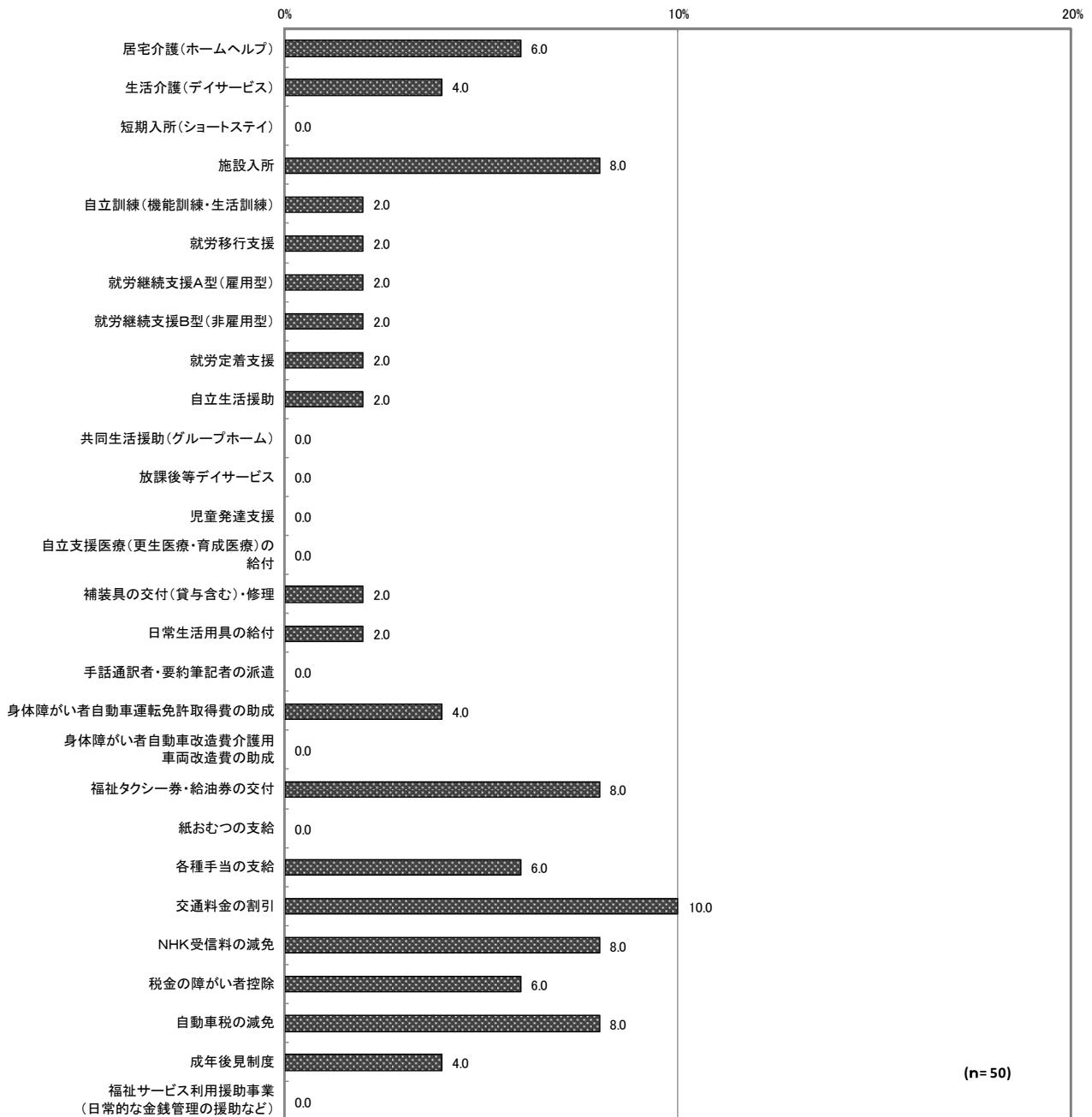


【年代別】

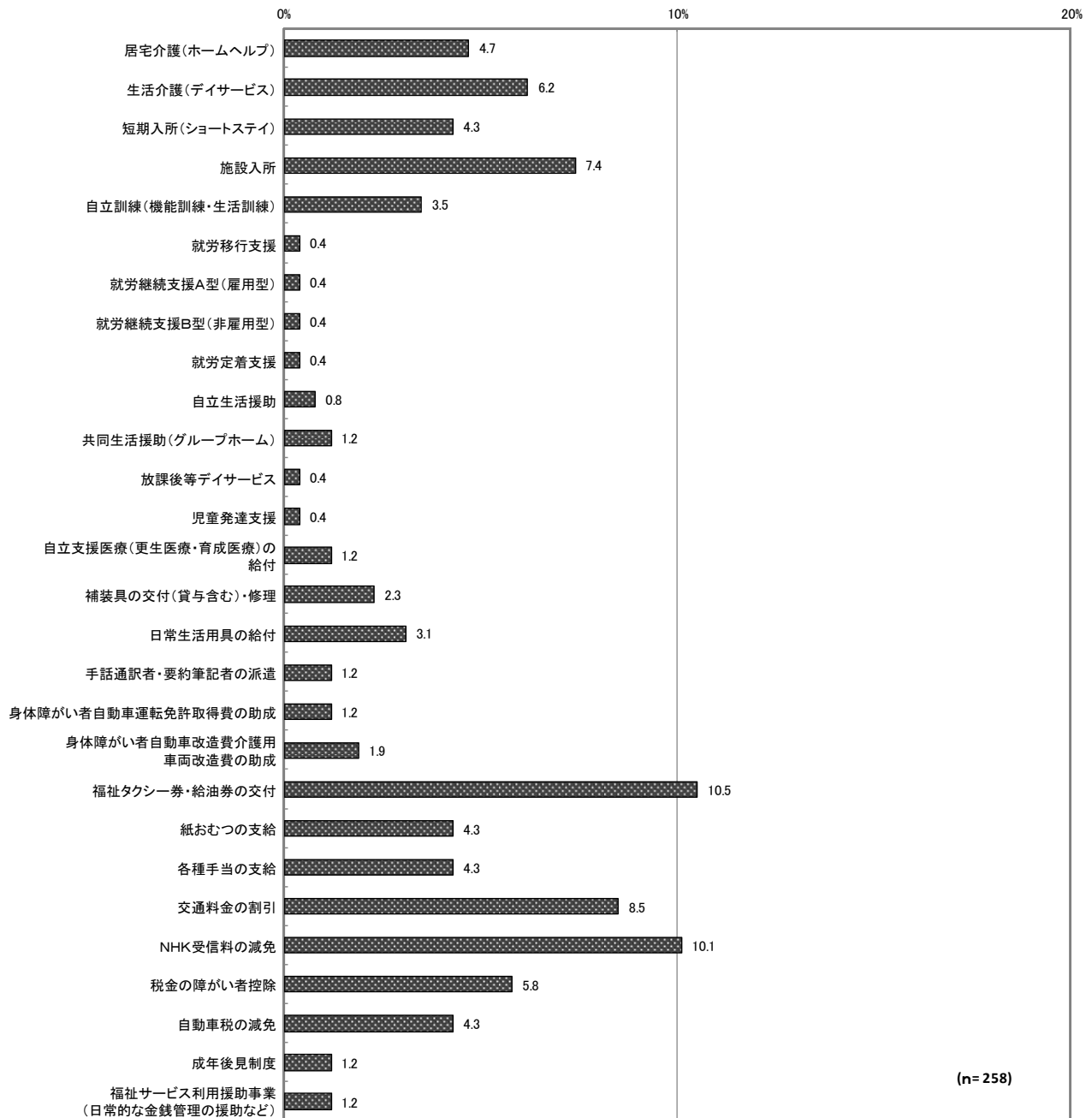
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》



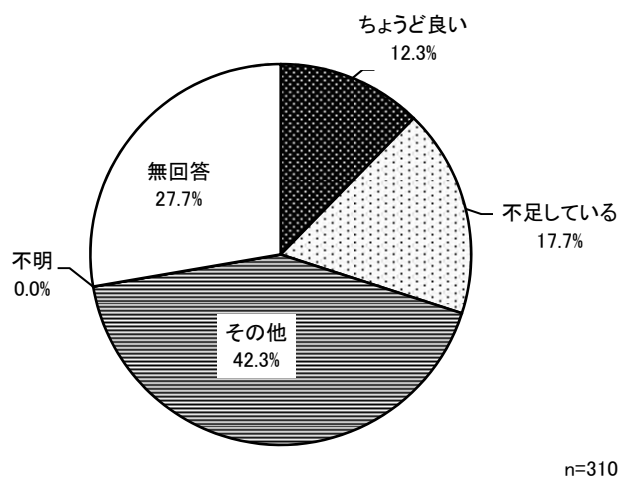
# 問 11 山形市内の身体障がい者入所施設の数及び定員数について、どう思いますか。

(単数回答 n=310)

## 【入所施設の数】

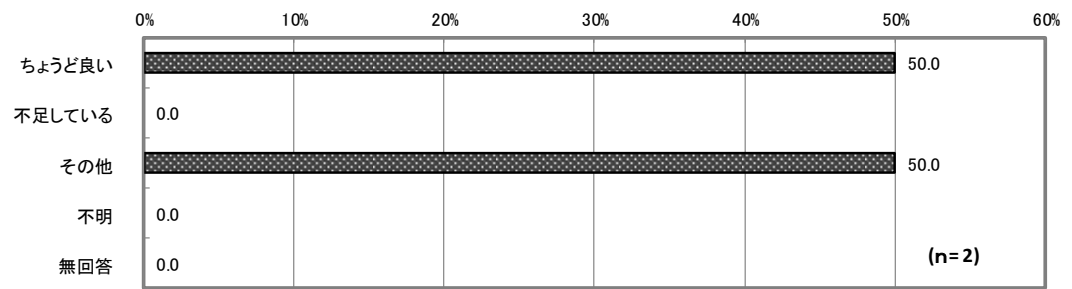
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	38	12.3%	1	50.0%	5	10.0%	32	12.4%
2 不足している	55	17.7%	0	0.0%	10	20.0%	45	17.4%
3 その他	131	42.3%	1	50.0%	23	46.0%	107	41.5%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	86	27.7%	0	0.0%	12	24.0%	74	28.7%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

- 2 不足している：具体的に 入所待ちが多い (5) 入所できない (2) 在宅の人が多いような気がする (1)  
 体の調子が悪い時入所できない (1) 透析可能な介護施設 (1) 今は良いがこれからも  
 っとかんたんに入れないのか (1) 3～5 の施設に申し込んでいる方が多いと思う (1)  
 すべての方が利用出来るように (1) どこにあるか、あまり聞かないので (1) 4～5 年  
 かかった (1) 入所金が高い (1) 有料老人ホームはあるが、特養は順番待ちで入れな  
 い (1) わかりません (1)
- 3 その他：主な内訳 わからない、知らない (105) 考えたことがない (2) 山形市内に身体障がい者入所  
 施設あるのを知らない (2) 自分が必要又は利用できる施設以外の施設については判断できない  
 (1) 予算的にこの程度が限界と思う (1) 職員が足りない。「箱」をつくる以前の問題 (1)

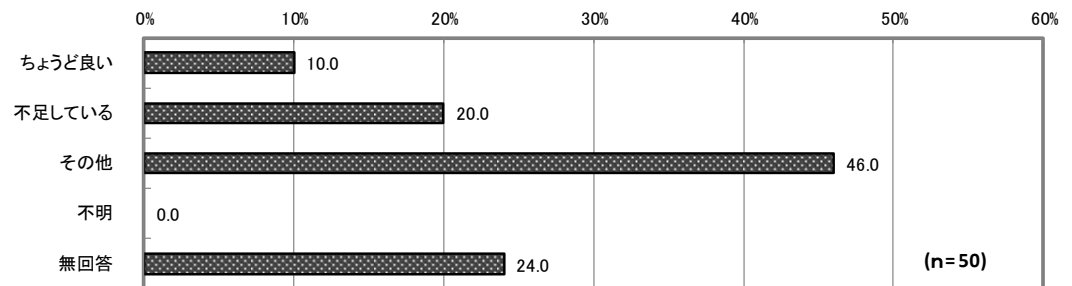


【年代別】

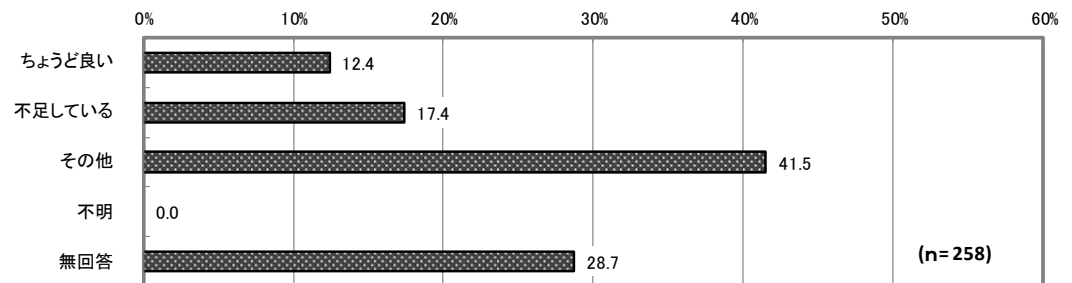
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

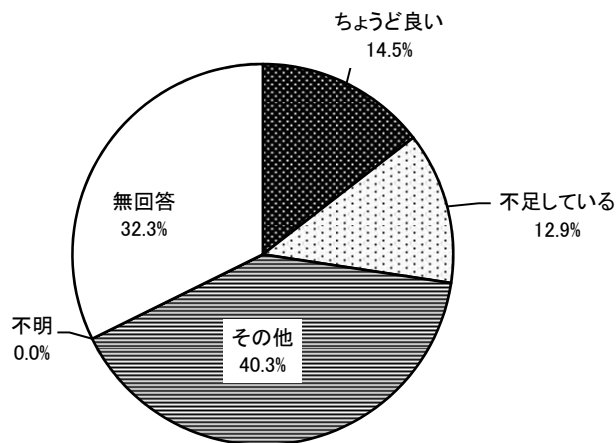


## 【入所施設の定員数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	45	14.5%	1	50.0%	6	12.0%	38	14.7%
2 不足している	40	12.9%	0	0.0%	8	16.0%	32	12.4%
3 その他	125	40.3%	1	50.0%	23	46.0%	101	39.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	100	32.3%	0	0.0%	13	26.0%	87	33.7%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

2 不足している：具体的に 入所待ちが多い (2) 夜間の見守りが少ないためかどうしても入所者の定員が少なくなる (1) 介護認定受けてないと入所出来ない (1) 話を聞くと施設で働く人の数が足りないと聞きます (1) 人数を増やしてもらいたい (1) 入所できない状況である (1) わかりません (1)

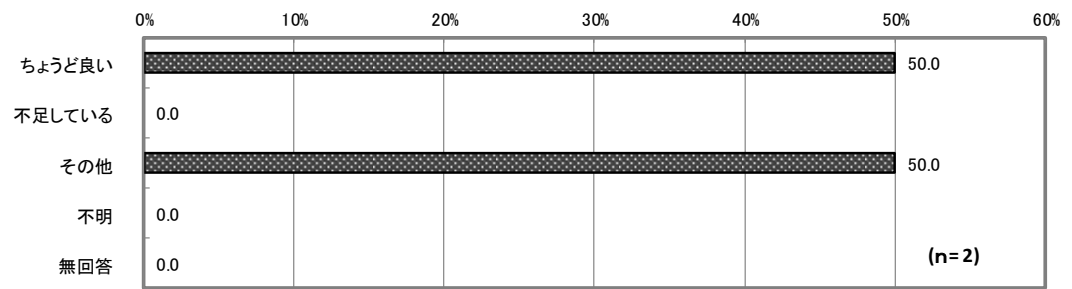
3 その他：主な内訳 わからない、知らない (97) あることも知らなかった (1) 自分が必要又は利用できる施設以外の施設については判断できない (1) 予算的にこの程度が限界と思う (1) 職員が足りないので定員も増やせない (1)



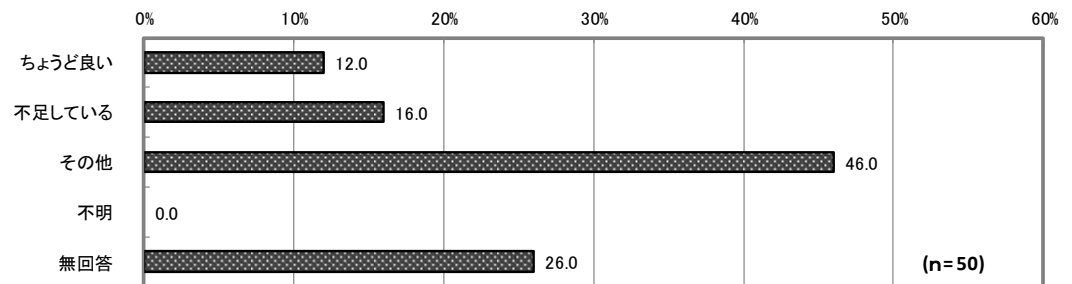
n=310

【年代別】

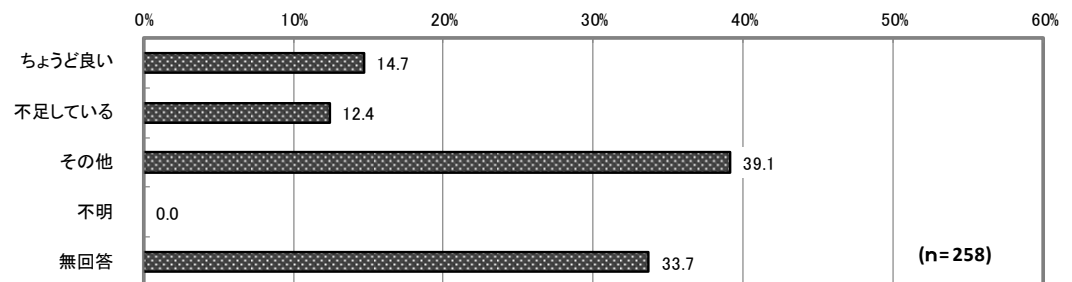
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》





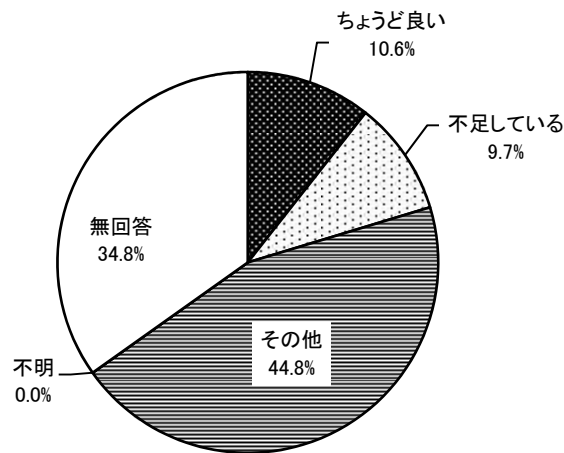
## 問 12 山形市内の身体障がい者グループホームの数及び定員数について、どう思いますか。

(単数回答 n=310)

## 【グループホームの数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	33	10.6%	1	50.0%	5	10.0%	27	10.5%
2 不足している	30	9.7%	0	0.0%	7	14.0%	23	8.9%
3 その他	139	44.8%	1	50.0%	25	50.0%	113	43.8%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	108	34.8%	0	0.0%	13	26.0%	95	36.8%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

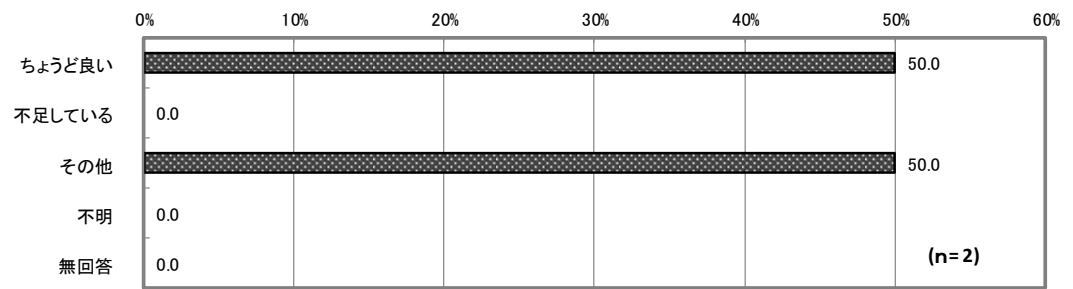
- 2 不足している：具体的に わかりません (2) 利用希望しても空きがない (1) 重症の人は何処へ行けばいいのかという問題 (1) 自立や生活の満足度から利用を希望する人が多いので (1)
- 3 その他：主な内訳 わからない、知らない (106) 具体的には判断できない。職員等の説明から判断する他はない (1) あることも知らなかった (1) 予算的にこの程度が限界と思う (1) 職員が足りないので定員も増やせない (1)



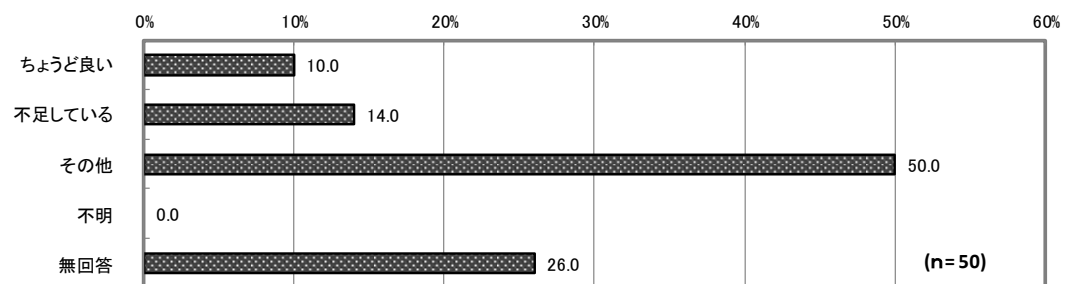
n=310

【年代別】

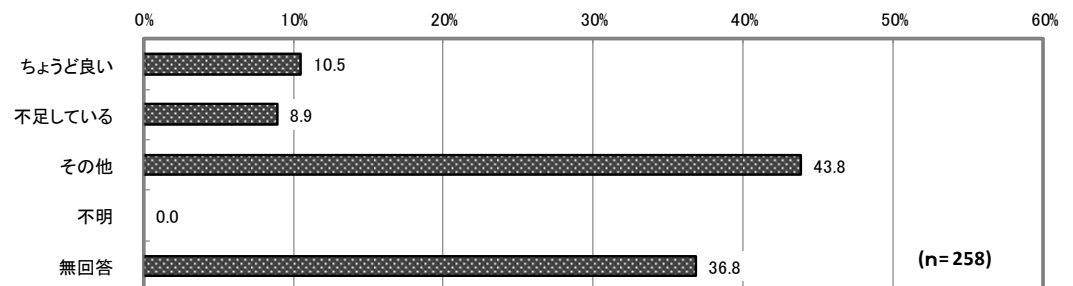
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

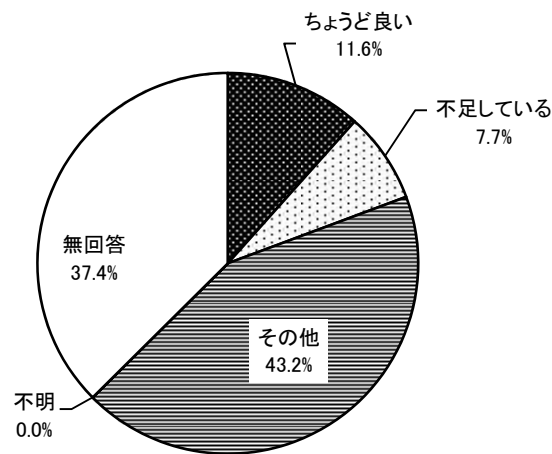


# 【グループホームの定員数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	36	11.6%	1	50.0%	6	12.0%	29	11.2%
2 不足している	24	7.7%	0	0.0%	6	12.0%	18	7.0%
3 その他	134	43.2%	1	50.0%	25	50.0%	108	41.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	116	37.4%	0	0.0%	13	26.0%	103	39.9%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

2 不足している：具体的に わかりません (2) 1人1人に手がまわらない (1)

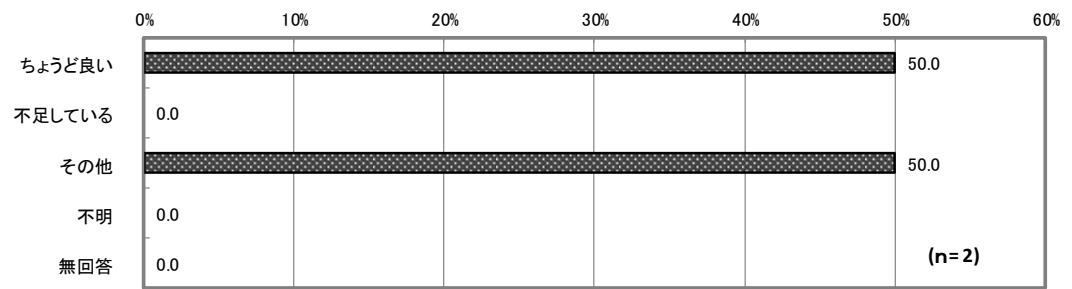
3 その他：主な内訳 わからない、知らない (107) あることも知らなかった (1) 予算的にこの程度が限界と思う (1) 職員が足りないので定員も増やせない (1)



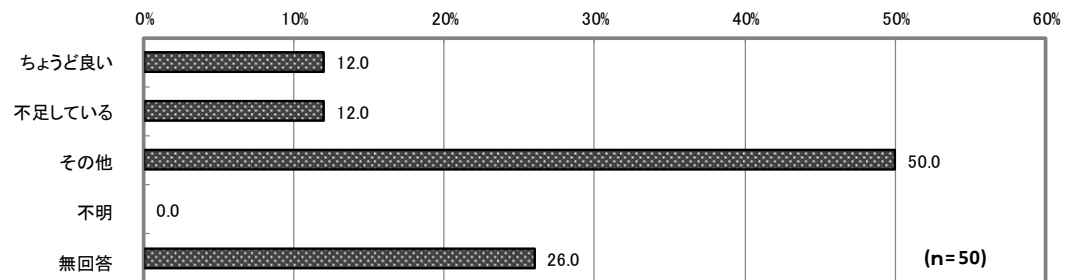
n=310

【年代別】

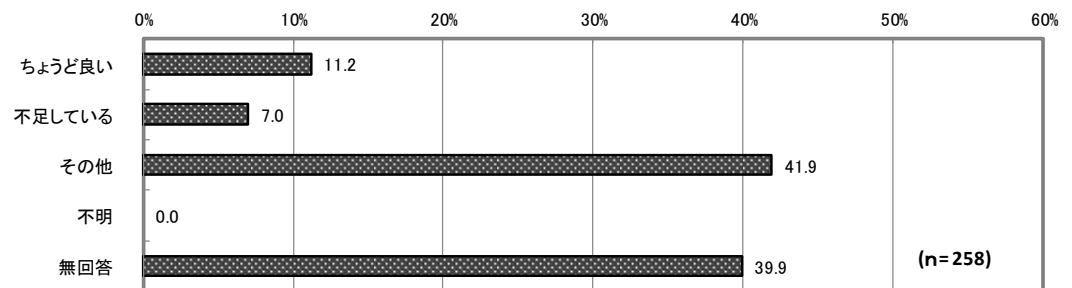
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



### 問 13 山形市内の身体障がい者通所事業所の数及び定員数について、どう思いますか。

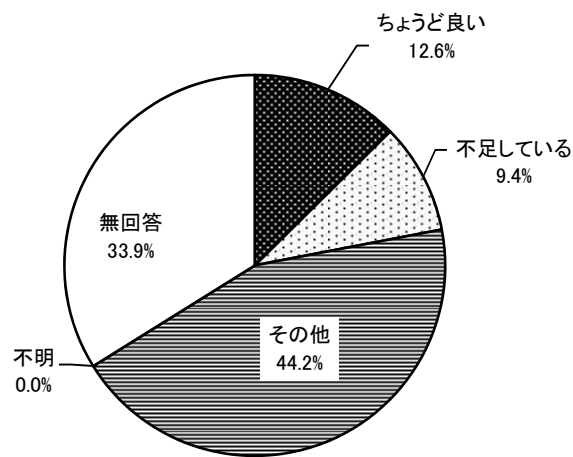
(単数回答 n=310)

#### 【障がい者通所施設の数】

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	39	12.6%	1	50.0%	9	18.0%	29	11.2%
2 不足している	29	9.4%	0	0.0%	7	14.0%	22	8.5%
3 その他	137	44.2%	1	50.0%	23	46.0%	113	43.8%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	105	33.9%	0	0.0%	11	22.0%	94	36.4%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

2 不足している：具体的に 色々な障がいの方がいるため (1) 特に入浴できる事業所が少なすぎる。希望する制度がうけられない (1) わからない (1)

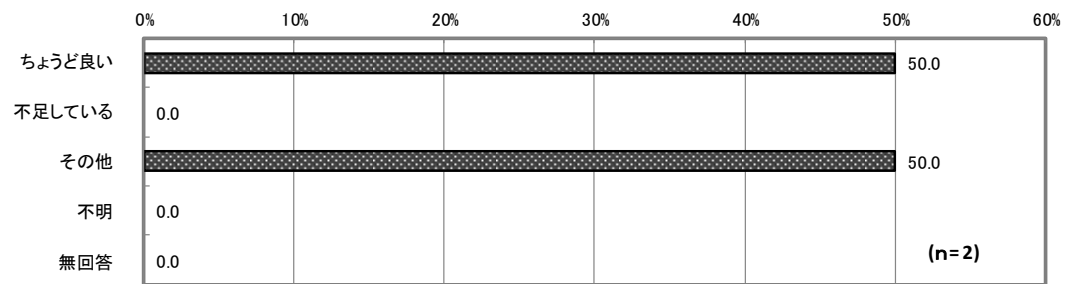
3 その他：主な内訳 わからない、知らない (101) 具体的には判断できない。職員等の説明から判断する他はない (1) 予算的にこの程度が限界と思う (1) 職員が足りないので定員も増やせない (1)



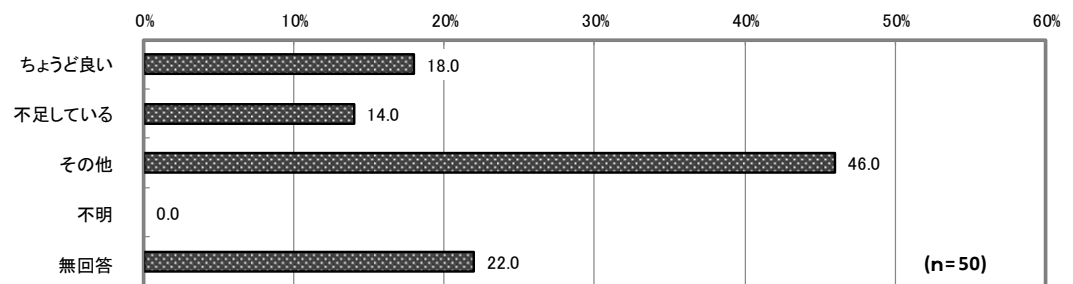
n=310

【年代別】

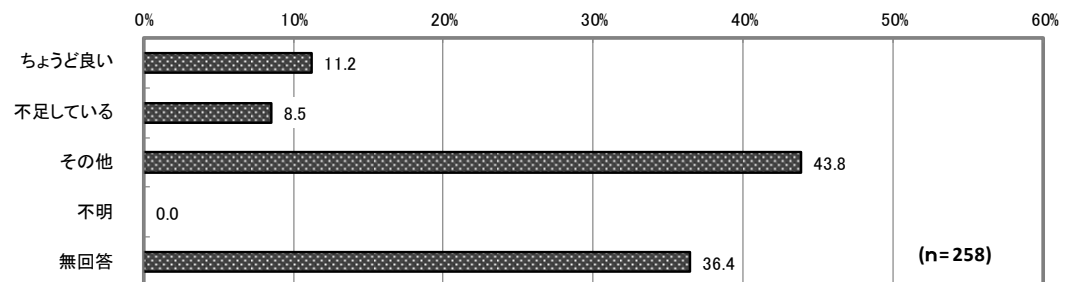
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

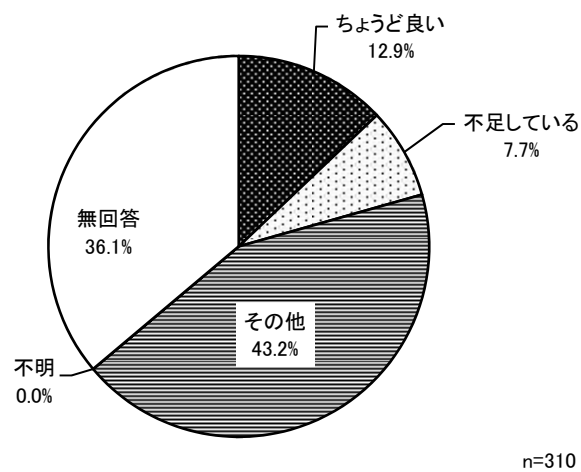


**【障がい者通所施設の定員数】**

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ちょうど良い	40	12.9%	1	50.0%	7	14.0%	32	12.4%
2 不足している	24	7.7%	0	0.0%	6	12.0%	18	7.0%
3 その他	134	43.2%	1	50.0%	24	48.0%	109	42.2%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	112	36.1%	0	0.0%	13	26.0%	99	38.4%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

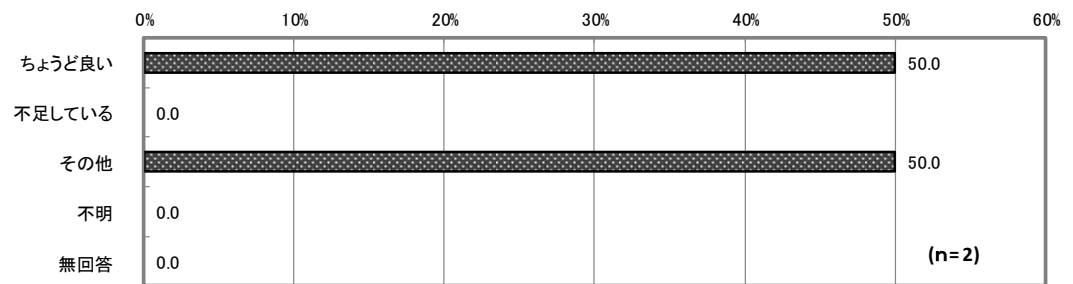
2 不足している：具体的に わかりません (2) 介護する職員さんを増やしてほしい (1) 利用者数、重症度的なものもあり安全を保てない、スタッフも少なすぎ (1)

3 その他：主な内訳 わからない、知らない (98) 予算的にこの程度が限界と思う (1) 職員が足りない  
ので定員も増やせない (1)

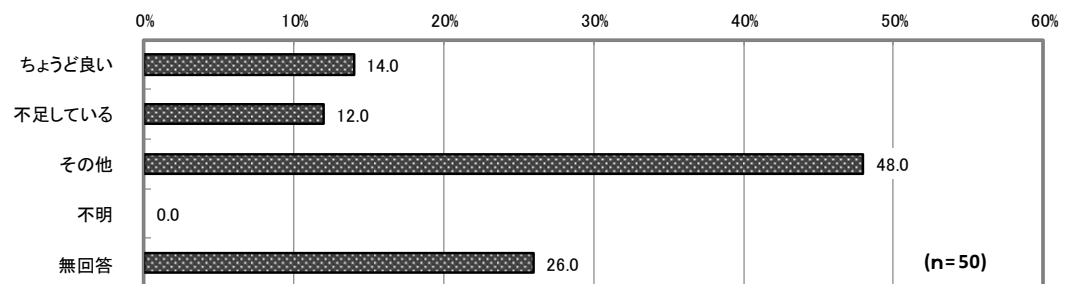


【年代別】

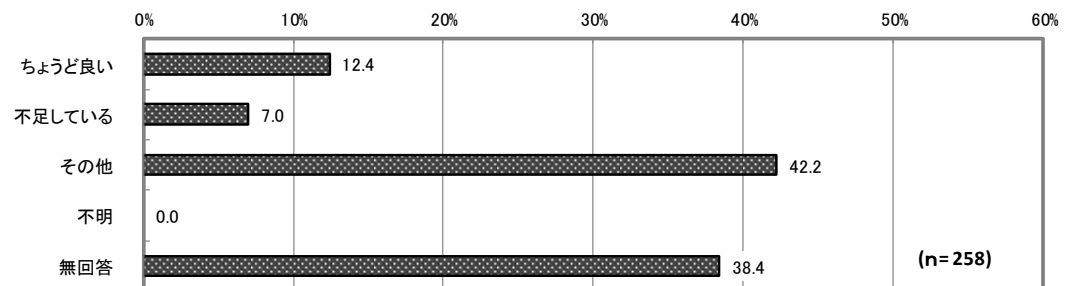
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》





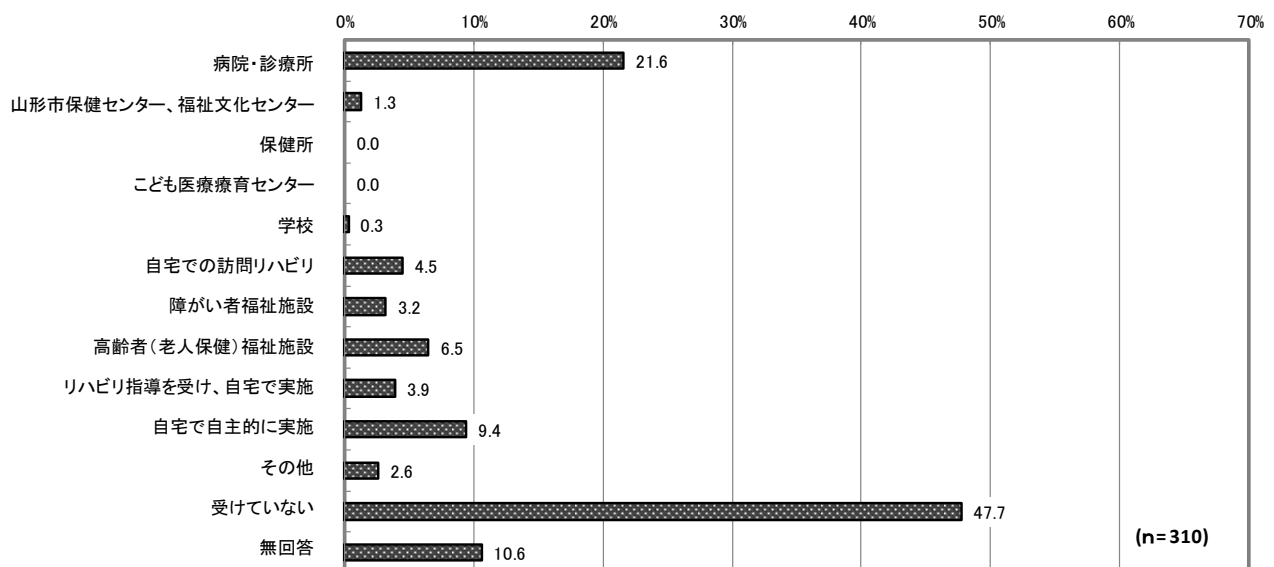
## 【医療・保健】

機能訓練・自立訓練・社会復帰のための訓練（リハビリテーション）を受けている場所について、「受けていない」が47.7%と半数弱を占めて最も高い割合を占めたが、具体的な回答の中では「病院・診療所」が21.6%と最も高く、次いで「自宅で自主的に実施」が9.4%、「高齢者（老人保健）福祉施設」が6.5%となった。訓練（リハビリテーション）を受けていない人にその理由を尋ねたところ、「日常生活は自立しており支障がない」が71.6%と7割強を占めた。

**問 14 あなたは、機能訓練・自立訓練・社会復帰のための訓練（リハビリテーション）をどこで受けていますか。（複数回答 n=310）**

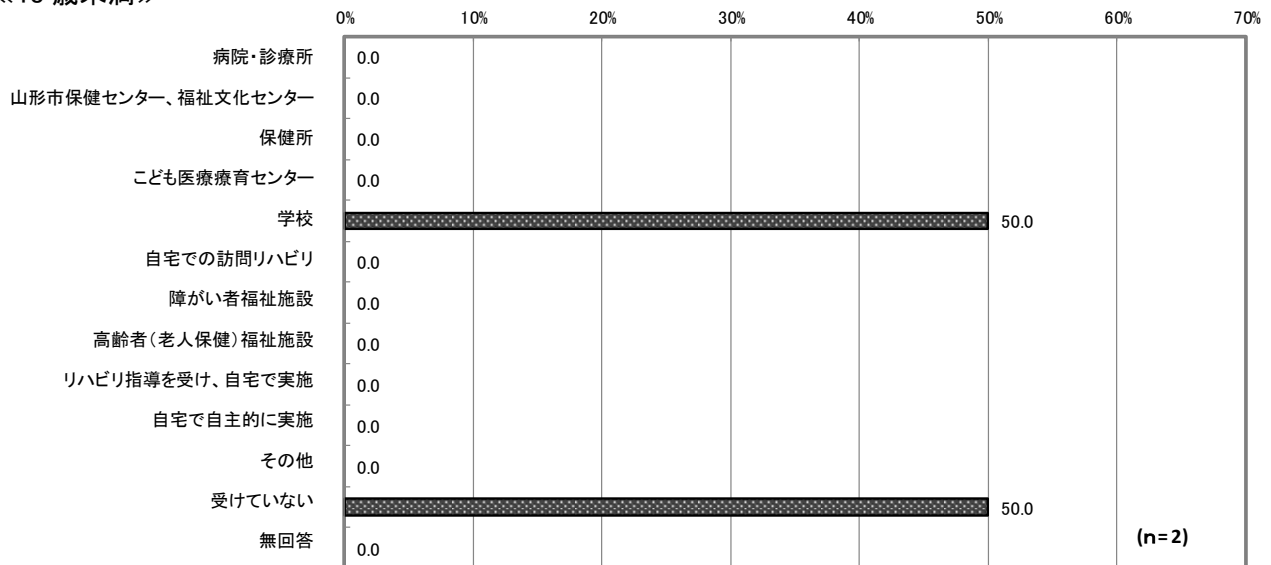
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 病院・診療所	67	21.6%	0	0.0%	11	22.0%	56	21.7%
2 山形市保健センター、福祉文化センター	4	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.6%
3 保健所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 こども医療療育センター	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 学校	1	0.3%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 自宅での訪問リハビリ	14	4.5%	0	0.0%	2	4.0%	12	4.7%
7 障がい者福祉施設	10	3.2%	0	0.0%	3	6.0%	7	2.7%
8 高齢者（老人保健）福祉施設	20	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	20	7.8%
9 リハビリ指導を受け、自宅で実施	12	3.9%	0	0.0%	1	2.0%	11	4.3%
10 自宅で自主的に実施	29	9.4%	0	0.0%	4	8.0%	25	9.7%
11 その他	8	2.6%	0	0.0%	2	4.0%	6	2.3%
12 受けていない	148	47.7%	1	50.0%	33	66.0%	114	44.2%
無回答	33	10.6%	0	0.0%	2	4.0%	31	12.0%
合計	310		2		50		258	

11 その他：主な内訳 デイサービス（3） 整体、健康スタジオ（1） 施設内（1） 接骨院（1）

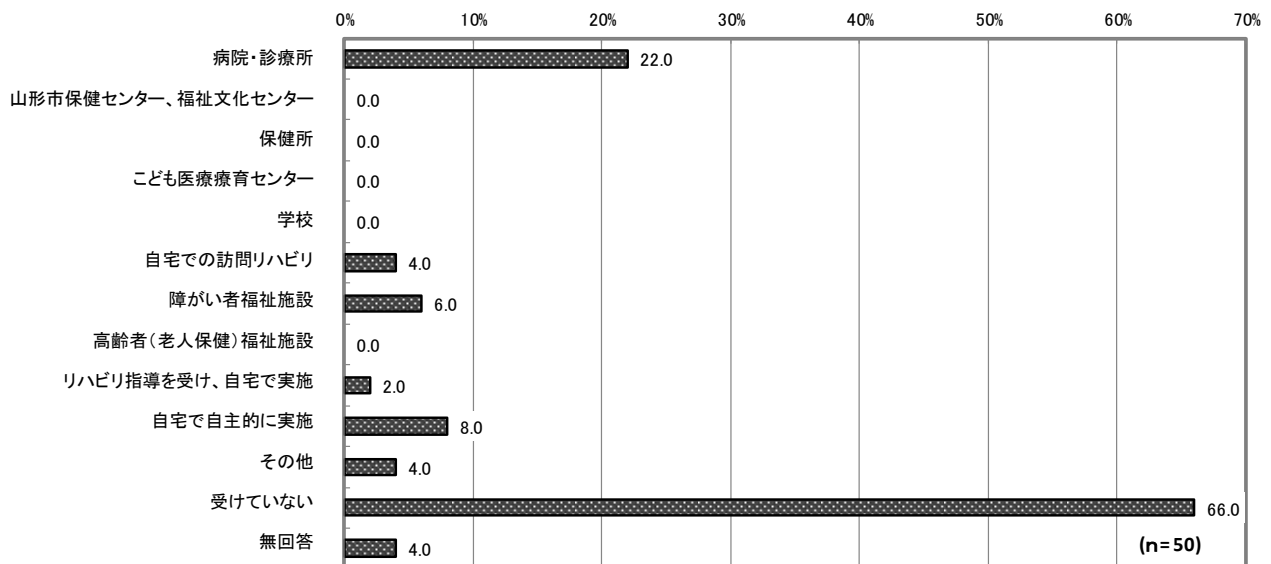


【年代別】

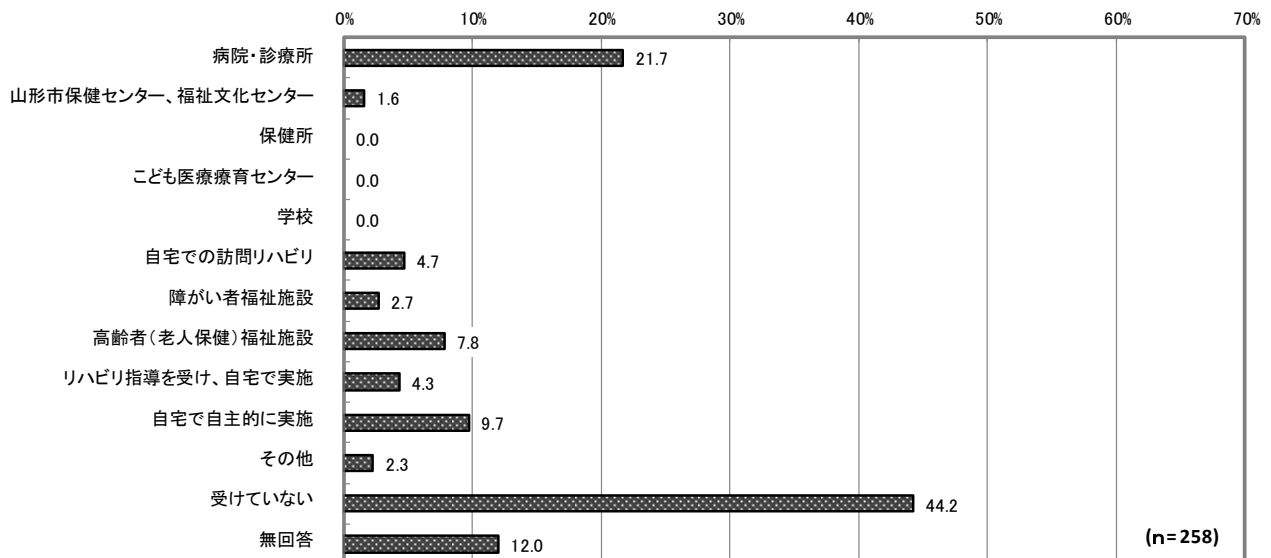
《18 歳未満》



《18～64 歳》



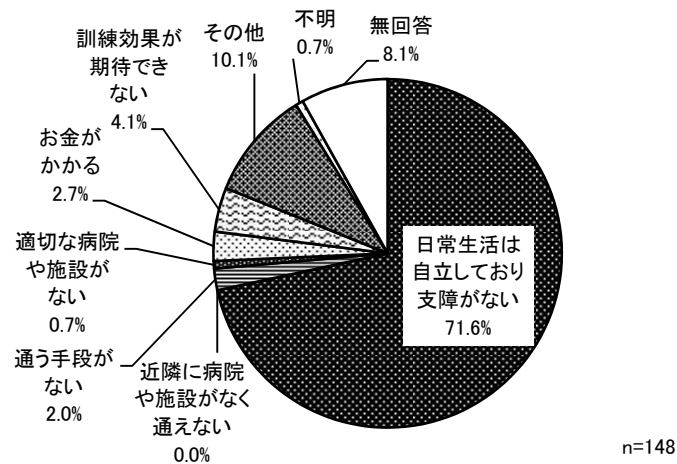
《65 歳以上》



問 15 問 14 で「12」を回答した方におたずねします。訓練（リハビリテーション）を受けていない  
主な理由は何ですか。（単数回答 n=148）

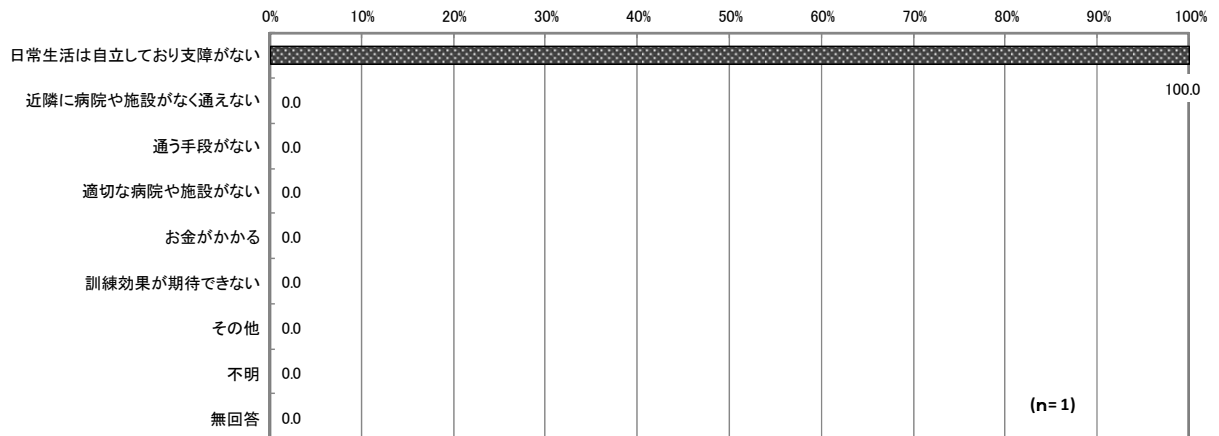
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 日常生活は自立しており支障がない	106	71.6%	1	100.0%	26	78.8%	79	69.3%
2 近隣に病院や施設がなく通えない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 通う手段がない	3	2.0%	0	0.0%	2	6.1%	1	0.9%
4 適切な病院や施設がない	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%
5 お金がかかる	4	2.7%	0	0.0%	1	3.0%	3	2.6%
6 訓練効果が期待できない	6	4.1%	0	0.0%	1	3.0%	5	4.4%
7 その他	15	10.1%	0	0.0%	2	6.1%	13	11.4%
不明	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.9%
無回答	12	8.1%	0	0.0%	1	3.0%	11	9.6%
合計	148	100.0%	1	100.0%	33	100.0%	114	100.0%

7 その他：主な内訳 必要ない（4）生活保護者には訓練を受けるのは厳しい（1）時間がない（1）痛みが伴うため（1）嫌い（1）重度のため（1）心臓不安定（1）介護サービスをうけるため（1）間質性肺炎で酸素吸入しているため（1）高齢のため（1）

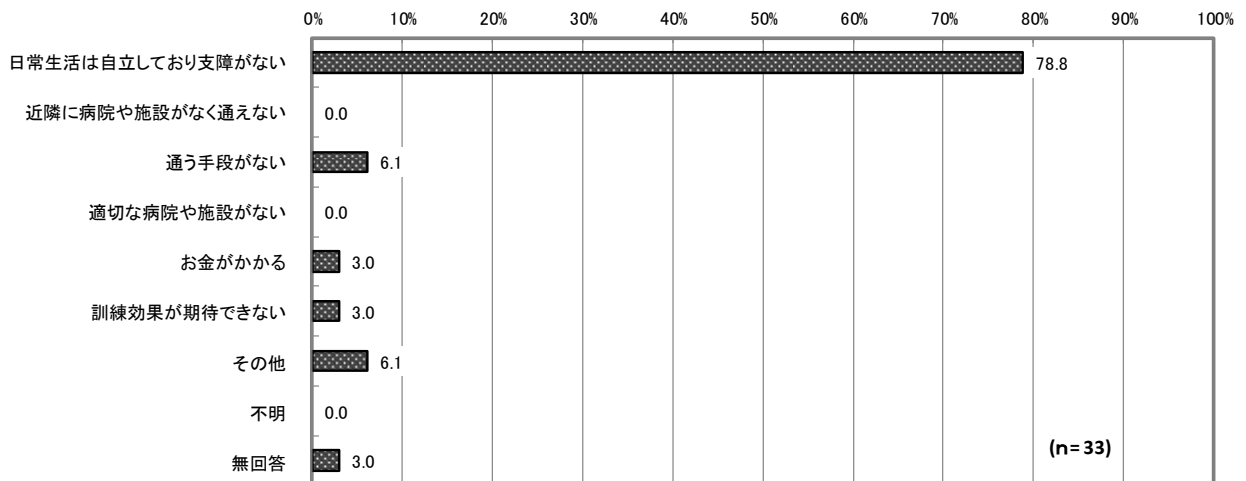


【年代別】

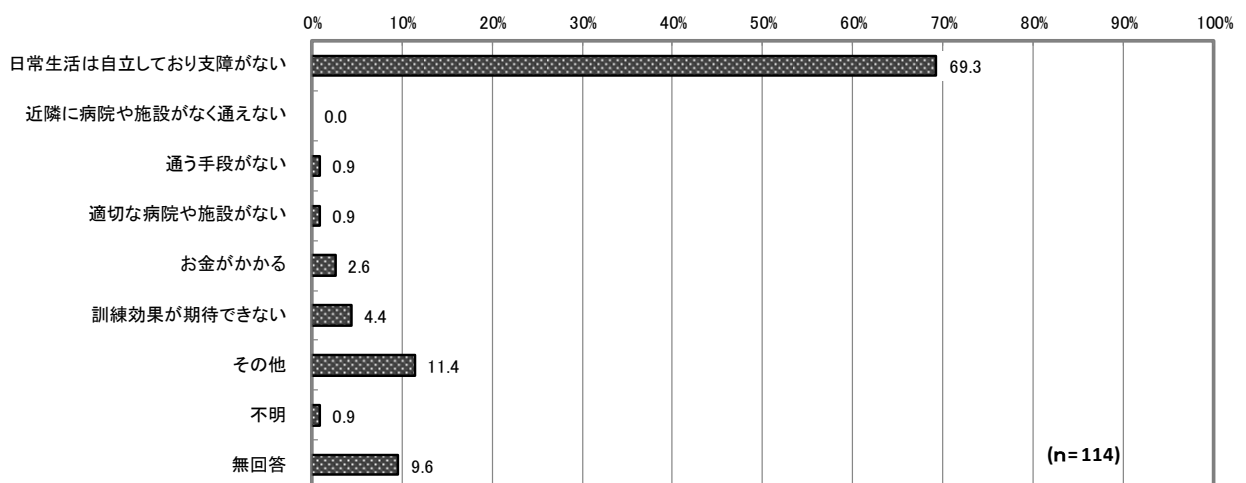
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



## 【就労について】

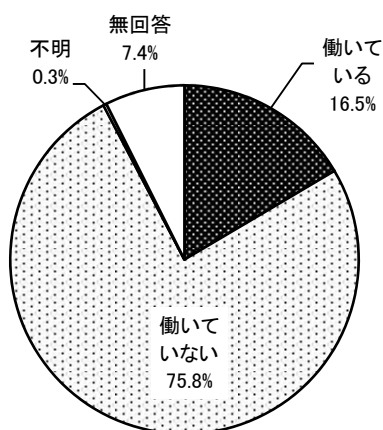
現在の就労状況については、「働いていない」が75.8%と7割半ばを占め、「働いている」の16.5%を大きく上回った。働いている人に就労形態を尋ねたところ、「正社員、正職員」が35.3%と最も高く、次いで「臨時・日雇い・パート・嘱託・アルバイト」および「自営（農業も含む）」が同率25.5%となった。また、通勤手段については、「自分の運転する車など」が62.7%と6割強を占め、次いで「家族などの送迎」が9.8%となった。現在の仕事をどのようにして見つけたかについては、「その他」が37.3%と最も高く、次いで「公共職業安定所（ハローワーク）」および「自分や家族で探した」が同率13.7%となっている。「その他」の内訳は「以前から働いている」、「前職場からの斡旋」が多かった。仕事をするうえでの不安や不満については、「特にない」が37.3%と最も高いが、具体的な回答の中では「収入が少ない」が25.5%と最も高く、次いで「障がいに対する配慮や意識が低い」が11.8%となった。

一方、働いていない人に仕事をしていない理由を尋ねたところ、「高齢のため」が66.4%と6割半ばを占め、次いで「病気のため（入院中を含む）」が17.9%、「重度の障がいのため」が15.7%となった。今後の活動や将来の進路については、「就労などの希望はない」が22.1%と最も高く、次いで「特にない・まだよくわからない」が21.3%、「施設などへ入所」8.9%となっている。

働き続ける（または将来働く）ために特に必要だと思うことは、「特にない・まだよくわからない」が29.7%と最も高いが、具体的な回答の中では「障がいや病気に対する理解や配慮」が16.8%、「自分に合った仕事である」が13.2%と比較的高かった。

### 問 16 あなたは現在、働いていますか。（単数回答 n=310）

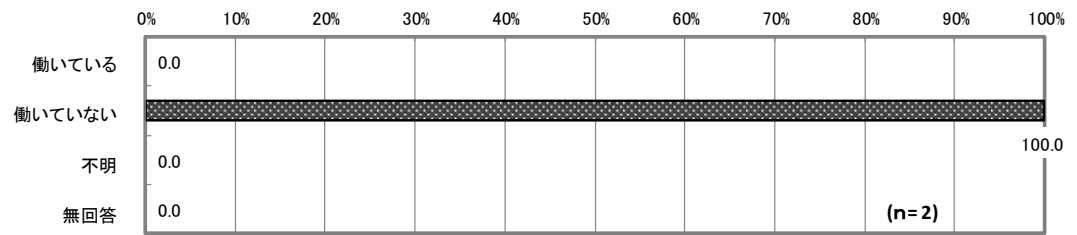
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 働いている	51	16.5%	0	0.0%	24	48.0%	27	10.5%
2 働いていない	235	75.8%	2	100.0%	21	42.0%	212	82.2%
不明	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
無回答	23	7.4%	0	0.0%	5	10.0%	18	7.0%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



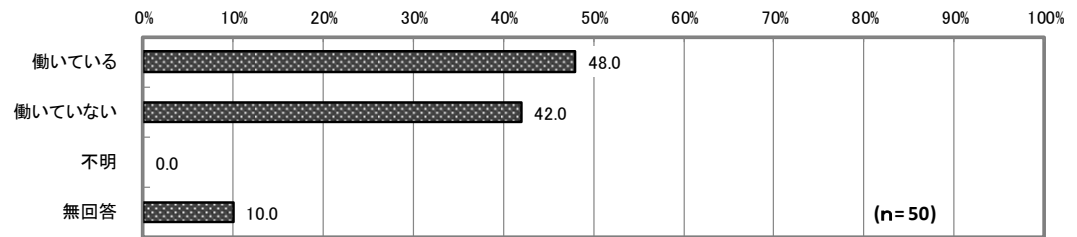
n=310

【年代別】

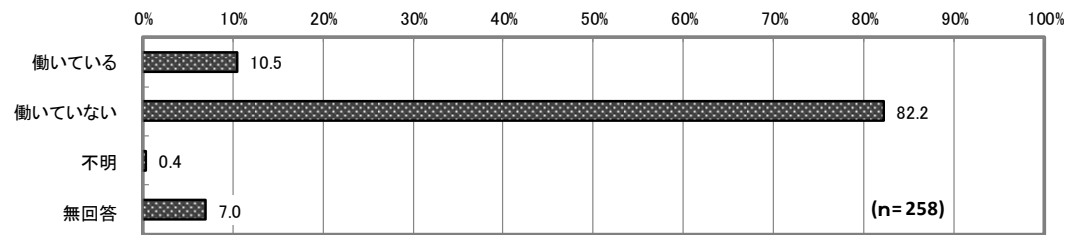
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

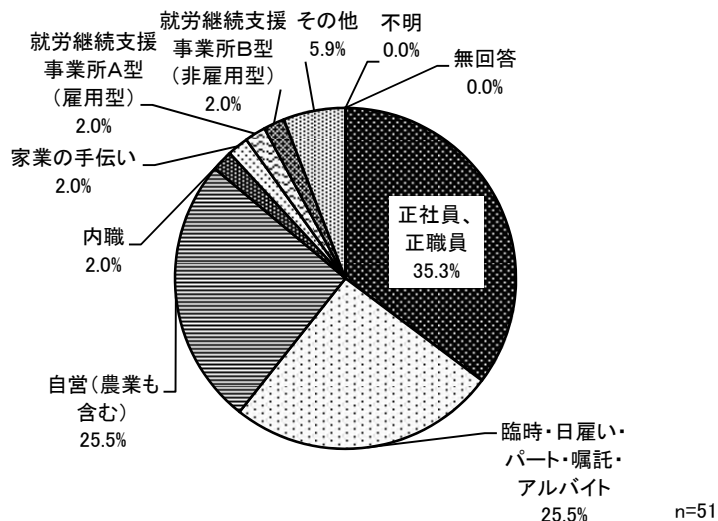


問 17 問 16 で「1」を回答した方におたずねします。どのような形態で働いていますか。

(単数回答 n=51)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 正社員、正職員	18	35.3%	0	0.0%	11	45.8%	7	25.9%
2 臨時・日雇い・パート・嘱託・アルバイト	13	25.5%	0	0.0%	10	41.7%	3	11.1%
3 自営（農業も含む）	13	25.5%	0	0.0%	1	4.2%	12	44.4%
4 内職	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%
5 家業の手伝い	1	2.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
6 就労継続支援事業所A型（雇用型）	1	2.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
7 就労継続支援事業所B型（非雇用型）	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%
8 その他	3	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	51	100.0%	0	0.0%	24	100.0%	27	100.0%

8 その他：主な内訳 シルバー人材センター（2）大学の非常勤講師（1）

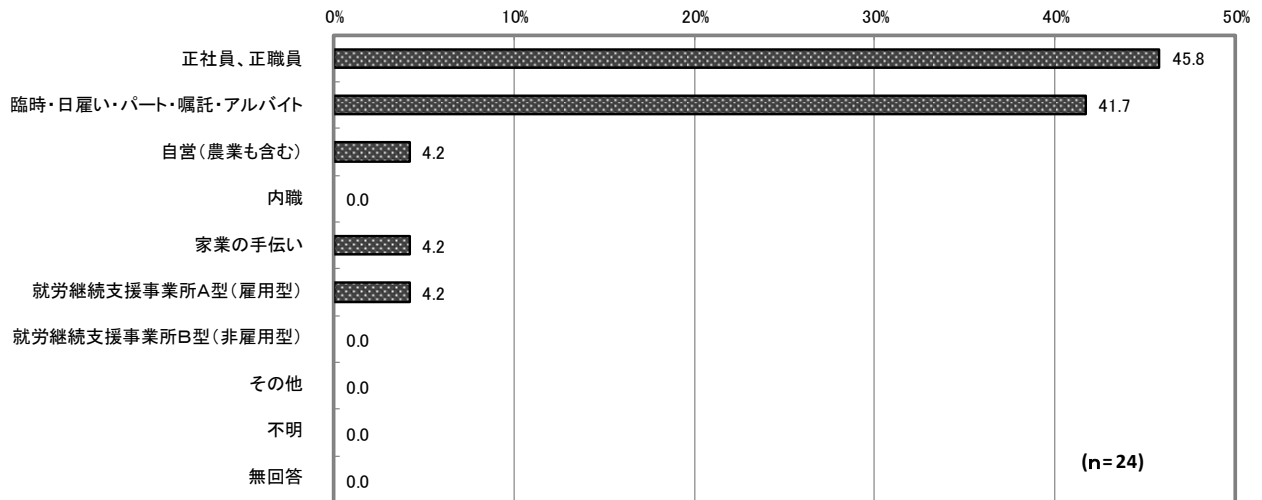


【年代別】

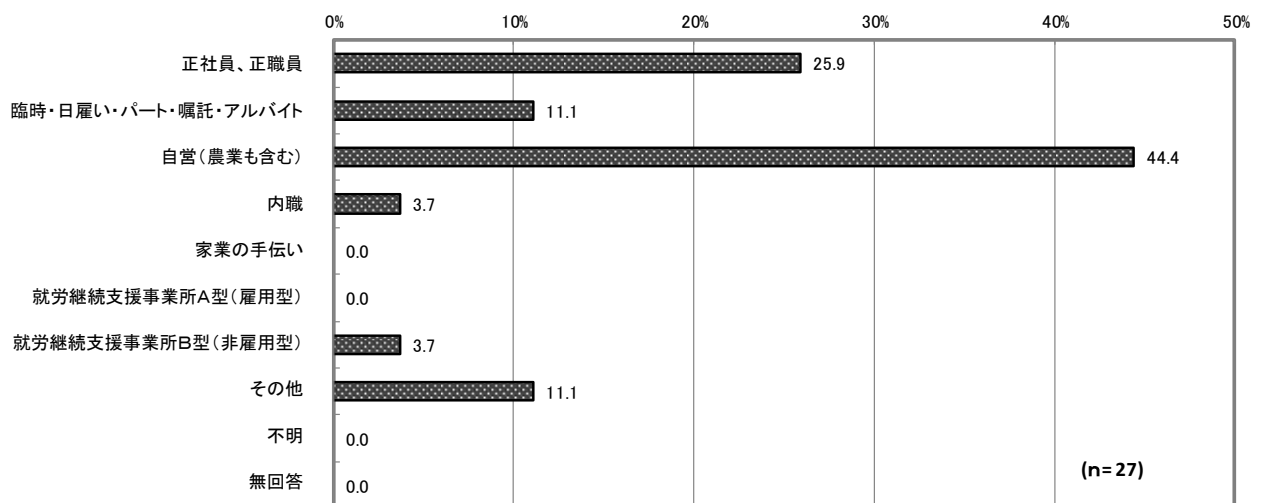
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》

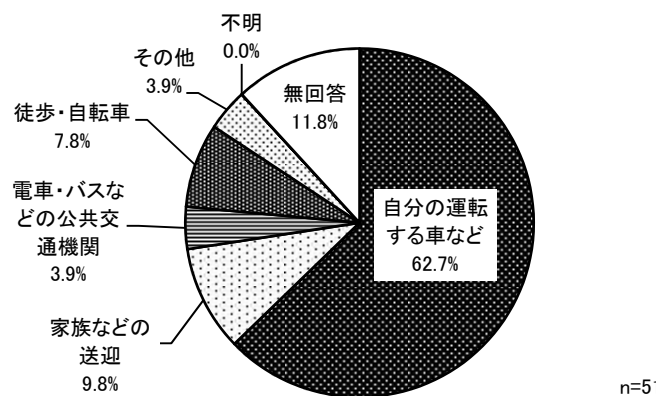




問 18 問 16 で「1」を回答した方におたずねします。通勤手段は主に何ですか。（単数回答 n=51）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 自分の運転する車など	32	62.7%	0	0.0%	16	66.7%	16	59.3%
2 家族などの送迎	5	9.8%	0	0.0%	3	12.5%	2	7.4%
3 電車・バスなどの公共交通機関	2	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.4%
4 徒歩・自転車	4	7.8%	0	0.0%	4	16.7%	0	0.0%
5 その他	2	3.9%	0	0.0%	1	4.2%	1	3.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	6	11.8%	0	0.0%	0	0.0%	6	22.2%
合計	51	100.0%	0	0.0%	24	100.0%	27	100.0%

5 その他：主な内訳 自宅勤務（2）

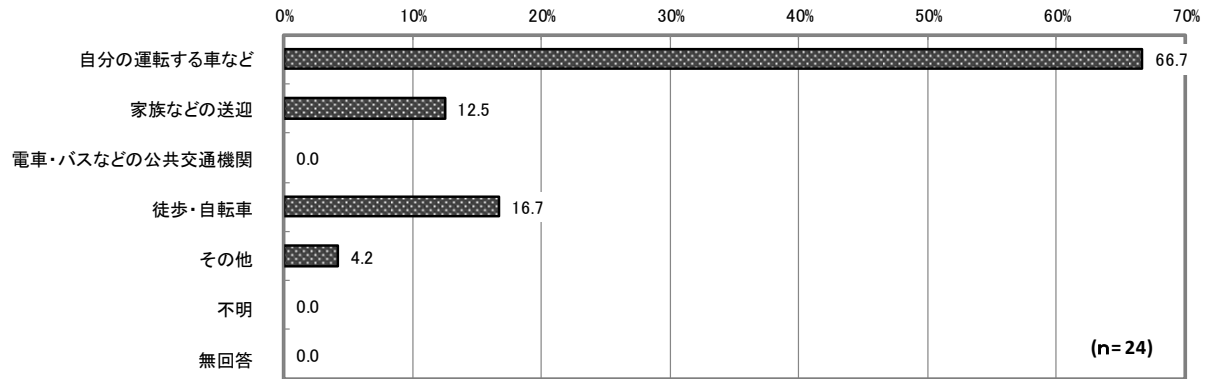


【年代別】

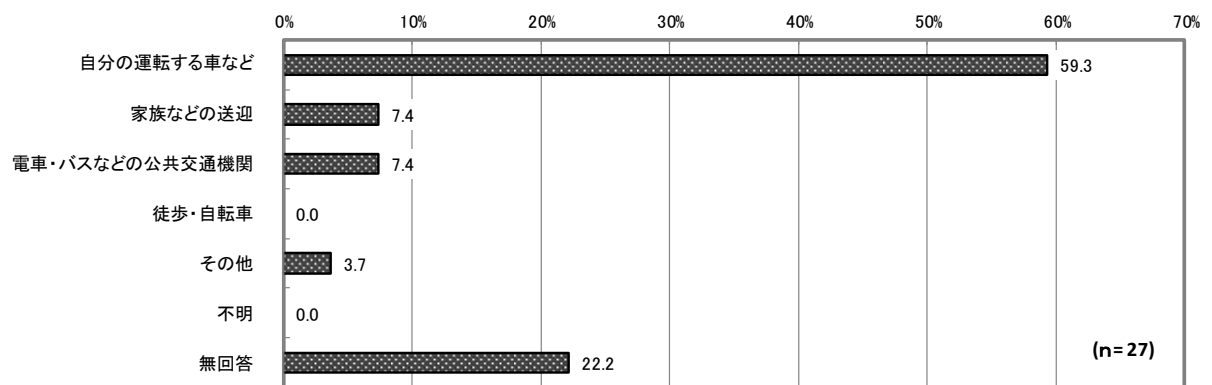
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》

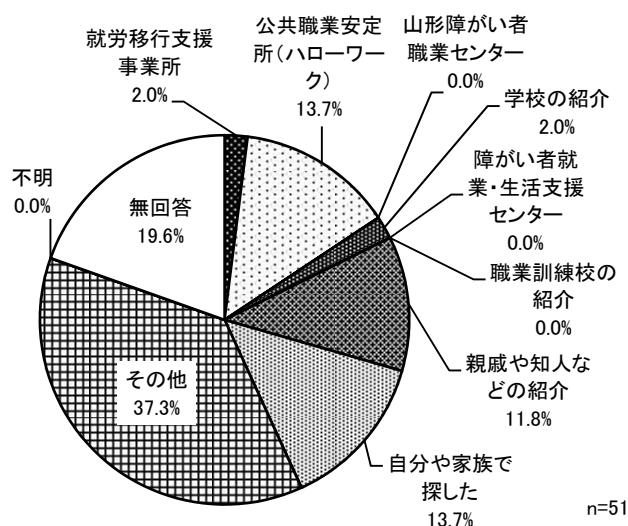


問 19 問 16 で「1」を回答した方におたずねします。現在の仕事はどのようにして見つけましたか。

(単数回答 n=51)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 就労移行支援事業所	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%
2 公共職業安定所（ハローワーク）	7	13.7%	0	0.0%	7	29.2%	0	0.0%
3 山形障がい者職業センター	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 学校の紹介	1	2.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
5 障がい者就業・生活支援センター	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 職業訓練校の紹介	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 親戚や知人などの紹介	6	11.8%	0	0.0%	4	16.7%	2	7.4%
8 自分や家族で探した	7	13.7%	0	0.0%	4	16.7%	3	11.1%
9 その他	19	37.3%	0	0.0%	7	29.2%	12	44.4%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	10	19.6%	0	0.0%	1	4.2%	9	33.3%
合計	51	100.0%	0	0.0%	24	100.0%	27	100.0%

9 その他：主な内訳 以前から働いている（5）前職場からの斡旋（2）自営（1）家業（1）農家（1）勤務先から望まれた（1）シルバー人材センター（1）大学からの依頼（1）勤続45年役職定年後「顧問」で不定期出勤（1）

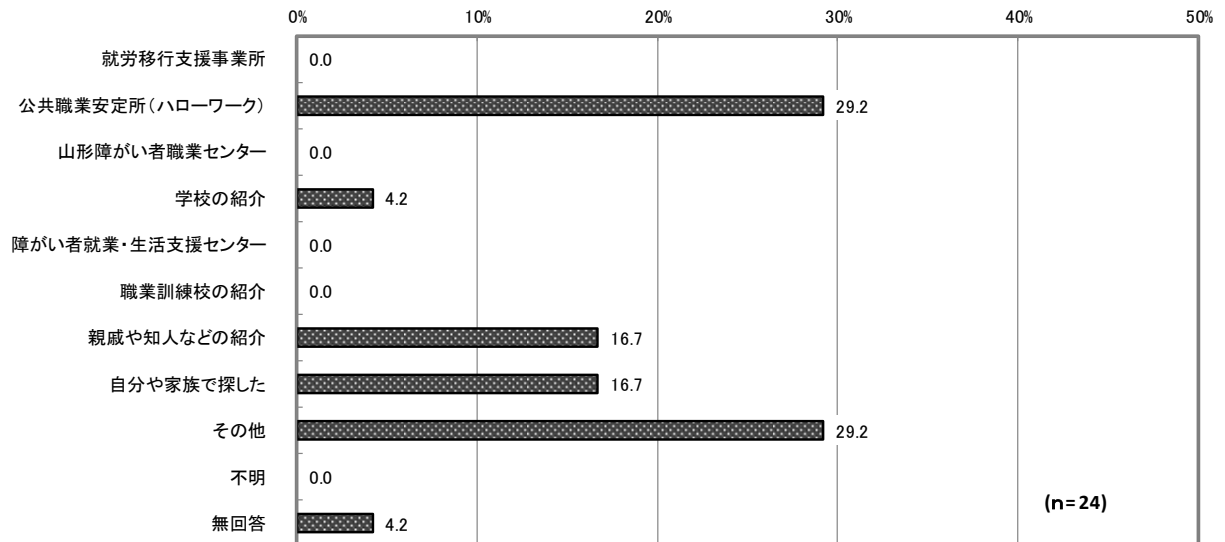


【年代別】

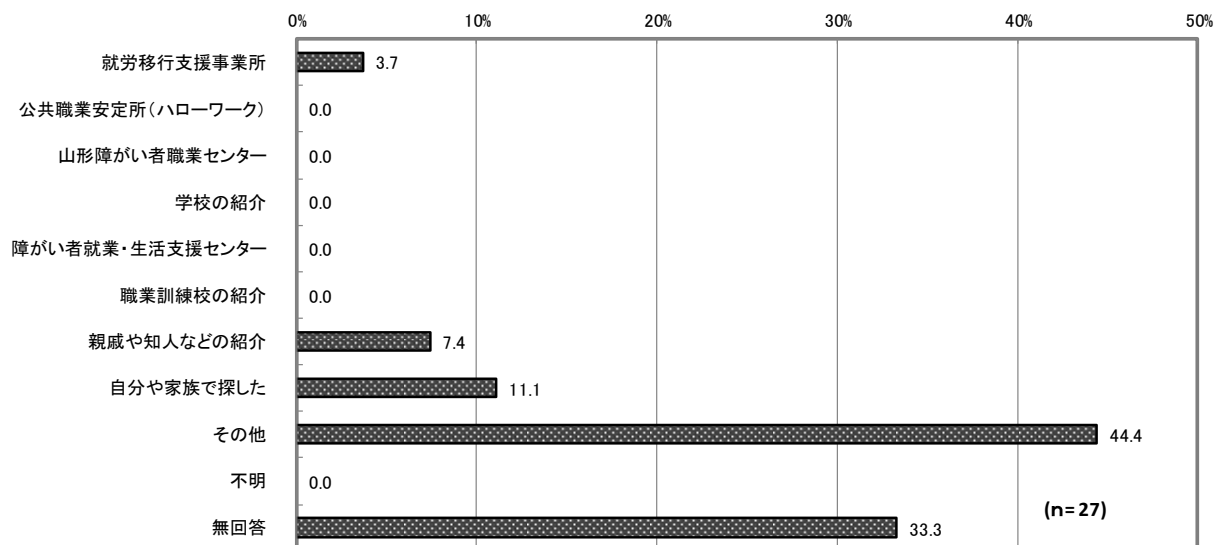
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》

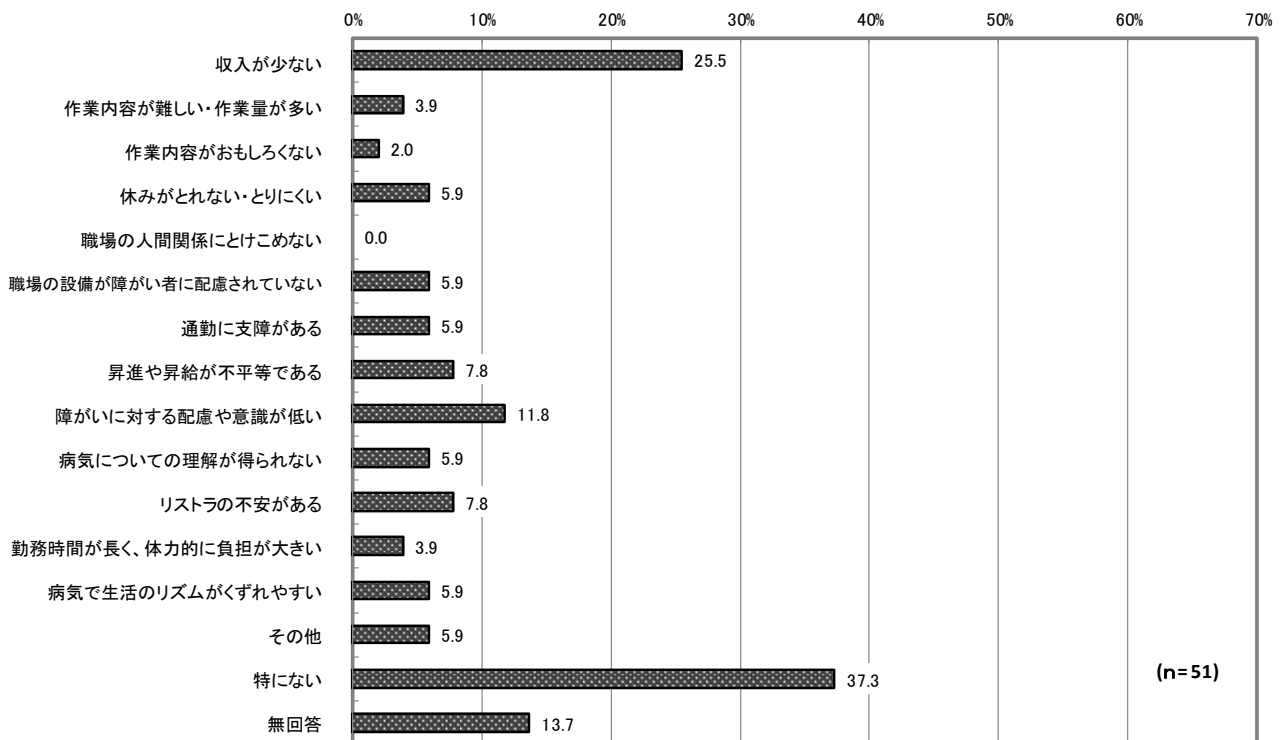


問 20 問 16 で「1」を回答した方におたずねします。仕事をするうえで不安や不満がありますか。

(複数回答 n=51)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 収入が少ない	13	25.5%	0	0.0%	10	41.7%	3	11.1%
2 作業内容が難しい・作業量が多い	2	3.9%	0	0.0%	1	4.2%	1	3.7%
3 作業内容がおもしろくない	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%
4 休みがとれない・とりにくい	3	5.9%	0	0.0%	2	8.3%	1	3.7%
5 職場の人間関係にとけこめない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6 職場の設備が障がい者に配慮されていない	3	5.9%	0	0.0%	3	12.5%	0	0.0%
7 通勤に支障がある	3	5.9%	0	0.0%	1	4.2%	2	7.4%
8 昇進や昇給が不平等である	4	7.8%	0	0.0%	4	16.7%	0	0.0%
9 障がいに対する配慮や意識が低い	6	11.8%	0	0.0%	5	20.8%	1	3.7%
10 病気についての理解が得られない	3	5.9%	0	0.0%	3	12.5%	0	0.0%
11 リストラの不安がある	4	7.8%	0	0.0%	4	16.7%	0	0.0%
12 勤務時間が長く、体力的に負担が大きい	2	3.9%	0	0.0%	2	8.3%	0	0.0%
13 病気で生活のリズムがくずれやすい	3	5.9%	0	0.0%	2	8.3%	1	3.7%
14 その他	3	5.9%	0	0.0%	2	8.3%	1	3.7%
15 特にない	19	37.3%	0	0.0%	3	12.5%	16	59.3%
無回答	7	13.7%	0	0.0%	2	8.3%	5	18.5%
合計	51		0		24		27	

14 その他：主な内訳 能力不足で、仕事が全然こない、仕事待ち、自宅で訓練中 (1) 仕事に支障が出てきている (1)

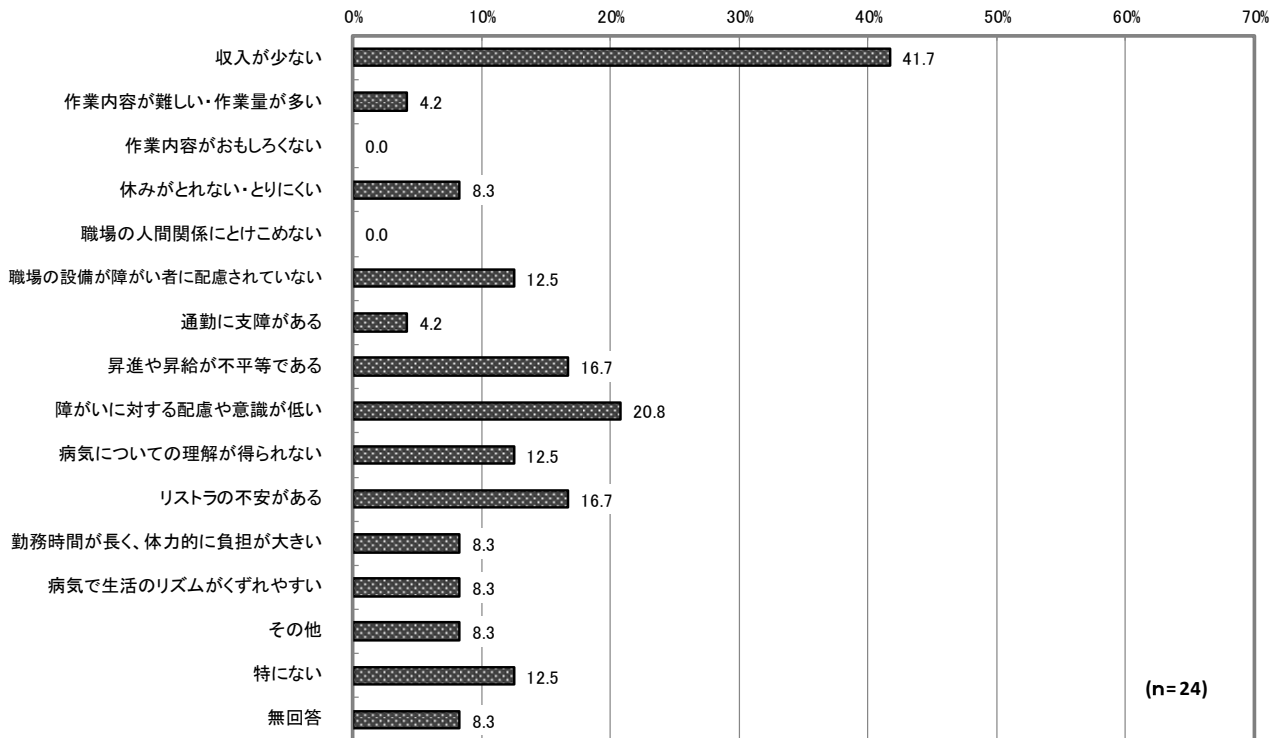


【年代別】

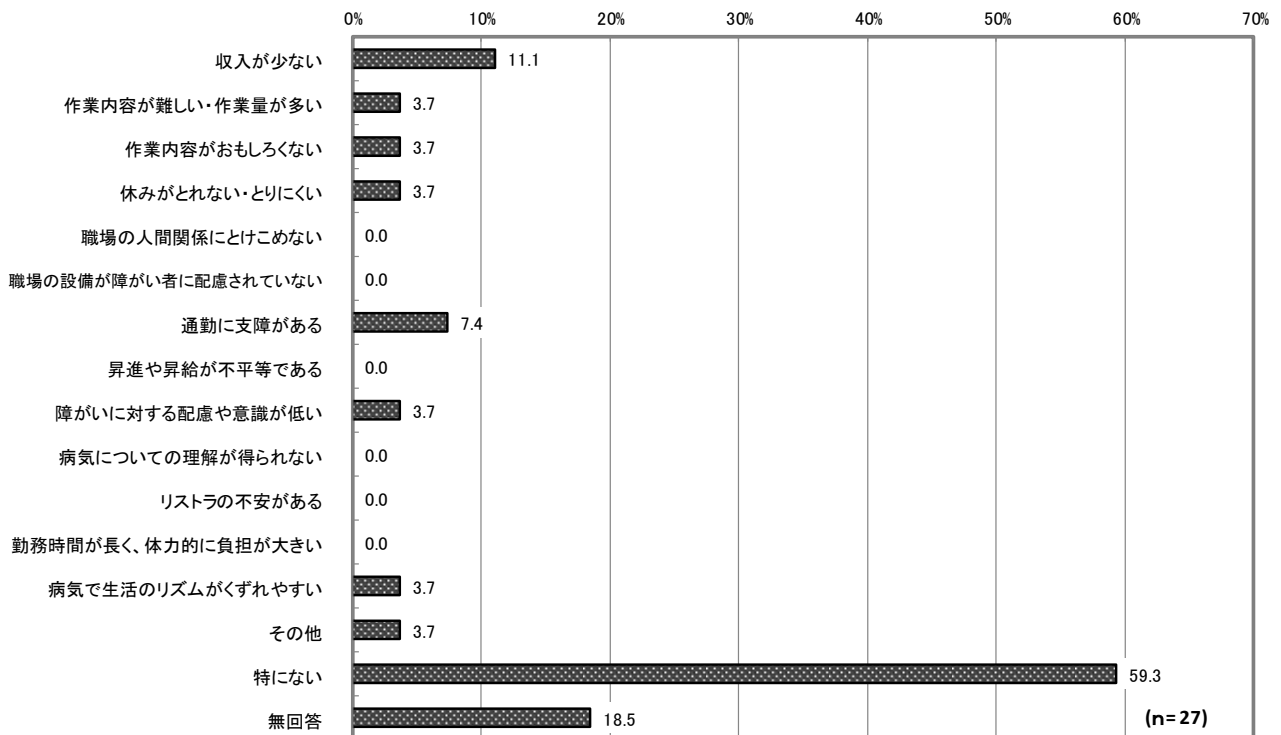
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》

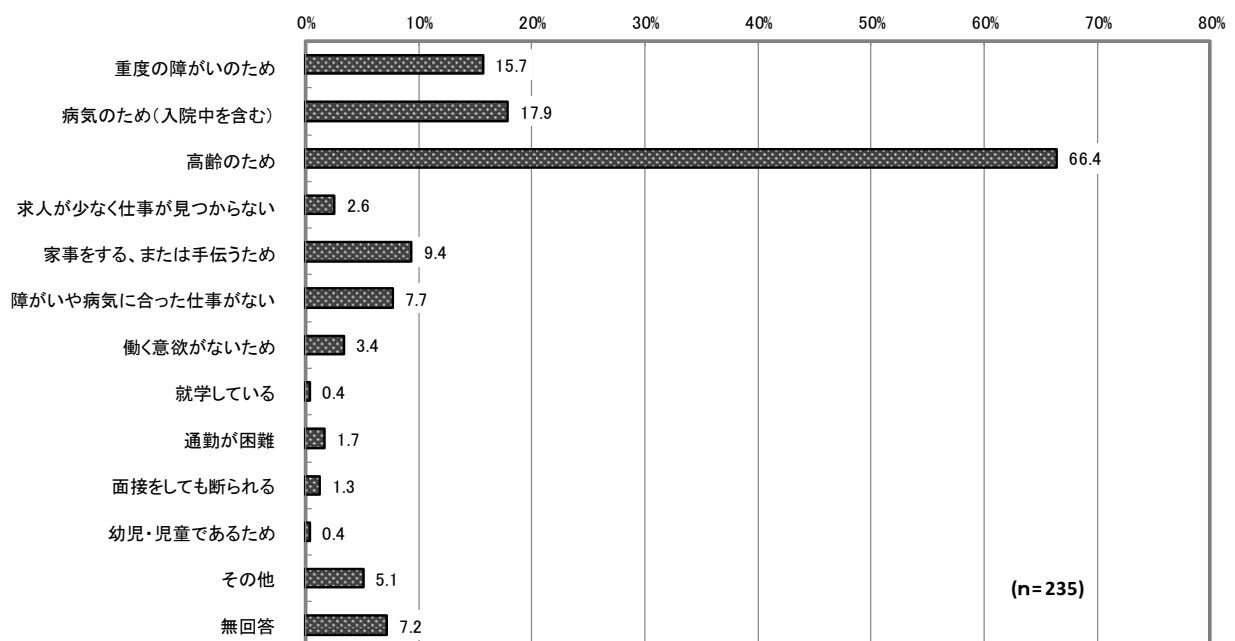


問 21 問 16 で「2」を回答した方におたずねします。あなたが仕事をしていない理由は何ですか。

(複数回答 n=235)

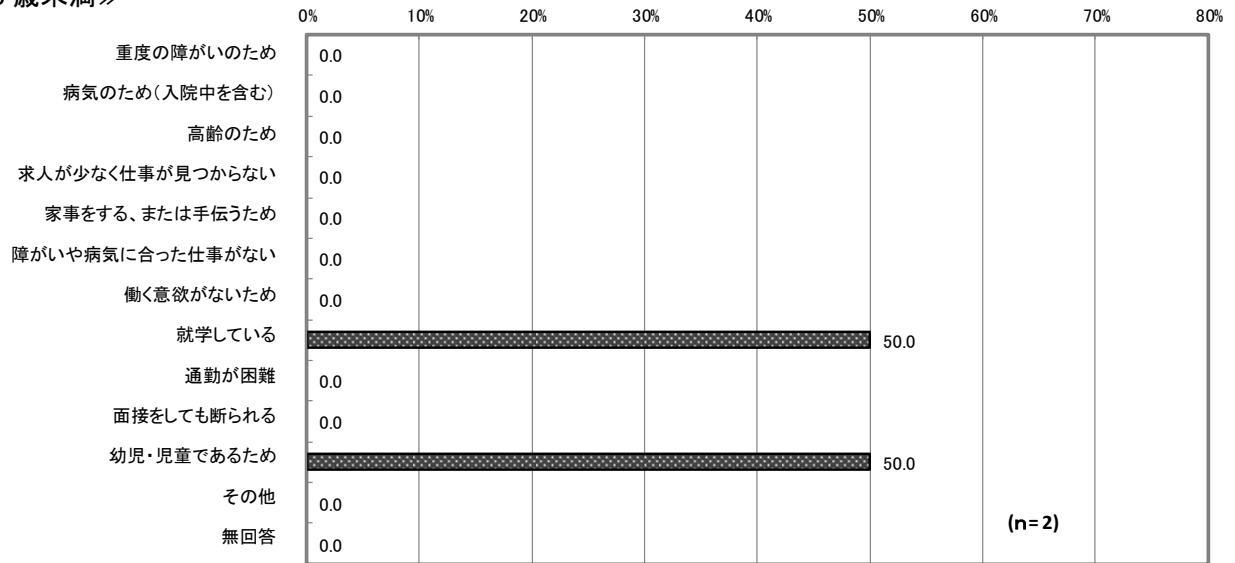
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 重度の障がいのため	37	15.7%	0	0.0%	9	42.9%	28	13.2%
2 病気のため(入院中を含む)	42	17.9%	0	0.0%	4	19.0%	38	17.9%
3 高齢のため	156	66.4%	0	0.0%	1	4.8%	155	73.1%
4 求人が少なく仕事が見つからない	6	2.6%	0	0.0%	2	9.5%	4	1.9%
5 家事をする、または手伝うため	22	9.4%	0	0.0%	4	19.0%	18	8.5%
6 障がいや病気に合った仕事がない	18	7.7%	0	0.0%	9	42.9%	9	4.2%
7 働く意欲がないため	8	3.4%	0	0.0%	0	0.0%	8	3.8%
8 就学している	1	0.4%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 通勤が困難	4	1.7%	0	0.0%	1	4.8%	3	1.4%
10 面接をしても断られる	3	1.3%	0	0.0%	1	4.8%	2	0.9%
11 幼児・児童であるため	1	0.4%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
12 その他	12	5.1%	0	0.0%	1	4.8%	11	5.2%
無回答	17	7.2%	0	0.0%	2	9.5%	15	7.1%
合計	235		2		21		212	

12 その他：主な内訳 家族介護のため (1) 車椅子生活のため (1) 定年退職後仕事をしていない (1)  
 視覚障害のため (1) 毎日リハビリしているが良くならない (1) 囲りに迷惑をかけないか心配 (1) 余生をのんびり、ゆったり生きたい (1) 生活できる (1) ヒザ関節を手術したが、していない方が痛くなったため足がスムーズにならなくなった (1)

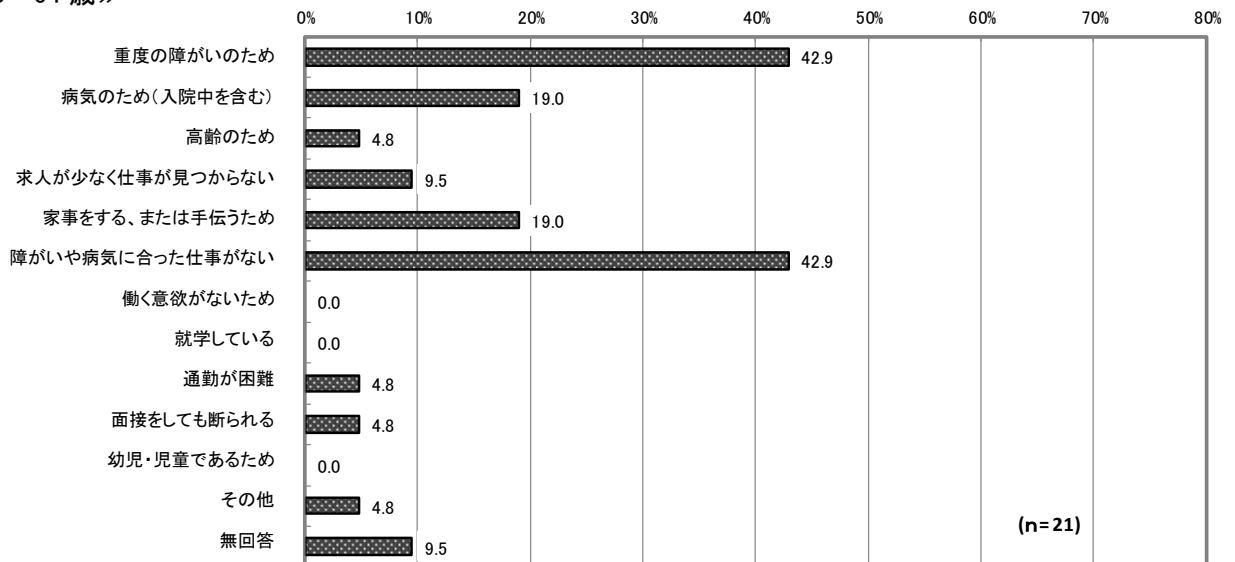


【年代別】

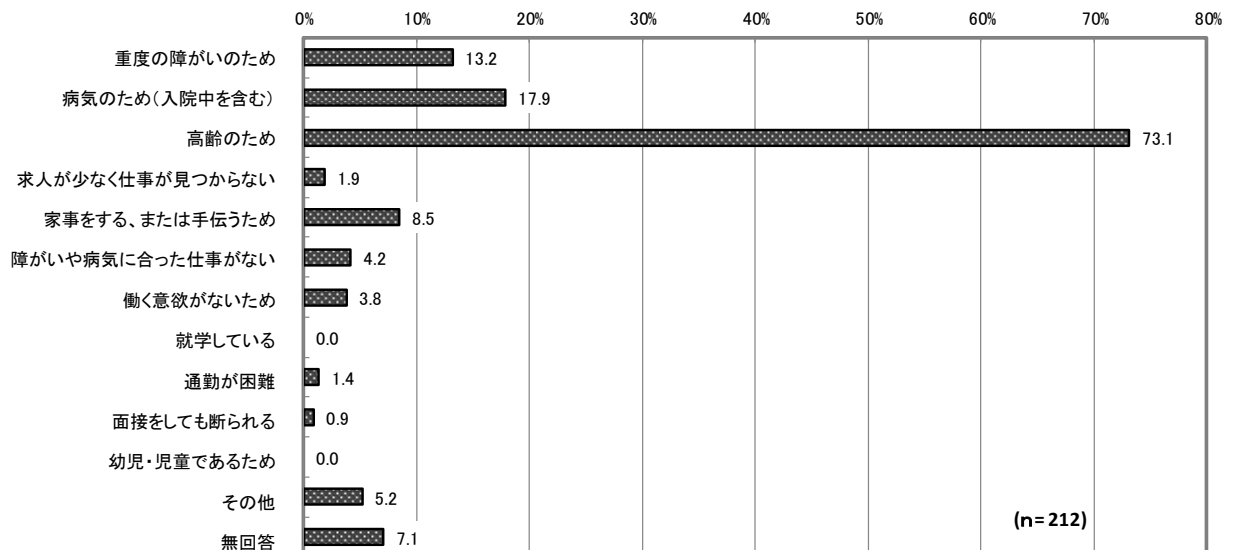
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

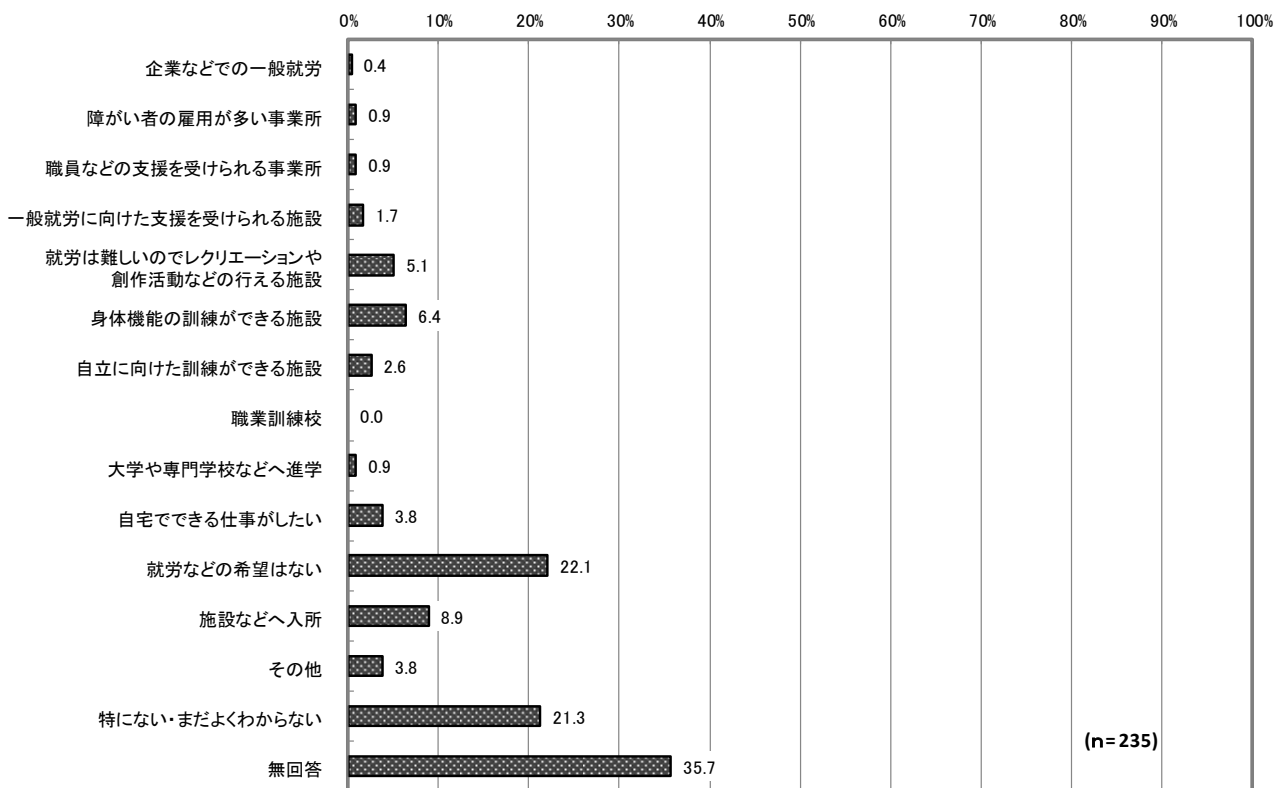




問 22 問 16 で「2」を回答した方におたずねします。今後の活動や将来の進路について、どのような希望がありますか。（複数回答 n=235）

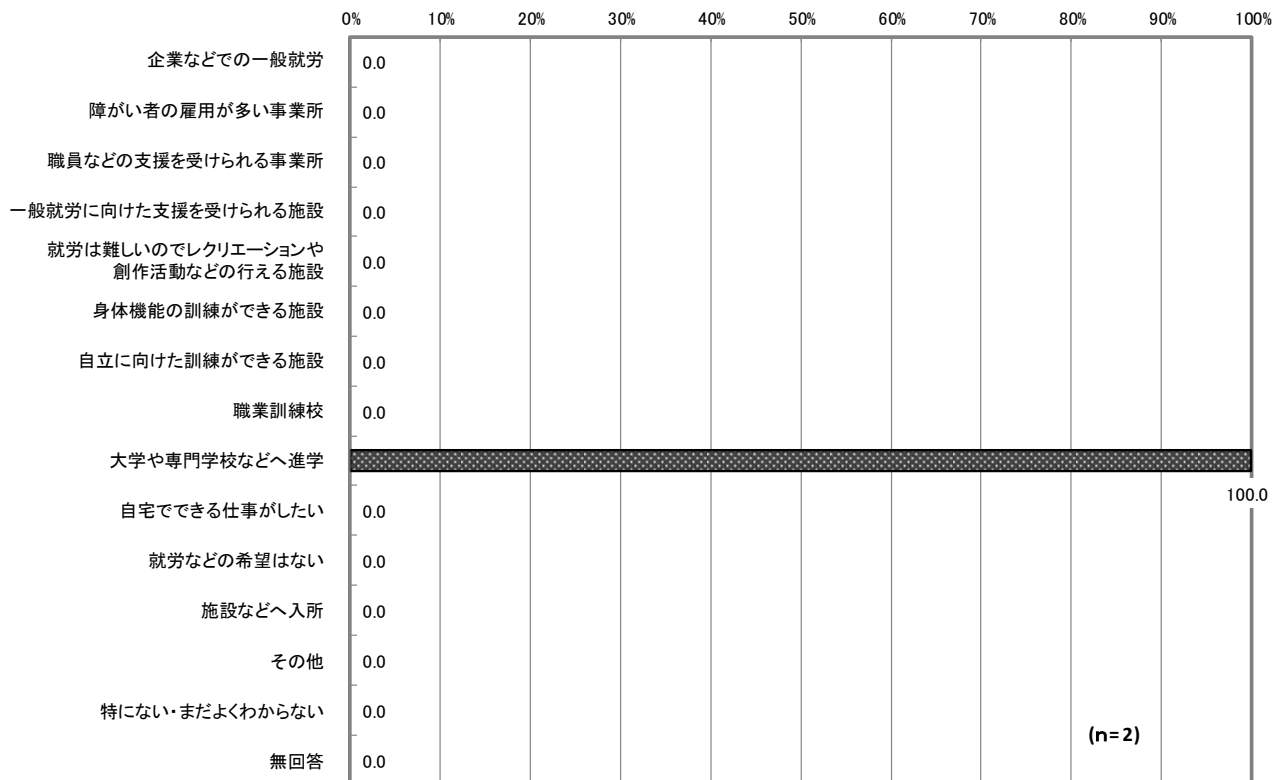
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 企業などでの一般就労	1	0.4%	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%
2 障がい者の雇用が多い事業所	2	0.9%	0	0.0%	1	4.8%	1	0.5%
3 職員などの支援を受けられる事業所	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
4 一般就労に向けた支援を受けられる施設	4	1.7%	0	0.0%	3	14.3%	1	0.5%
5 就労は難しいのでレクリエーションや創作活動などの行える施設	12	5.1%	0	0.0%	3	14.3%	9	4.2%
6 身体機能の訓練ができる施設	15	6.4%	0	0.0%	3	14.3%	12	5.7%
7 自立に向けた訓練ができる施設	6	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	6	2.8%
8 職業訓練校	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 大学や専門学校などへ進学	2	0.9%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 自宅でできる仕事がしたい	9	3.8%	0	0.0%	4	19.0%	5	2.4%
11 就労などの希望はない	52	22.1%	0	0.0%	4	19.0%	48	22.6%
12 施設などへ入所	21	8.9%	0	0.0%	2	9.5%	19	9.0%
13 その他	9	3.8%	0	0.0%	1	4.8%	8	3.8%
14 特にない・まだよくわからない	50	21.3%	0	0.0%	6	28.6%	44	20.8%
無回答	84	35.7%	0	0.0%	1	4.8%	83	39.2%
合計	235		2		21		212	

13 その他：主な内訳 短時間労働（1）現状維持（1）できる範囲での趣味ボランティア活動（1）障がいの特徴を理解しながら社会参加できる施設（1）できれば自宅に帰りたい（1）

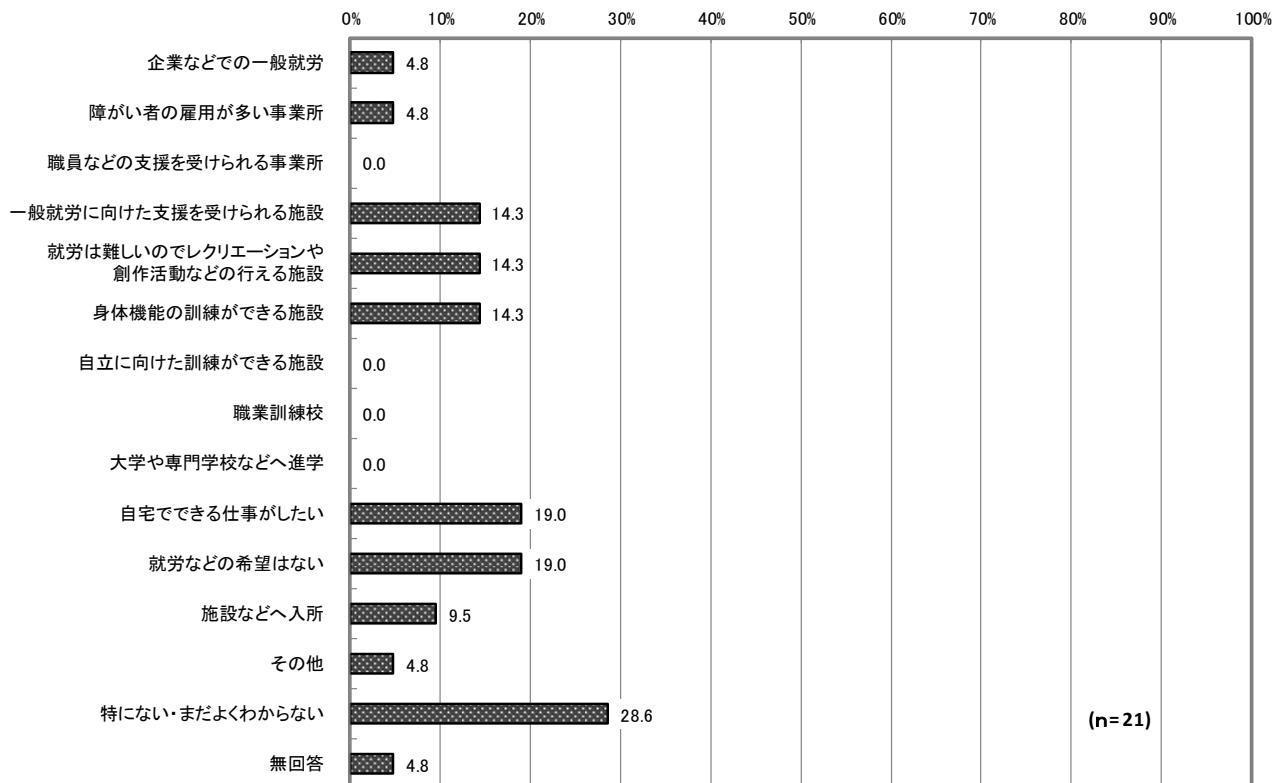


【年代別】

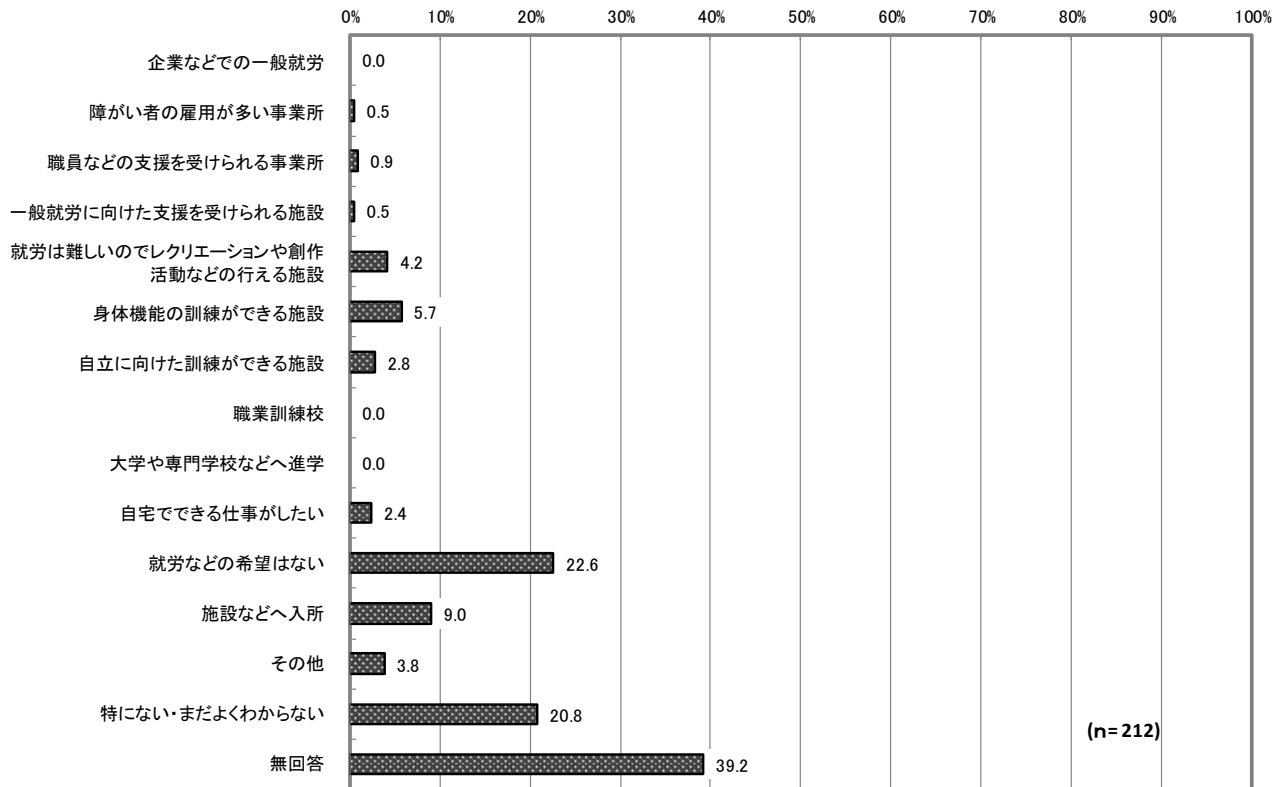
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

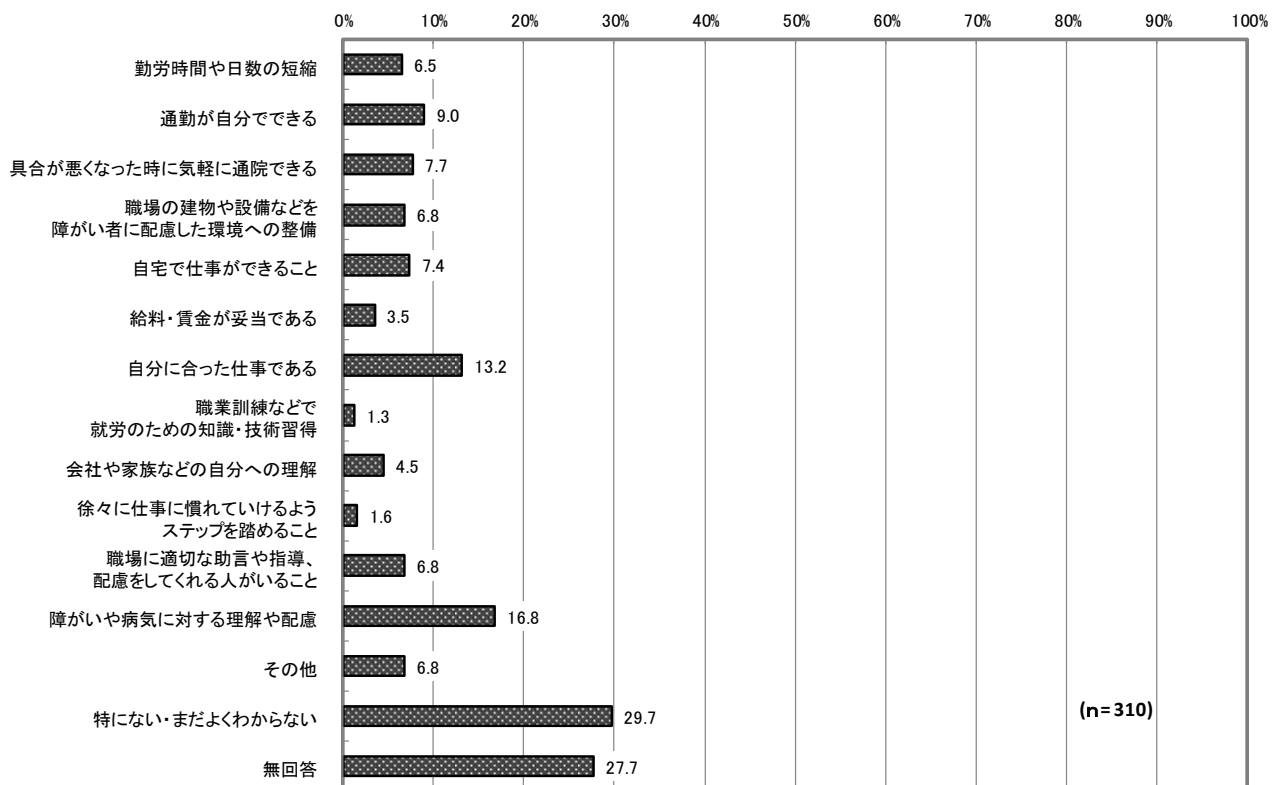


## 問 23 あなたが働き続ける（または将来働く）には、どのようなことが特に必要だと思いますか。

（3つまで〇印） （複数回答 n=310）

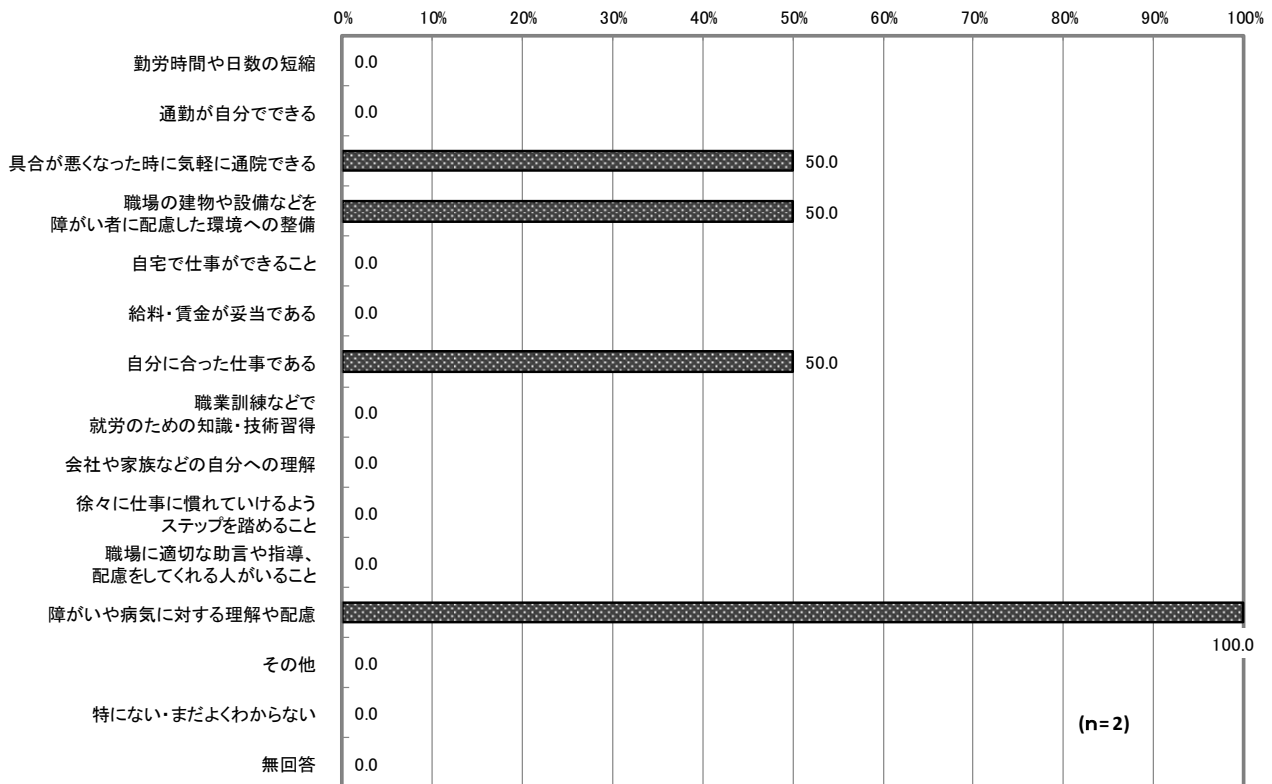
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 勤務時間や日数の短縮	20	6.5%	0	0.0%	7	14.0%	13	5.0%
2 通勤が自分で行える	28	9.0%	0	0.0%	8	16.0%	20	7.8%
3 具合が悪くなった時に気軽に通院できる	24	7.7%	1	50.0%	11	22.0%	12	4.7%
4 職場の建物や設備などを障がい者に配慮した環境への整備	21	6.8%	1	50.0%	8	16.0%	12	4.7%
5 自宅で仕事ができること	23	7.4%	0	0.0%	2	4.0%	21	8.1%
6 給料・賃金が妥当である	11	3.5%	0	0.0%	8	16.0%	3	1.2%
7 自分に合った仕事である	41	13.2%	1	50.0%	10	20.0%	30	11.6%
8 職業訓練などで就労のための知識・技術習得	4	1.3%	0	0.0%	4	8.0%	0	0.0%
9 会社や家族などの自分への理解	14	4.5%	0	0.0%	8	16.0%	6	2.3%
10 徐々に仕事に慣れていけるようステップを踏めること	5	1.6%	0	0.0%	1	2.0%	4	1.6%
11 職場に適切な助言や指導、配慮をしてくれる人がいること	21	6.8%	0	0.0%	6	12.0%	15	5.8%
12 障がいや病気に対する理解や配慮	52	16.8%	2	100.0%	17	34.0%	33	12.8%
13 その他	21	6.8%	0	0.0%	2	4.0%	19	7.4%
14 特にない・まだよくわからない	92	29.7%	0	0.0%	10	20.0%	82	31.8%
無回答	86	27.7%	0	0.0%	2	4.0%	84	32.6%
合計	310		2		50		258	

13 その他：主な内訳 高齢で働けない（6）働けない（4）痛みがなくなれば（2）特に働きたいと思わない（1）足が不自由なので、送迎でき、手作業のもの（1）仕事は無理（1）

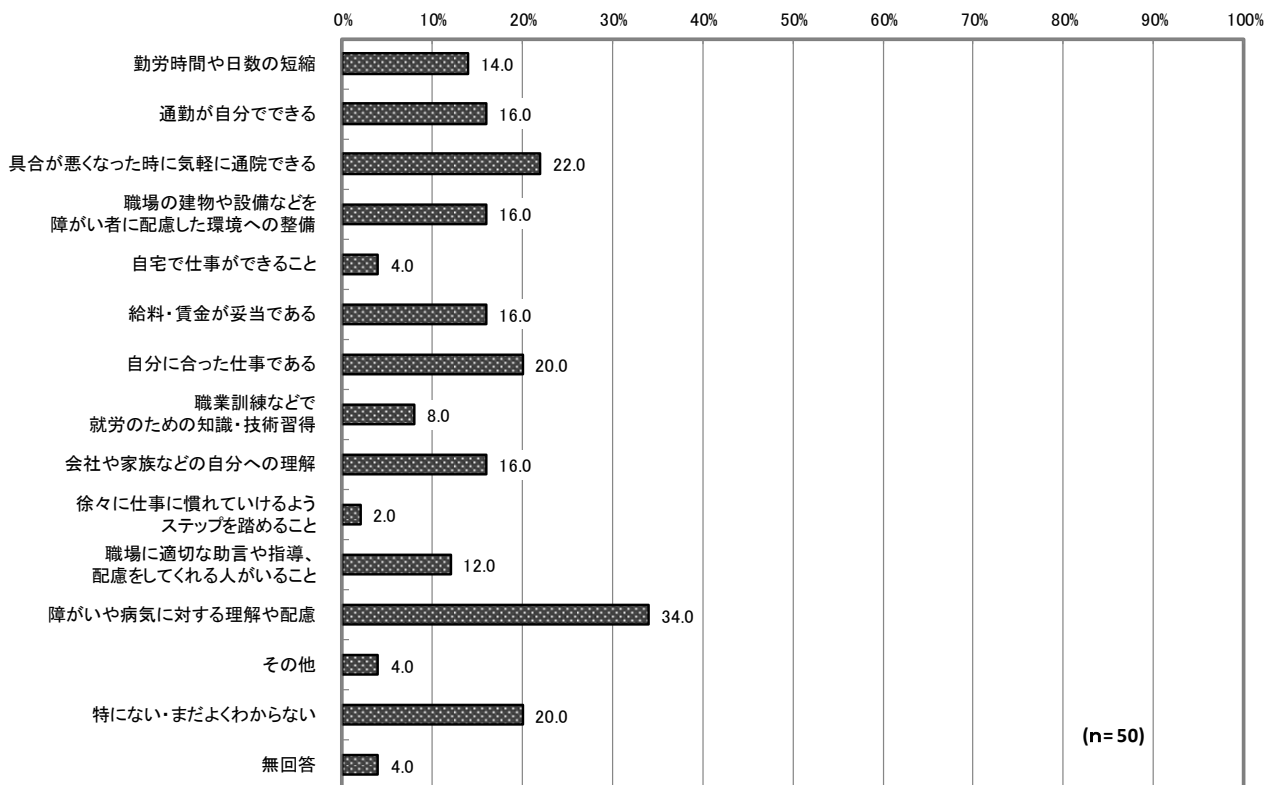


【年代別】

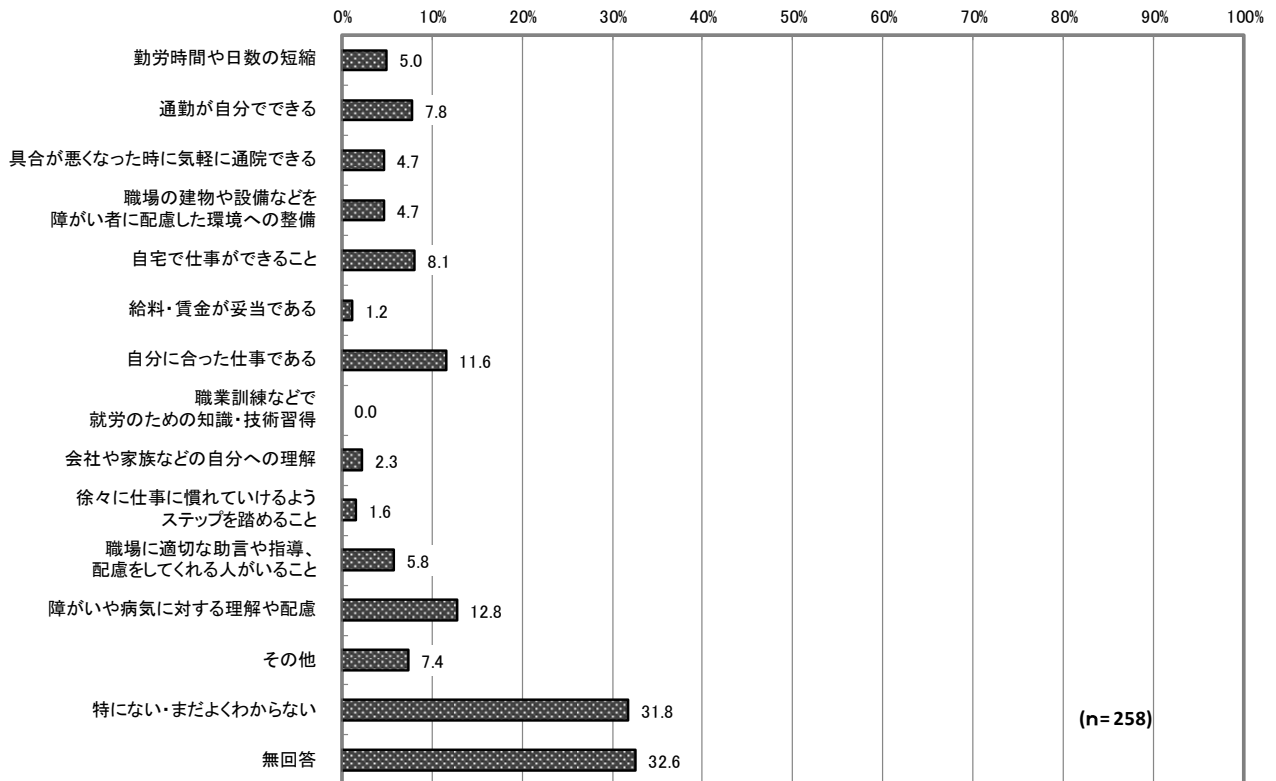
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

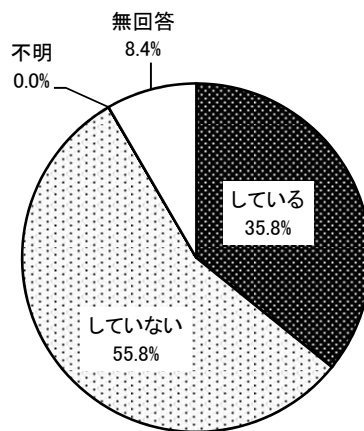


## 【住宅】

住居がバリアフリーに対応しているかは、「していない」が55.8%と半数強を占め、「している」の35.8%を上回った。バリアフリーに対応していない人に主な理由を尋ねたところ、「改修などを行う資金がない」が35.3%と最も高く、次いで「特にない」が28.3%、「家が狭い」が14.5%となった。

## 問 24 あなたのお住まいは、バリアフリーに対応していますか。 （単数回答 n=310）

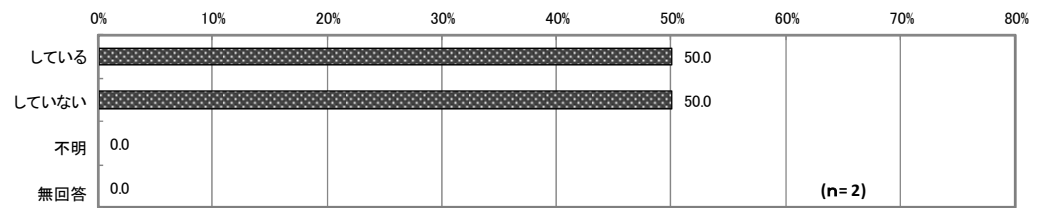
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 している	111	35.8%	1	50.0%	12	24.0%	98	38.0%
2 していない	173	55.8%	1	50.0%	36	72.0%	136	52.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	26	8.4%	0	0.0%	2	4.0%	24	9.3%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



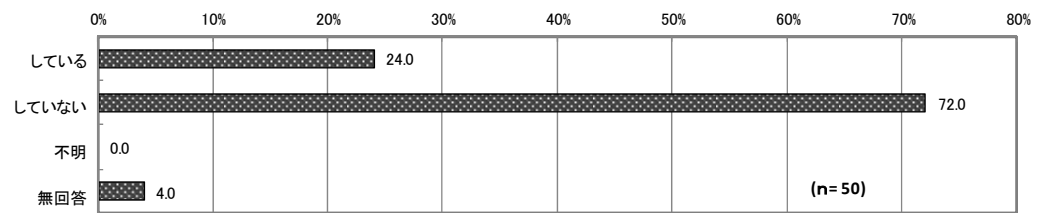
n=310

【年代別】

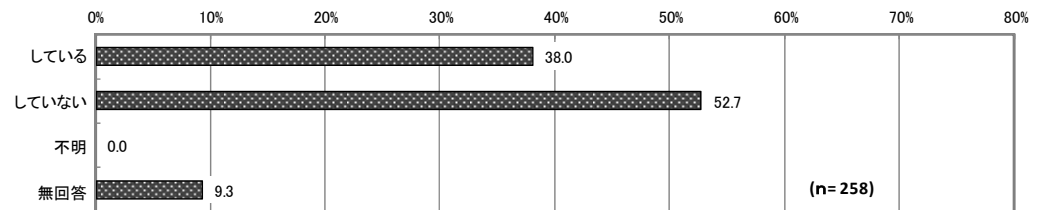
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

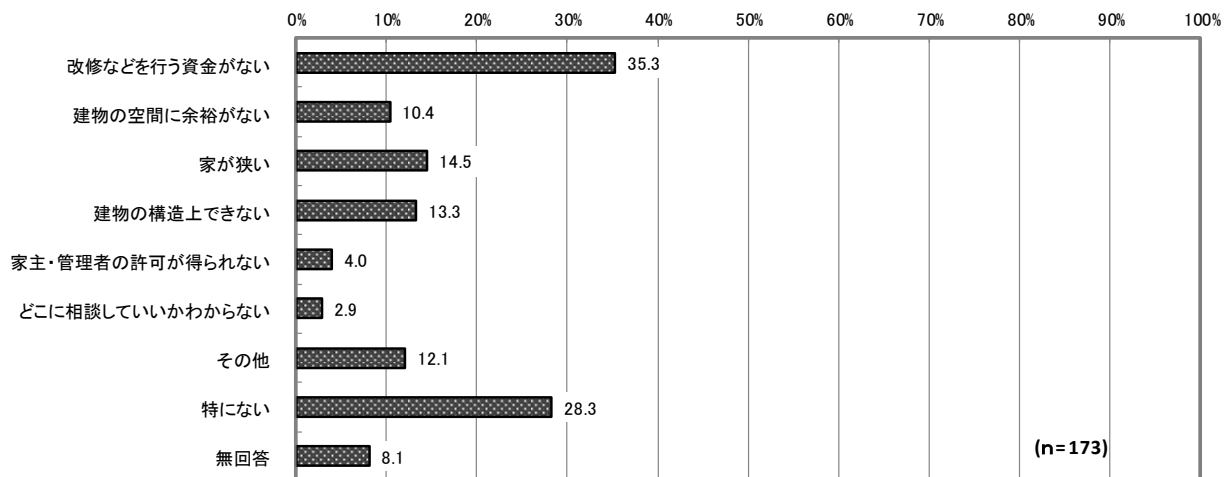




問 25 問 24 で「2」を回答した方におたずねします。バリアフリーに対応していない主な理由は何ですか。 （複数回答 n=173）

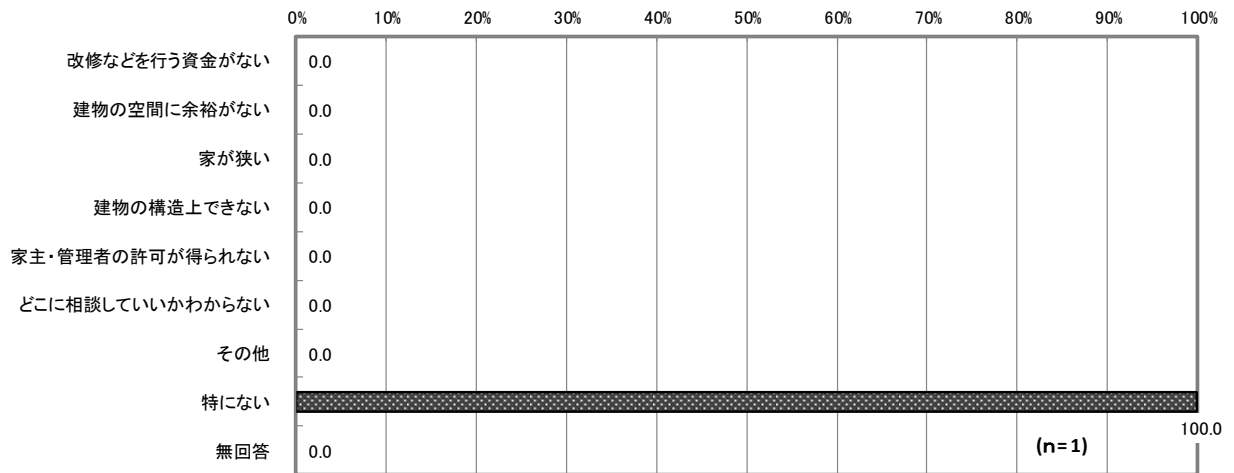
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 改修などを行う資金がない	61	35.3%	0	0.0%	11	30.6%	50	36.8%
2 建物の空間に余裕がない	18	10.4%	0	0.0%	2	5.6%	16	11.8%
3 家が狭い	25	14.5%	0	0.0%	5	13.9%	20	14.7%
4 建物の構造上できない	23	13.3%	0	0.0%	6	16.7%	17	12.5%
5 家主・管理者の許可が得られない	7	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	5.1%
6 どこに相談していいかわからない	5	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	5	3.7%
7 その他	21	12.1%	0	0.0%	5	13.9%	16	11.8%
8 特にない	49	28.3%	1	100.0%	13	36.1%	35	25.7%
無回答	14	8.1%	0	0.0%	3	8.3%	11	8.1%
合計	173		1		36		136	

7 その他：主な内訳 必要でない（13）賃貸のため（3）1人で暮らせない（1）お風呂をユニットにしたのでは大丈夫と思う（1）一部歩行のための手すりを利用している（1）

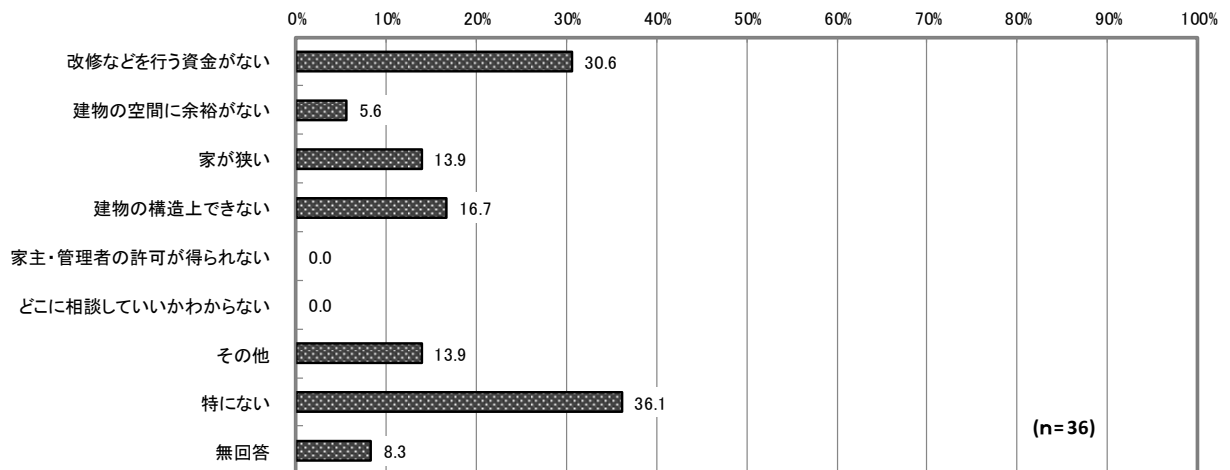


【年代別】

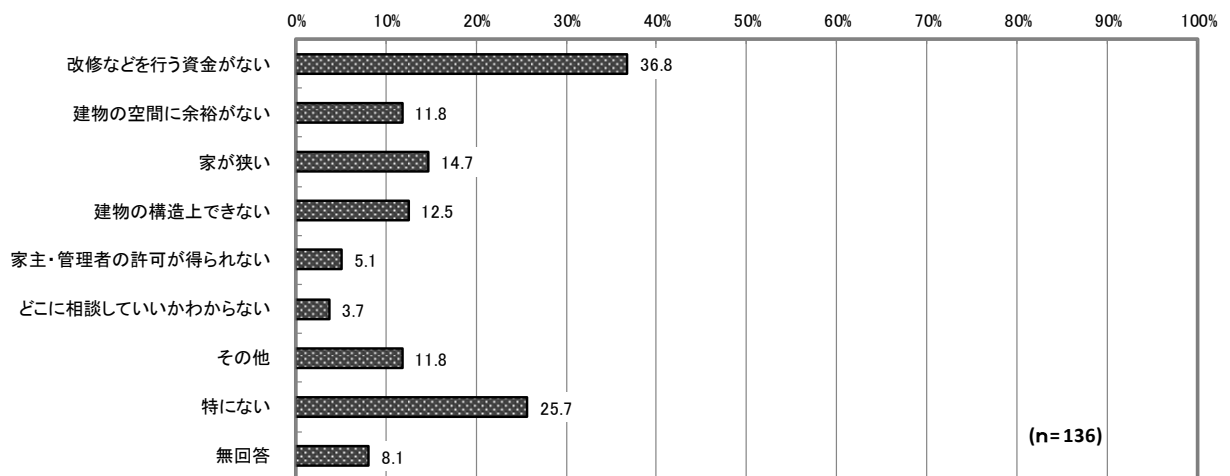
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



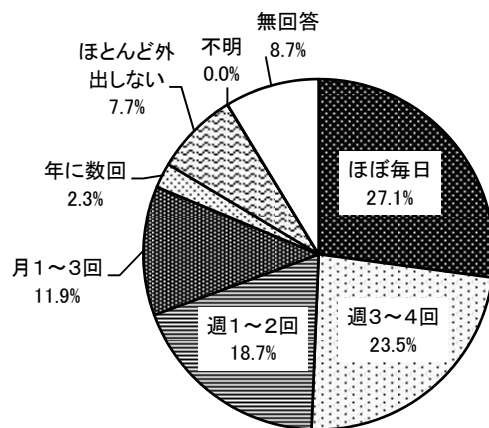
## 【バリアフリーに関すること】

外出頻度については、「ほぼ毎日」が27.1%と最も高く、次いで「週3～4回」が23.5%、「週1～2回」が18.7%となっており、『週1回以上』が69.3%と約7割を占めている。ほとんど外出しないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「障がいや疾病が重く、外出が難しい」が41.7%と最も高く、次いで「外出する必要がある」が25.0%となった。

外出するうえで困ることは、「階段の上り下りが難しい」が30.0%と最も高く、次いで「特に困ることはない」が29.7%、「電車・バスなどへの乗車が難しい」が18.7%となっている。社会のバリアフリー化を推進するために、設備の面で特に力を入れていく必要があると思うものは、「建物・乗り物・道路などの出入り口の段差解消」が37.1%と最も高く、次いで「手すりの設置」が23.9%、「障がい者用駐車スペースの確保」が23.2%となった。

## 問26 あなたの外出頻度はどの位ですか。（単数回答 n=310）

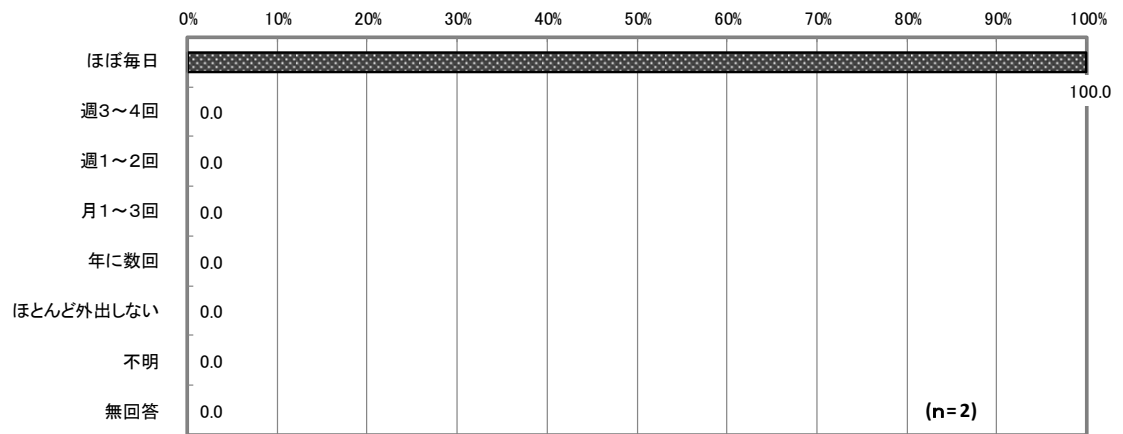
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ほぼ毎日	84	27.1%	2	100.0%	21	42.0%	61	23.6%
2 週3～4回	73	23.5%	0	0.0%	10	20.0%	63	24.4%
3 週1～2回	58	18.7%	0	0.0%	8	16.0%	50	19.4%
4 月1～3回	37	11.9%	0	0.0%	3	6.0%	34	13.2%
5 年に数回	7	2.3%	0	0.0%	2	4.0%	5	1.9%
6 ほとんど外出しない	24	7.7%	0	0.0%	1	2.0%	23	8.9%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	27	8.7%	0	0.0%	5	10.0%	22	8.5%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



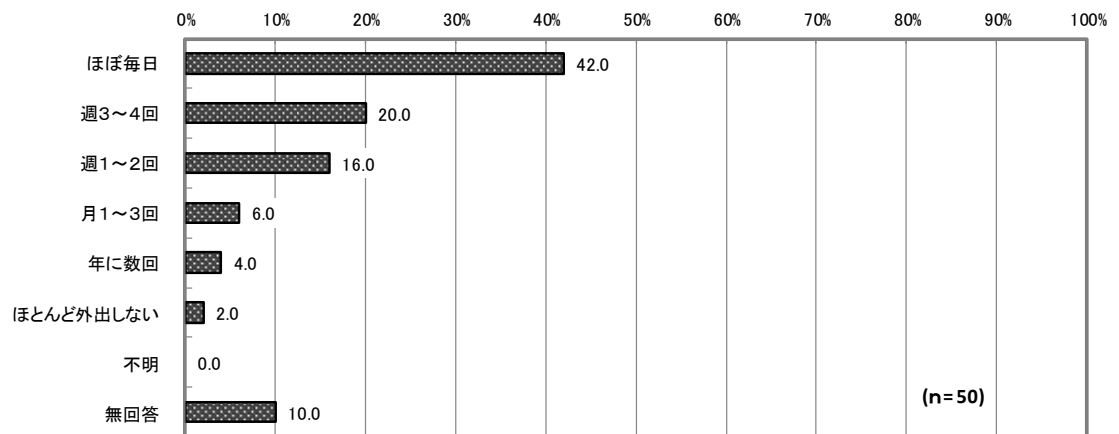
n=310

【年代別】

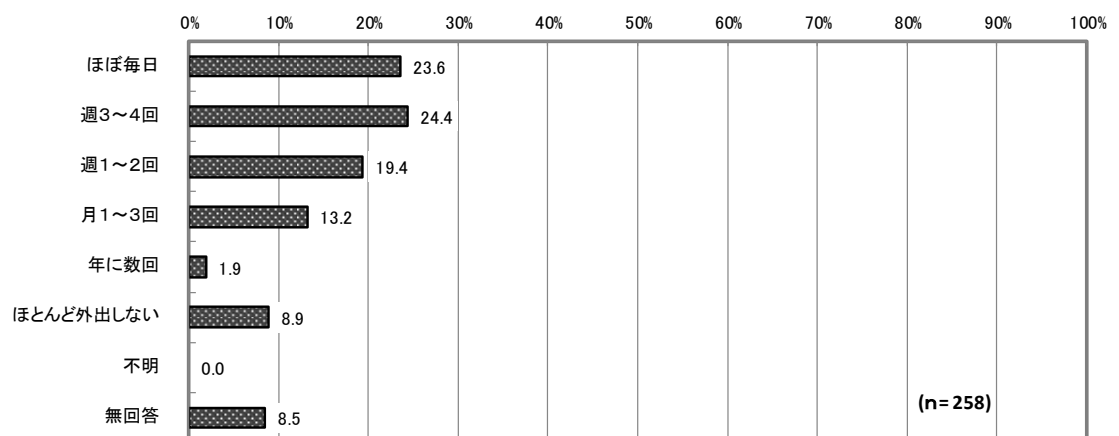
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

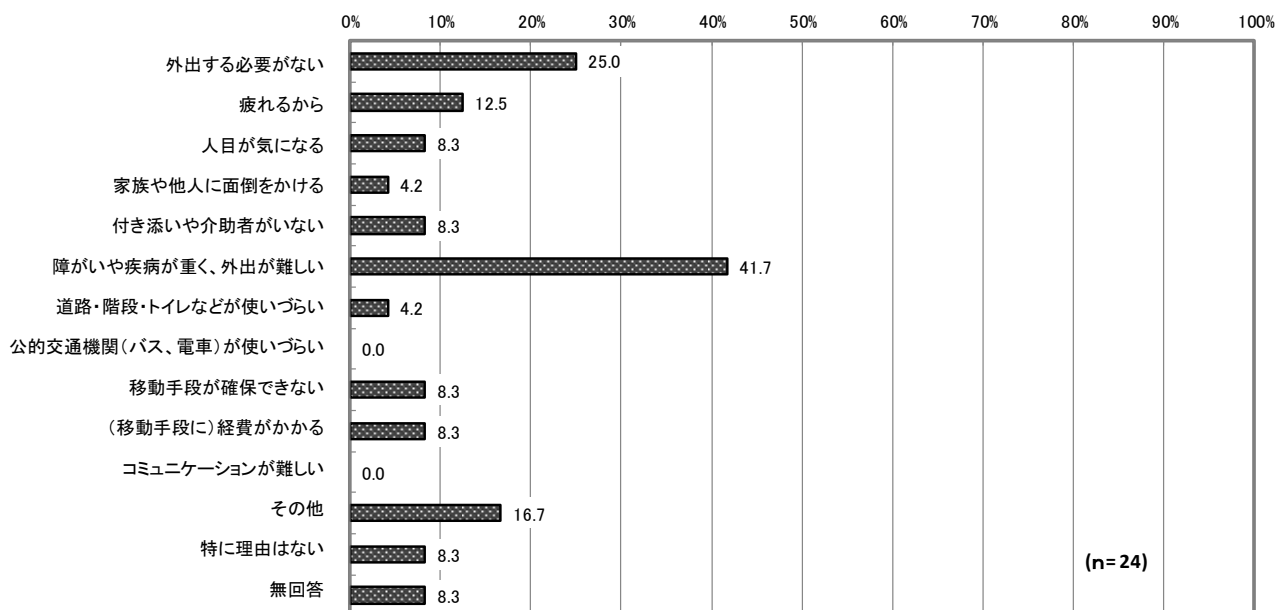


問 27 問 26 で「6」を回答した方におたずねします。あなたが外出しない主な理由は何ですか。

(複数回答 n=24)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 外出する必要がある	6	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	26.1%
2 疲れるから	3	12.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	13.0%
3 人目が気になる	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%
4 家族や他人に面倒をかける	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%
5 付き添いや介助者がいない	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%
6 障がいや疾病が重く、外出が難しい	10	41.7%	0	0.0%	0	0.0%	10	43.5%
7 道路・階段・トイレなどが使いづらい	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%
8 公的交通機関(バス、電車)が使いづらい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 移動手段が確保できない	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%
10 (移動手段に)経費がかかる	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%
11 コミュニケーションが難しい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12 その他	4	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	4	17.4%
13 特に理由はない	2	8.3%	0	0.0%	1	100.0%	1	4.3%
無回答	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%
合計	24		0		1		23	

12 その他：主な内訳 足が悪いから (1) 入院中 (1) 高齢であるのと施設の中での行事に参加しているから (1)

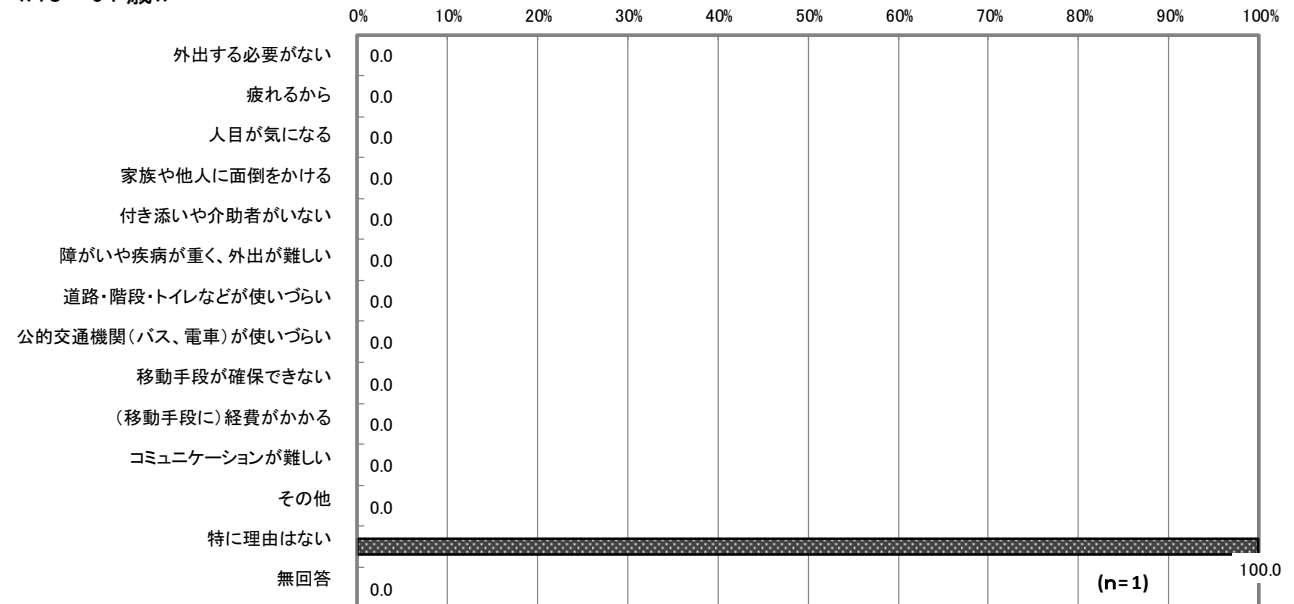


【年代別】

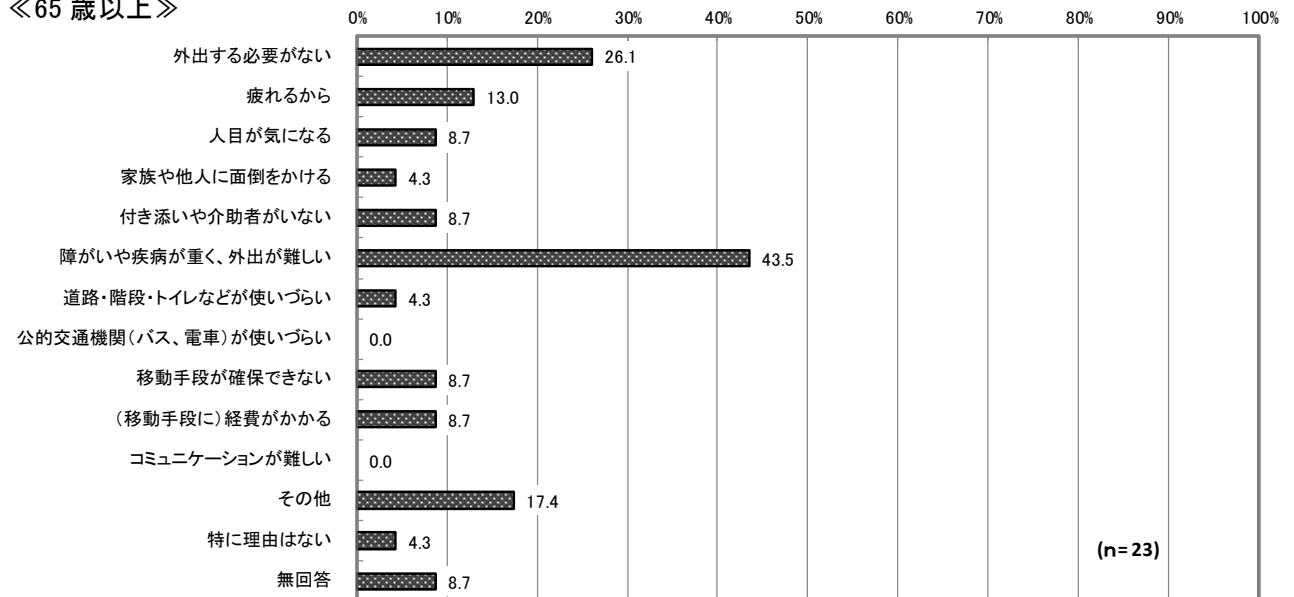
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》

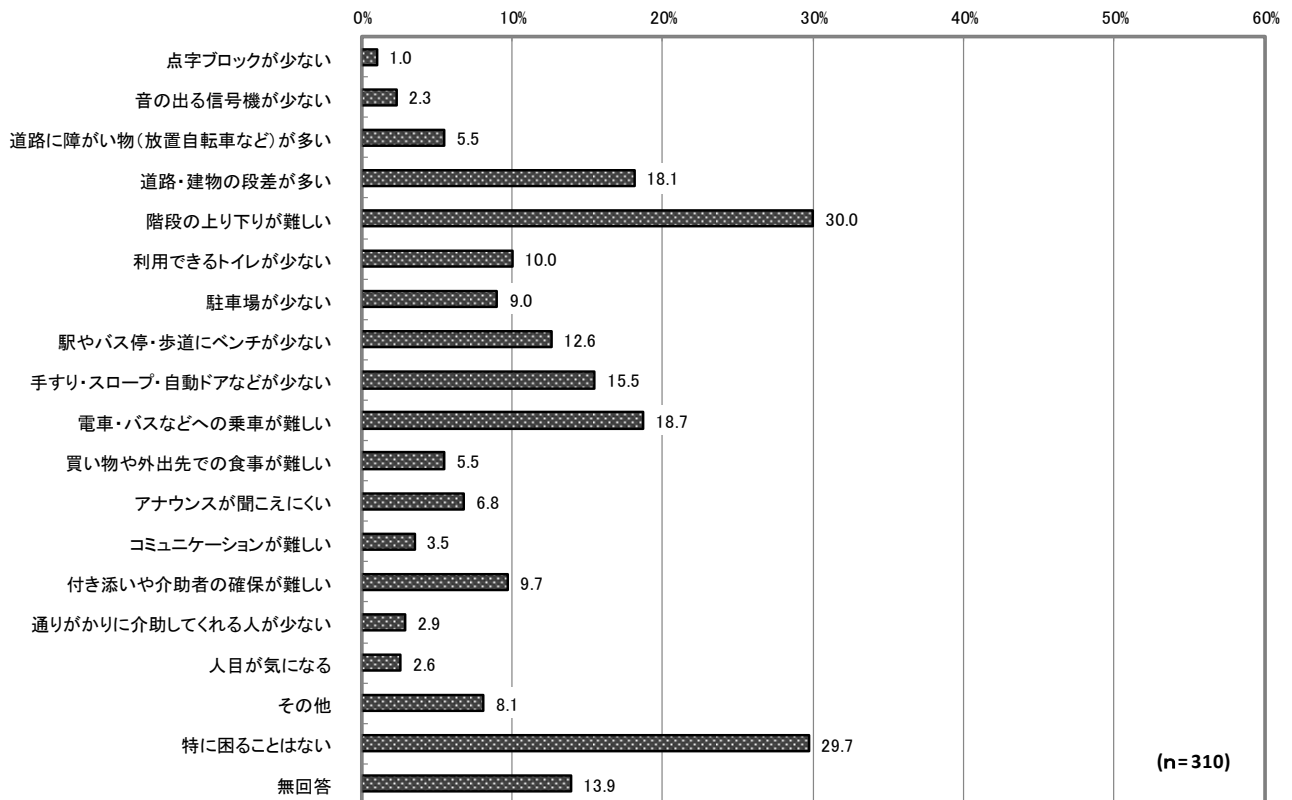


## 問 28 外出するうえで困ることは何ですか。 (複数回答 n=310)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 点字ブロックが少ない	3	1.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	0.8%
2 音の出る信号機が少ない	7	2.3%	0	0.0%	3	6.0%	4	1.6%
3 道路に障がい物（放置自転車など）が多い	17	5.5%	0	0.0%	4	8.0%	13	5.0%
4 道路・建物の段差が多い	56	18.1%	0	0.0%	8	16.0%	48	18.6%
5 階段の上り下りが難しい	93	30.0%	1	50.0%	15	30.0%	77	29.8%
6 利用できるトイレが少ない	31	10.0%	0	0.0%	7	14.0%	24	9.3%
7 駐車場が少ない	28	9.0%	0	0.0%	8	16.0%	20	7.8%
8 駅やバス停・歩道にベンチが少ない	39	12.6%	0	0.0%	3	6.0%	36	14.0%
9 手すり・スロープ・自動ドアなどが少ない	48	15.5%	0	0.0%	6	12.0%	42	16.3%
10 電車・バスなどへの乗車が難しい	58	18.7%	0	0.0%	12	24.0%	46	17.8%
11 買い物や外出先での食事が難しい	17	5.5%	0	0.0%	3	6.0%	14	5.4%
12 アナウンスが聞こえにくい	21	6.8%	1	50.0%	2	4.0%	18	7.0%
13 コミュニケーションが難しい	11	3.5%	1	50.0%	4	8.0%	6	2.3%
14 付き添いや介助者の確保が難しい	30	9.7%	0	0.0%	4	8.0%	26	10.1%
15 通りがかりに介助してくれる人が少ない	9	2.9%	0	0.0%	3	6.0%	6	2.3%
16 人目が気になる	8	2.6%	0	0.0%	1	2.0%	7	2.7%
17 その他	25	8.1%	0	0.0%	6	12.0%	19	7.4%
18 特に困ることはない	92	29.7%	0	0.0%	16	32.0%	76	29.5%
無回答	43	13.9%	0	0.0%	4	8.0%	39	15.1%
合計	310		2		50		258	

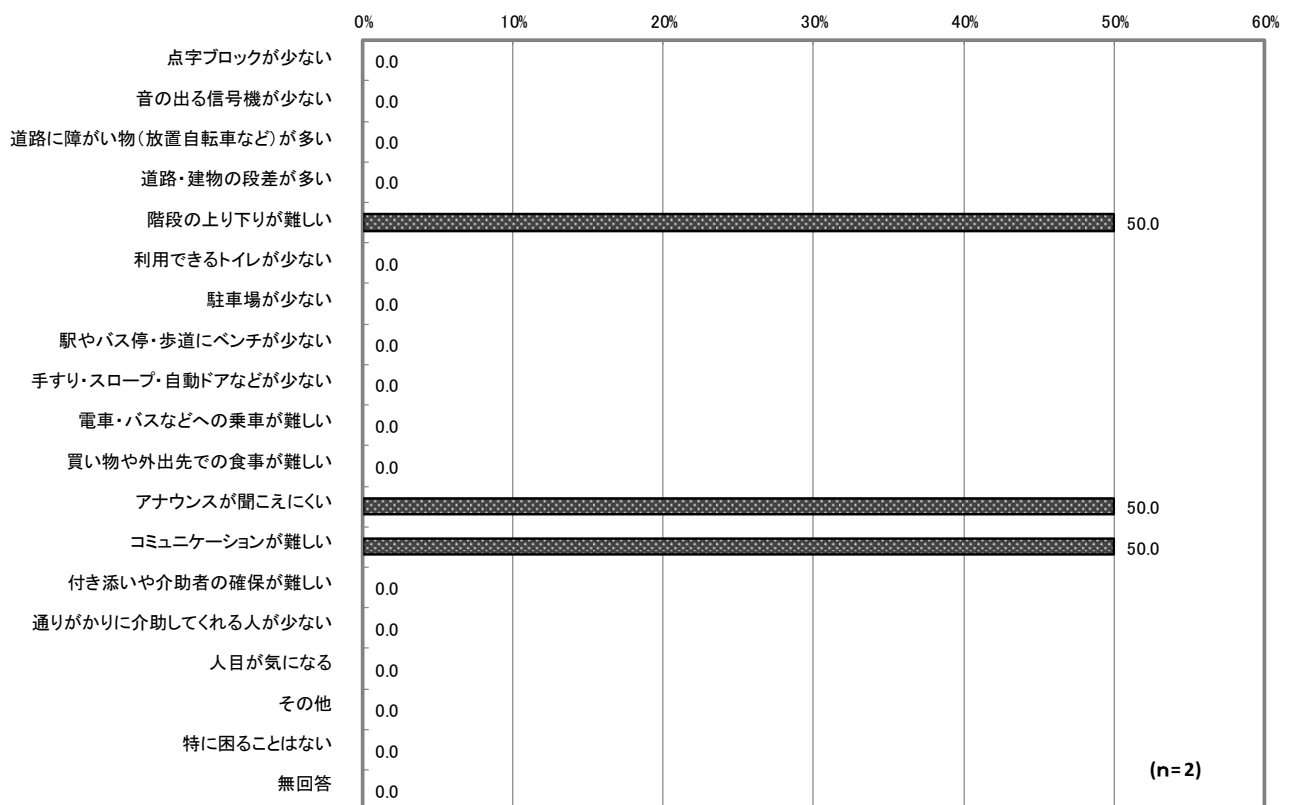
- 17 その他：主な内訳 外出しない、できない (4) 入院中 (3) 歩道が狭い、整備されていない (2) スロープの角度が急すぎる (1) 自宅近くのバスの本数が少ない (1) エスカレーターなど動いているものに乗るのが難しい (1) 歩く事ができない (1) バス待ちの児童が歩道で遊んでるのが歩行しにくい (1) 身体的・金銭的な問題もあり、移動手段がない (1) 病院等で呼び出しに気づかない (1) 体調が悪い時の運転、交通の便が悪い (1) 片足が不良なので杖を持って歩行が長くできない。車を止めるのに障がい手帳が 6 級だと障がい駐車ができないので買物が大変。駐車許可がほしい (1) 車椅子なので利用できる場所が少ない (1) 停留所の雪は乗降で危ない (1)

# 山形市障がい福祉アンケート 「身体障がい」 調査結果



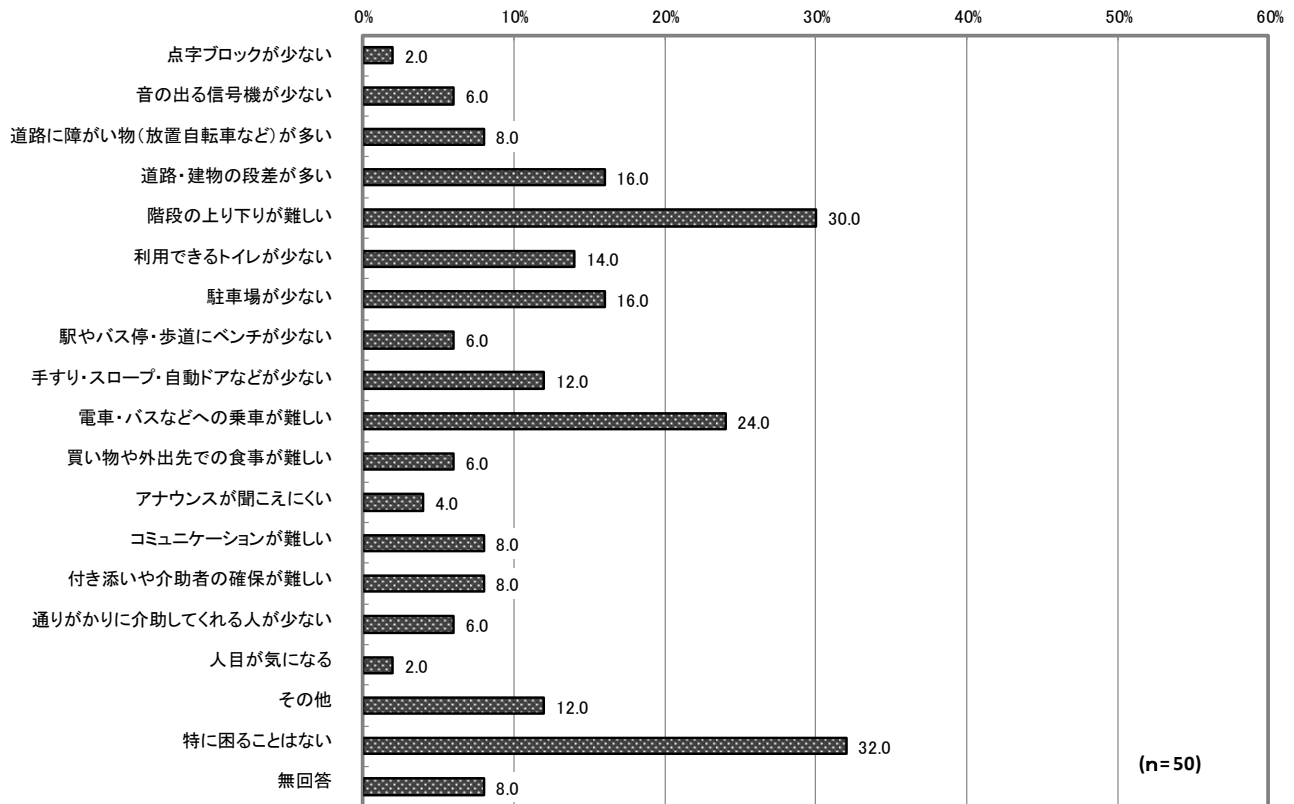
## 【年代別】

### 《18 歳未満》

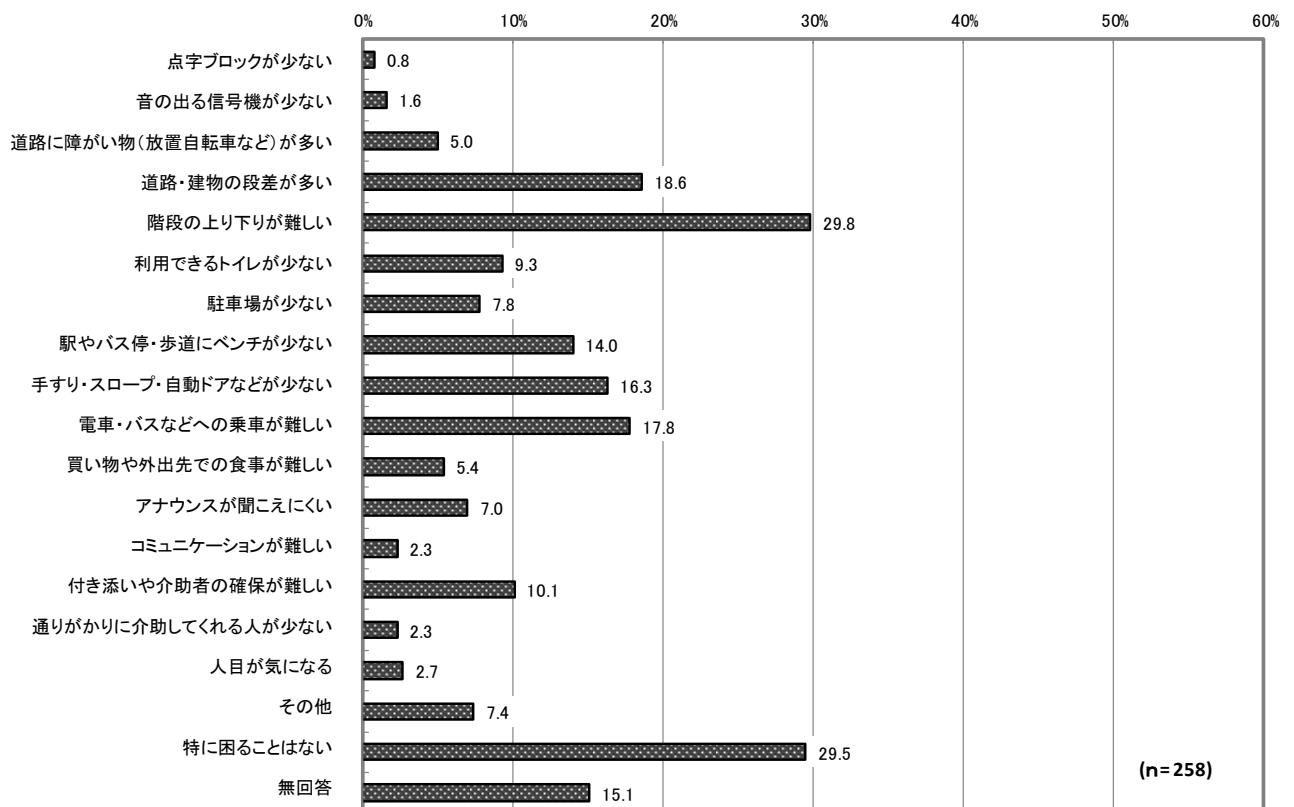




《18～64 歳》



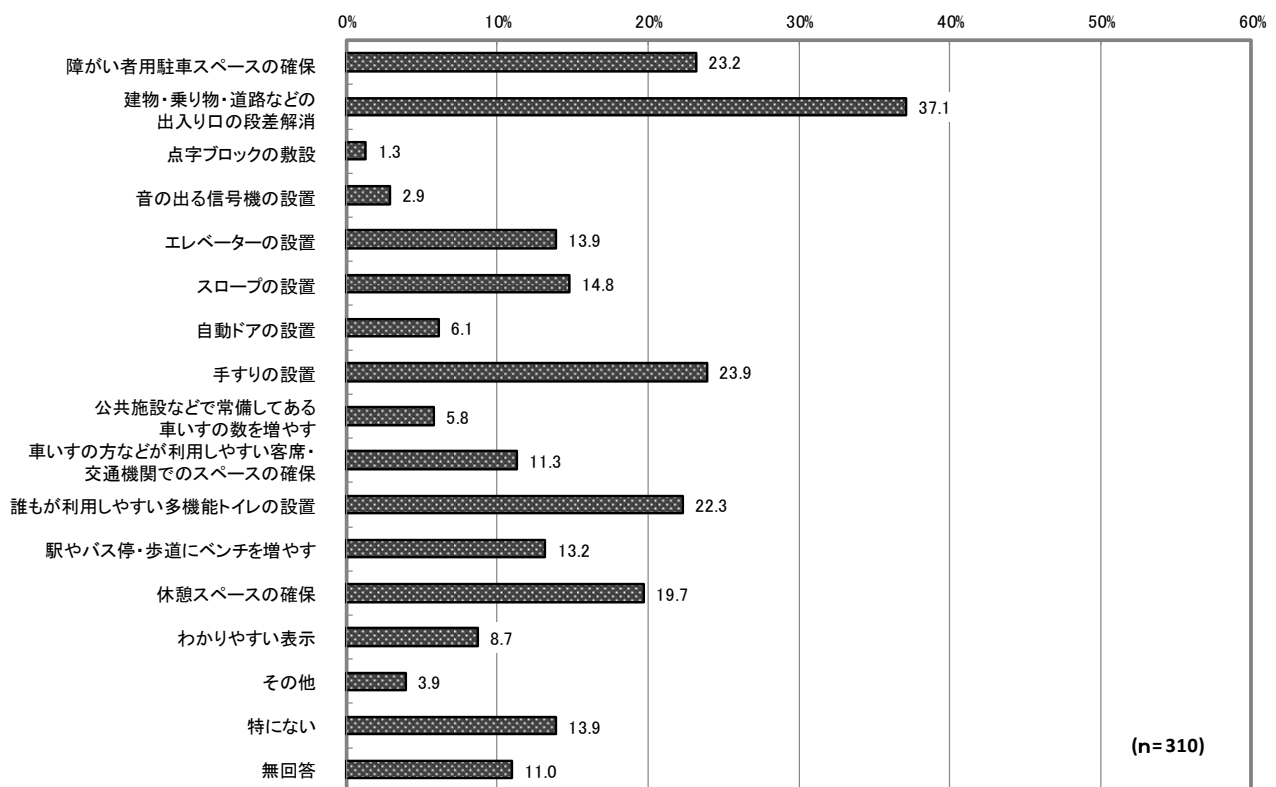
《65 歳以上》



**問 29 あなたにとって社会のバリアフリー化を推進するために、設備の面で特に力を入れていく必要があると思うものは何ですか。（3つまで○印）（複数回答 n=310）**

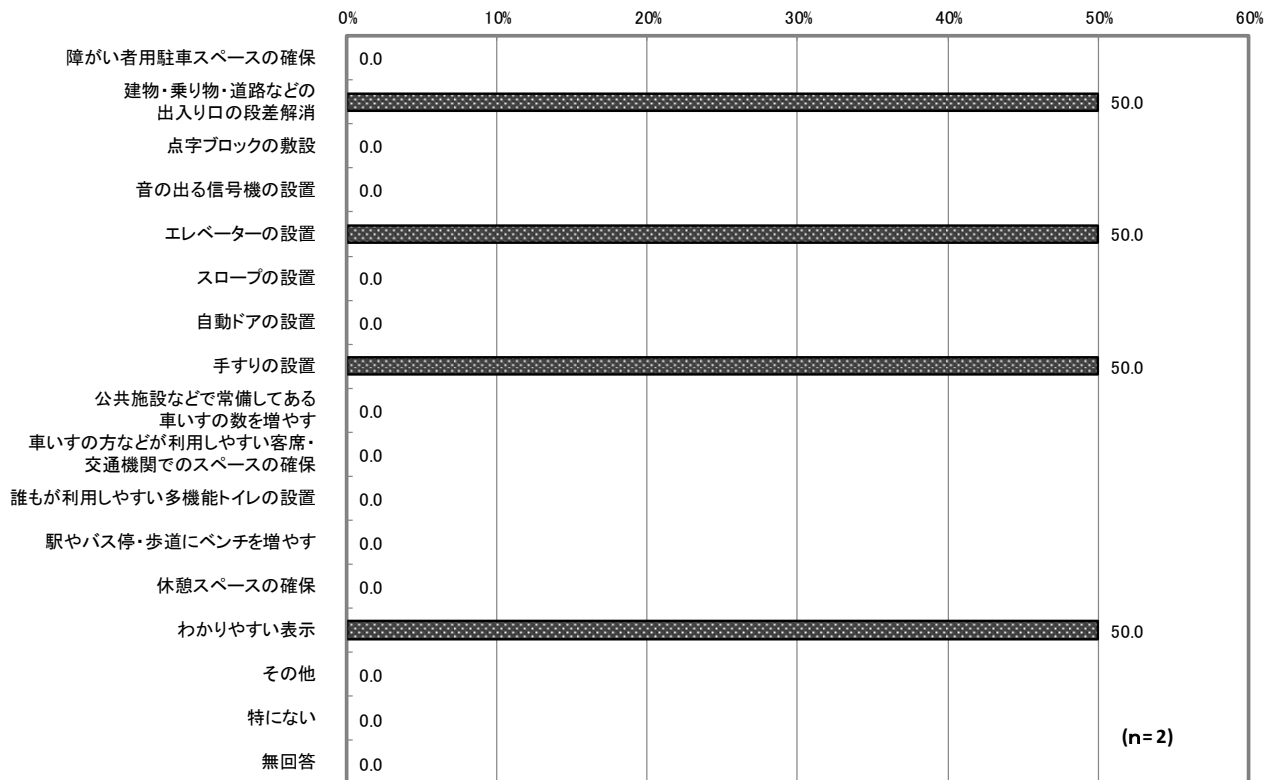
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 障がい者用駐車スペースの確保	72	23.2%	0	0.0%	16	32.0%	56	21.7%
2 建物・乗り物・道路などの出入り口の段差解消	115	37.1%	1	50.0%	22	44.0%	92	35.7%
3 点字ブロックの敷設	4	1.3%	0	0.0%	2	4.0%	2	0.8%
4 音の出る信号機の設置	9	2.9%	0	0.0%	2	4.0%	7	2.7%
5 エレベーターの設置	43	13.9%	1	50.0%	9	18.0%	33	12.8%
6 スロープの設置	46	14.8%	0	0.0%	8	16.0%	38	14.7%
7 自動ドアの設置	19	6.1%	0	0.0%	6	12.0%	13	5.0%
8 手すりの設置	74	23.9%	1	50.0%	8	16.0%	65	25.2%
9 公共施設などで常備してある車いすの数を増やす	18	5.8%	0	0.0%	2	4.0%	16	6.2%
10 車いすの方などが利用しやすい客席・交通機関でのスペースの確保	35	11.3%	0	0.0%	6	12.0%	29	11.2%
11 誰もが利用しやすい多機能トイレの設置	69	22.3%	0	0.0%	6	12.0%	63	24.4%
12 駅やバス停・歩道にベンチを増やす	41	13.2%	0	0.0%	8	16.0%	33	12.8%
13 休憩スペースの確保	61	19.7%	0	0.0%	9	18.0%	52	20.2%
14 わかりやすい表示	27	8.7%	1	50.0%	10	20.0%	16	6.2%
15 その他	12	3.9%	0	0.0%	2	4.0%	10	3.9%
16 特にない	43	13.9%	0	0.0%	7	14.0%	36	14.0%
無回答	34	11.0%	0	0.0%	1	2.0%	33	12.8%
合計	310		2		50		258	

15 その他：主な内訳 車椅子の近くに駐車場を確保（1）移動手段等の法改正（1）歩道を広くしてほしい（1）歩道のバリアフリー化、スロープ式設置を望む（1）ショッピングでの車いすのない所が多い（1）歩道や建物入口などの凍結予防滑り止め処置（1）

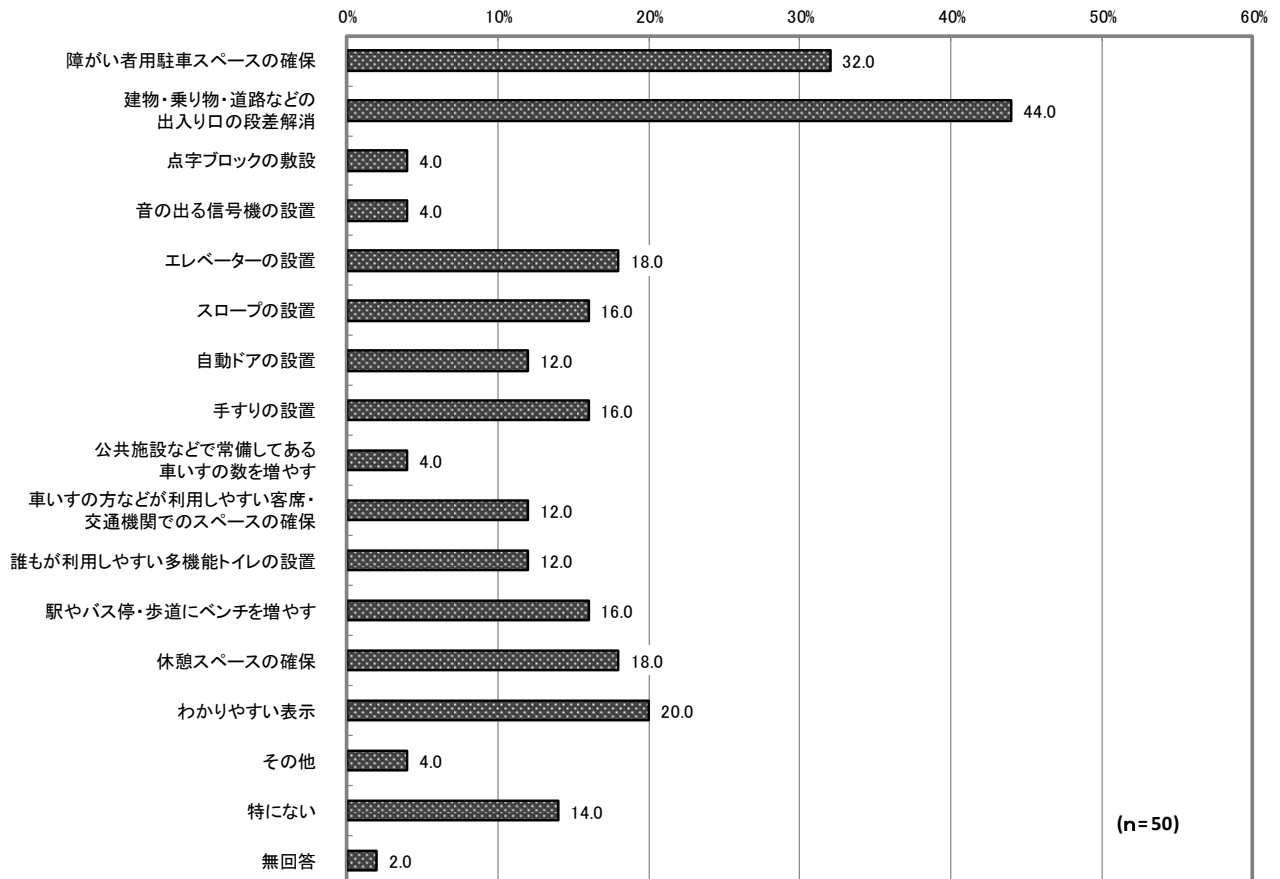


【年代別】

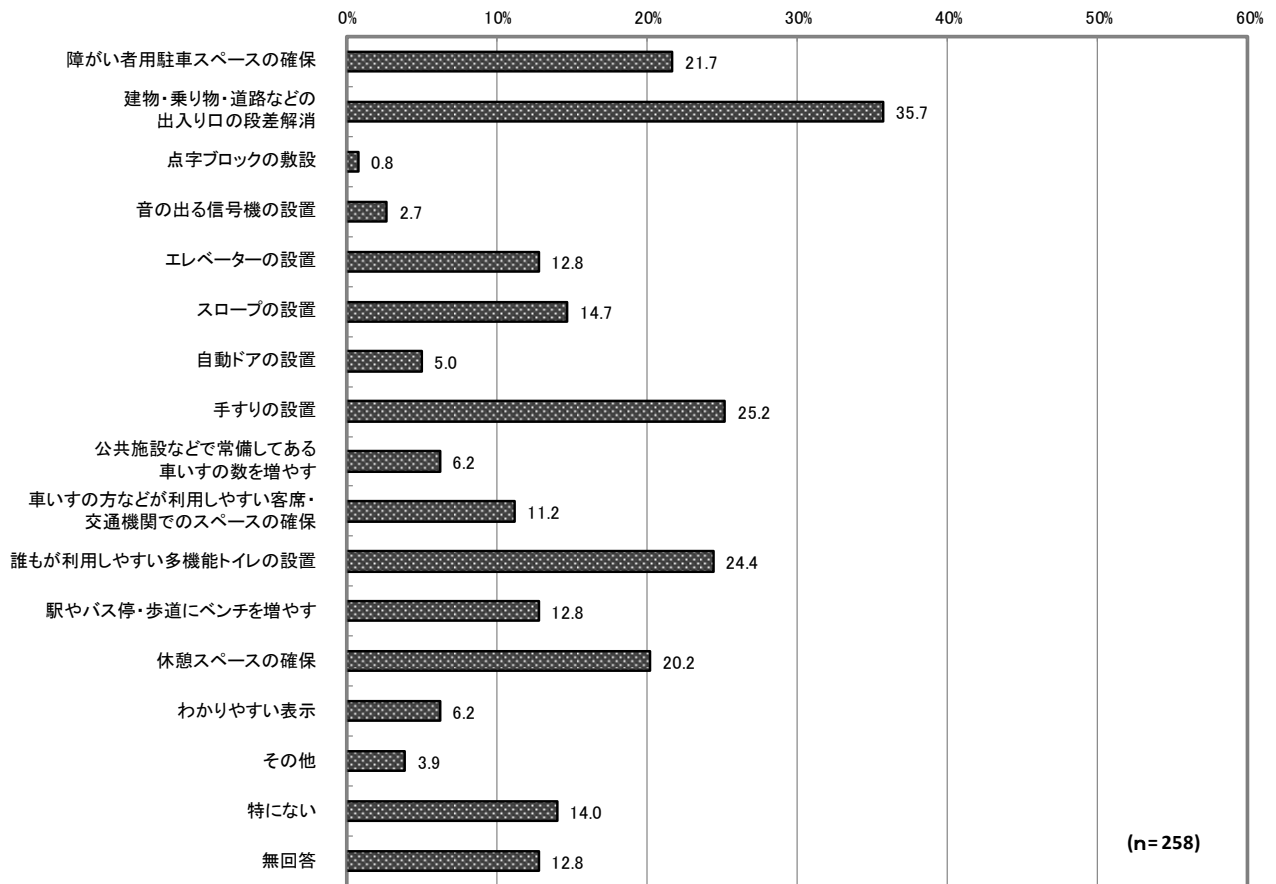
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



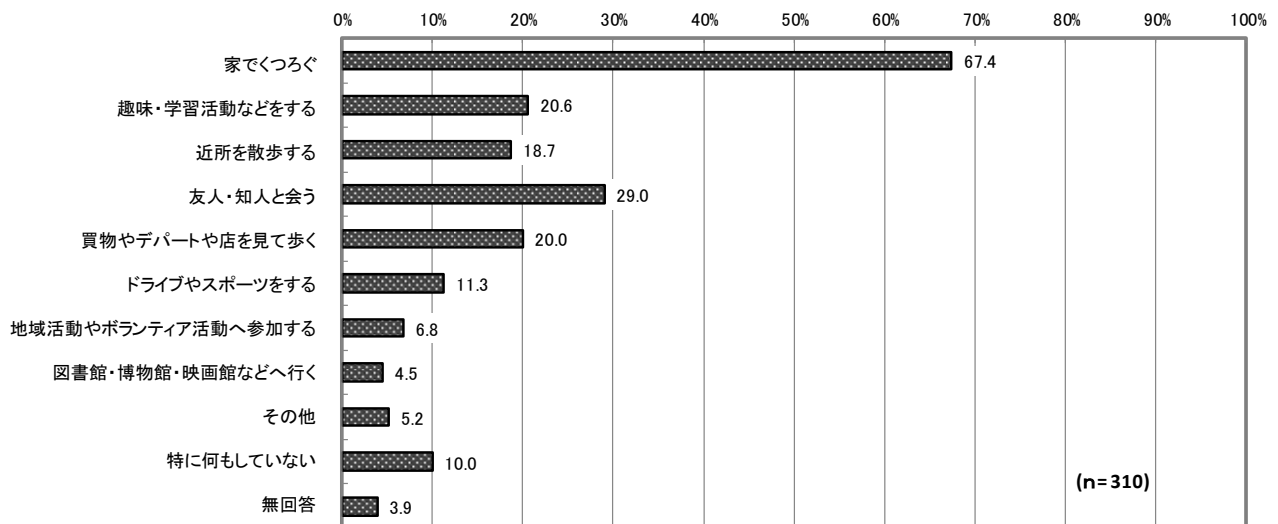
## 【余暇活動】

余暇の過ごし方については、「家でくつろぐ」が 67.4%と最も高く、次いで「友人・知人と会う」が 29.0%、「趣味・学習活動などをする」が 20.6%となっている。余暇に特に何もしていないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「病状が重い」が 45.2%と最も高く、次いで「何をしたらよいかわからない」が 32.3%、「経済的ゆとりがないから」および「付添いや介助者がいないため」が同率 16.1%となった。障がい者の芸術文化活動あるいはスポーツ活動に参加してみたいかは、「興味がない」が 60.6%と約 6 割を占めたが、「参加してみたい」も 18.4%と 2 割弱を占めている。

## 問 30 あなたはどのように余暇などを過ごしていますか。（3つまで○印）（複数回答 n=310）

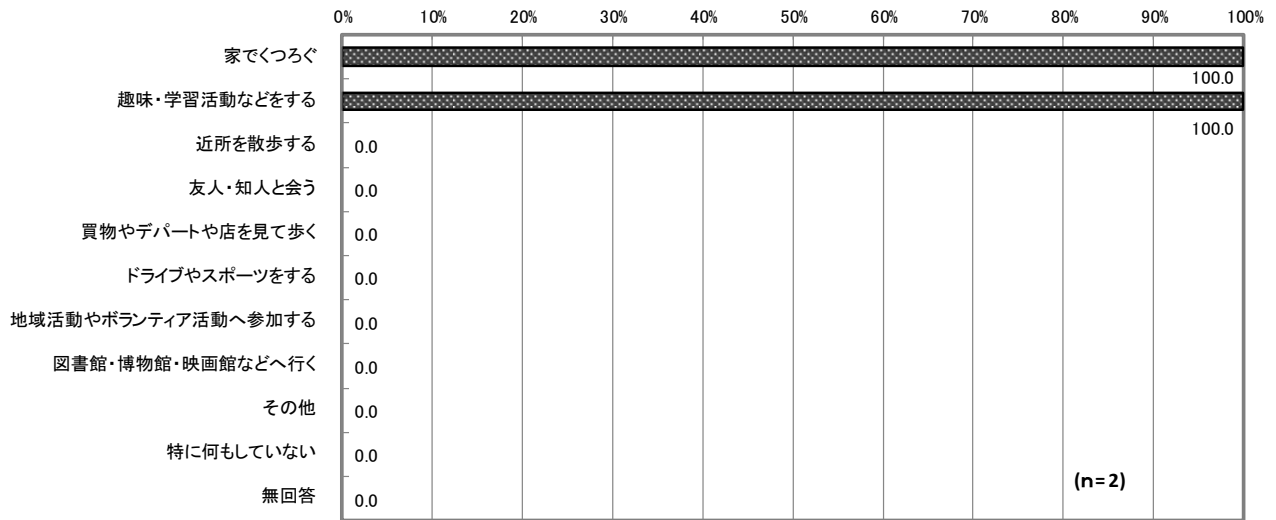
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家でくつろぐ	209	67.4%	2	100.0%	39	78.0%	168	65.1%
2 趣味・学習活動などをする	64	20.6%	2	100.0%	14	28.0%	48	18.6%
3 近所を散歩する	58	18.7%	0	0.0%	6	12.0%	52	20.2%
4 友人・知人と会う	90	29.0%	0	0.0%	13	26.0%	77	29.8%
5 買物やデパートや店を見て歩く	62	20.0%	0	0.0%	19	38.0%	43	16.7%
6 ドライブやスポーツをする	35	11.3%	0	0.0%	9	18.0%	26	10.1%
7 地域活動やボランティア活動へ参加する	21	6.8%	0	0.0%	4	8.0%	17	6.6%
8 図書館・博物館・映画館などへ行く	14	4.5%	0	0.0%	4	8.0%	10	3.9%
9 その他	16	5.2%	0	0.0%	2	4.0%	14	5.4%
10 特に何もしていない	31	10.0%	0	0.0%	1	2.0%	30	11.6%
無回答	12	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	12	4.7%
合計	310		2		50		258	

9 その他：主な内訳 テレビ（2）家庭菜園（2）庭の畑の手入れ（2）テレビゲーム（1）読書会に参加（1）通院、読書（1）新聞や本を読む（1）施設で他入居者と談話（1）施設内での行事に参加（1）映画（1）入院中（1）

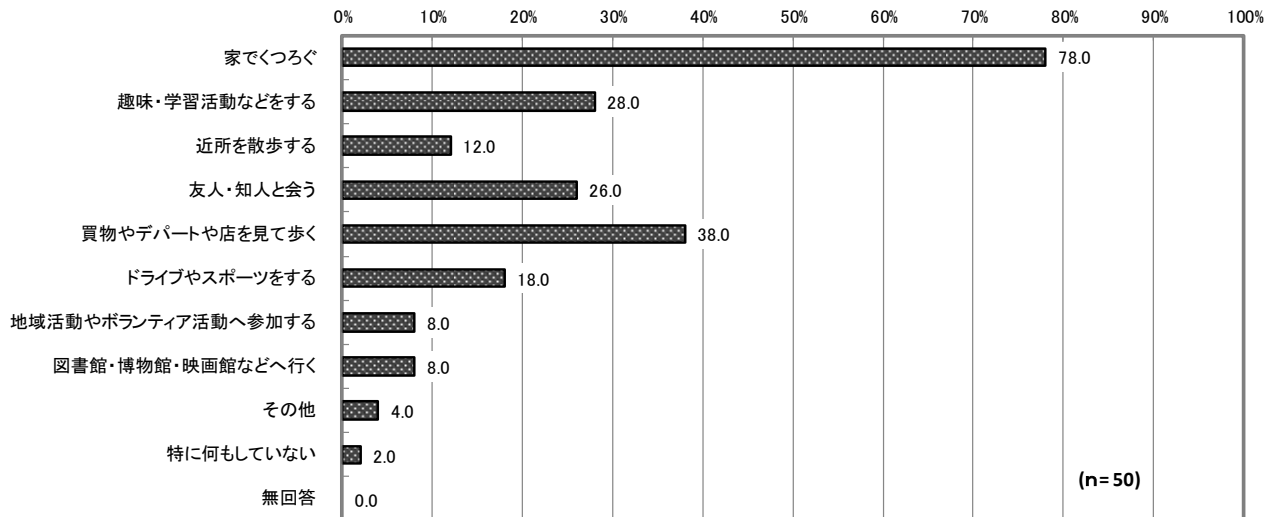


【年代別】

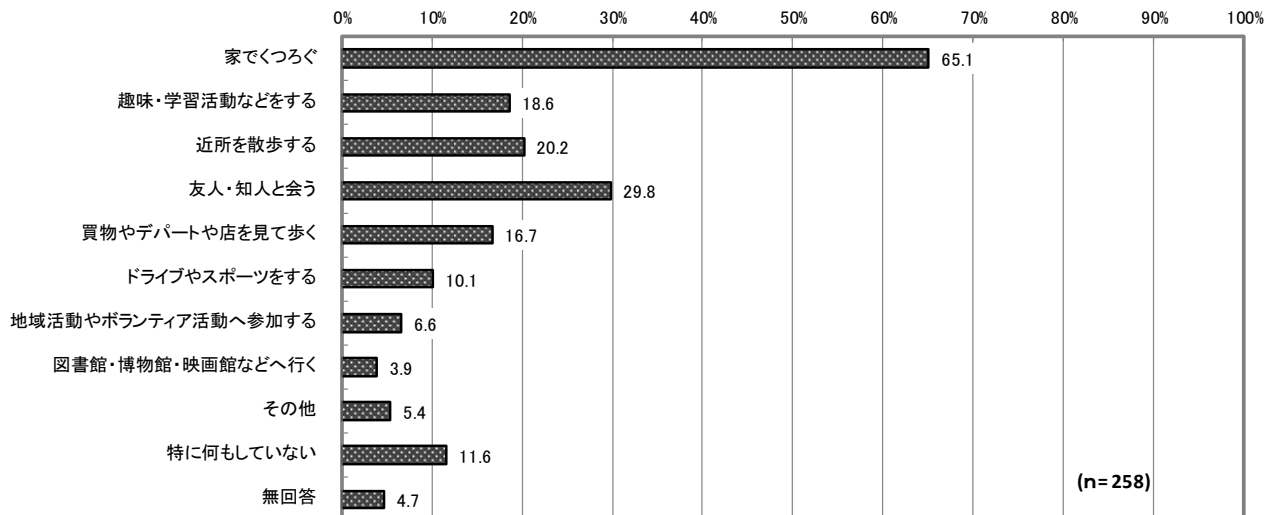
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

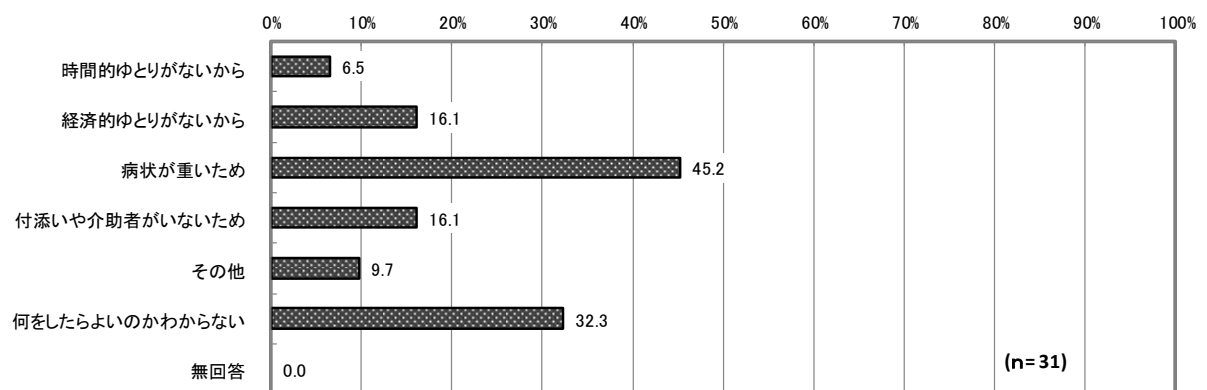


問 31 問 30 で「10」と回答した方におたずねします。あなたが特に何もしていない理由は何ですか。

(複数回答 n=31)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 時間的ゆとりがないから	2	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.7%
2 経済的ゆとりがないから	5	16.1%	0	0.0%	1	100.0%	4	13.3%
3 病状が重い	14	45.2%	0	0.0%	1	100.0%	13	43.3%
4 付添いや介助者がいないため	5	16.1%	0	0.0%	1	100.0%	4	13.3%
5 その他	3	9.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	10.0%
6 何をしたらよいかわからない	10	32.3%	0	0.0%	0	0.0%	10	33.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	31		0		1		30	

5 その他：主な内訳 歩行できない (1) 入院中 (1) 何もしたくない (1)

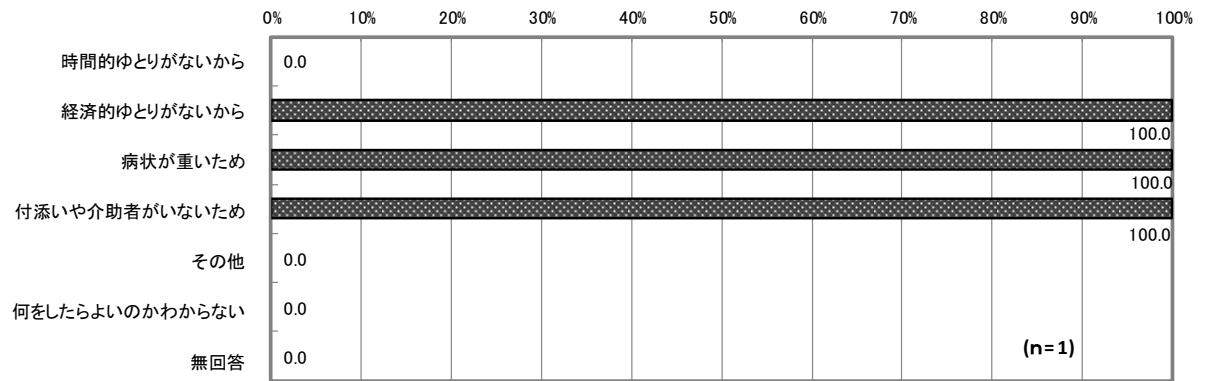


【年代別】

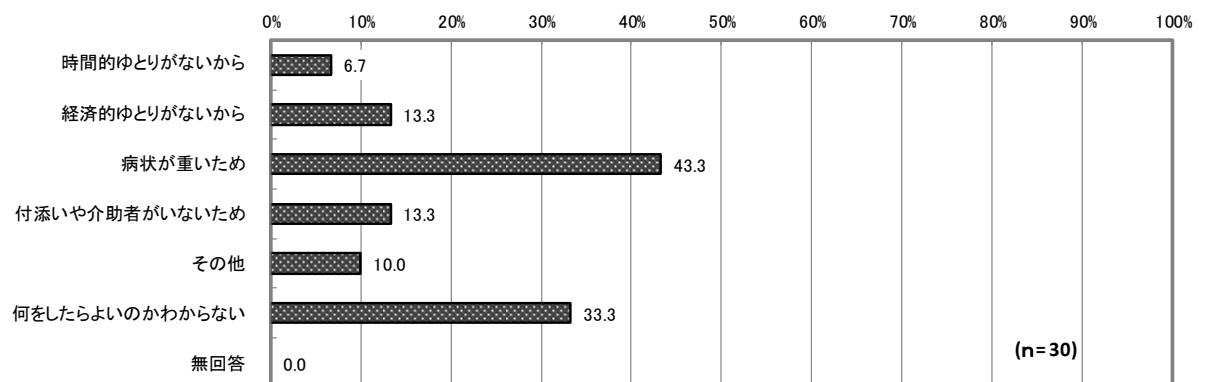
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



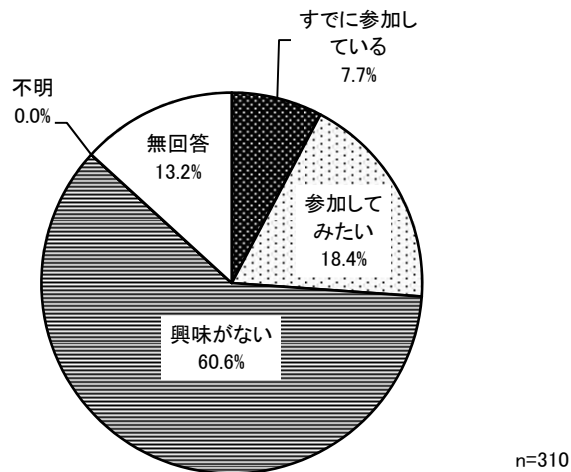
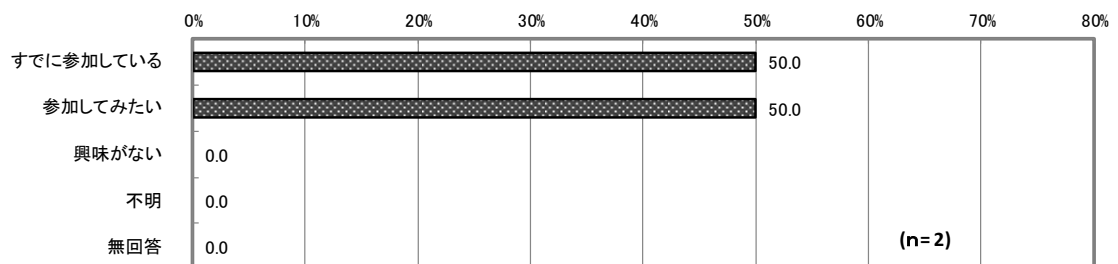
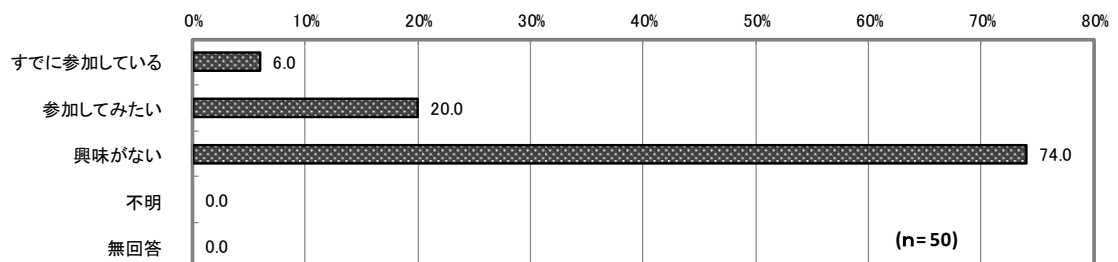
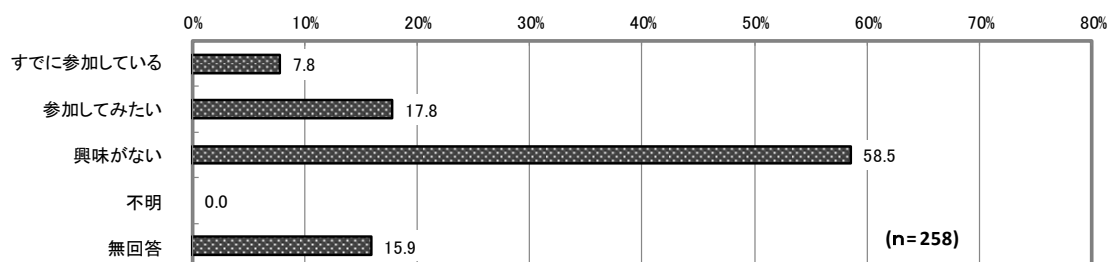
《65 歳以上》





**問 32 障がい者の芸術文化活動あるいはスポーツ活動に参加してみたいですか。（単数回答 n=310）**

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 すでに参加している	24	7.7%	1	50.0%	3	6.0%	20	7.8%
2 参加してみたい	57	18.4%	1	50.0%	10	20.0%	46	17.8%
3 興味がない	188	60.6%	0	0.0%	37	74.0%	151	58.5%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	41	13.2%	0	0.0%	0	0.0%	41	15.9%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%


**【年代別】**
**＜＜18 歳未満＞＞**

**＜＜18～64 歳＞＞**

**＜＜65 歳以上＞＞**


## 【権利擁護】

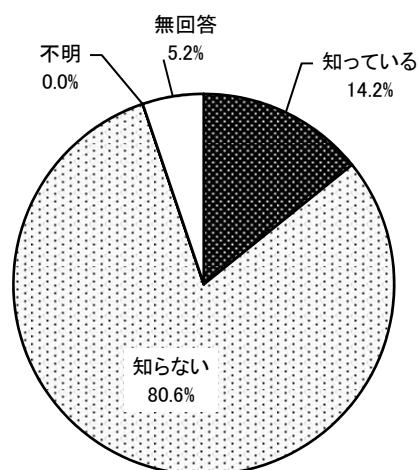
平成 29 年 4 月より施行された「山形市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っているかは、「知らない」が 80.6%と約 8 割を占め、「知っている」の 14.2%を大きく上回っている。

日常生活や地域で、障がい者に対する差別・偏見や疎外感を感じることは、「ない」が 52.3%と半数強を占め、次いで「わからない」が 29.4%、「ある」が 14.2%となった。障がい者に対する差別・偏見があると感じている人に、どのようなところにもっとも強く障がい者に対する差別・偏見または疎外感を感じるかを尋ねたところ、「人の視線」が 43.2%と最も高く、次いで「仕事や収入」が 31.8%、「福祉関係従事者の対応」および「公共交通機関（タクシーを含む）の利用」が同率 22.7%となった。また、差別をされたり、いやな思いをしたときに相談した人は、「家族」が 45.5%と最も高く、次いで「友人・知人」が 34.1%、「相談しなかった」が 20.5%となっている。相談しなかったと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「相談しても解決しないと思った」が 100.0%であった。

差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うものは、「障がいや病気への正しい理解の啓発」が 31.9%と最も高く、次いで「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が 29.4%、「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」が 28.1%となっている。

**問 33 あなたは、平成 29 年 4 月より施行された「山形市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を知っていますか。 （単数回答 n=310）**

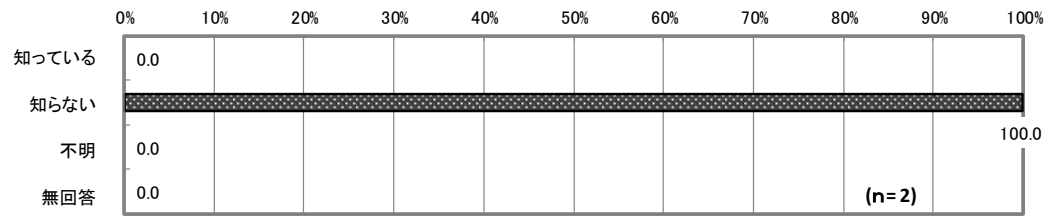
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	44	14.2%	0	0.0%	14	28.0%	30	11.6%
2 知らない	250	80.6%	2	100.0%	36	72.0%	212	82.2%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	16	5.2%	0	0.0%	0	0.0%	16	6.2%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



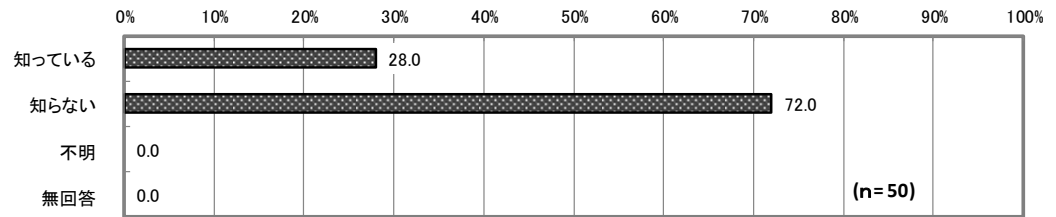
n=310

【年代別】

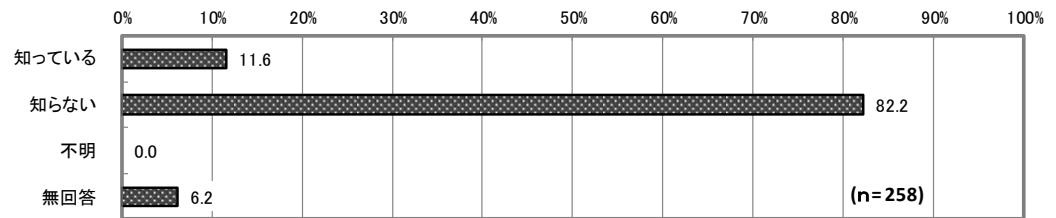
《18 歳未満》



《18～64 歳》

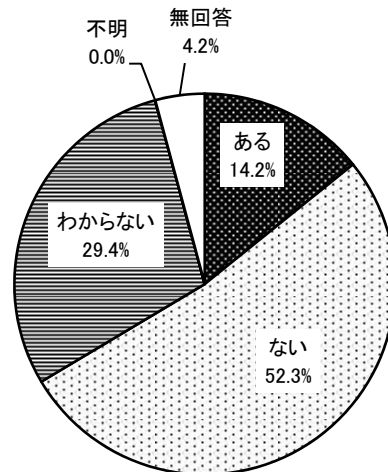


《65 歳以上》



問 34 あなたは、日常生活や地域で、障がい者に対する差別・偏見や疎外感を感じることはありませんか。（単数回答 n=310）

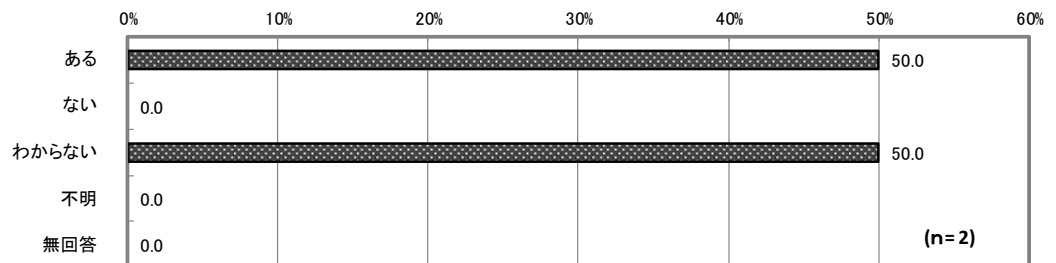
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ある	44	14.2%	1	50.0%	17	34.0%	26	10.1%
2 ない	162	52.3%	0	0.0%	18	36.0%	144	55.8%
3 わからない	91	29.4%	1	50.0%	15	30.0%	75	29.1%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	13	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	13	5.0%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



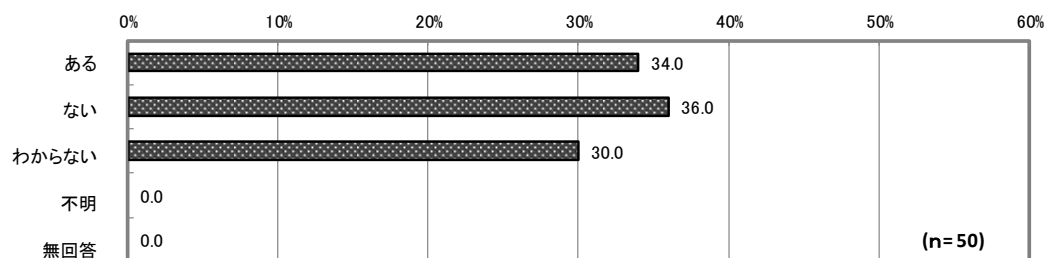
n=310

【年代別】

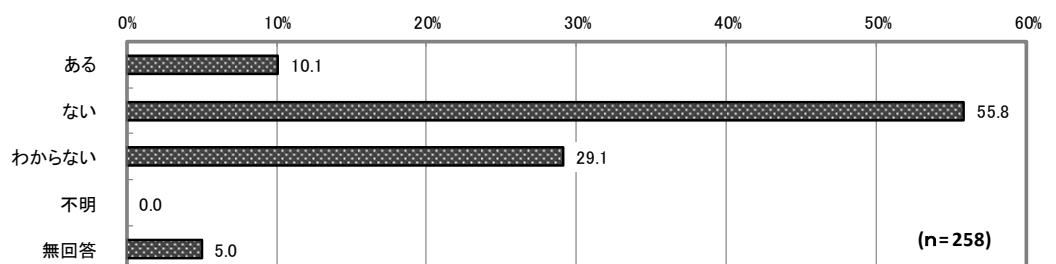
&lt;&lt; 18 歳未満 &gt;&gt;



&lt;&lt; 18～64 歳 &gt;&gt;



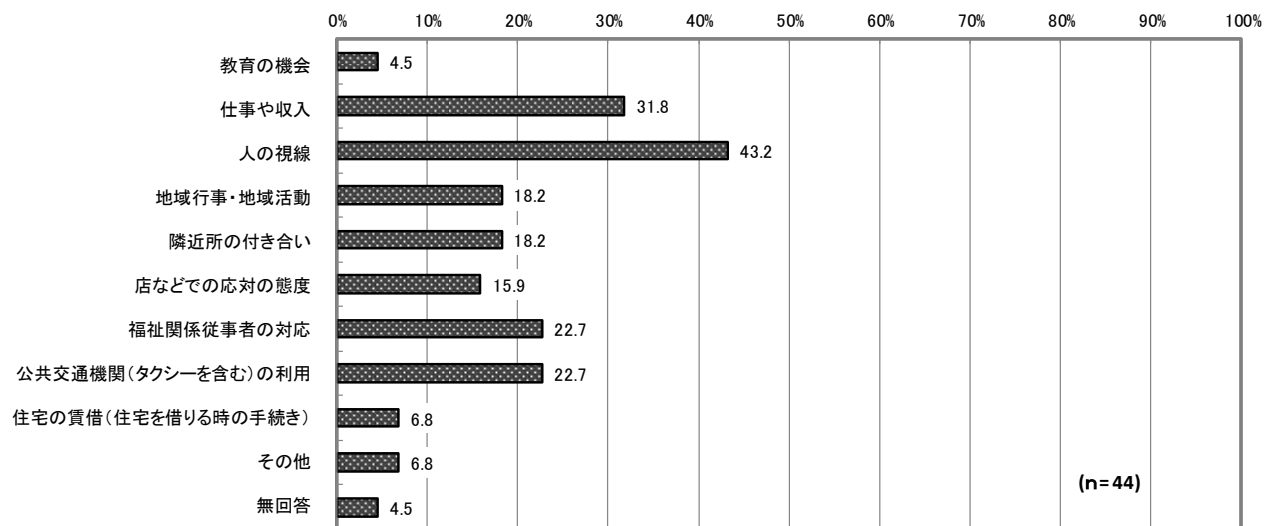
&lt;&lt; 65 歳以上 &gt;&gt;



問 35 問 34 で「1」を回答した方におたずねします。どのようなところに、もっとも強く障がい者に対する差別・偏見または疎外感を感じますか。(3つまで○印) (複数回答 n=44)

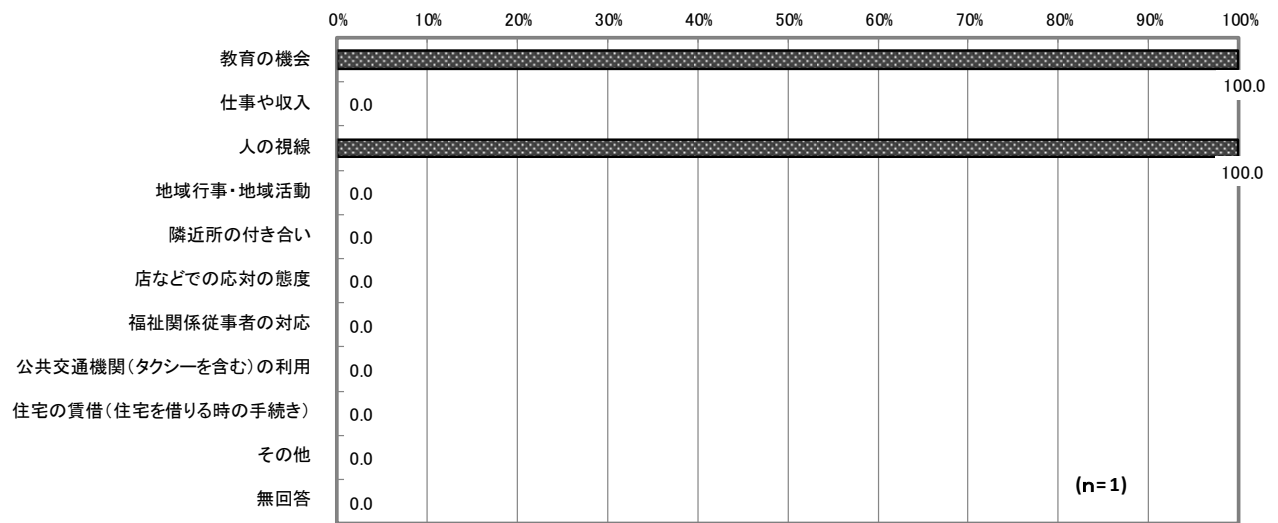
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 教育の機会	2	4.5%	1	100.0%	0	0.0%	1	3.8%
2 仕事や収入	14	31.8%	0	0.0%	8	47.1%	6	23.1%
3 人の視線	19	43.2%	1	100.0%	4	23.5%	14	53.8%
4 地域行事・地域活動	8	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	8	30.8%
5 隣近所の付き合い	8	18.2%	0	0.0%	2	11.8%	6	23.1%
6 店などでの対応の態度	7	15.9%	0	0.0%	2	11.8%	5	19.2%
7 福祉関係従事者の対応	10	22.7%	0	0.0%	4	23.5%	6	23.1%
8 公共交通機関（タクシーを含む）の利用	10	22.7%	0	0.0%	5	29.4%	5	19.2%
9 住宅の賃借（住宅を借りる時の手続き）	3	6.8%	0	0.0%	1	5.9%	2	7.7%
10 その他	3	6.8%	0	0.0%	2	11.8%	1	3.8%
無回答	2	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.7%
合計	44		1		17		26	

10 その他：主な内訳 恋愛や結婚 (1) 福祉制度を含む法律 (1)

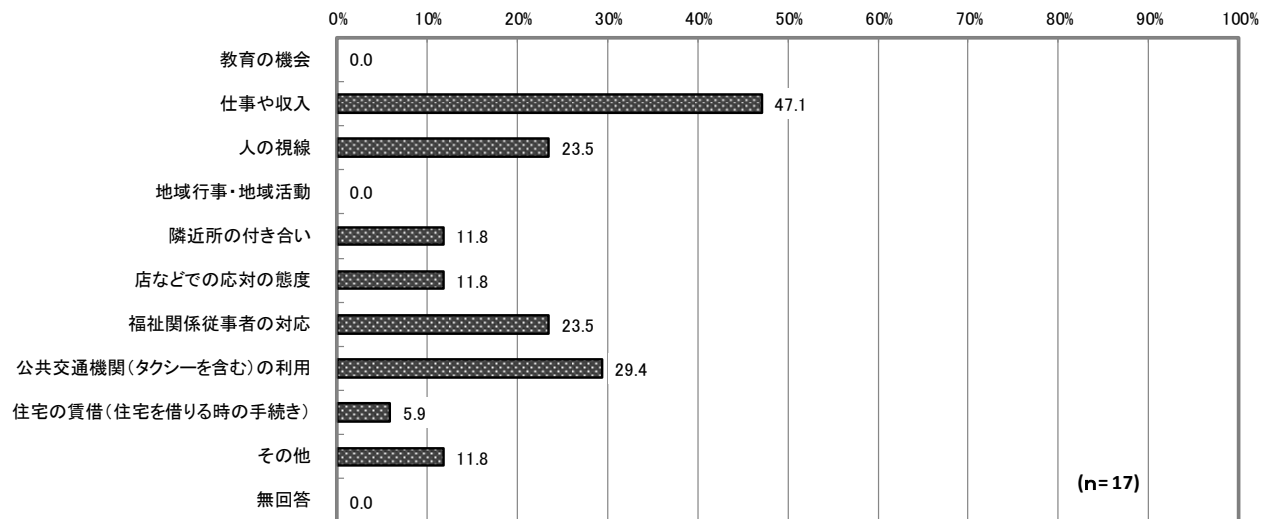


【年代別】

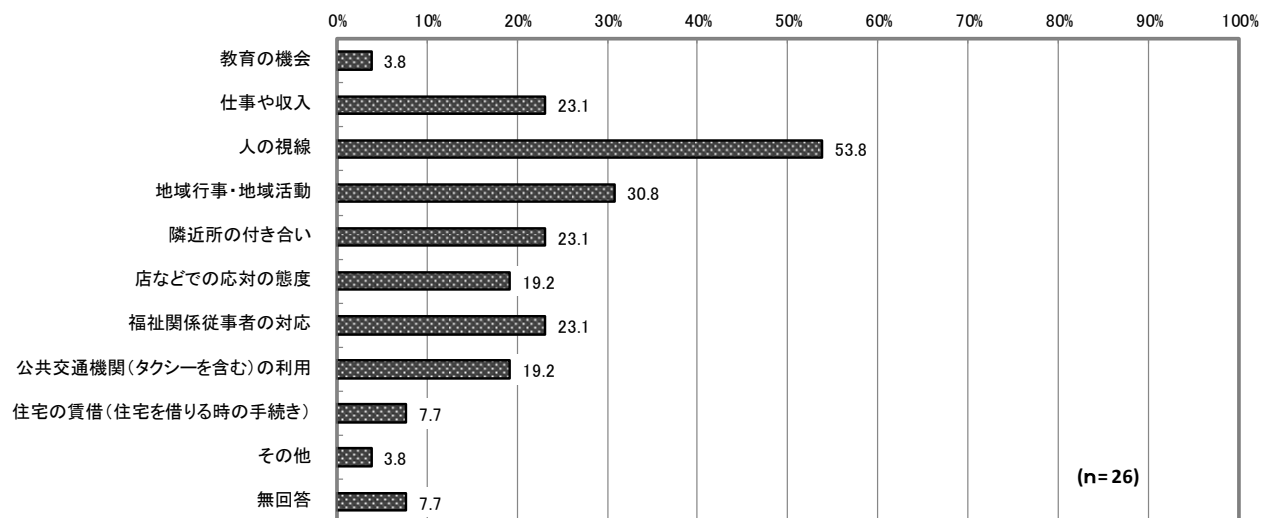
《18 歳未満》



《18～64 歳》



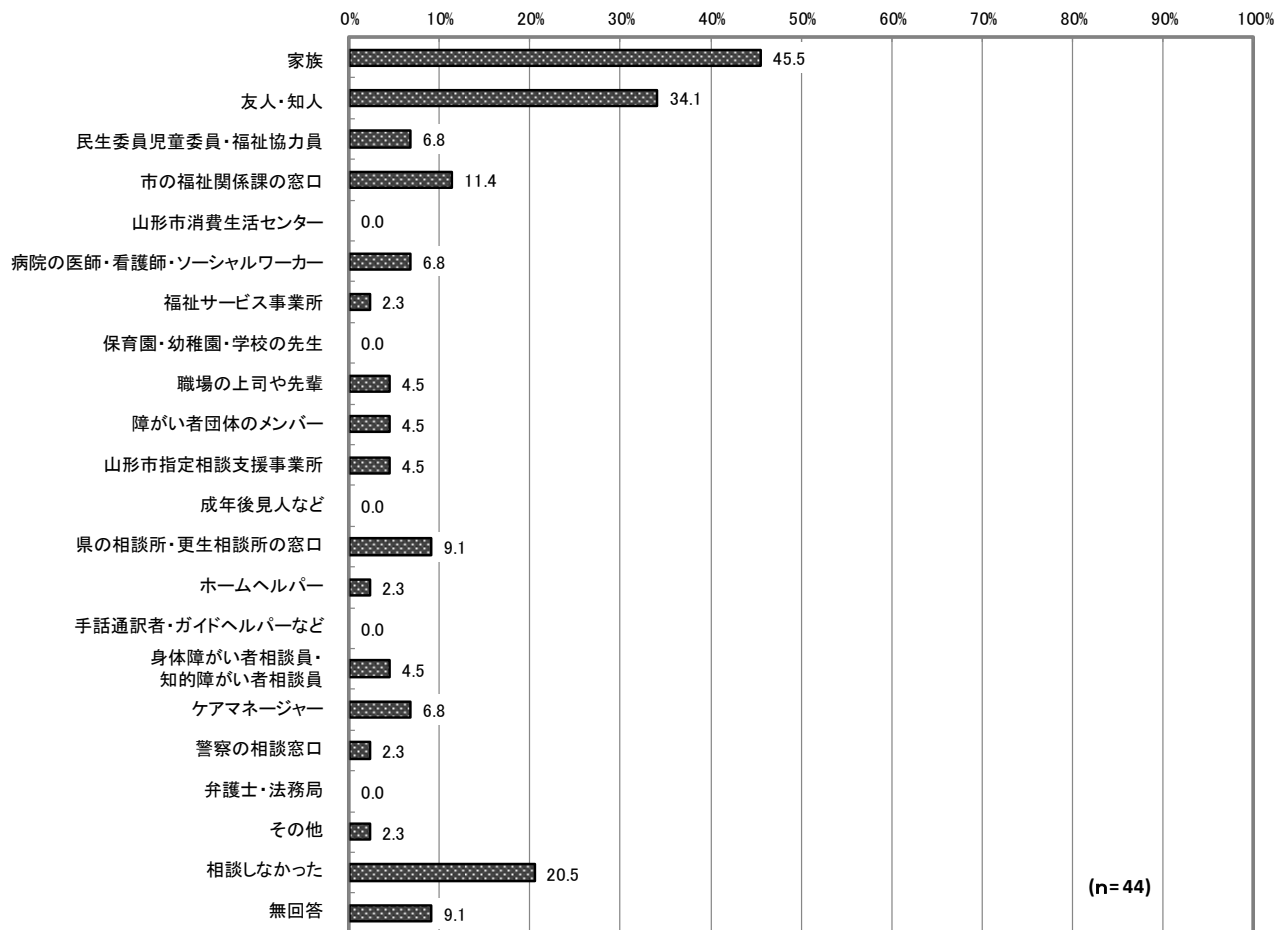
《65 歳以上》



問 36 問 34 で「1」を回答した方におたずねします。差別をされたり、いやな思いをしたときに誰に相談しましたか。 （複数回答 n=44）

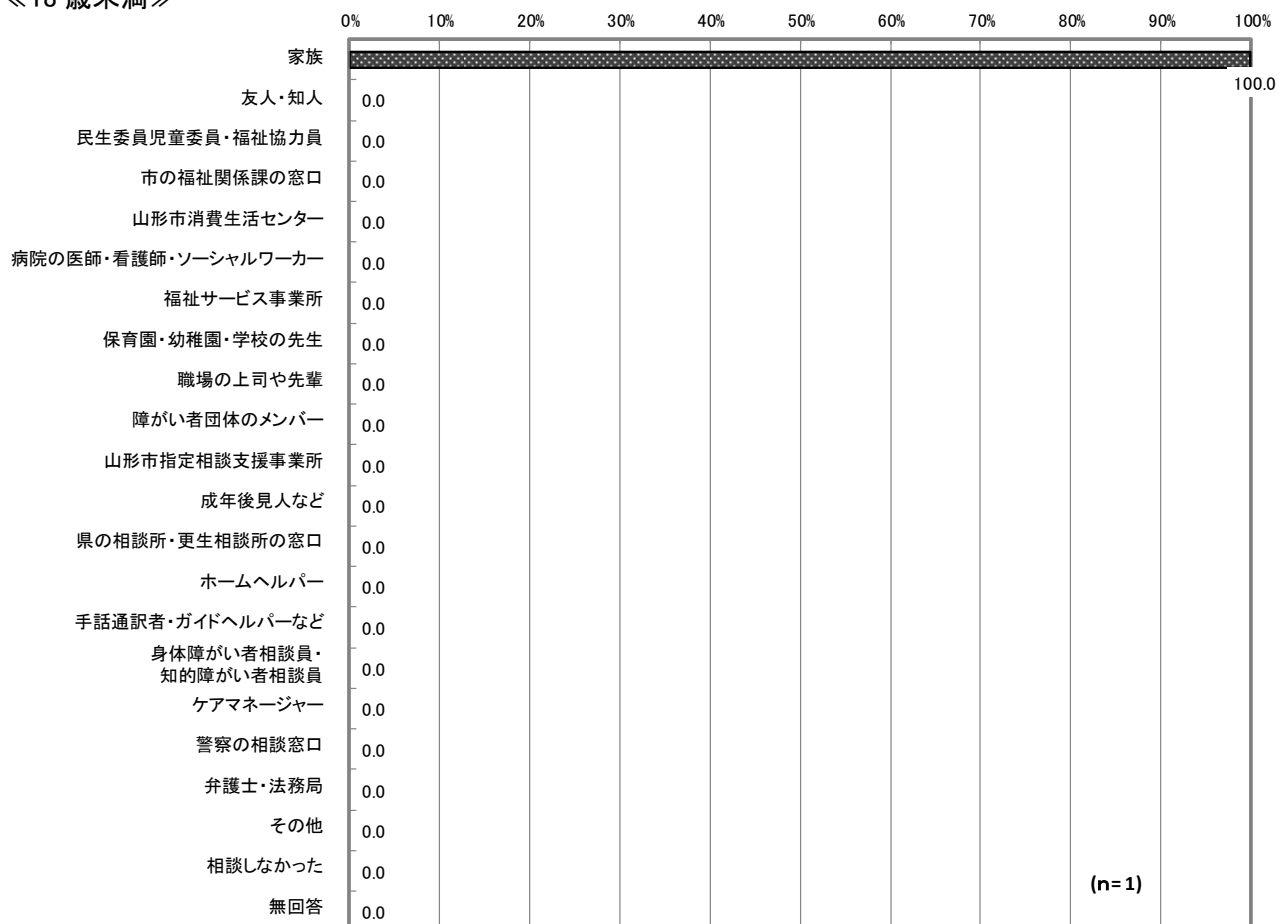
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家族	20	45. 5%	1	100. 0%	8	47. 1%	11	42. 3%
2 友人・知人	15	34. 1%	0	0. 0%	6	35. 3%	9	34. 6%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	3	6. 8%	0	0. 0%	0	0. 0%	3	11. 5%
4 市の福祉関係課の窓口	5	11. 4%	0	0. 0%	4	23. 5%	1	3. 8%
5 山形市消費生活センター	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%
6 病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー	3	6. 8%	0	0. 0%	1	5. 9%	2	7. 7%
7 福祉サービス事業所	1	2. 3%	0	0. 0%	0	0. 0%	1	3. 8%
8 保育園・幼稚園・学校の先生	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%
9 職場の上司や先輩	2	4. 5%	0	0. 0%	2	11. 8%	0	0. 0%
10 障がい者団体のメンバー	2	4. 5%	0	0. 0%	0	0. 0%	2	7. 7%
11 山形市指定相談支援事業所	2	4. 5%	0	0. 0%	1	5. 9%	1	3. 8%
12 成年後見人など	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%
13 県の相談所・更生相談所の窓口	4	9. 1%	0	0. 0%	1	5. 9%	3	11. 5%
14 ホームヘルパー	1	2. 3%	0	0. 0%	1	5. 9%	0	0. 0%
15 手話通訳者・ガイドヘルパーなど	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%
16 身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	2	4. 5%	0	0. 0%	1	5. 9%	1	3. 8%
17 ケアマネージャー	3	6. 8%	0	0. 0%	0	0. 0%	3	11. 5%
18 警察の相談窓口	1	2. 3%	0	0. 0%	0	0. 0%	1	3. 8%
19 弁護士・法務局	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%	0	0. 0%
20 その他	1	2. 3%	0	0. 0%	0	0. 0%	1	3. 8%
21 相談しなかった	9	20. 5%	0	0. 0%	6	35. 3%	3	11. 5%
無回答	4	9. 1%	0	0. 0%	1	5. 9%	3	11. 5%
合計	44		1		17		26	

# 山形市障がい福祉アンケート 「身体障がい」 調査結果



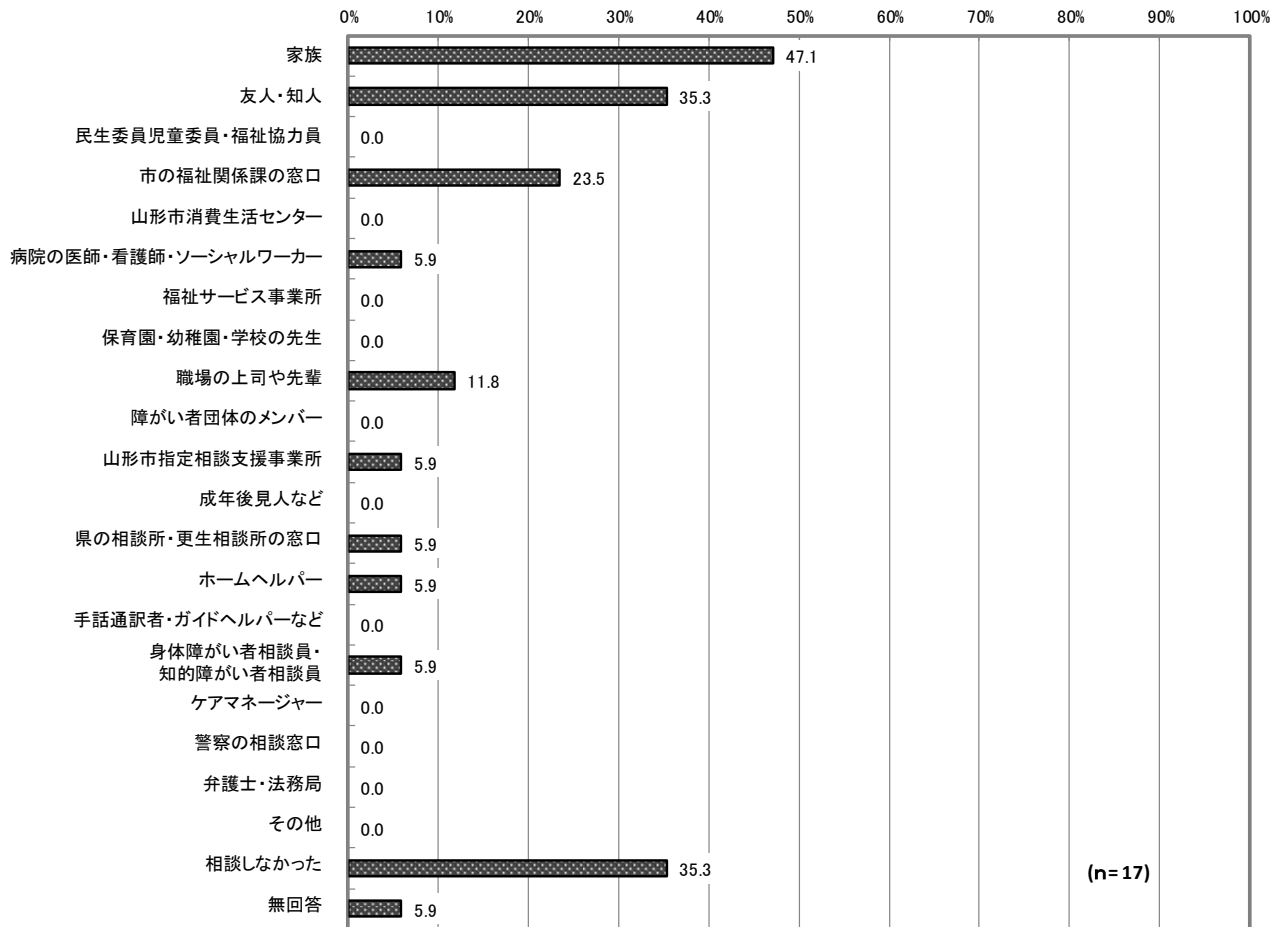
## 【年代別】

### ≪18歳未満≫

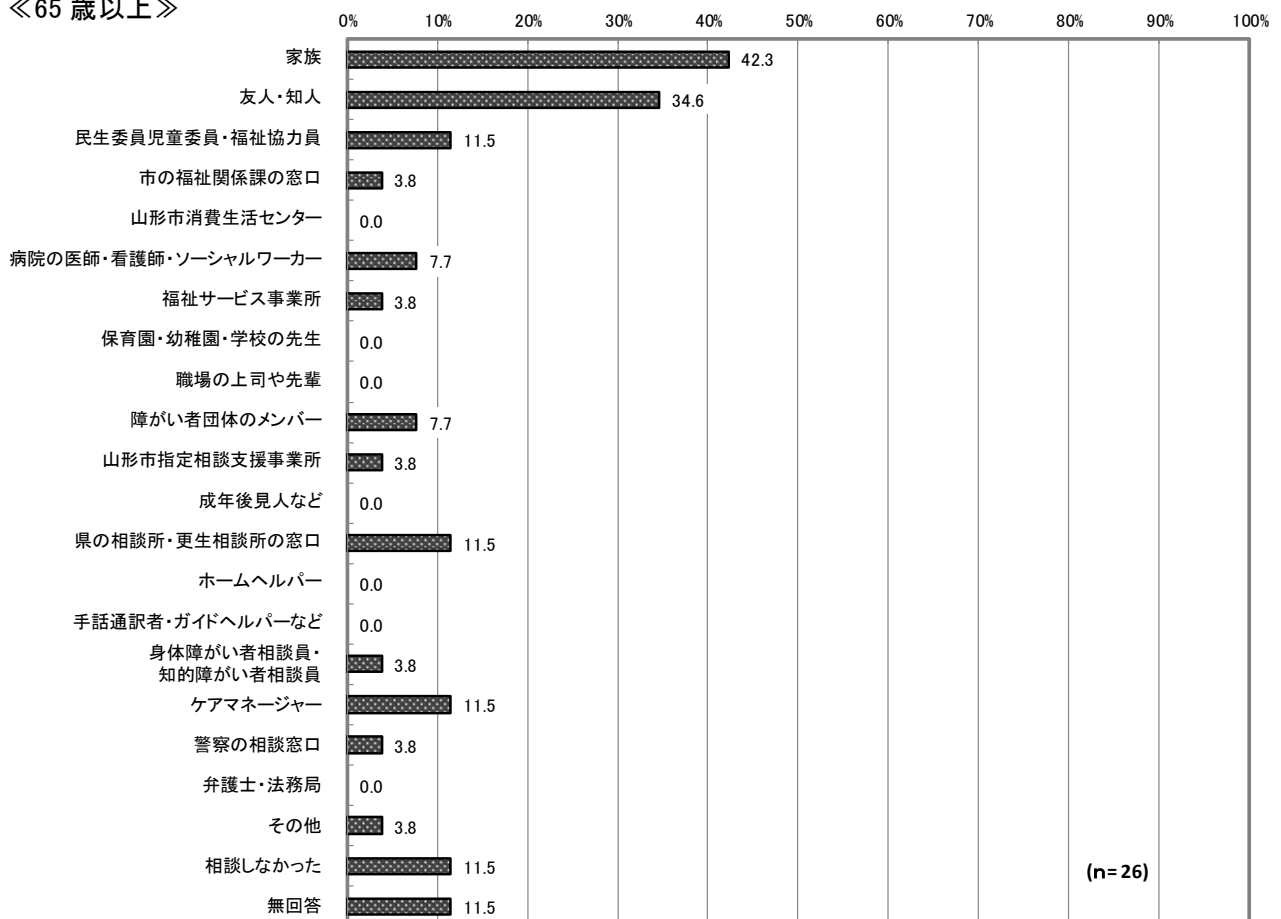




《18～64 歳》



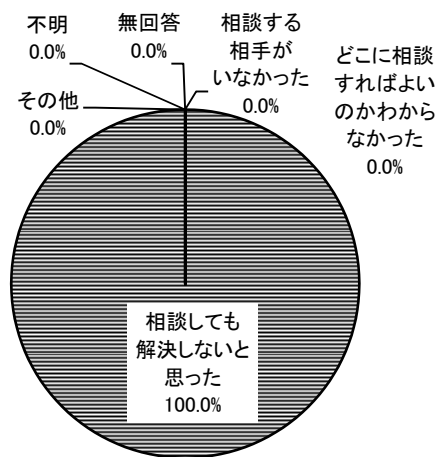
《65 歳以上》



問 37 問 36 で「21」を回答した方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。

(単数回答 n=9)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 相談する相手がいなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 どこに相談すればよいのかわからなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 相談しても解決しないと思った	9	100.0%	0	0.0%	6	100.0%	3	100.0%
4 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	9	100.0%	0	0.0%	6	100.0%	3	100.0%



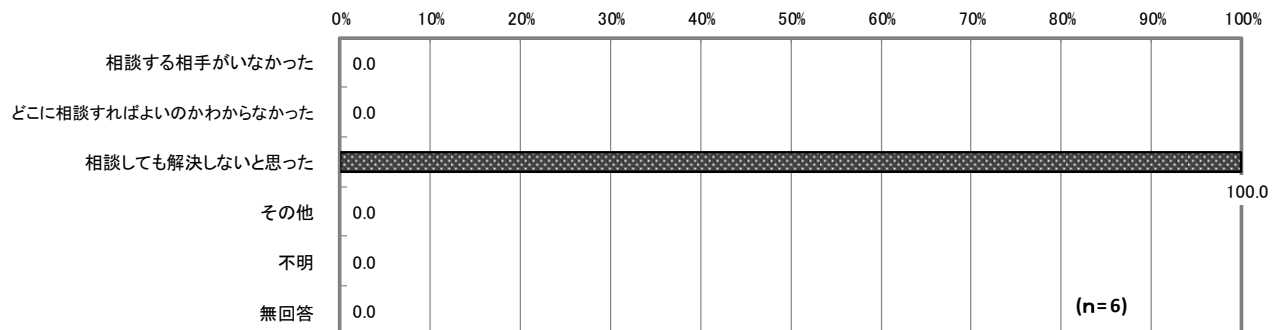
n=9

【年代別】

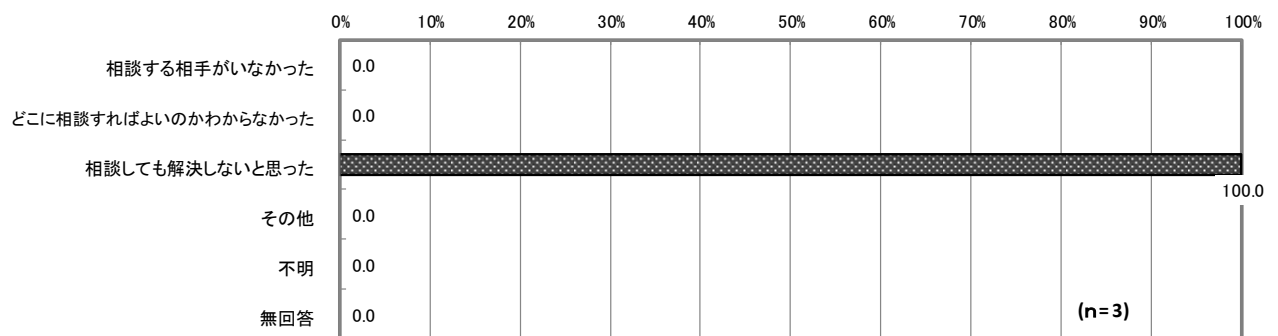
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



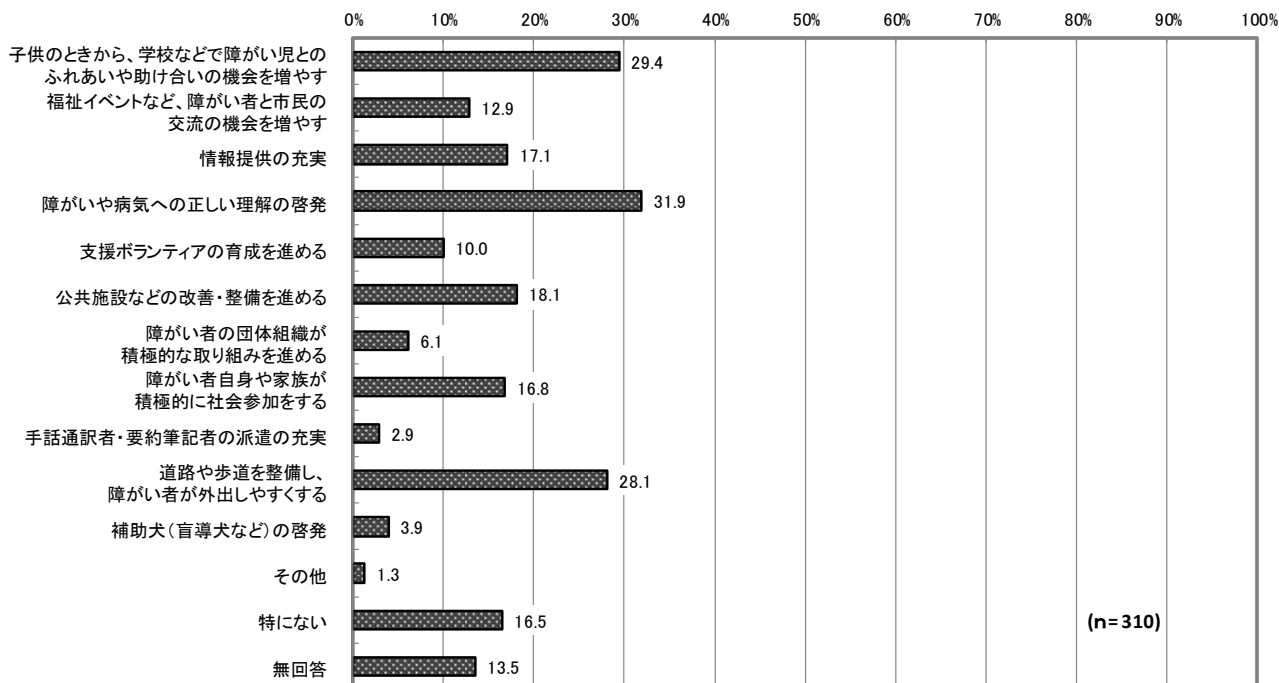
《65 歳以上》



問 38 あなたにとって差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うものは何ですか。（3つまで○印）（複数回答 n=310）

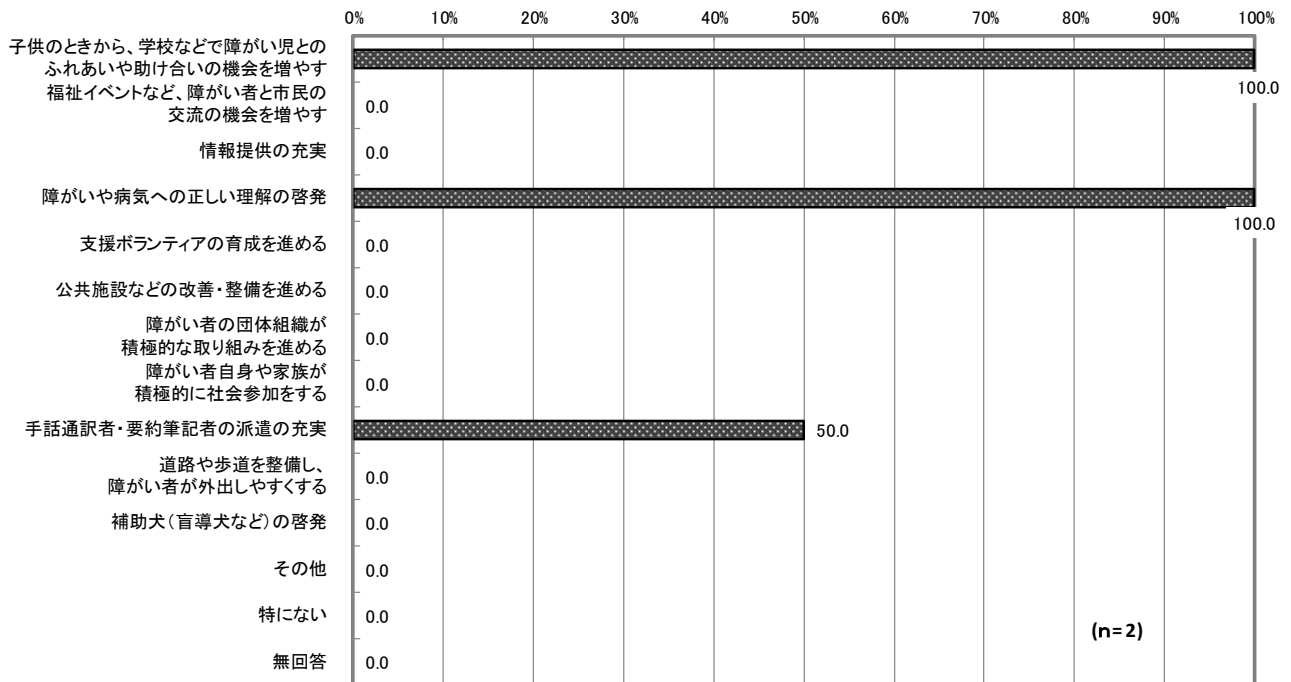
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす	91	29.4%	2	100.0%	14	28.0%	75	29.1%
2 福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす	40	12.9%	0	0.0%	8	16.0%	32	12.4%
3 情報提供の充実	53	17.1%	0	0.0%	8	16.0%	45	17.4%
4 障がいや病気への正しい理解の啓発	99	31.9%	2	100.0%	24	48.0%	73	28.3%
5 支援ボランティアの育成を進める	31	10.0%	0	0.0%	4	8.0%	27	10.5%
6 公共施設などの改善・整備を進める	56	18.1%	0	0.0%	11	22.0%	45	17.4%
7 障がい者の団体組織が積極的な取り組みを進める	19	6.1%	0	0.0%	2	4.0%	17	6.6%
8 障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする	52	16.8%	0	0.0%	10	20.0%	42	16.3%
9 手話通訳者・要約筆記者の派遣の充実	9	2.9%	1	50.0%	1	2.0%	7	2.7%
10 道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする	87	28.1%	0	0.0%	12	24.0%	75	29.1%
11 補助犬（盲導犬など）の啓発	12	3.9%	0	0.0%	6	12.0%	6	2.3%
12 その他	4	1.3%	0	0.0%	1	2.0%	3	1.2%
13 特にない	51	16.5%	0	0.0%	7	14.0%	44	17.1%
無回答	42	13.5%	0	0.0%	4	8.0%	38	14.7%
合計	310		2		50		258	

12 その他：主な内訳 市役所等から送付される障がい者手続き等の書類が、とてもわかりにくい。説明をもっとわかりやすくしてほしい。細かすぎる（1）法改正、差別偏見疎外はなくなるらないと思う（1）市、県職員の本気がない（1）わからない（1）

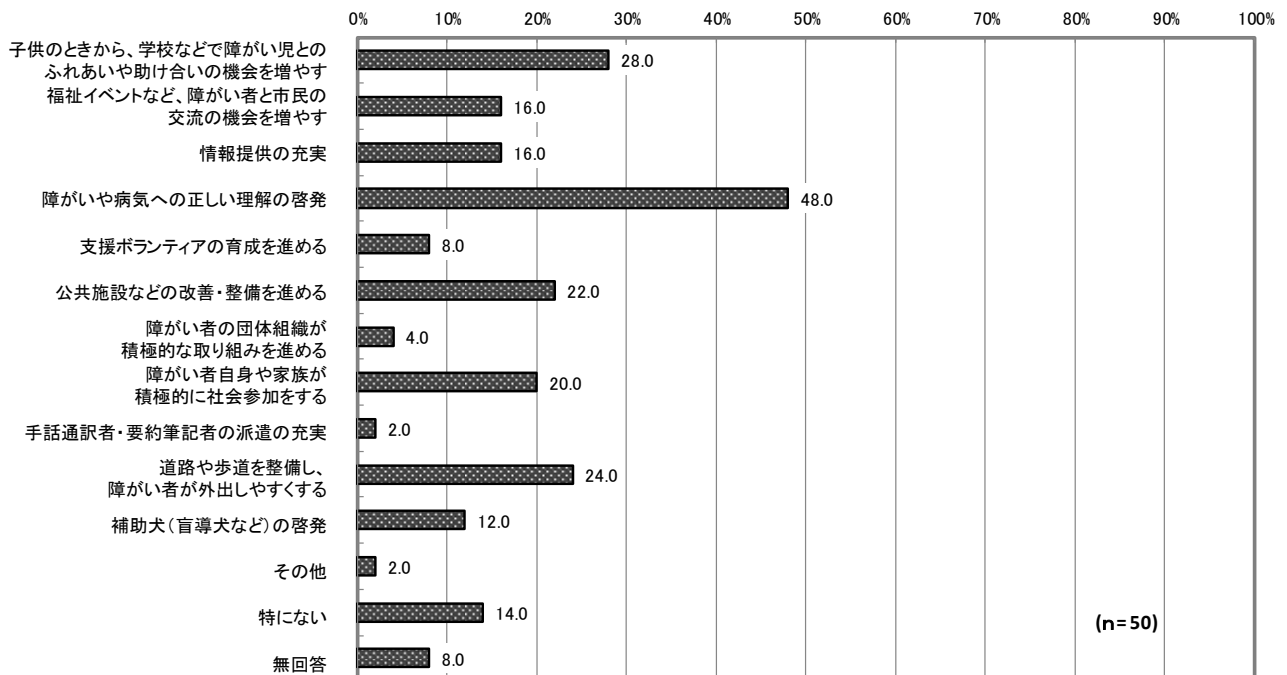


【年代別】

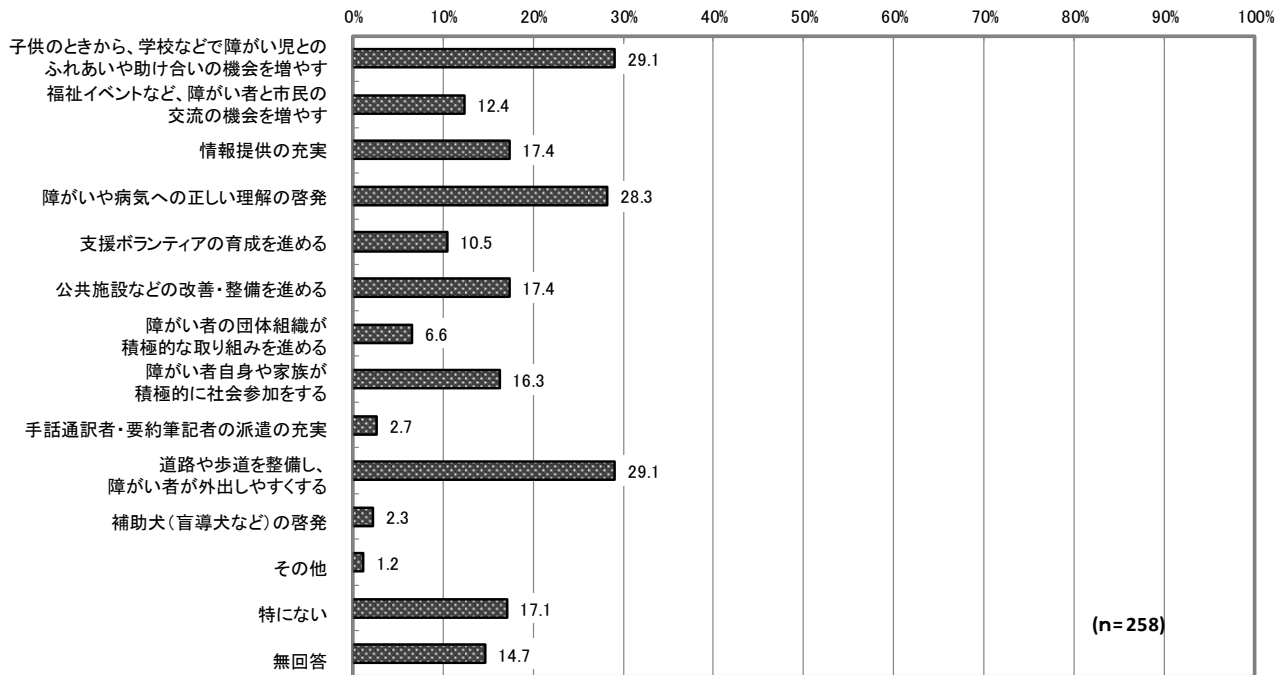
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》



**【相談・情報】**

福祉サービスの利用について相談する相手は、「家族」が 54.5%と半数強を占めて最も高く、次いで「市の福祉関係課の窓口」が 28.7%、「ケアマネージャー」が 26.5%となっている。相談機能を充実させるために必要だと思うことは、「身近な場所で相談できること」が 38.4%と最も高く、次いで「適切なアドバイスができる人材」が 34.2%、「一か所で用事が済む相談窓口を設置する」が 31.9%と、いずれも 3 割以上を占めた。福祉サービスの内容について、どのようなもので知ることが多いかは、「市の広報・資料」が 65.2%と 6 割半ばを占めて最も高く、次いで「医療機関」が 16.5%、「家族や仲間の話」が 13.5%となった。

今後（将来）どのように生活したいかは、「自宅で家族と暮らしたい」が 55.8%と半数強を占めて最も高く、次いで「特に考えていない・まだよくわからない」が 17.7%、「施設に入所したい（または現在の施設に入所し続けたい）」が 10.3%となっている。今後（将来）、「自立して暮らしたい（家族と別居）」または「世話人の援助を受けながら、地域で仲間と生活したい（グループホームなど）」と回答した人に、独立にあたり不安なことを尋ねたところ、「ホームヘルパーなど在宅福祉サービスの確保」が 57.9%、「収入の安定」が 52.6%とともに半数強を占め、次いで「障がいの状態に合った住宅の確保」が 31.6%と続いた。また、今後（将来）、「世話人の援助を受けながら、地域で仲間と生活したい（グループホームなど）」または「施設に入所したい（または現在の施設に入所し続けたい）」と回答した人に、グループホームなどへの入居または施設への入所はいつ頃までにしたいと考えているかを尋ねたところ、「今すぐ」および「その他」が同率 22.2%と最も高かった。なお、「その他」の内訳は「現在入所中」との回答が多かった。

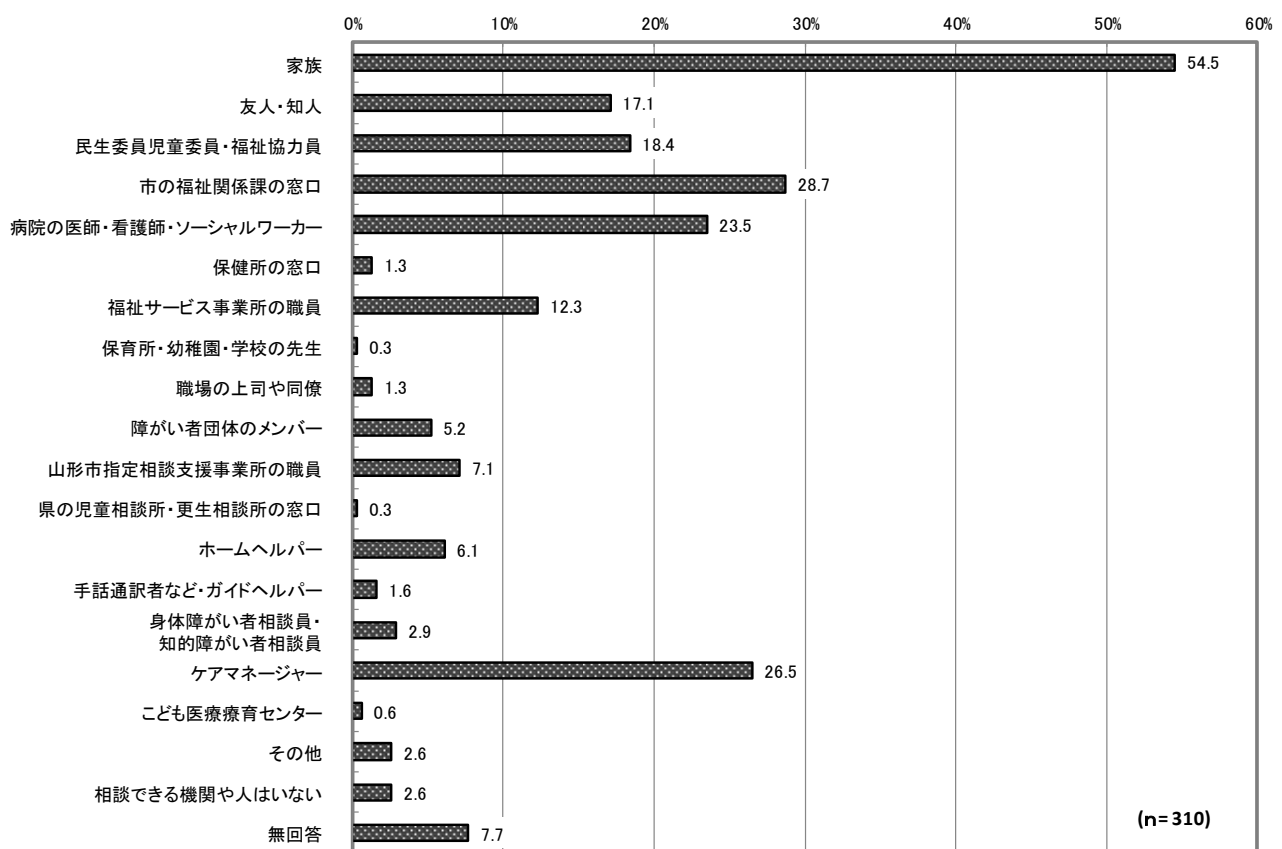
悪質商法などの被害にあった経験については、「ない」が 86.5%と 8 割半ばを占め、「ある」は 7.4%と 1 割弱となった。悪質商法などの被害にあったことがある人に相談した相手を探ねたところ、「相談しなかった」が 39.1%と約 4 割を占めたが、具体的な回答の中では「家族」が 30.4%と最も高く、次いで「山形市消費生活センター」が 21.7%となった。相談しなかったと回答した人にその理由を探ねたところ、「相談しても解決しないと思った」が 44.4%と 4 割半ばを占めた。

今後の生活に対しての不安については、「身体のこと（医療や健康）」が 72.3%と 7 割強を占めて最も高く、次いで「生活費（経済的負担）」が 35.8%、「介助者が介助できなくなった場合の対応」が 31.3%となっている。今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思うかは、「在宅生活において、介助がいつでも受けられる」が 41.3%と最も高く、次いで「経済面での支援が受けられる」が 25.8%、「入所施設の整備」が 22.9%となった。

**問 39 あなたが福祉サービスの利用について相談する相手を教えてください。（複数回答 n=310）**

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家族	169	54.5%	1	50.0%	24	48.0%	144	55.8%
2 友人・知人	53	17.1%	1	50.0%	10	20.0%	42	16.3%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	57	18.4%	0	0.0%	1	2.0%	56	21.7%
4 市の福祉関係課の窓口	89	28.7%	1	50.0%	18	36.0%	70	27.1%
5 病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー	73	23.5%	1	50.0%	10	20.0%	62	24.0%
6 保健所の窓口	4	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.6%
7 福祉サービス事業所の職員	38	12.3%	0	0.0%	3	6.0%	35	13.6%
8 保育所・幼稚園・学校の先生	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
9 職場の上司や同僚	4	1.3%	0	0.0%	2	4.0%	2	0.8%
10 障がい者団体のメンバー	16	5.2%	0	0.0%	5	10.0%	11	4.3%
11 山形市指定相談支援事業所の職員	22	7.1%	0	0.0%	3	6.0%	19	7.4%
12 県の児童相談所・更生相談所の窓口	1	0.3%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%
13 ホームヘルパー	19	6.1%	0	0.0%	3	6.0%	16	6.2%
14 手話通訳者など・ガイドヘルパー	5	1.6%	0	0.0%	2	4.0%	3	1.2%
15 身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	9	2.9%	0	0.0%	3	6.0%	6	2.3%
16 ケアマネージャー	82	26.5%	0	0.0%	6	12.0%	76	29.5%
17 こども医療療育センター	2	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
18 その他	8	2.6%	0	0.0%	5	10.0%	3	1.2%
19 相談できる機関や人はいない	8	2.6%	0	0.0%	2	4.0%	6	2.3%
無回答	24	7.7%	0	0.0%	1	2.0%	23	8.9%
合計	310		2		50		258	

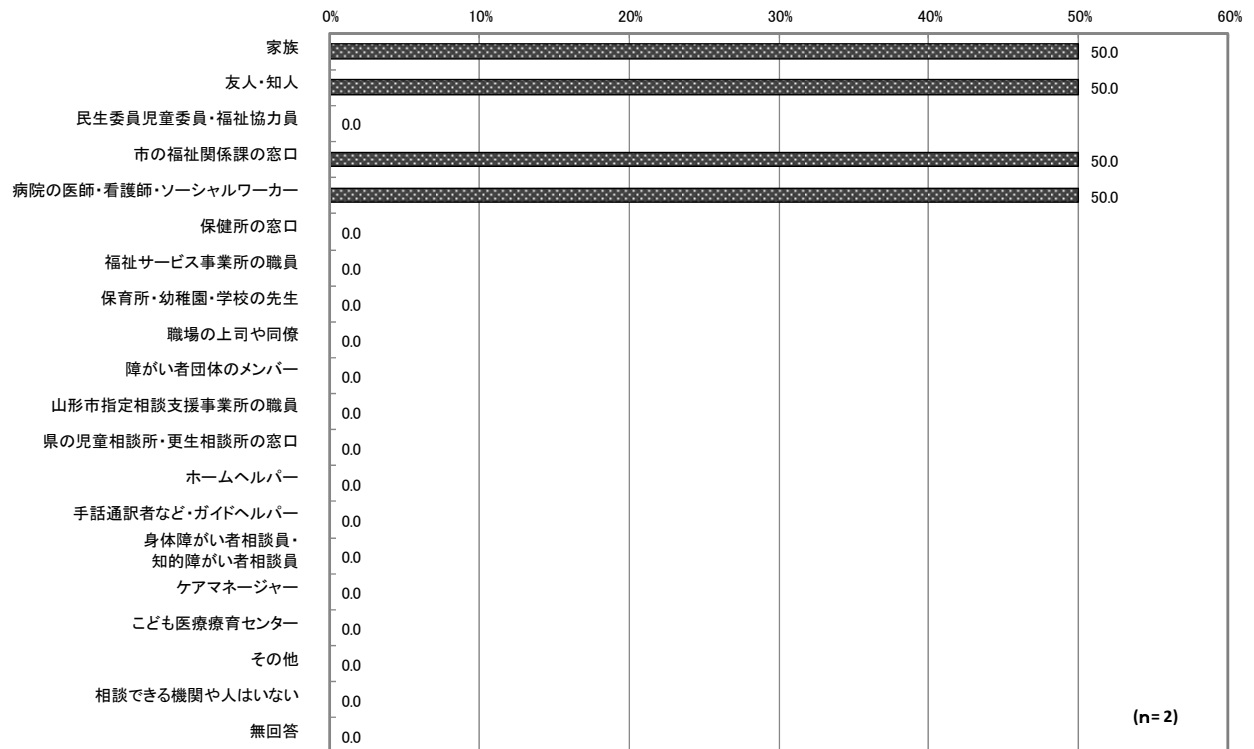
18 その他：主な内訳 まだ利用していない（1）自分でやっている（1）今のところ福祉サービスを利用する予定がありません（1）



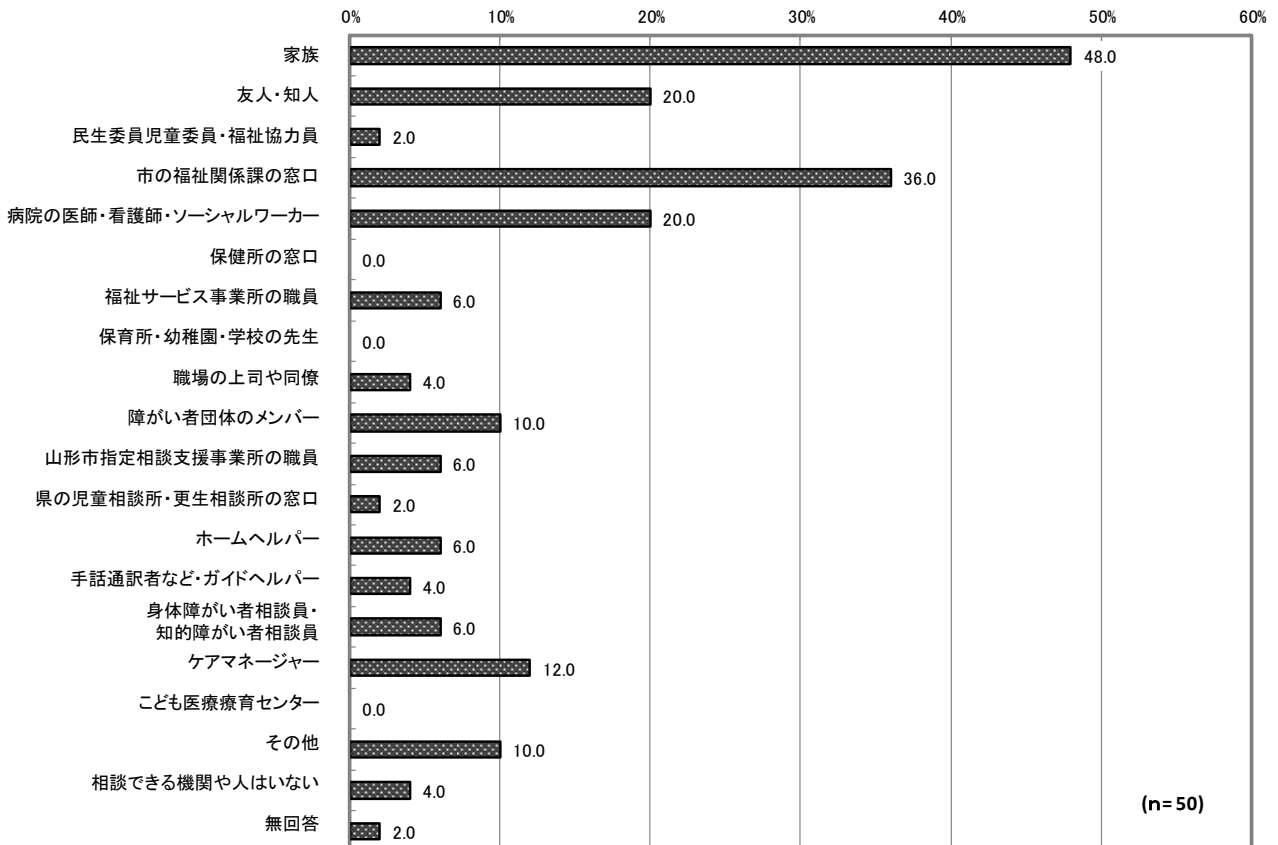


【年代別】

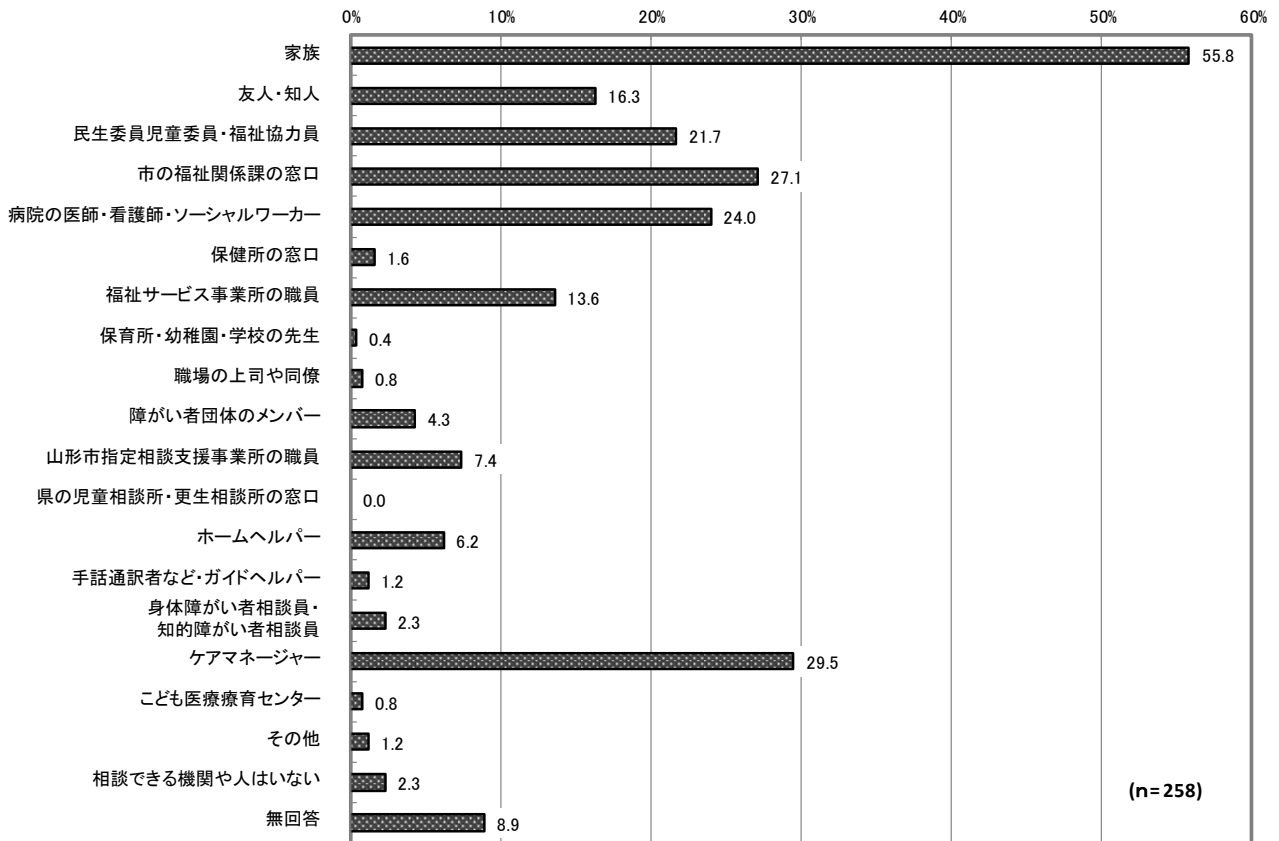
《18 歳未満》



《18～64 歳》



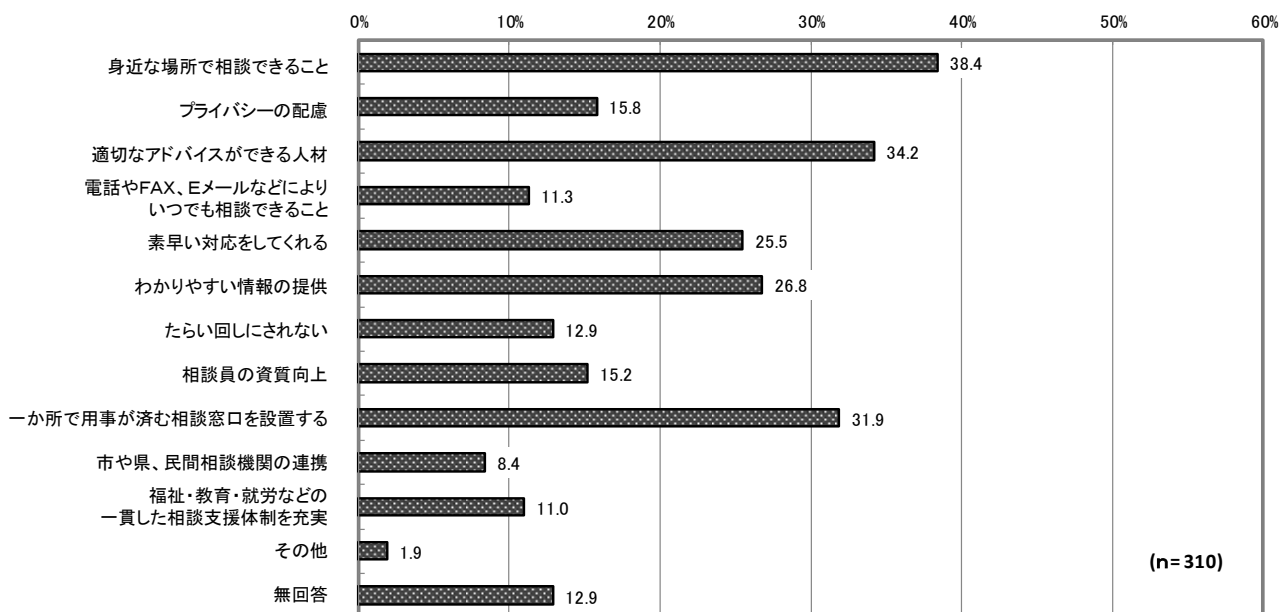
＜＜65 歳以上＞＞



問 40 相談機能を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで○印）  
（複数回答 n=310）

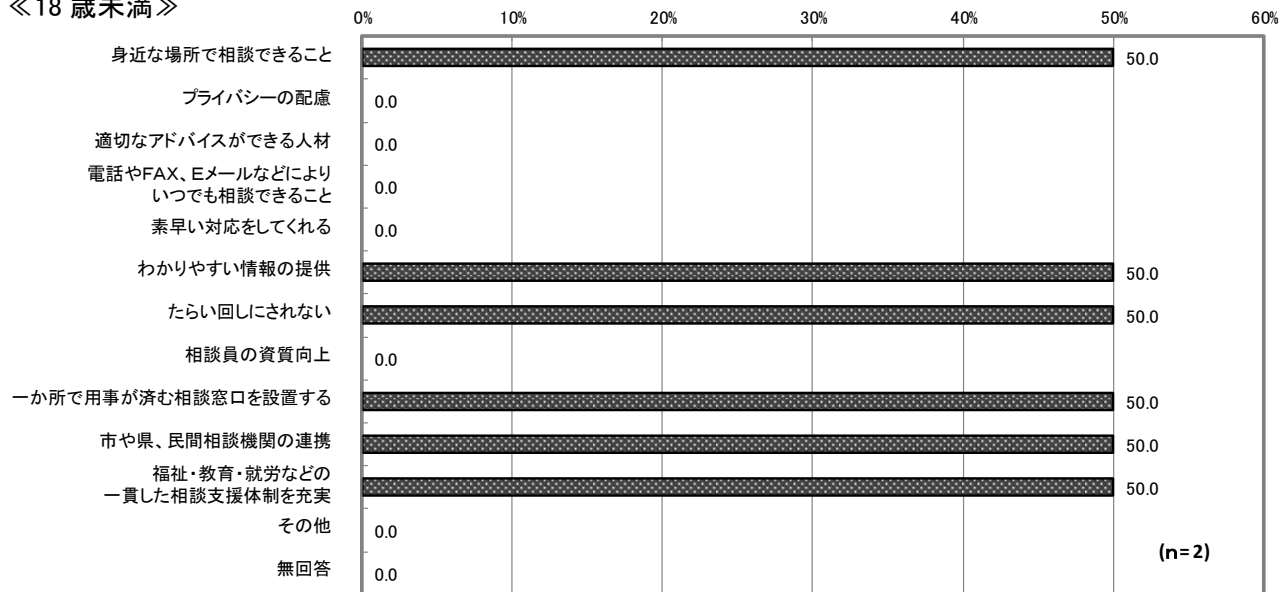
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 身近な場所で相談できること	119	38.4%	1	50.0%	15	30.0%	103	39.9%
2 プライバシーの配慮	49	15.8%	0	0.0%	9	18.0%	40	15.5%
3 適切なアドバイスができる人材	106	34.2%	0	0.0%	18	36.0%	88	34.1%
4 電話やFAX、Eメールなどによりいつでも相談できること	35	11.3%	0	0.0%	10	20.0%	25	9.7%
5 素早い対応をしてくれる	79	25.5%	0	0.0%	9	18.0%	70	27.1%
6 わかりやすい情報の提供	83	26.8%	1	50.0%	16	32.0%	66	25.6%
7 たらい回しにされない	40	12.9%	1	50.0%	10	20.0%	29	11.2%
8 相談員の資質向上	47	15.2%	0	0.0%	12	24.0%	35	13.6%
9 一か所で用事が済む相談窓口を設置する	99	31.9%	1	50.0%	14	28.0%	84	32.6%
10 市や県、民間相談機関の連携	26	8.4%	1	50.0%	4	8.0%	21	8.1%
11 福祉・教育・就労などの一貫した相談支援体制を充実	34	11.0%	1	50.0%	9	18.0%	24	9.3%
12 その他	6	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	6	2.3%
無回答	40	12.9%	0	0.0%	2	4.0%	38	14.7%
合計	310		2		50		258	

12 その他：主な内訳 老人にわかりやすい相談の手続きをしてほしい。全てにおいて（1）今の所必要がない（1）

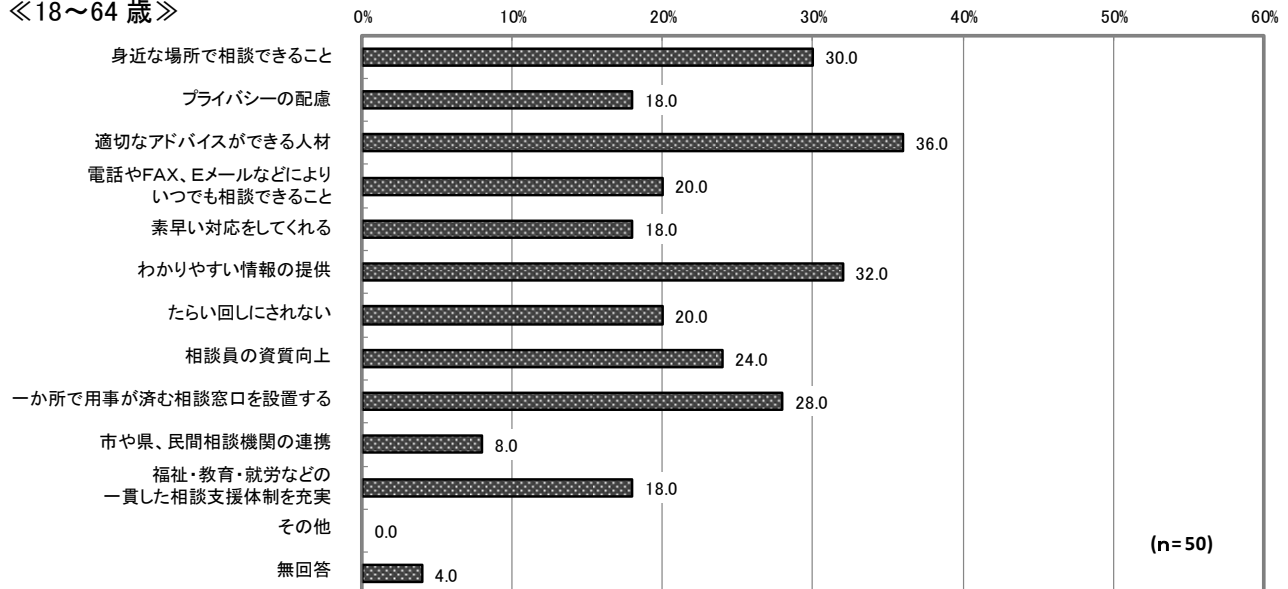


【年代別】

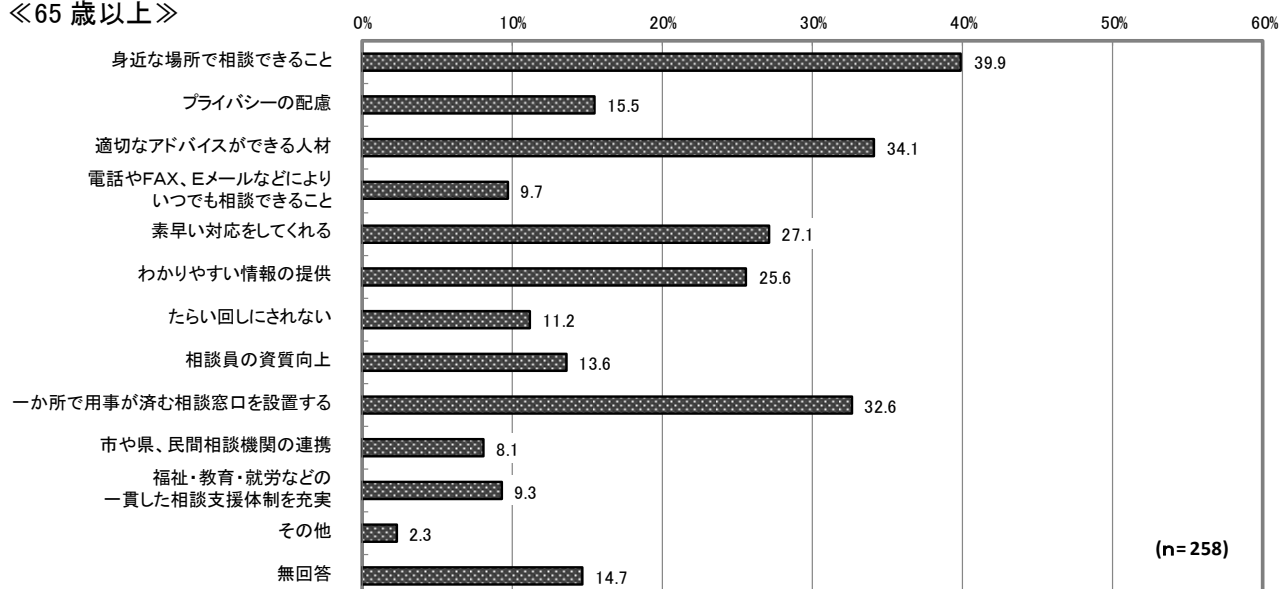
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

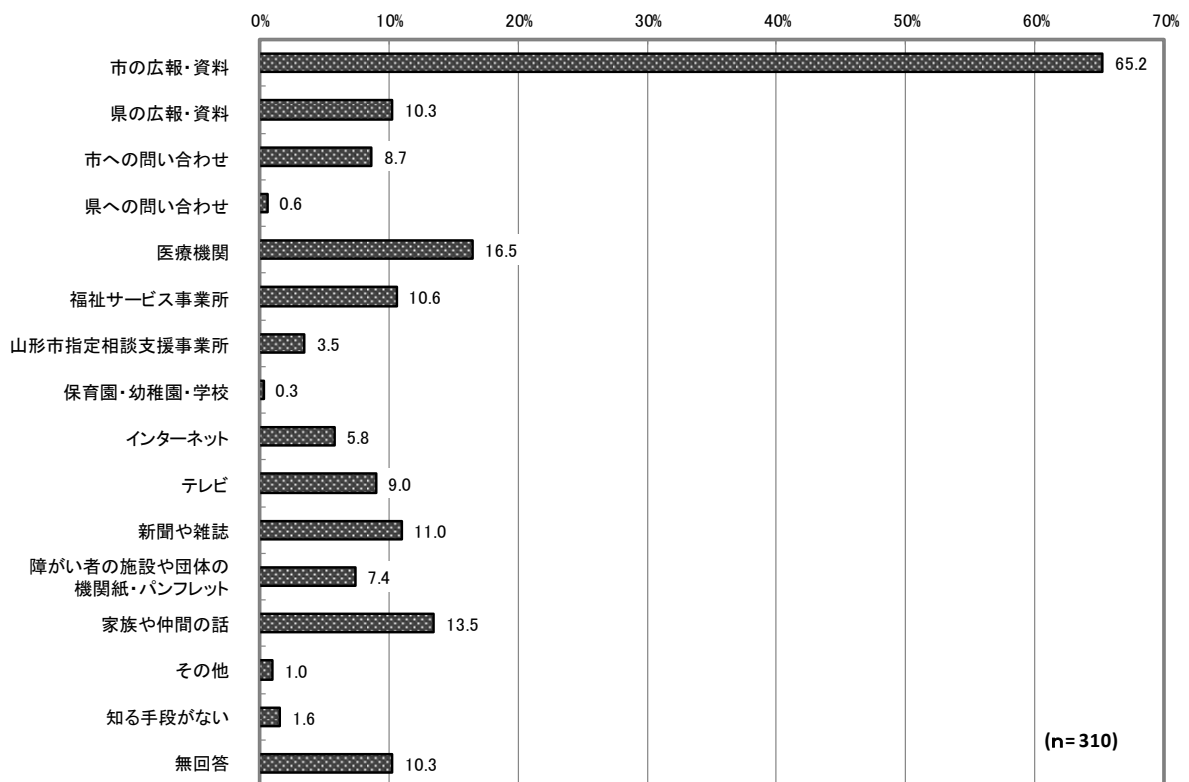


## 問 41 あなたは、福祉サービスの内容について、どのようなもので知ることが多いですか。

(2つまで○印) (複数回答 n=310)

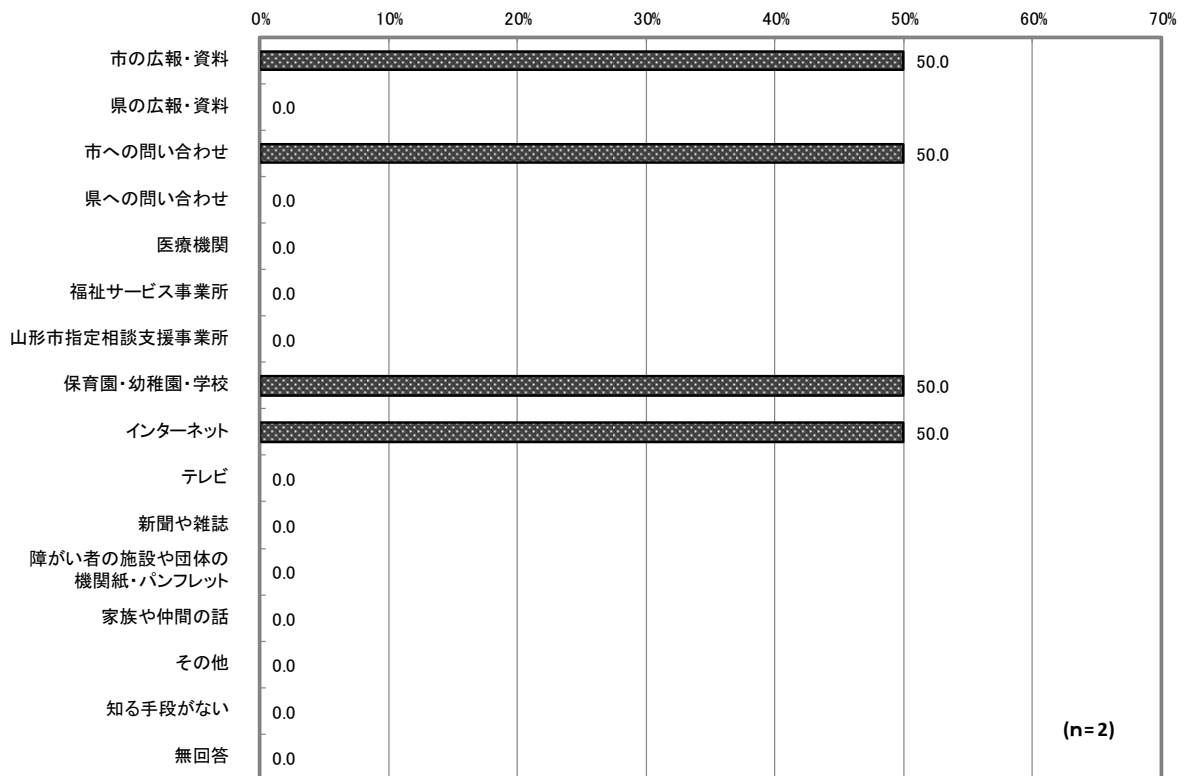
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 市の広報・資料	202	65.2%	1	50.0%	32	64.0%	169	65.5%
2 県の広報・資料	32	10.3%	0	0.0%	7	14.0%	25	9.7%
3 市への問い合わせ	27	8.7%	1	50.0%	4	8.0%	22	8.5%
4 県への問い合わせ	2	0.6%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.4%
5 医療機関	51	16.5%	0	0.0%	10	20.0%	41	15.9%
6 福祉サービス事業所	33	10.6%	0	0.0%	3	6.0%	30	11.6%
7 山形市指定相談支援事業所	11	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	11	4.3%
8 保育園・幼稚園・学校	1	0.3%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 インターネット	18	5.8%	1	50.0%	8	16.0%	9	3.5%
10 テレビ	28	9.0%	0	0.0%	2	4.0%	26	10.1%
11 新聞や雑誌	34	11.0%	0	0.0%	5	10.0%	29	11.2%
12 障がい者の施設や団体の機関紙・パンフレット	23	7.4%	0	0.0%	4	8.0%	19	7.4%
13 家族や仲間の話	42	13.5%	0	0.0%	8	16.0%	34	13.2%
14 その他	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
15 知る手段がない	5	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.9%
無回答	32	10.3%	0	0.0%	1	2.0%	31	12.0%
合計	310		2		50		258	

## 14 その他：主な内訳 ケアマネージャー (2)

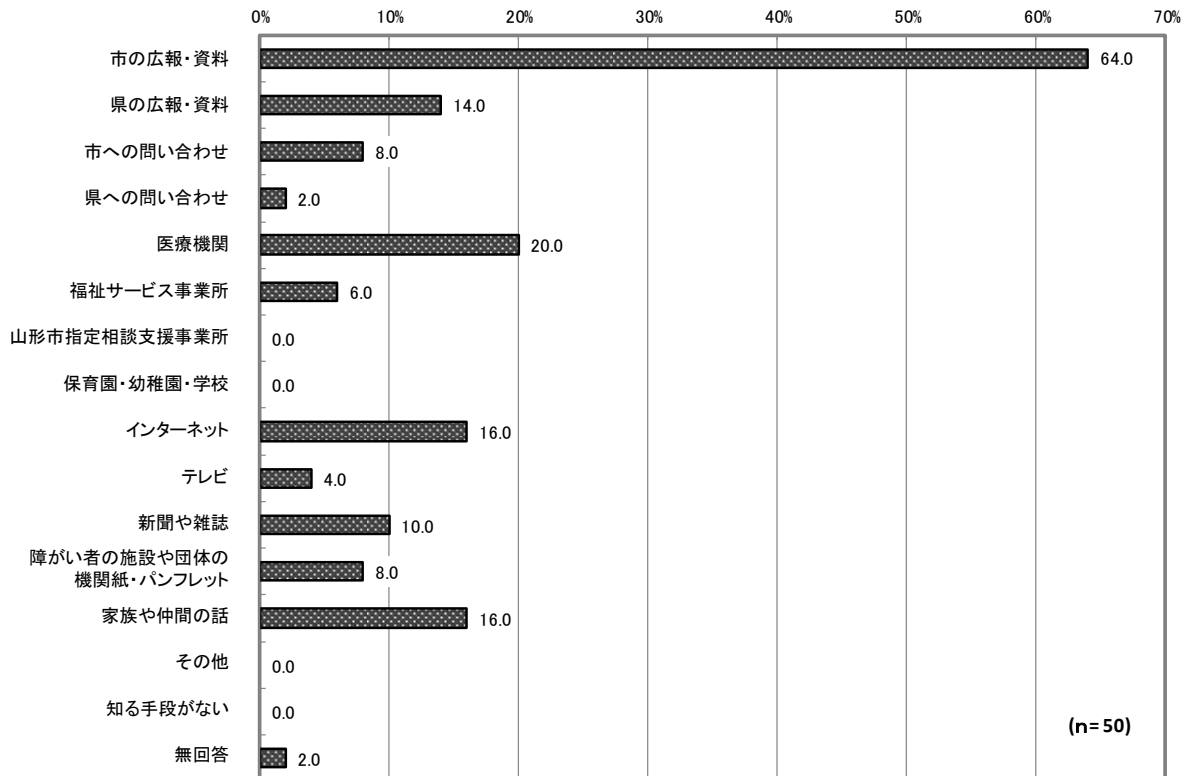


【年代別】

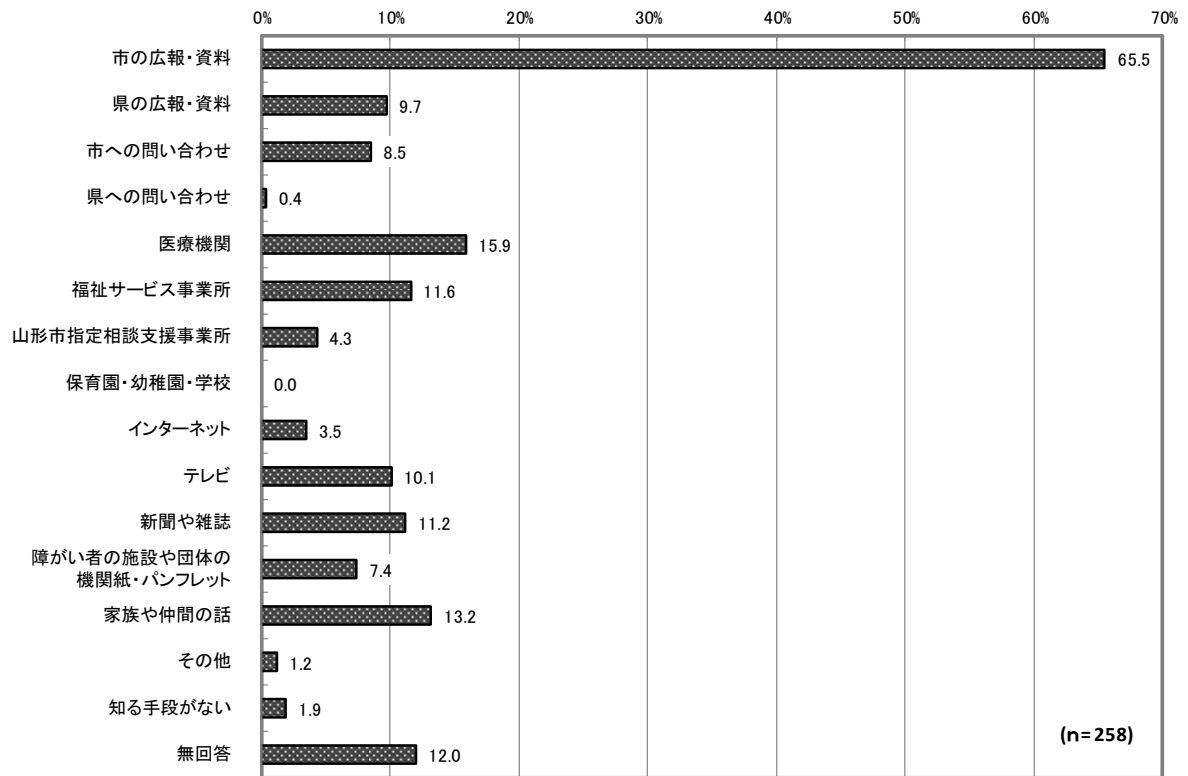
《18 歳未満》



《18～64 歳》



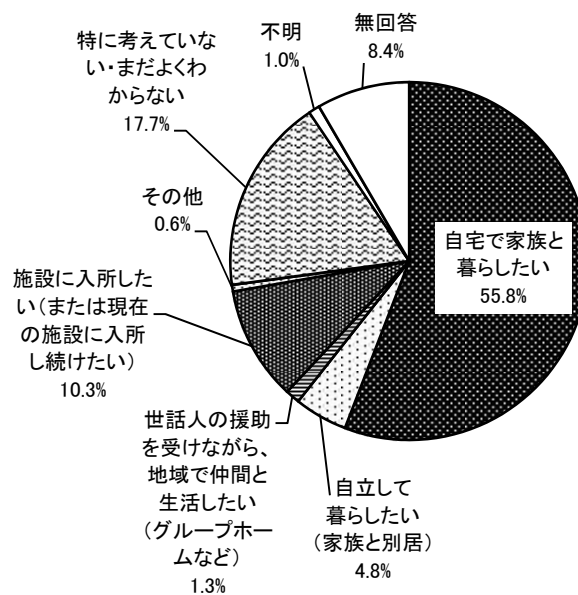
《65 歳以上》



## 問 42 あなたは、今後（将来）どのように生活したい（させたい）ですか。（単数回答 n=310）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 自宅で家族と暮らしたい	173	55.8%	1	50.0%	26	52.0%	146	56.6%
2 自立して暮らしたい（家族と別居）	15	4.8%	1	50.0%	5	10.0%	9	3.5%
3 世話人の援助を受けながら、地域で仲間と生活したい（グループホームなど）	4	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	1.6%
4 施設に入所したい（または現在の施設に入所し続けたい）	32	10.3%	0	0.0%	3	6.0%	29	11.2%
5 その他	2	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
6 特に考えていない・まだよくわからない	55	17.7%	0	0.0%	14	28.0%	41	15.9%
不明	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
無回答	26	8.4%	0	0.0%	2	4.0%	24	9.3%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

## 5 その他：主な内訳 今のままでよい（2）

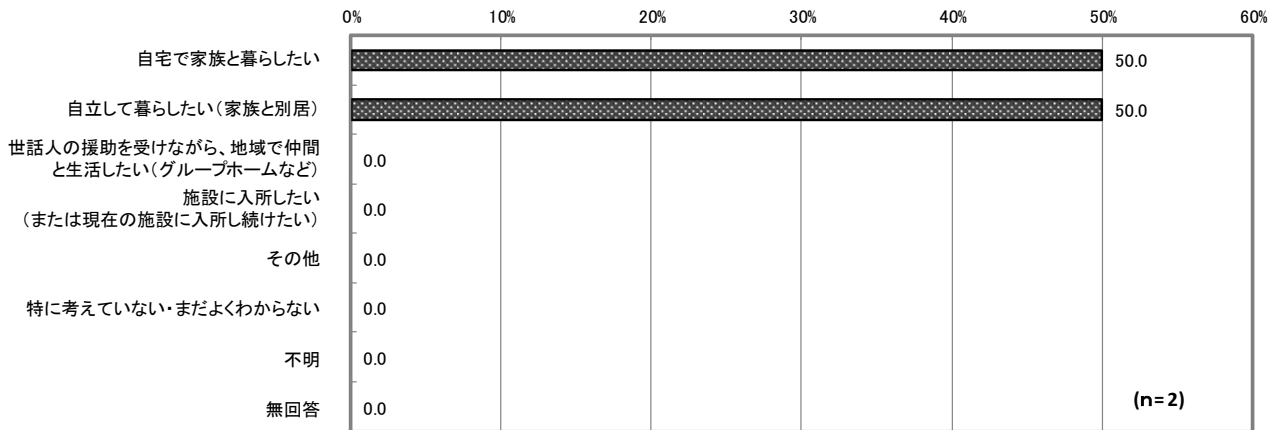


n=310

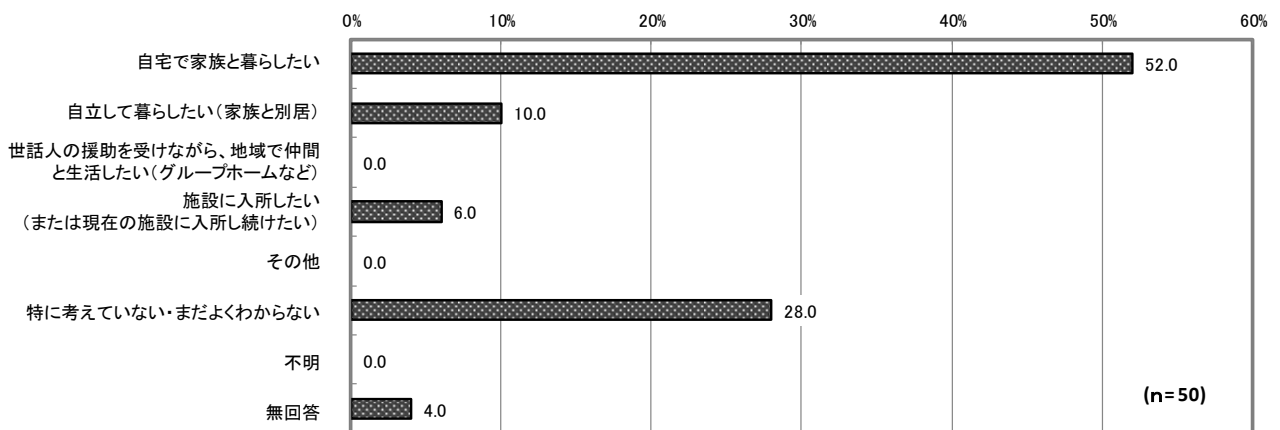


【年代別】

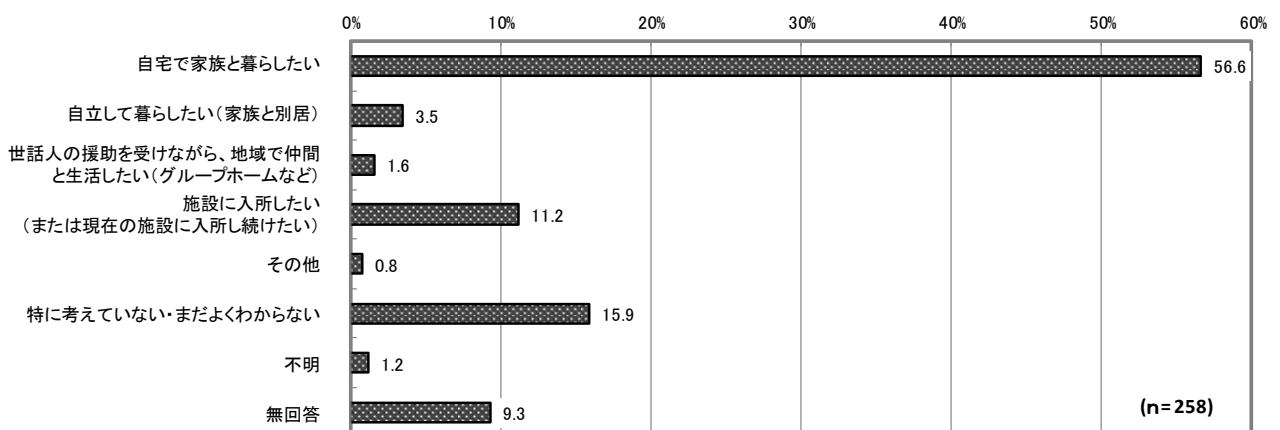
《18 歳未満》



《18～64 歳》

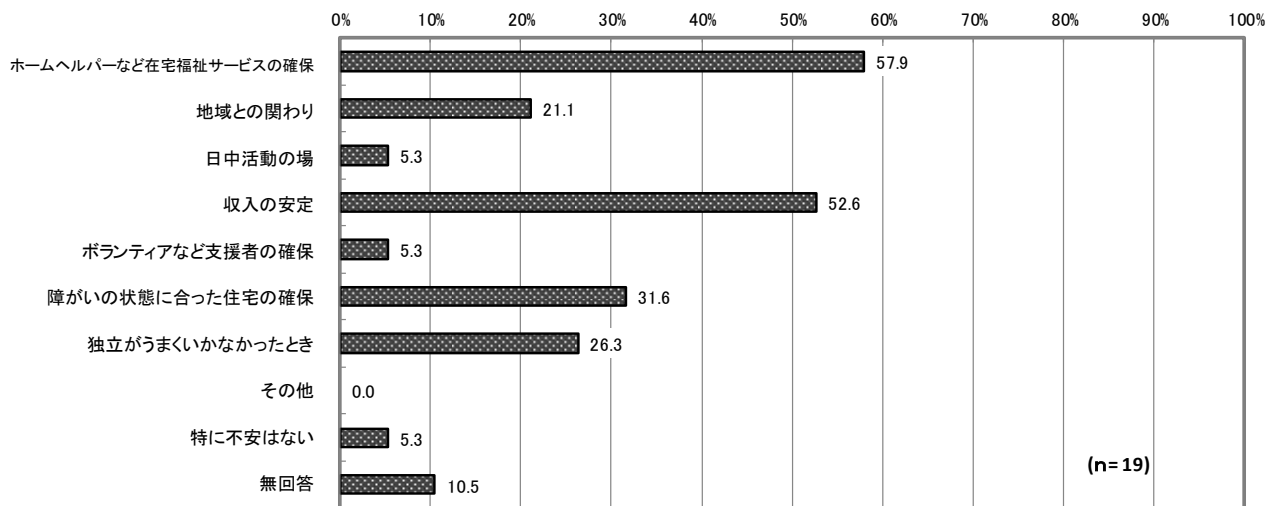


《65 歳以上》



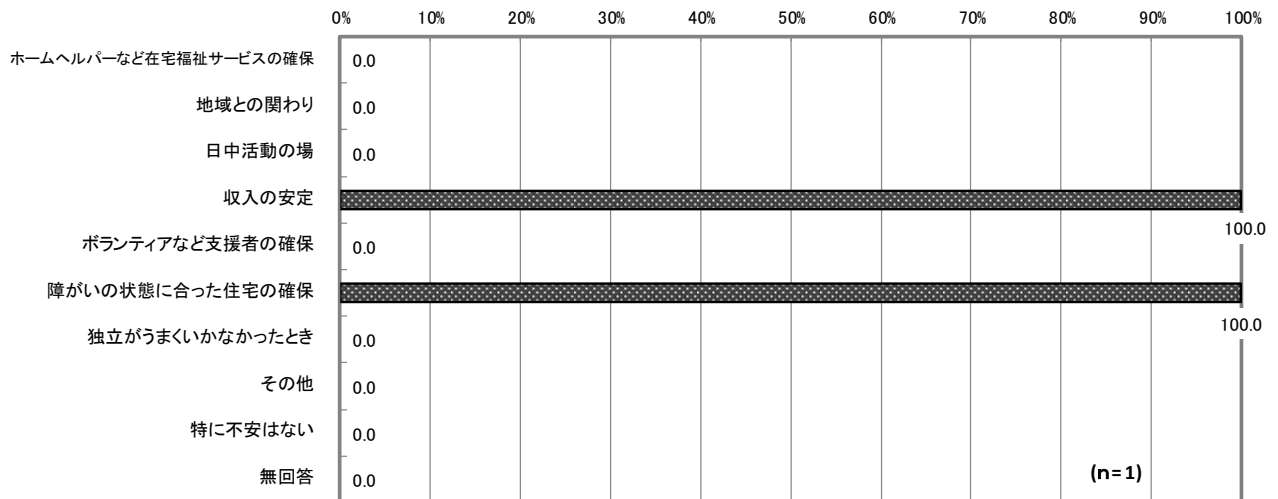
問 43 問 42 で「2」または「3」を回答した方におたずねします。独立にあたり、どのようなことが不安ですか。 （複数回答 n=19）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ホームヘルパーなど在宅福祉サービスの確保	11	57.9%	0	0.0%	3	60.0%	8	61.5%
2 地域との関わり	4	21.1%	0	0.0%	2	40.0%	2	15.4%
3 日中活動の場	1	5.3%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%
4 収入の安定	10	52.6%	1	100.0%	3	60.0%	6	46.2%
5 ボランティアなど支援者の確保	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.7%
6 障がいの状態に合った住宅の確保	6	31.6%	1	100.0%	2	40.0%	3	23.1%
7 独立がうまくいかなかったとき	5	26.3%	0	0.0%	2	40.0%	3	23.1%
8 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 特に不安はない	1	5.3%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%
無回答	2	10.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	15.4%
合計	19		1		5		13	

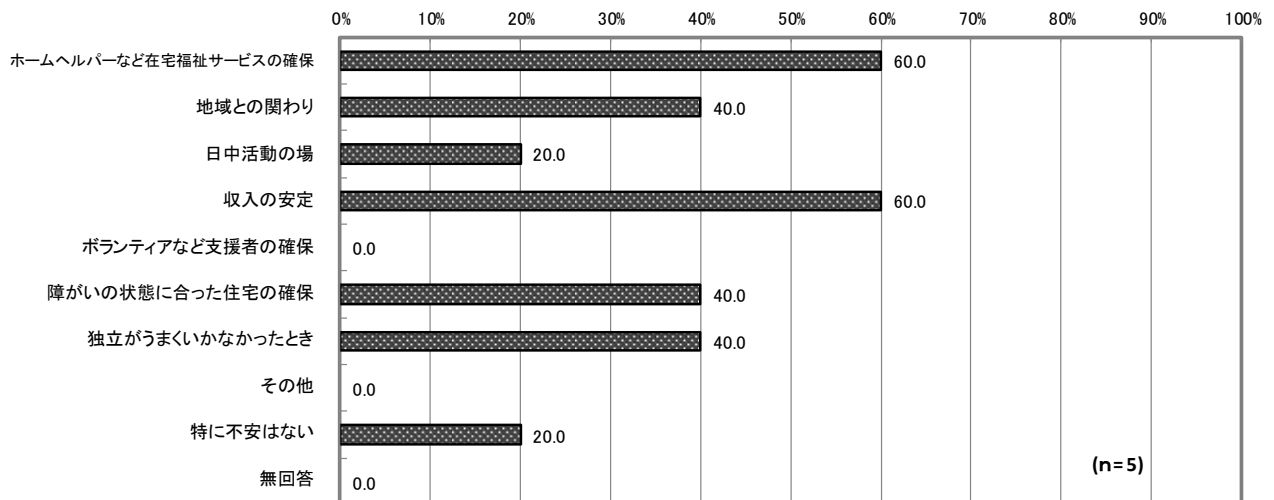


【年代別】

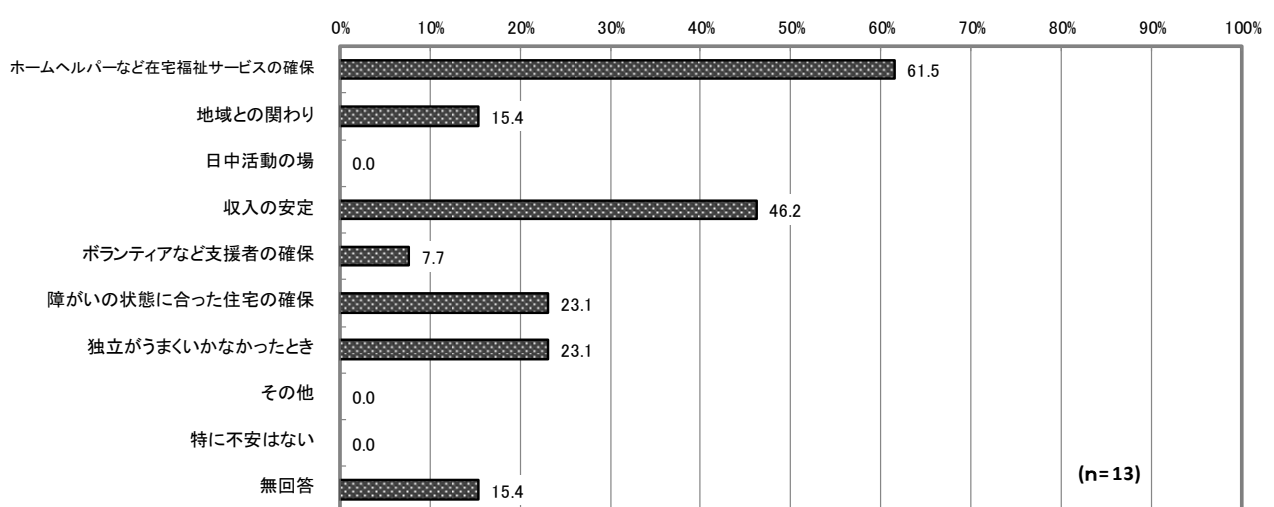
《18 歳未満》



《18～64 歳》



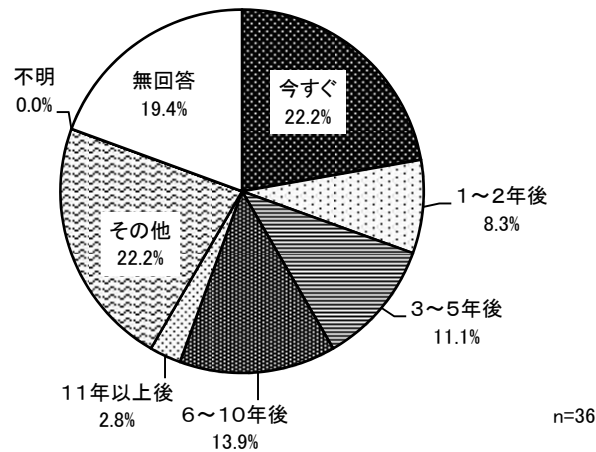
《65 歳以上》



問 44 問 42 で「3」または「4」を回答した方におたずねします。グループホームなどへの入居または施設への入所はいつ頃までにしたいと考えていますか。 （単数回答 n=36）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 今すぐ	8	22.2%	0	0.0%	0	0.0%	8	24.2%
2 1～2年後	3	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	9.1%
3 3～5年後	4	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	12.1%
4 6～10年後	5	13.9%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.2%
5 11年以上後	1	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.0%
6 その他	8	22.2%	0	0.0%	3	100.0%	5	15.2%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	7	19.4%	0	0.0%	0	0.0%	7	21.2%
合計	36	100.0%	0	0.0%	3	100.0%	33	100.0%

6 その他：主な内訳 現在入所中（4）車の運転が出来なくなったら（1）病院なので亡くなるまで（1）わからない（1）

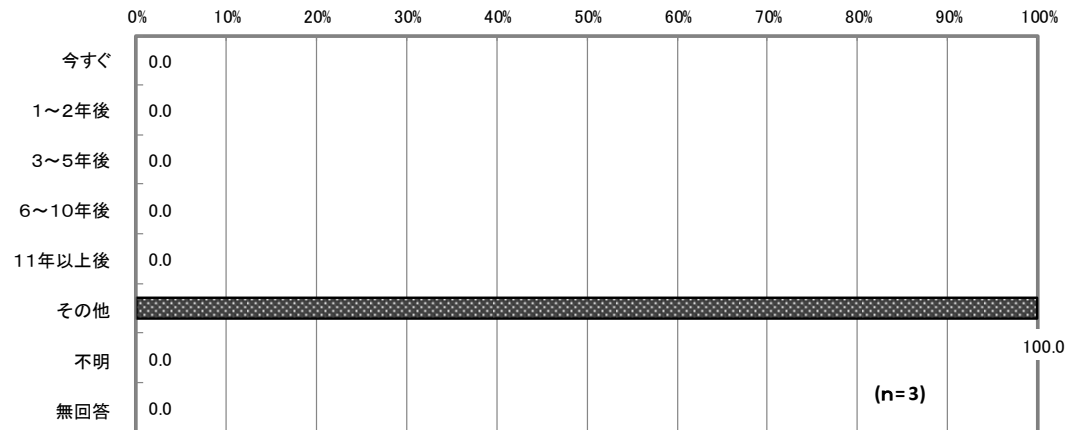


【年代別】

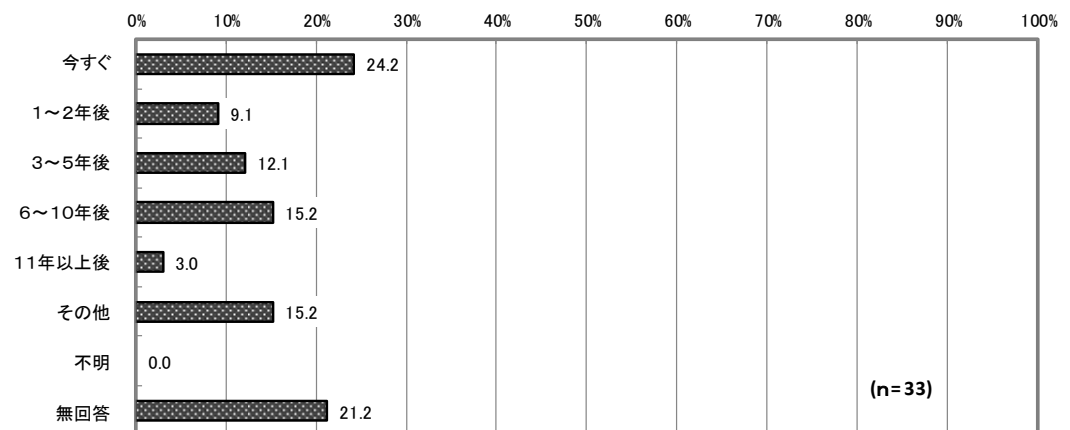
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》

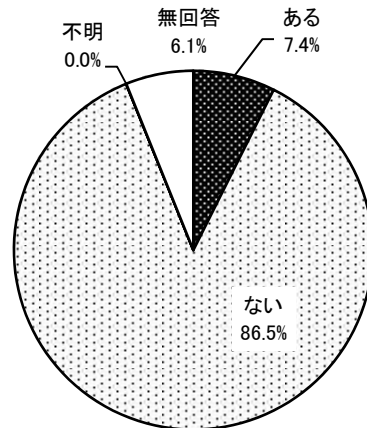


《65 歳以上》



問 45 あなたは、悪質商法などの被害にあったことがありますか。 (単数回答 n=310)

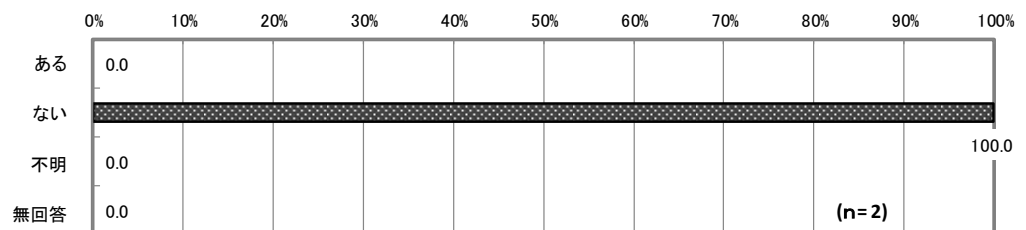
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 ある	23	7.4%	0	0.0%	8	16.0%	15	5.8%
2 ない	268	86.5%	2	100.0%	42	84.0%	224	86.8%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	19	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	19	7.4%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



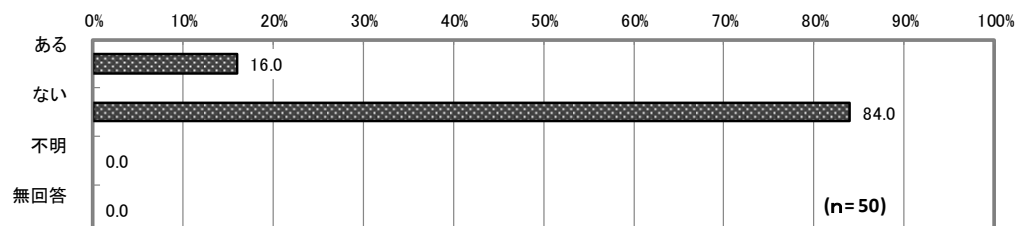
n=310

【年代別】

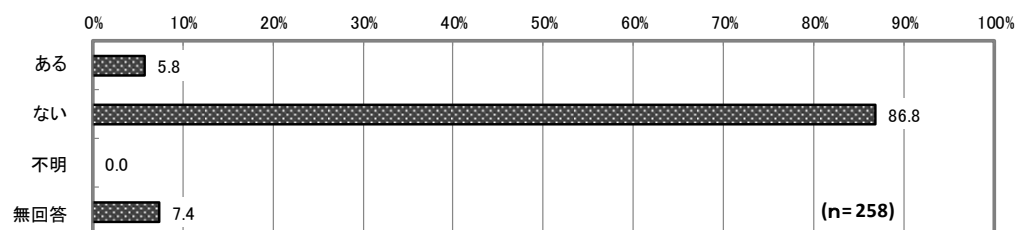
《18 歳未満》



《18～64 歳》



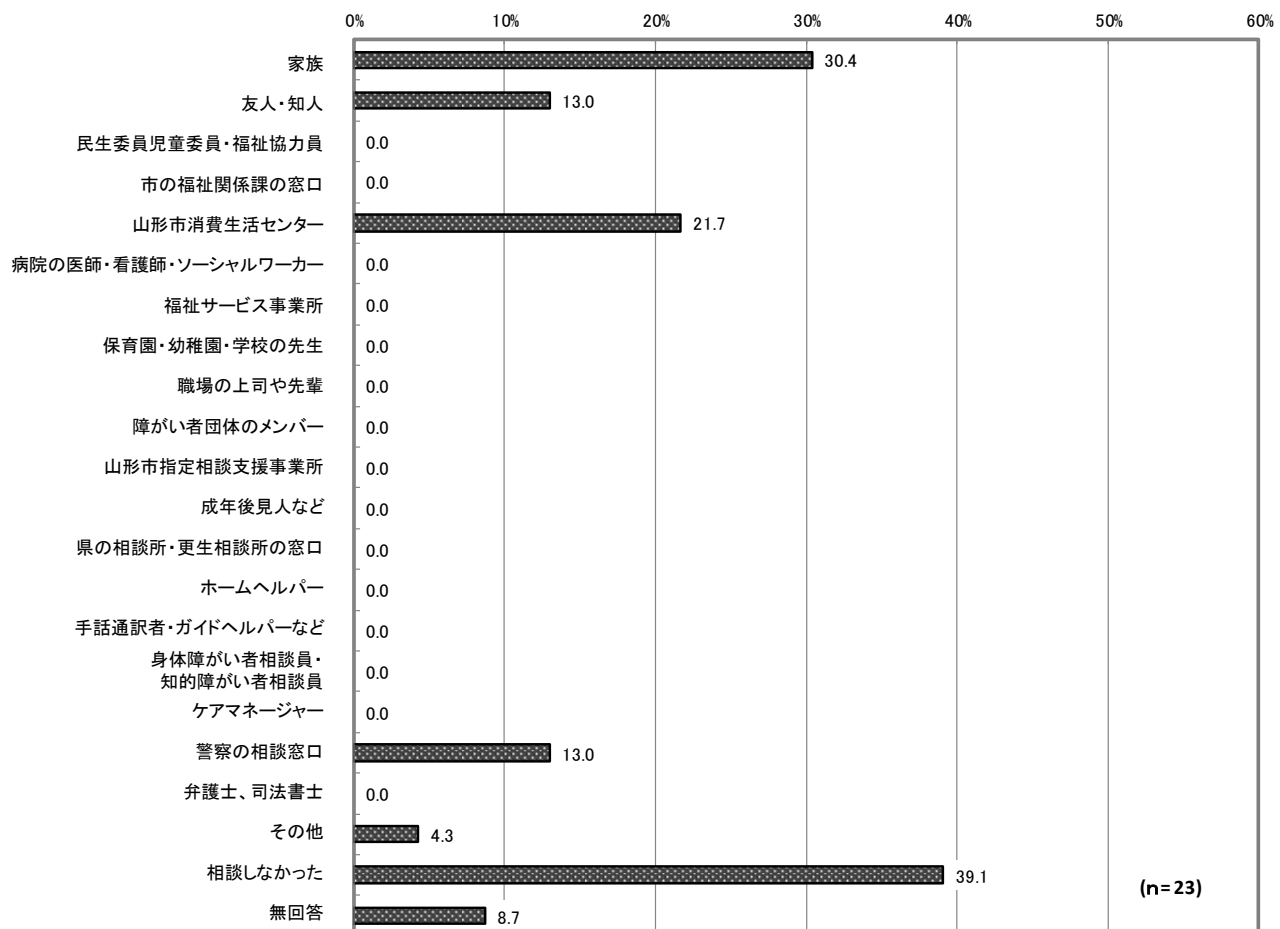
《65 歳以上》



問 46 問 45 で「1」を回答した方におたずねします。その時、誰（どこ）へ相談しましたか。

（複数回答 n=23）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 家族	7	30.4%	0	0.0%	2	25.0%	5	33.3%
2 友人・知人	3	13.0%	0	0.0%	2	25.0%	1	6.7%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 市の福祉関係課の窓口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 山形市消費生活センター	5	21.7%	0	0.0%	4	50.0%	1	6.7%
6 病院の医師・看護師・ソーシャルワーカー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 福祉サービス事業所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 保育園・幼稚園・学校の先生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9 職場の上司や先輩	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 障がい者団体のメンバー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11 山形市指定相談支援事業所	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12 成年後見人など	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13 県の相談所・更生相談所の窓口	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
14 ホームヘルパー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
15 手話通訳者・ガイドヘルパーなど	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16 身体障がい者相談員・知的障がい者相談員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
17 ケアマネージャー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
18 警察の相談窓口	3	13.0%	0	0.0%	1	12.5%	2	13.3%
19 弁護士、司法書士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20 その他	1	4.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%
21 相談しなかった	9	39.1%	0	0.0%	4	50.0%	5	33.3%
無回答	2	8.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%
合計	23		0		8		15	

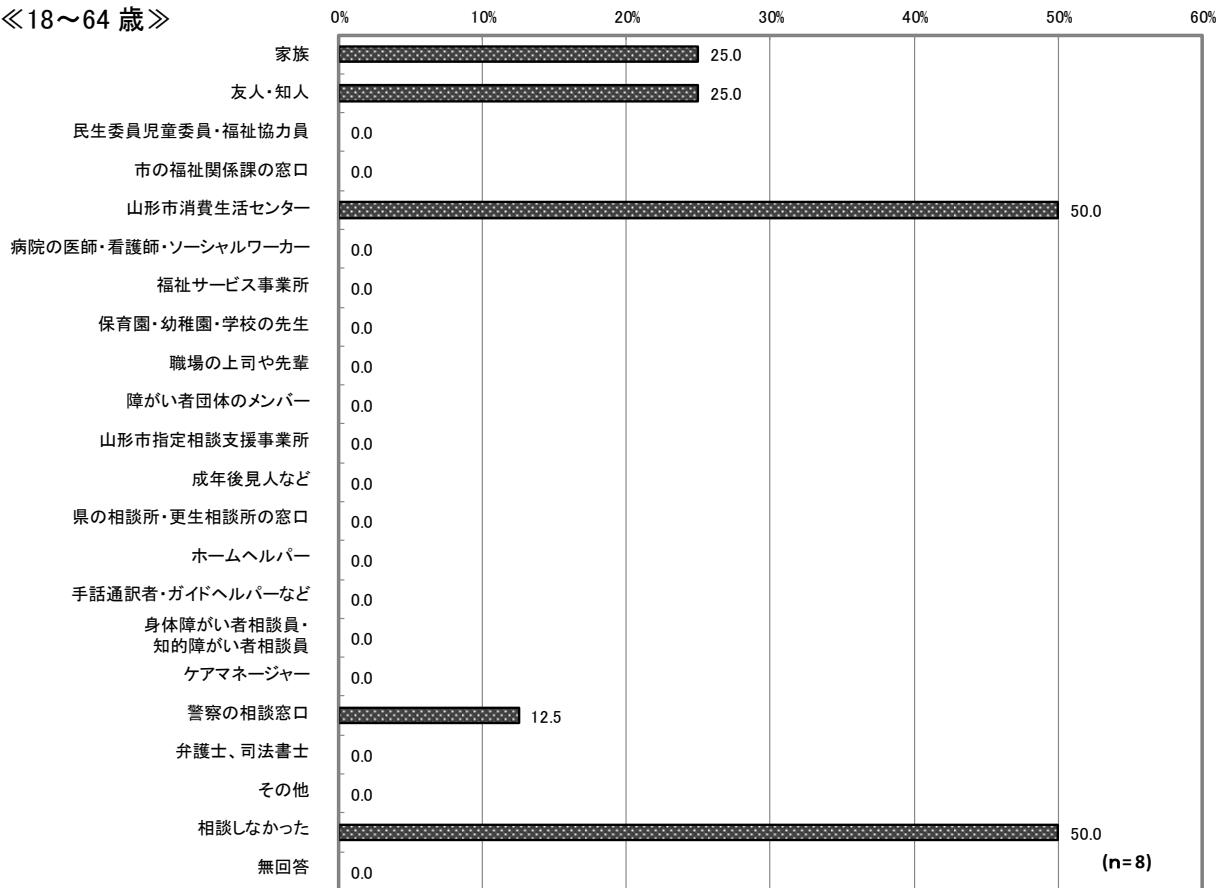


【年代別】

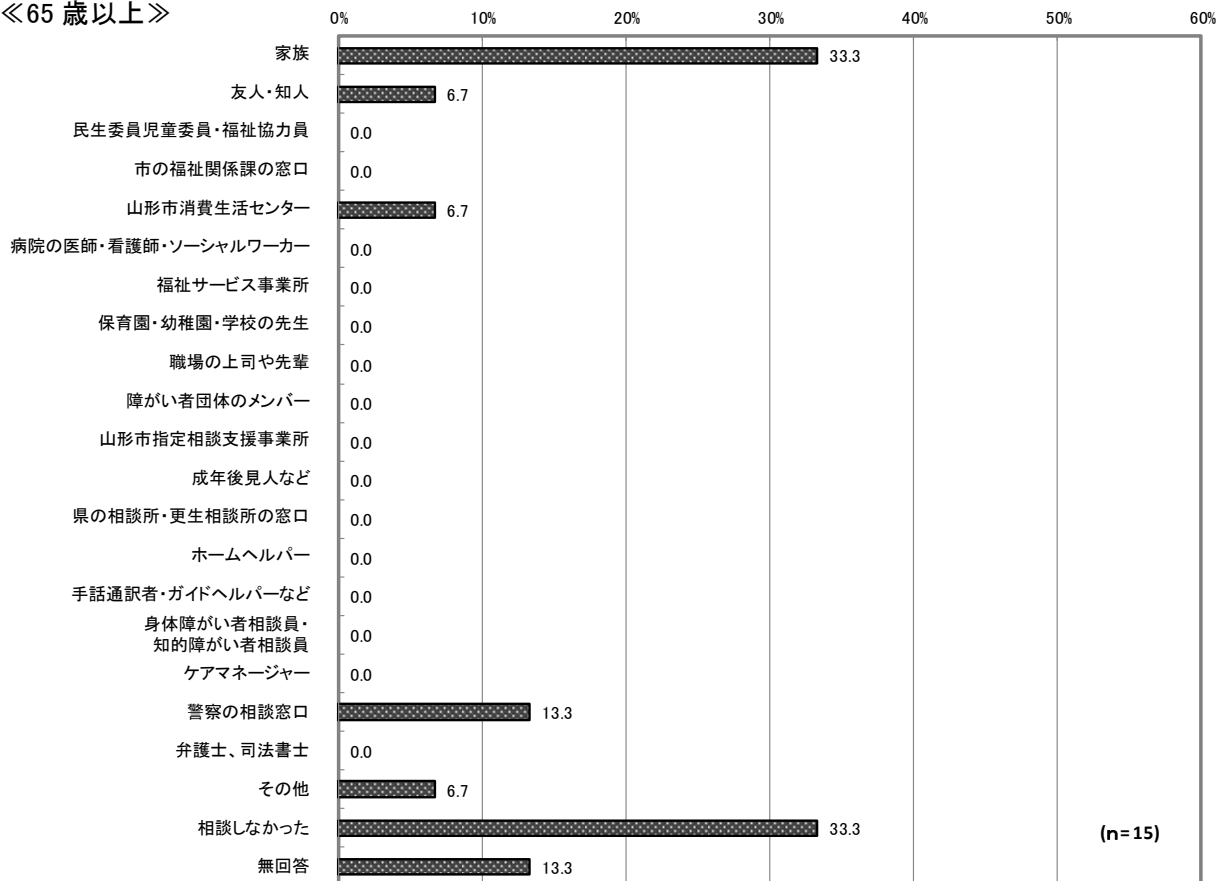
≪18 歳未満≫

回答者 0 のため省略

≪18～64 歳≫



≪65 歳以上≫



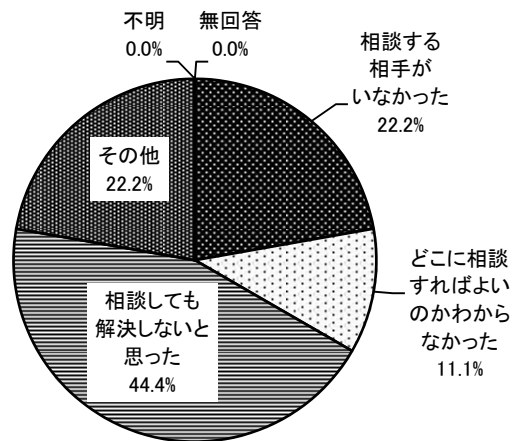


問 47 問 46 で「21」を回答した方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。

(単数回答 n=9)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 相談する相手がいなかった	2	22.2%	0	0.0%	1	25.0%	1	20.0%
2 どこに相談すればよいのかわからなかった	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%
3 相談しても解決しないと思った	4	44.4%	0	0.0%	2	50.0%	2	40.0%
4 その他	2	22.2%	0	0.0%	1	25.0%	1	20.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	9	100.0%	0	0.0%	4	100.0%	5	100.0%

4 その他：主な内訳 年数が経ってからわかったため (1) 悪徳とは思わなかった (1)



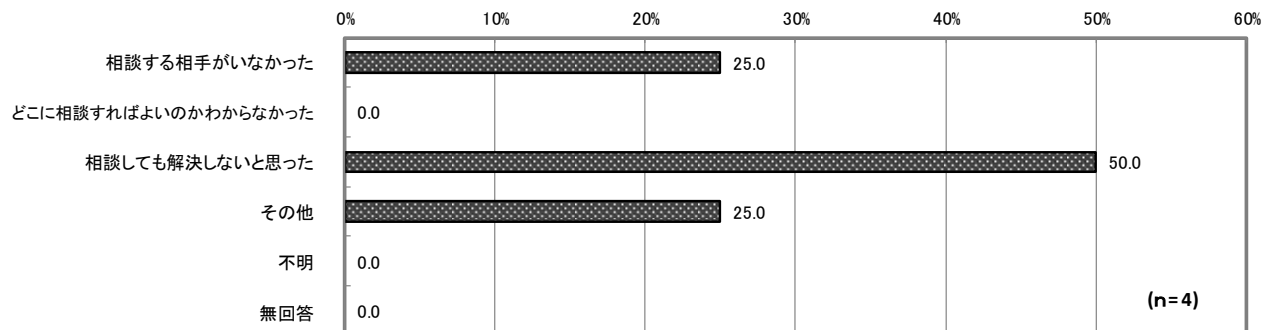
n=9

【年代別】

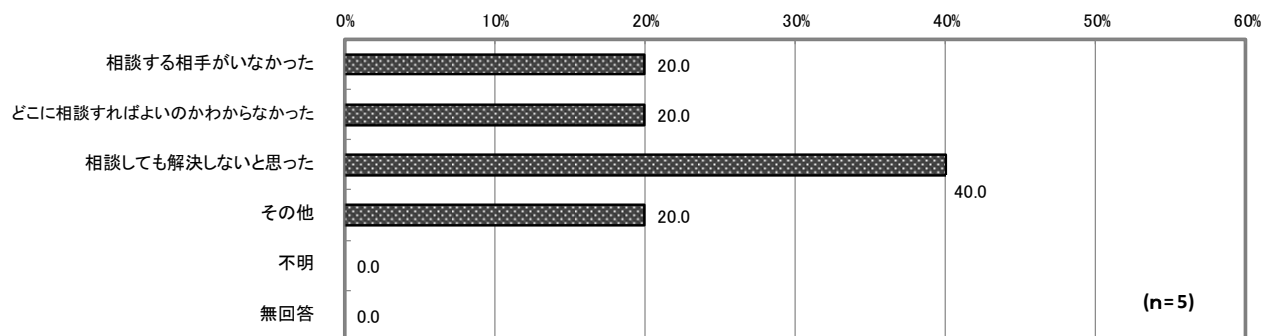
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



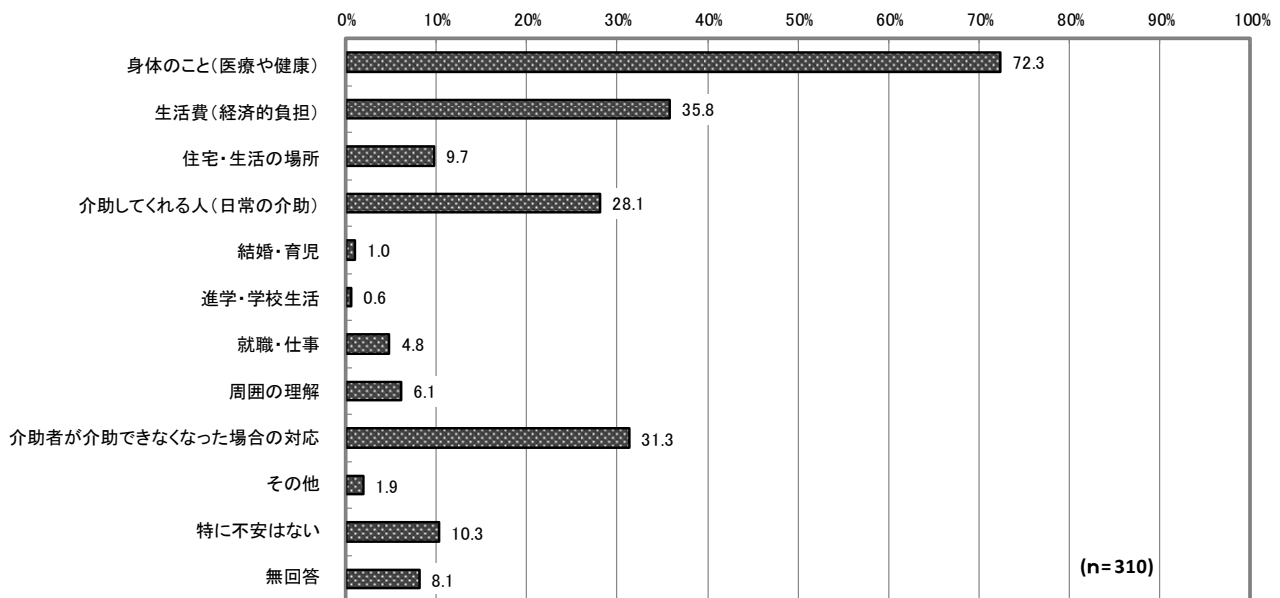
《65 歳以上》



## 問 48 あなたは今後の生活に対してどのような不安がありますか。 (複数回答 n=310)

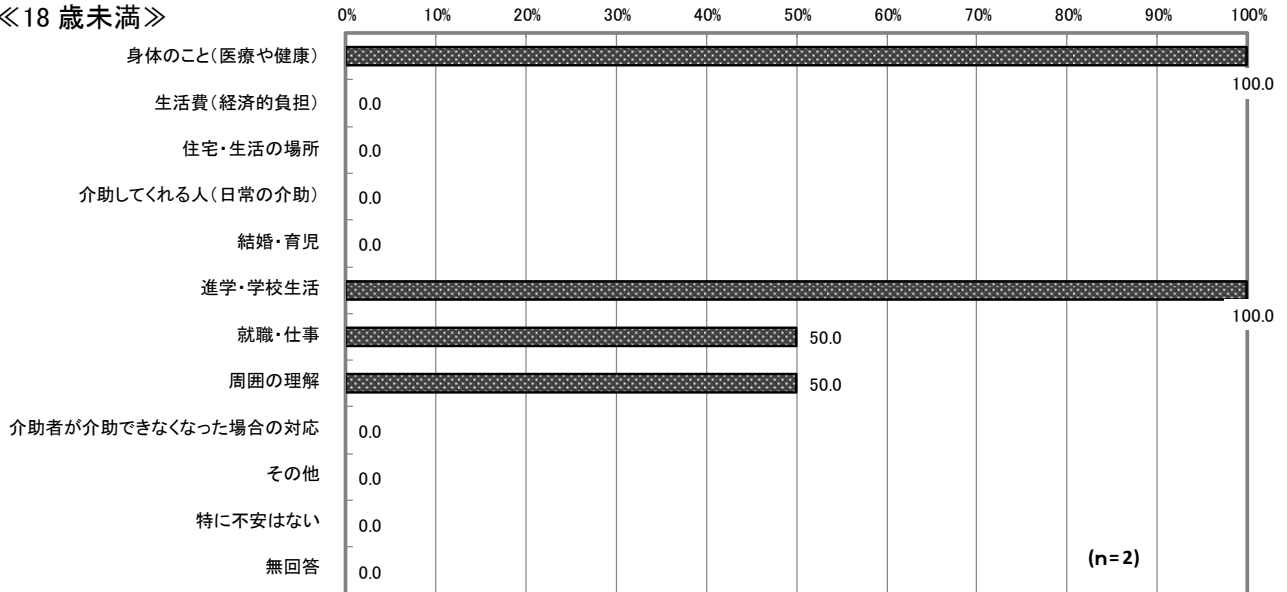
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 身体のこと（医療や健康）	224	72.3%	2	100.0%	40	80.0%	182	70.5%
2 生活費（経済的負担）	111	35.8%	0	0.0%	28	56.0%	83	32.2%
3 住宅・生活の場所	30	9.7%	0	0.0%	9	18.0%	21	8.1%
4 介助してくれる人（日常の介助）	87	28.1%	0	0.0%	10	20.0%	77	29.8%
5 結婚・育児	3	1.0%	0	0.0%	3	6.0%	0	0.0%
6 進学・学校生活	2	0.6%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
7 就職・仕事	15	4.8%	1	50.0%	12	24.0%	2	0.8%
8 周囲の理解	19	6.1%	1	50.0%	10	20.0%	8	3.1%
9 介助者が介助できなくなった場合の対応	97	31.3%	0	0.0%	6	12.0%	91	35.3%
10 その他	6	1.9%	0	0.0%	2	4.0%	4	1.6%
11 特に不安はない	32	10.3%	0	0.0%	3	6.0%	29	11.2%
無回答	25	8.1%	0	0.0%	1	2.0%	24	9.3%
合計	310		2		50		258	

10 その他：主な内訳 一人ぐらしで何かあった時の支援（1）施設に入る必要が生じた場合、空きがあるのか（1）子供達の授業料の支払い（1）ADLが落ちているのでとても心配（1）相手のもの忘れがひどくなった。一番最初はどこへいったらいいのか（1）今のところ日常生活は不便がないので現状のままで（1）

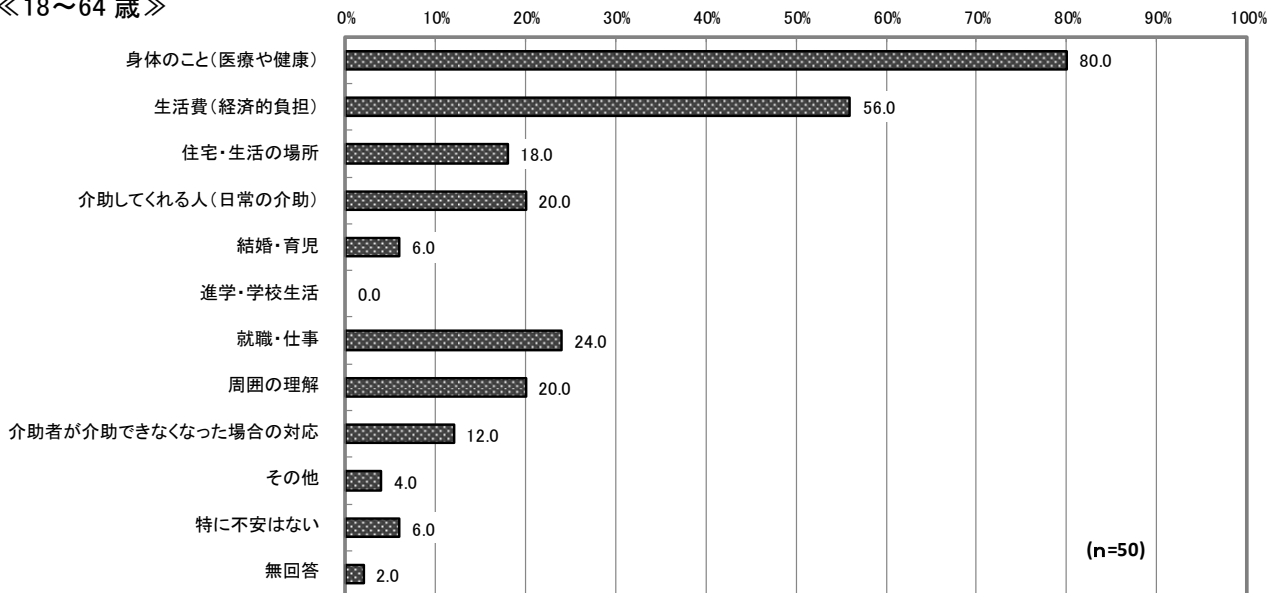


【年代別】

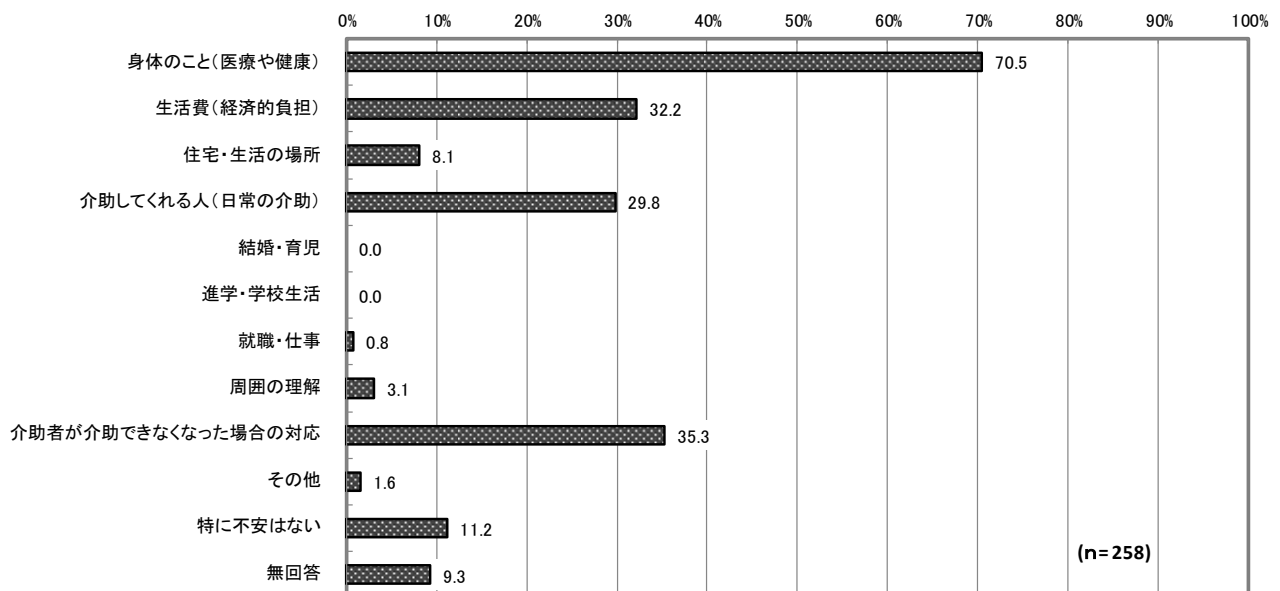
《18 歳未満》



《18～64 歳》



《65 歳以上》

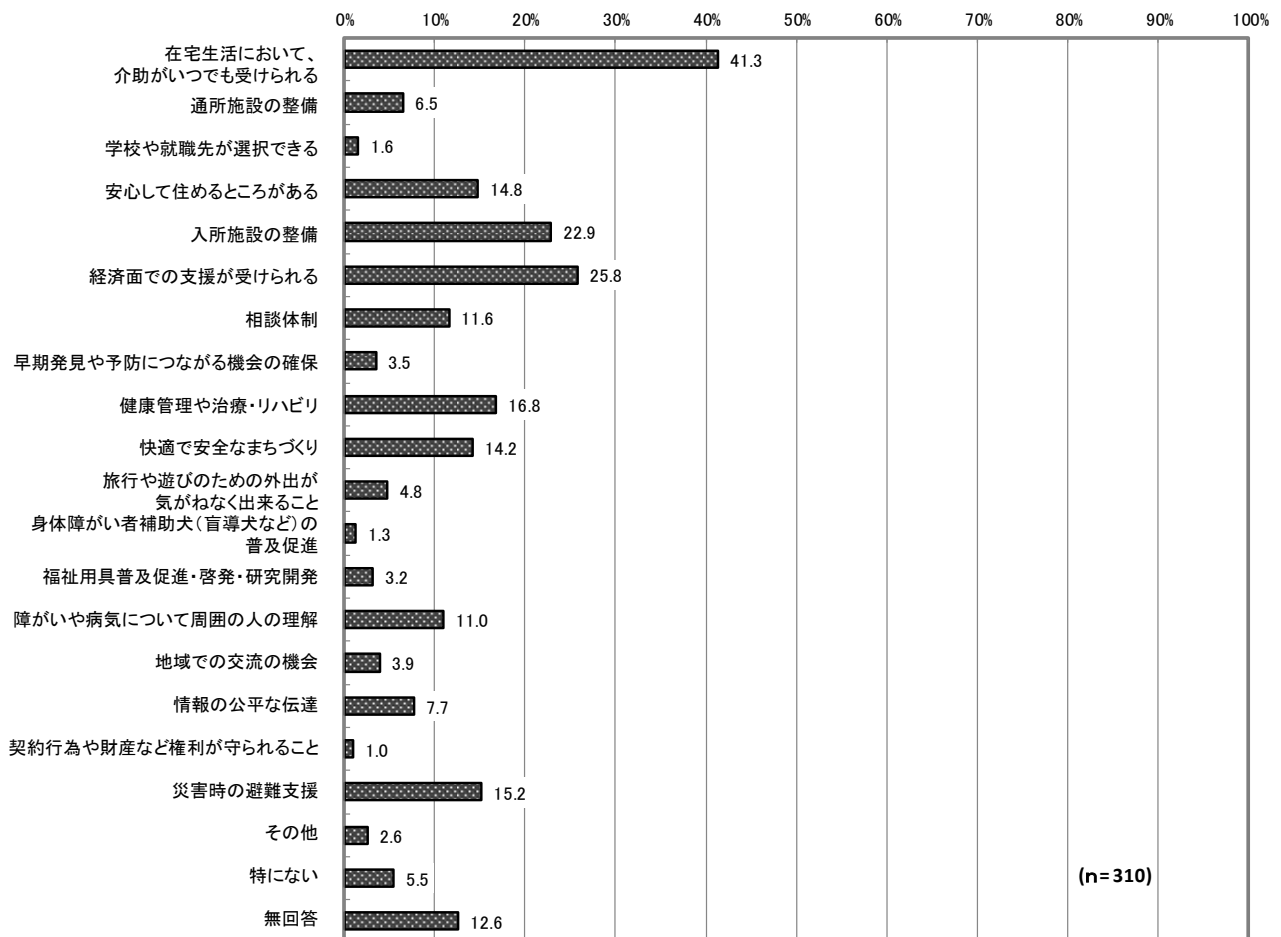


**問 49 今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思われますか。（3つまで○印） （複数回答 n=310）**

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 在宅生活において、介助がいつでも受けられる	128	41.3%	0	0.0%	20	40.0%	108	41.9%
2 通所施設の整備	20	6.5%	1	50.0%	3	6.0%	16	6.2%
3 学校や就職先が選択できる	5	1.6%	1	50.0%	3	6.0%	1	0.4%
4 安心して住めるところがある	46	14.8%	0	0.0%	7	14.0%	39	15.1%
5 入所施設の整備	71	22.9%	0	0.0%	6	12.0%	65	25.2%
6 経済面での支援が受けられる	80	25.8%	0	0.0%	10	20.0%	70	27.1%
7 相談体制	36	11.6%	0	0.0%	12	24.0%	24	9.3%
8 早期発見や予防につながる機会の確保	11	3.5%	0	0.0%	1	2.0%	10	3.9%
9 健康管理や治療・リハビリ	52	16.8%	0	0.0%	8	16.0%	44	17.1%
10 快適で安全なまちづくり	44	14.2%	2	100.0%	11	22.0%	31	12.0%
11 旅行や遊びのための外出が気軽に出来ること	15	4.8%	0	0.0%	3	6.0%	12	4.7%
12 身体障がい者補助犬（盲導犬など）の普及促進	4	1.3%	0	0.0%	2	4.0%	2	0.8%
13 福祉用具普及促進・啓発・研究開発	10	3.2%	0	0.0%	2	4.0%	8	3.1%
14 障がいや病気について周囲の人の理解	34	11.0%	1	50.0%	12	24.0%	21	8.1%
15 地域での交流の機会	12	3.9%	0	0.0%	1	2.0%	11	4.3%
16 情報の公平な伝達	24	7.7%	1	50.0%	5	10.0%	18	7.0%
17 契約行為や財産など権利が守られること	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%
18 災害時の避難支援	47	15.2%	0	0.0%	11	22.0%	36	14.0%
19 その他	8	2.6%	0	0.0%	2	4.0%	6	2.3%
20 特になし	17	5.5%	0	0.0%	4	8.0%	13	5.0%
無回答	39	12.6%	0	0.0%	0	0.0%	39	15.1%
合計	310		2		50		258	

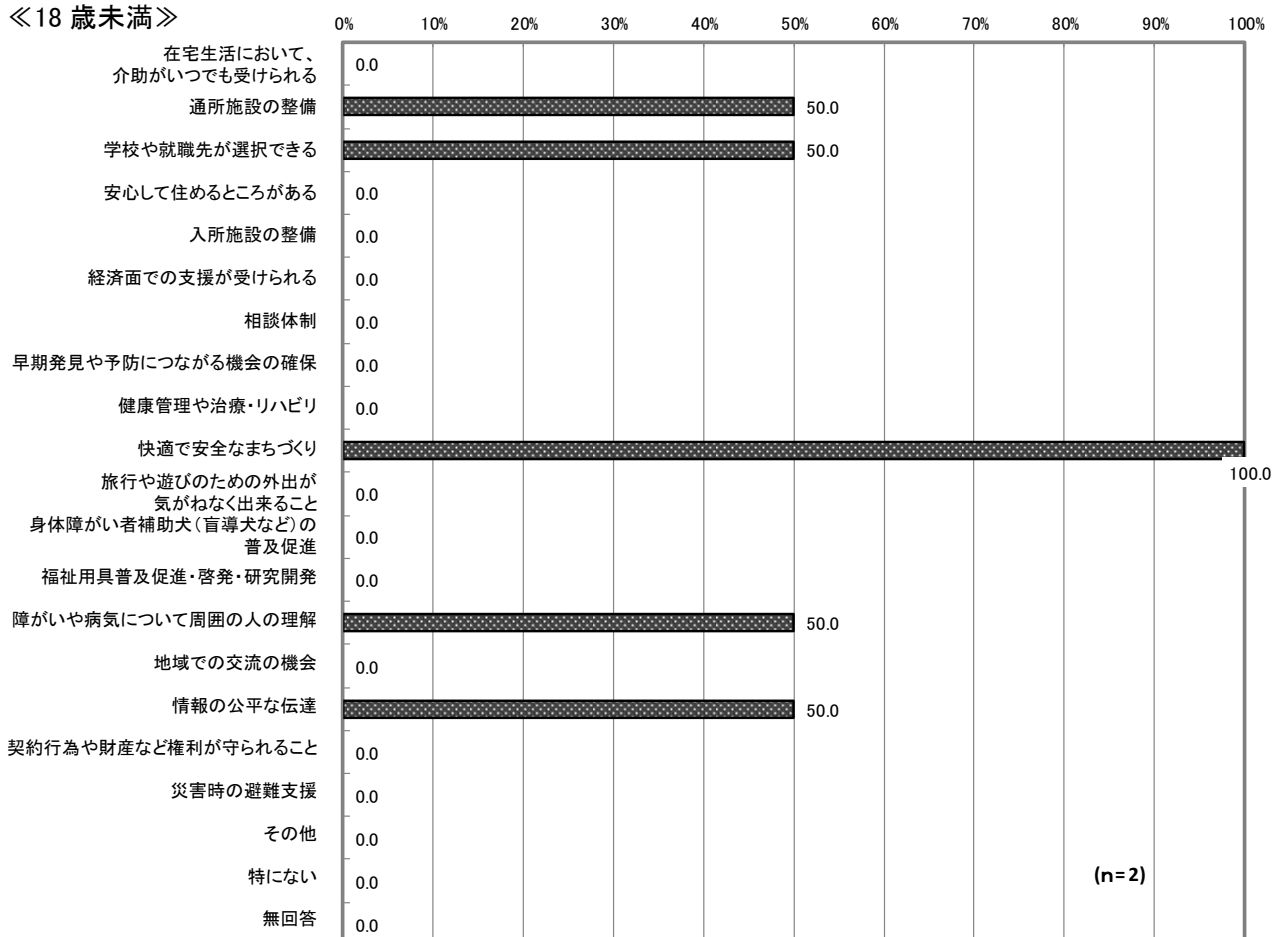
- 19 その他：主な内訳 介護施設、グループホーム⇒老人施設のように増やすこと、特に身体の方が困っています（1）本人の年金だけで、利用できる入所施設（1）働いてくれる方の充実（1）入所施設の増加（1）公共施設を障害者が利用するための設備への補助金。私は義足です。温泉に行きたいのですが、障害者のための設備が無い（1）わからない（1）

# 山形市障がい福祉アンケート 「身体障がい」 調査結果

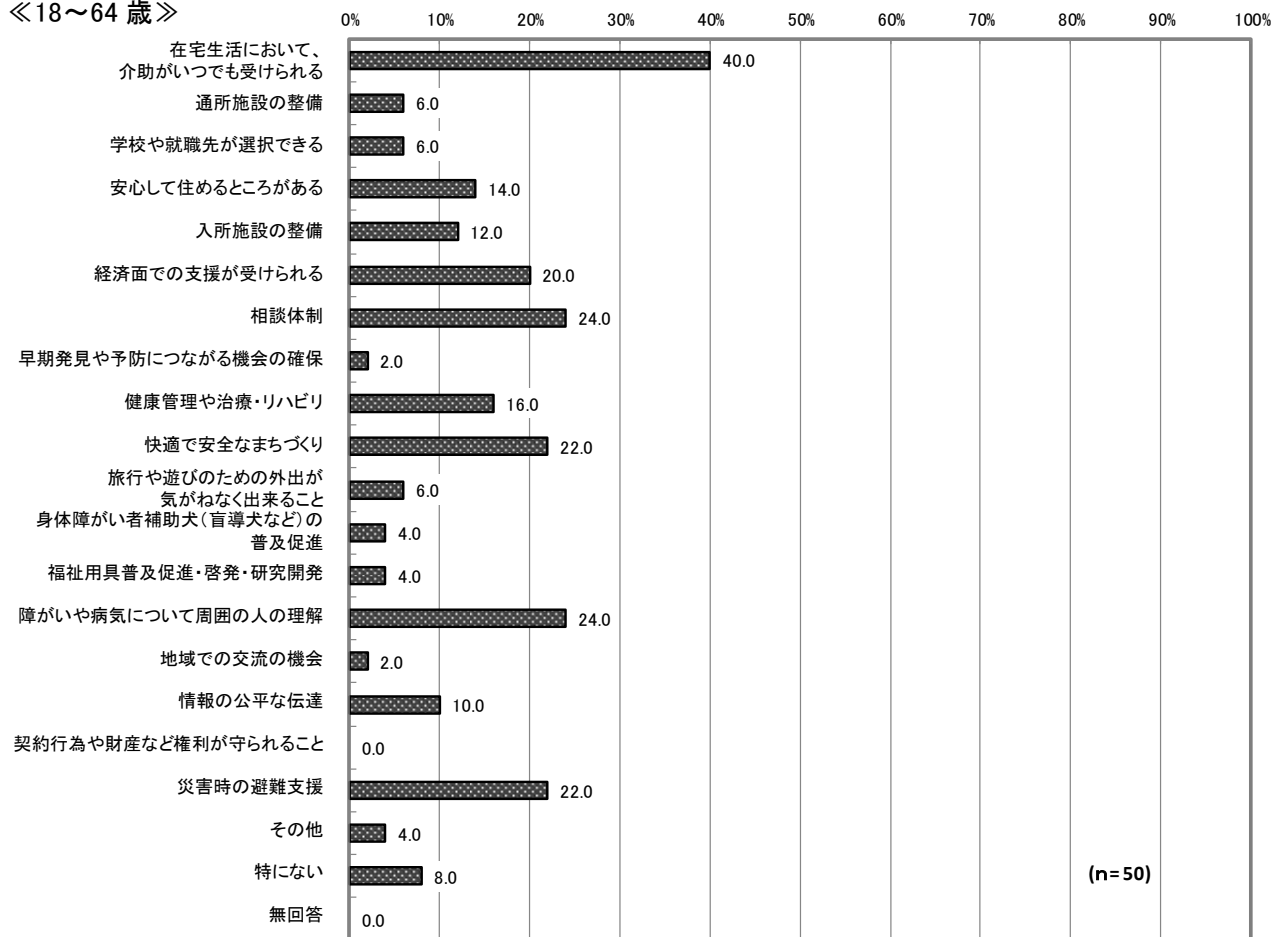


## 【年代別】

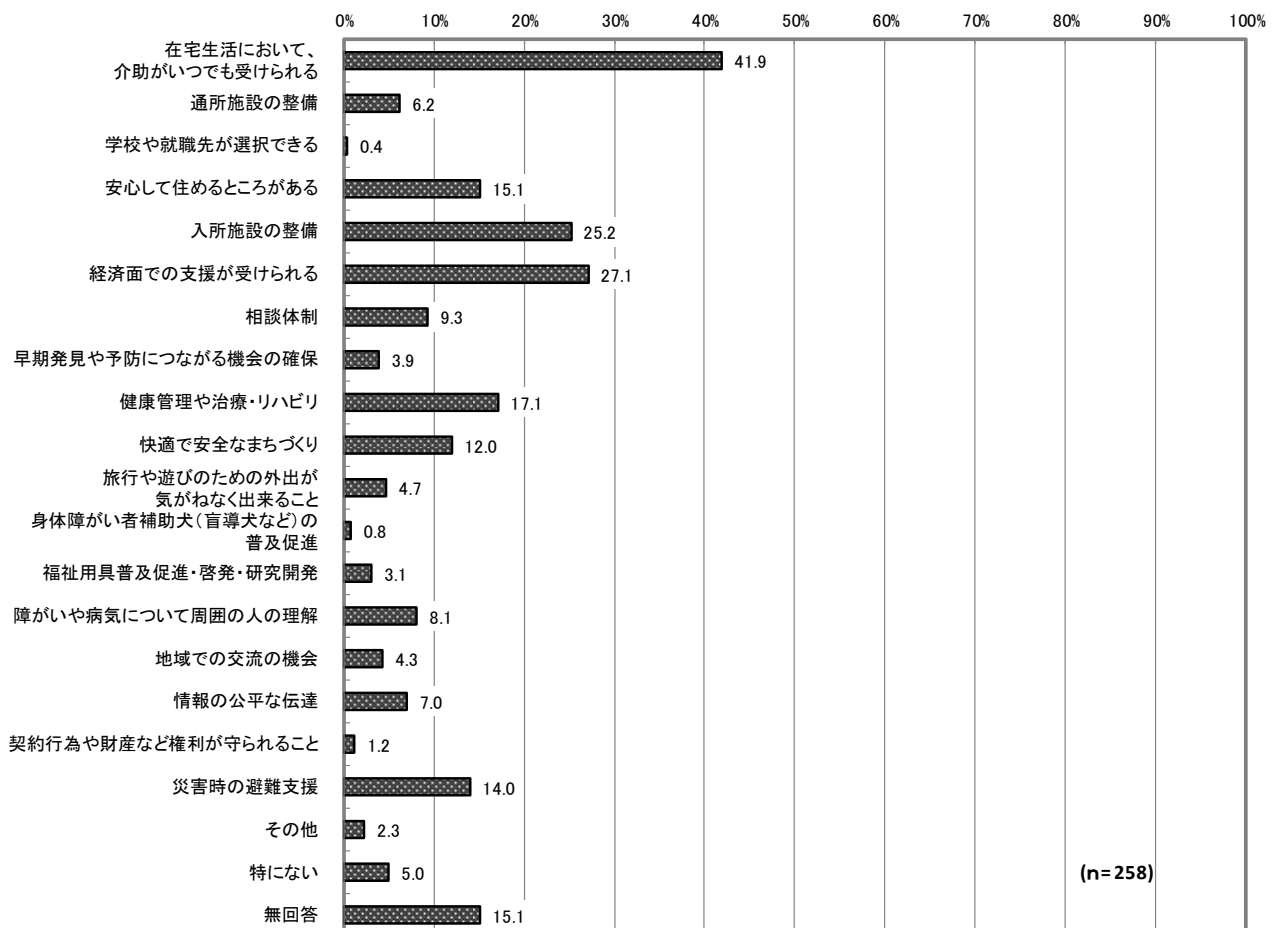
### ≪18 歳未満≫



《18～64 歳》



《65 歳以上》



## 【災害】

火事や地震などの災害のときに、自宅にいる場合、一人で避難できるかは、「できる」が54.8%と半数強を占め、「できない」は36.8%と3割半ばとなっている。一人で避難できないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「一人で移動をすることができない」が66.7%と6割半ばを占めて最も高く、次いで「どこに避難すればよいかわからない」が12.3%、「一人で判断をすることができない」が7.0%となった。

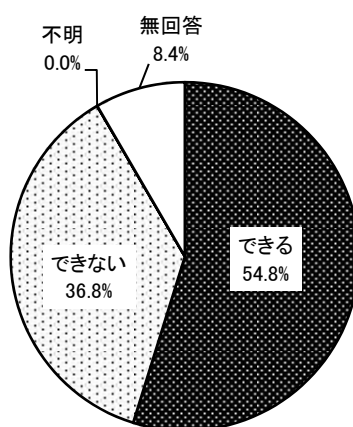
住まいの地区の避難所の場所を知っているかは、「知っている」が70.0%と7割を占め、「知らない」の22.3%を上回った。火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、周囲の人に知らせることができるかは、「できる」が65.5%と6割半ばを占めたが、「できない」は26.1%と2割半ばとなっている。また、家族のほかに近所に助けてくれる人がいるかは、「いる」が47.7%と半数弱を占めたが、「いない」も42.9%と4割強となっている。家族のほかに誰に助けてもらいたい人は、「近所の人」が61.9%と6割強を占めて最も高く、次いで「友人・知人」が7.4%となった。

「山形市避難行動支援制度」を知っているかは、「知らない」が68.4%と7割弱を占め、次いで「知っているが、登録はしていない」が19.4%となり、「知っているし、登録もしている」はわずか5.2%にとどまった。災害時に避難支援を受けるために、個人情報など（住所、氏名、障がいの有無や状態など）を、山形市が民生委員児童委員・自主防災組織などへ提供することに同意できるかは、「同意できる」が69.0%と7割弱を占め、「同意できない」の12.3%を上回った。同意できない理由は、「個人情報」が他へ流出する恐れがあるから」が50.0%と半数を占め、次いで「障がいがあることを知られたくないから」が26.3%となった。

## 問 50 火事や地震などの災害のときに、自宅にいる場合、あなたは一人で避難できますか。

(単数回答 n=310)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 できる	170	54.8%	2	100.0%	35	70.0%	133	51.6%
2 できない	114	36.8%	0	0.0%	14	28.0%	100	38.8%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	26	8.4%	0	0.0%	1	2.0%	25	9.7%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

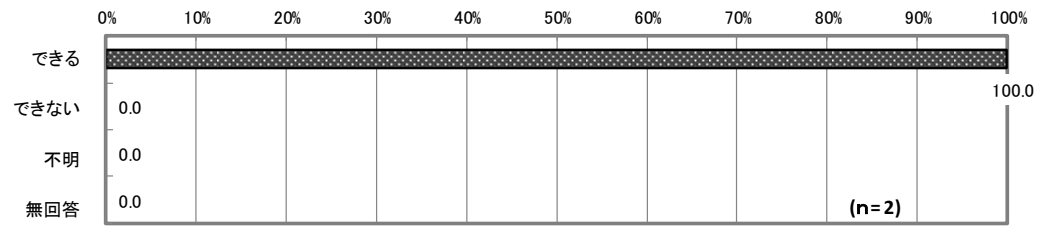


n=310

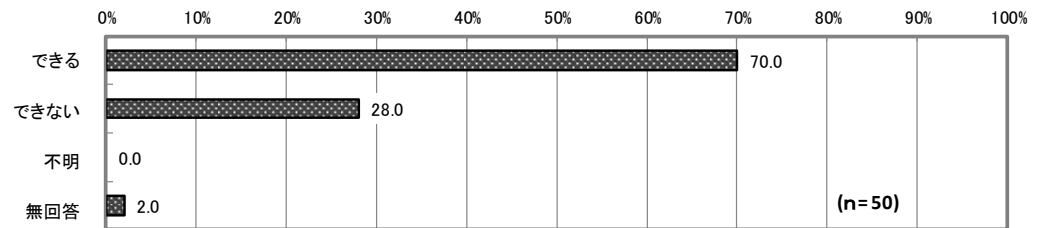


【年代別】

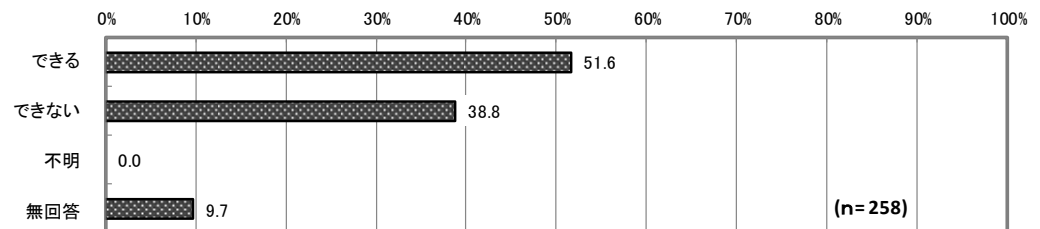
《18 歳未満》



《18～64 歳》



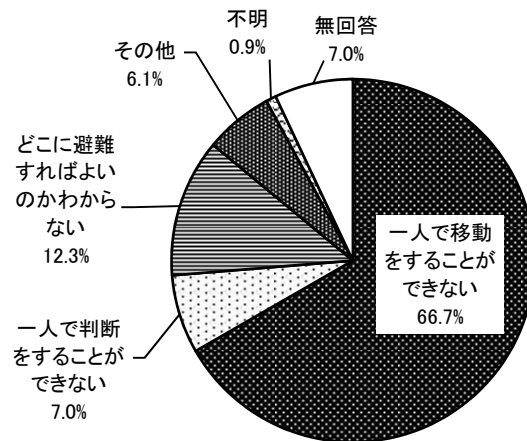
《65 歳以上》



問 51 問 50 で「2」を回答した方におたずねします。災害のときに一人で避難できない理由は何ですか。 （単数回答 n=114）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 一人で移動をすることができない	76	66.7%	0	0.0%	7	50.0%	69	69.0%
2 一人で判断をすることができない	8	7.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	8.0%
3 どこに避難すればよいのかわからない	14	12.3%	0	0.0%	4	28.6%	10	10.0%
4 その他	7	6.1%	0	0.0%	2	14.3%	5	5.0%
不明	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
無回答	8	7.0%	0	0.0%	1	7.1%	7	7.0%
合計	114	100.0%	0	0.0%	14	100.0%	100	100.0%

4 その他：主な内訳 急いで歩けない（3）入院中（1）



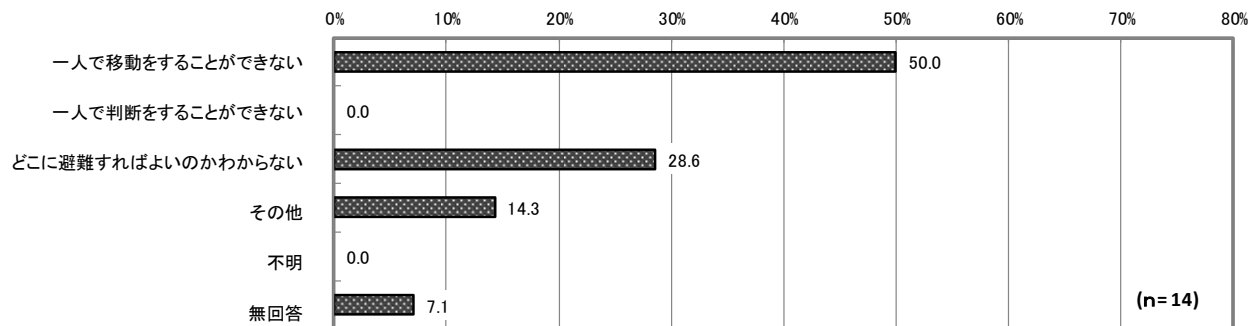
n=114

【年代別】

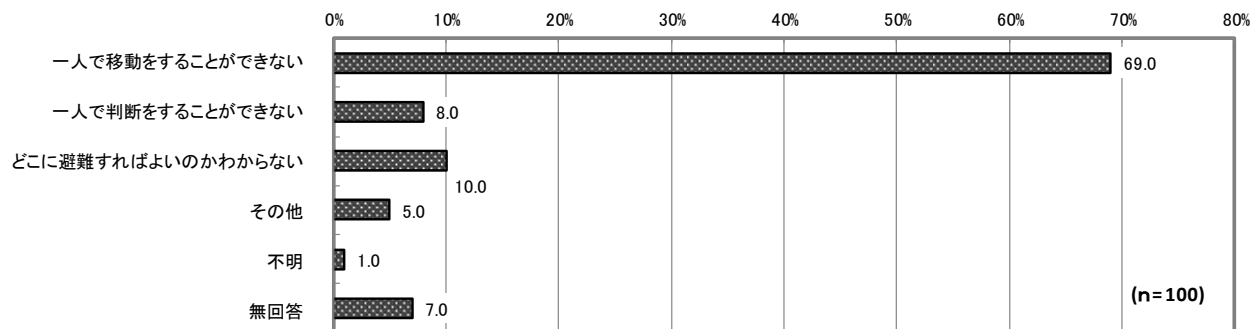
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》

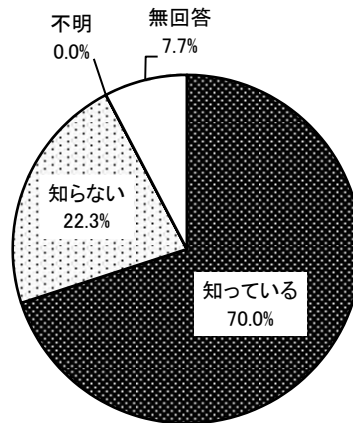


《65 歳以上》

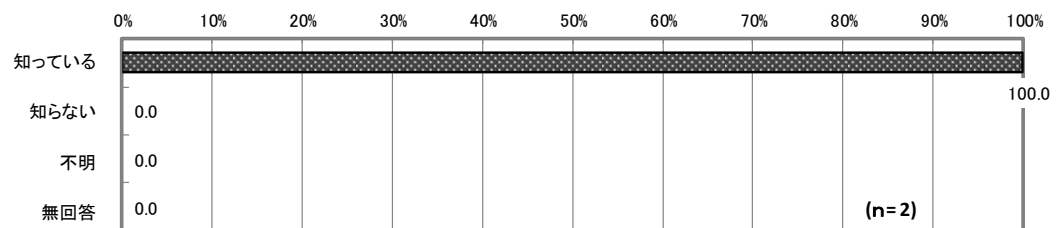
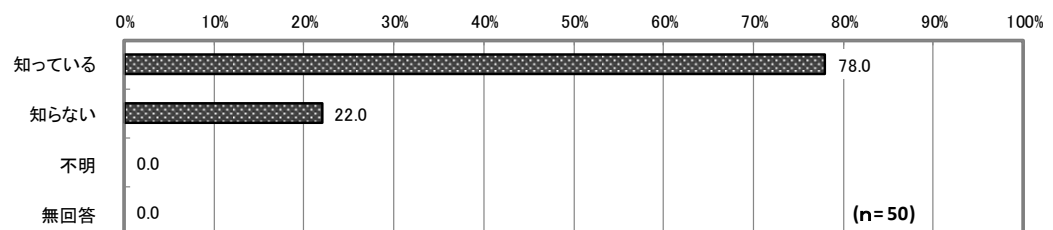
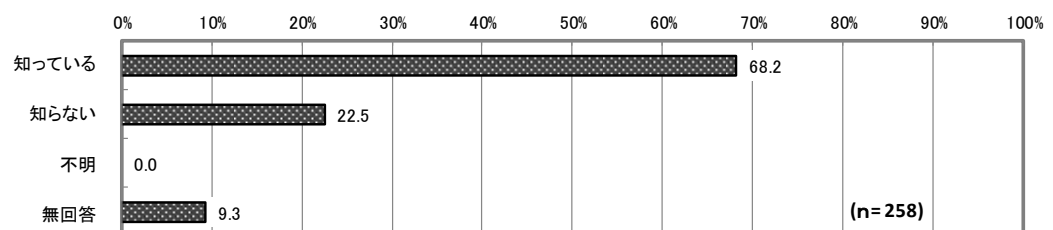


**問 52 あなたはお住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。 (単数回答 n=310)**

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っている	217	70.0%	2	100.0%	39	78.0%	176	68.2%
2 知らない	69	22.3%	0	0.0%	11	22.0%	58	22.5%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	24	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	24	9.3%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



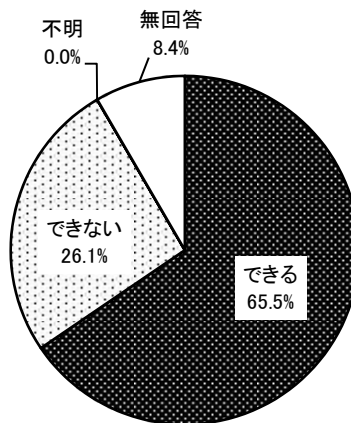
n=310

**【年代別】**
**《18 歳未満》**

**《18～64 歳》**

**《65 歳以上》**


## 問 53 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、あなたは周囲の人に知らせることができますか。

(単数回答 n=310)

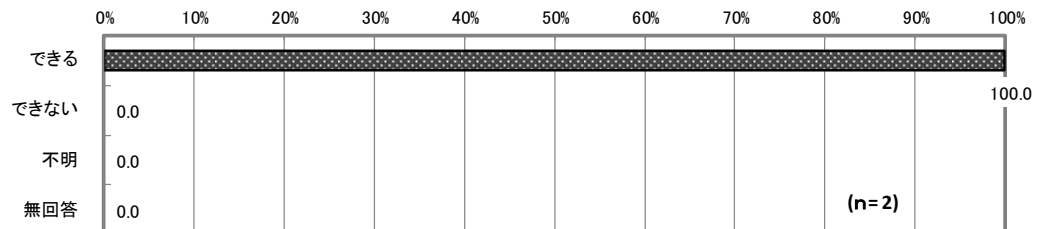
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 できる	203	65.5%	2	100.0%	40	80.0%	161	62.4%
2 できない	81	26.1%	0	0.0%	10	20.0%	71	27.5%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	26	8.4%	0	0.0%	0	0.0%	26	10.1%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



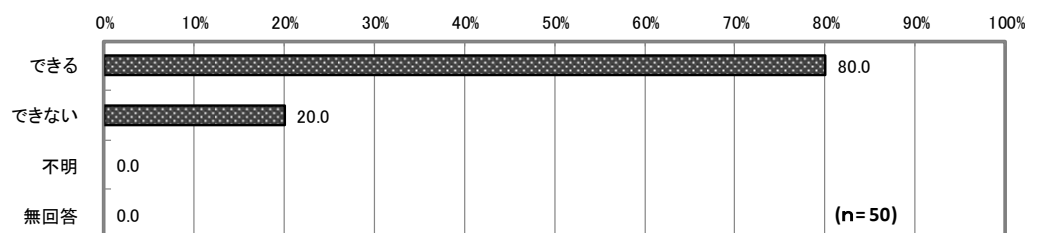
n=310

## 【年代別】

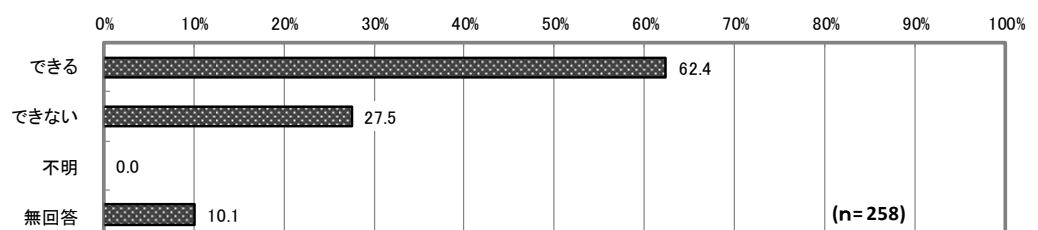
## 《18 歳未満》



## 《18～64 歳》

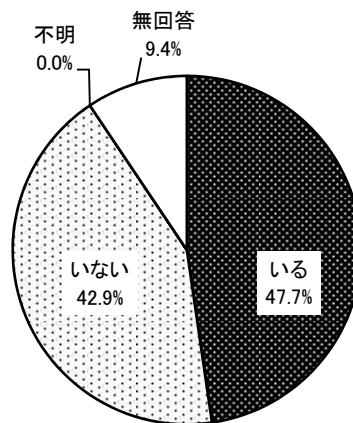


## 《65 歳以上》



問 54 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、家族のほかにご近所にあなただけを助けてくれる方はいますか。 （単数回答 n=310）

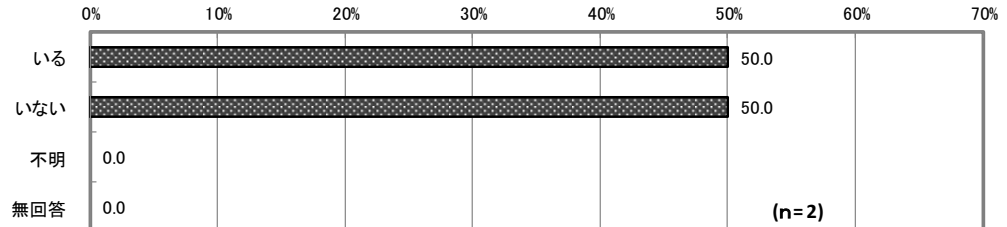
項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 いる	148	47.7%	1	50.0%	16	32.0%	131	50.8%
2 いない	133	42.9%	1	50.0%	33	66.0%	99	38.4%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	29	9.4%	0	0.0%	1	2.0%	28	10.9%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%



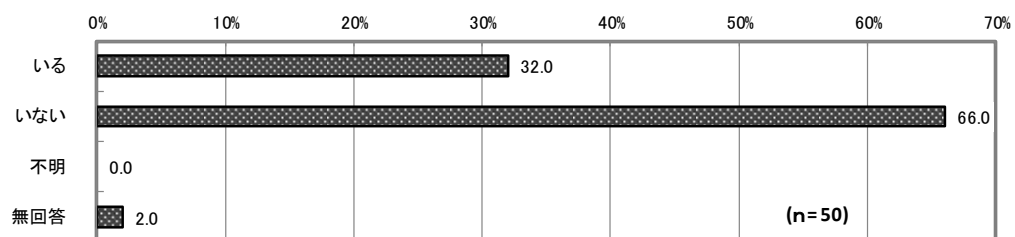
n=310

【年代別】

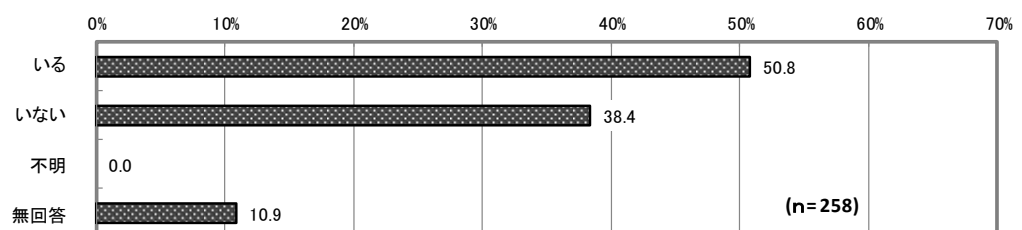
《18 歳未満》



《18～64 歳》



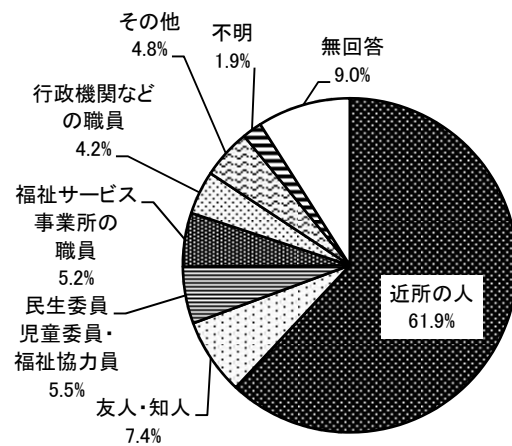
《65 歳以上》



問 55 火事や地震などの災害時に自宅にいる場合、あなたは家族のほかに誰に助けてもらいたいですか。 （単数回答 n=310）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 近所の人	192	61.9%	2	100.0%	25	50.0%	165	64.0%
2 友人・知人	23	7.4%	0	0.0%	10	20.0%	13	5.0%
3 民生委員児童委員・福祉協力員	17	5.5%	0	0.0%	1	2.0%	16	6.2%
4 福祉サービス事業所の職員	16	5.2%	0	0.0%	4	8.0%	12	4.7%
5 行政機関などの職員	13	4.2%	0	0.0%	4	8.0%	9	3.5%
6 その他	15	4.8%	0	0.0%	3	6.0%	12	4.7%
不明	6	1.9%	0	0.0%	1	2.0%	5	1.9%
無回答	28	9.0%	0	0.0%	2	4.0%	26	10.1%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

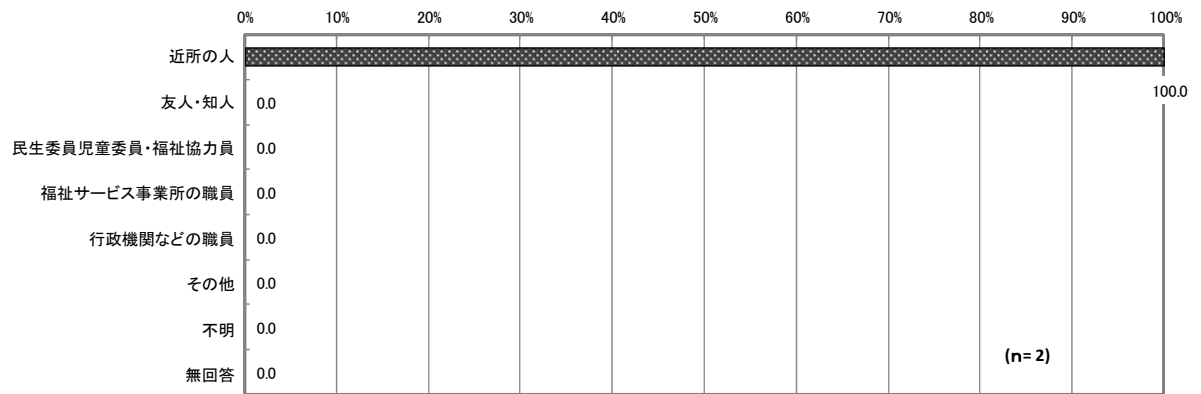
6 その他：主な内訳 いない (3) 助けてくれる人なら誰でも (2) 施設のスタッフ (2) わからない (2) そばにいる息子 (1) まだ1人で動けるので自力で逃げる (1) 自宅にいない (1) 親族 (1)



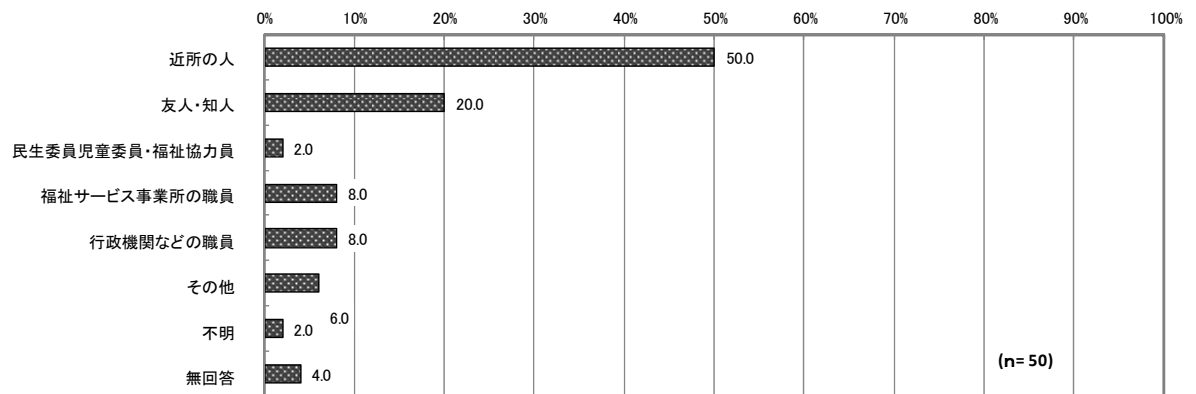
n=310

【年代別】

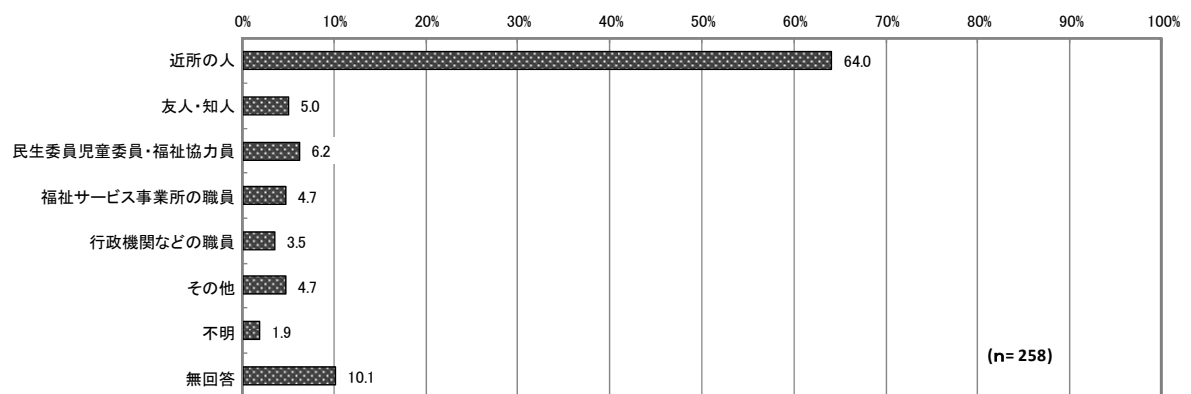
《18 歳未満》



《18～64 歳》



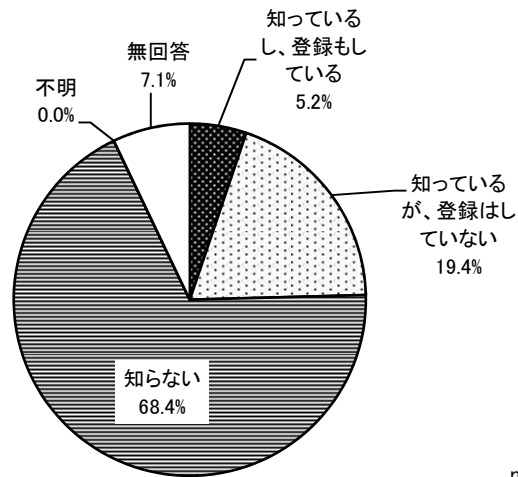
《65 歳以上》





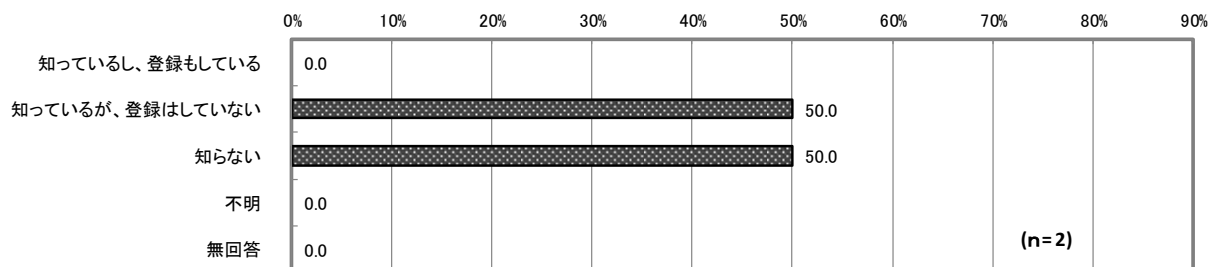
## 問 56 「山形市避難行動支援制度」を知っていますか。 （単数回答 n=310）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 知っているし、登録もしている	16	5.2%	0	0.0%	2	4.0%	14	5.4%
2 知っているが、登録はしていない	60	19.4%	1	50.0%	8	16.0%	51	19.8%
3 知らない	212	68.4%	1	50.0%	39	78.0%	172	66.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	22	7.1%	0	0.0%	1	2.0%	21	8.1%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

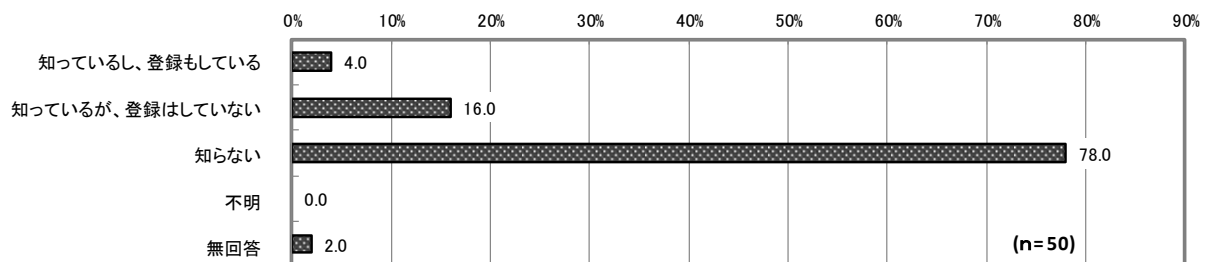


## 【年代別】

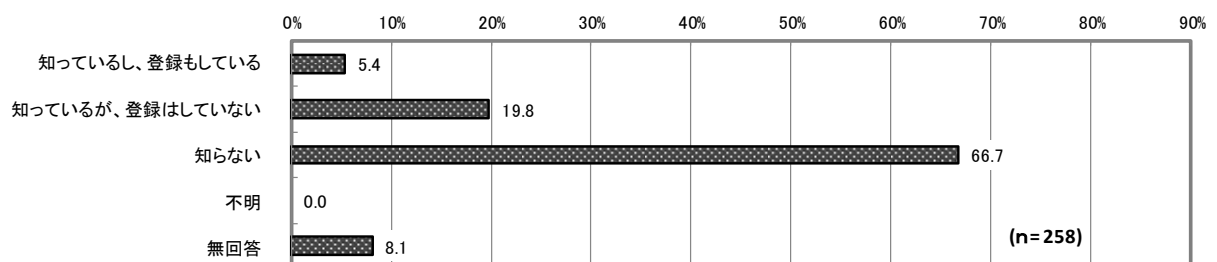
## &lt;&lt; 18 歳未満 &gt;&gt;



## &lt;&lt; 18～64 歳 &gt;&gt;



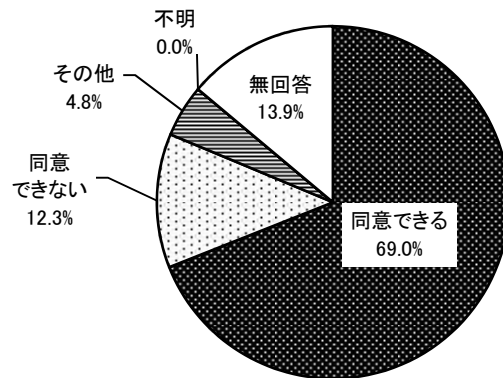
## &lt;&lt; 65 歳以上 &gt;&gt;



問 57 災害時に避難支援を受けるために必要であれば、あなたの個人情報など（住所、氏名、障がいの有無や状態など）を、山形市が民生委員児童委員・自主防災組織などへ提供することに同意できますか。（単数回答 n=310）

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 同意できる	214	69.0%	2	100.0%	28	56.0%	184	71.3%
2 同意できない	38	12.3%	0	0.0%	17	34.0%	21	8.1%
3 その他	15	4.8%	0	0.0%	2	4.0%	13	5.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	43	13.9%	0	0.0%	3	6.0%	40	15.5%
合計	310	100.0%	2	100.0%	50	100.0%	258	100.0%

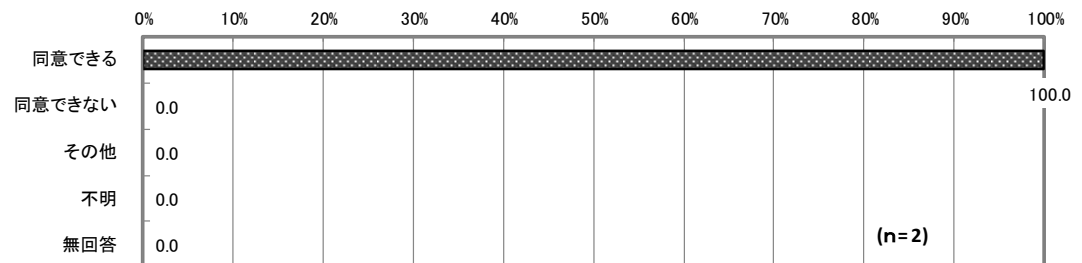
3 その他：主な内訳 必要がない（3）わからない（2）町内で家族構成等、災害時の連絡先等提出している（1）



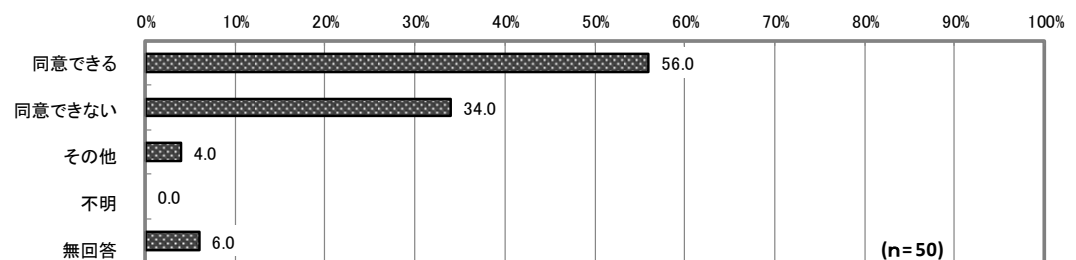
n=310

【年代別】

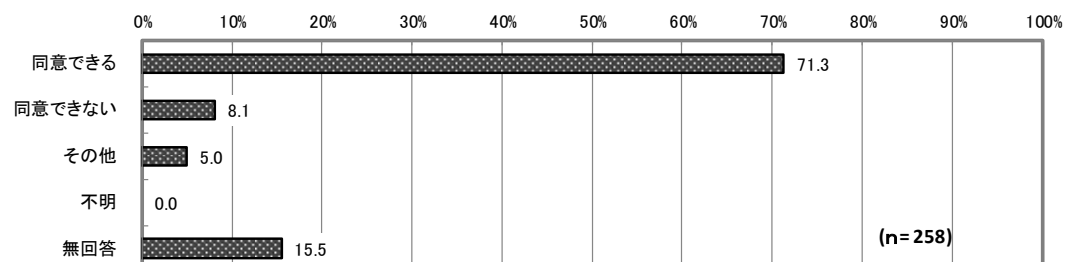
&lt;&lt; 18 歳未満 &gt;&gt;



&lt;&lt; 18～64 歳 &gt;&gt;



&lt;&lt; 65 歳以上 &gt;&gt;

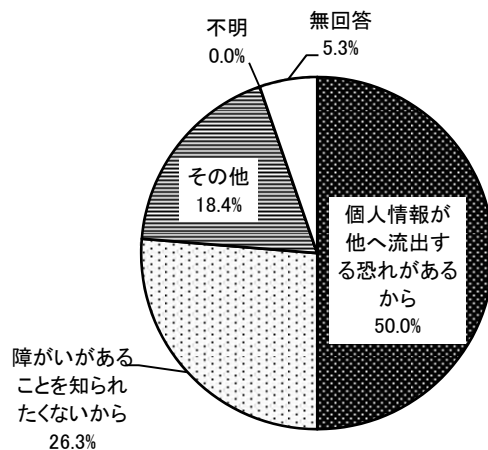


問 58 問 57 で「2」を回答した方におたずねします。同意できない理由は何ですか。

(単数回答 n=38)

項目	全体		年代別					
			18歳未満		18～64歳		65歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1 個人情報が他へ流出する恐れがあるから	19	50.0%	0	0.0%	6	35.3%	13	61.9%
2 障がいがあることを知られたくないから	10	26.3%	0	0.0%	6	35.3%	4	19.0%
3 その他	7	18.4%	0	0.0%	4	23.5%	3	14.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	5.3%	0	0.0%	1	5.9%	1	4.8%
合計	38	100.0%	0	0.0%	17	100.0%	21	100.0%

3 その他：主な内訳 自立しているので必要ない (5) 信頼できるかわからない (1) 近所に親しくない (1)



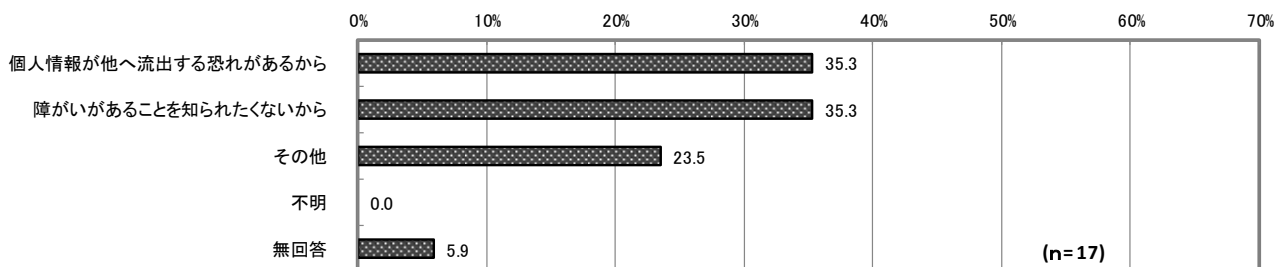
n=38

【年代別】

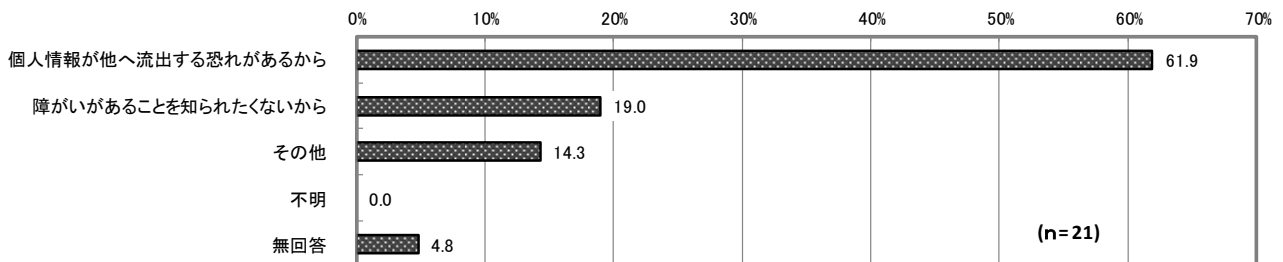
《18 歳未満》

回答者 0 のため省略

《18～64 歳》



《65 歳以上》



## 障がい者施策に関する主な意見・要望「身体障がい者」

### 障がい者支援体制の強化

- 現在 78 才、透析歴 16 年。将来はずうっと透析を続ける必要あり、目下車の運転や歩き、自転車も利用出来ませんが、不可能に成った場合、透析の出来る介護施設が最もほしい要点です。
- 股関節に人工器具が入っているので痛みもさほどなく、不自由もなく生活しているが、十何年後かに再手術した場合、子供達は関東だし、術後退院してすぐ家事ができないので、一時有料でもいいのでその様な施設があったら心配せずにいられる。
- リハビリで体力を維持したいが、施設不足です（病院でのリハビリ可能期間が短い為）。一般「ジム」は健康の人の為の施設で利用不可です。是非対処を希望します。
- 特老の数を増やしてほしい。申込みして 5 年も待っているが、未だに特老から入所申込みの連絡がない。
- 障がい者が安心、安全に住めるバリアフリー化の住宅（賃貸含）等。
- 公共施設（公民館）など、トイレを和式から洋式にしてほしい。
- 適切なアドバイス支援のできる人材確保。障害にあわせながらも平等にできる、安心して生活できる施設を作してほしい（人間らしい生活）。介助者がいない障がい者の身の上安全確保。生活介護事業所（入浴できる施設）を早急に整備してほしい。
- 施設入所となれば、多額の金額が必要だと聞いています。国民年金等だけの収入で利用できる入所施設はあるのでしょうか。
- 障がい者が利用できる公営住宅がとても少ない。
- 国民年金で入所できる施設を増やしてほしい。
- プライバシーを護れる施設の充実。経済的にも。
- 経済面での支援を手厚く確実に、迅速にして貰いたいと熱望しています。
- ヘルプカードに、どの障害があるかがわかるように記入するところがあると良い（見たことがないので、実際にはあるのかもしれませんが・・・）。
- 町内で民生委員、防災関係とのコミュニケーションがとれてない。
- 障がいを持つと、どう対応して良いかわからなくなる時があります。やはり相談者の適切なアドバイスがあると助かります。色々な人に助けられてありがたいです。

### 障がい者支援情報・制度に関する広報強化

- 24 時間酸素濃縮機が必要で透析が必要なので、病院の近くに施設があると嬉しい。60 歳位でも入れる施設が増えること。いろんな事、質問したくても何を質問したら良いのがわからないので、関係者の方が「こういうこと出来るんだよ」等を率先して教えてほしい。障がい者が損しないように。
- 障がいといっても 1 人 1 人程度が違うので各自にあった細かい支援が必要と思われる。市からの案内と情報が各自に送られてくると助かる。
- 私は年金障害者です。聴覚障害 2 級です。主人と二人ぐらしですが年金もありますし、なんとか生活していけます。一番の心配は老人で二人とも病院通いです。この先も自宅で暮らしていくには不安がたくさんあります。訪問医療や訪問介護の状態を知りたいと思います。6 月から週一回清掃に来てもらっています。身体の介護が必要になっても在宅でいいのか不安です。この辺は資料が回って来ます。障害にかかわらず、老

人になると皆さん不安だろうと思います。知人や友達がたくさんいて下さるので心強いです。

- 公的な支援では、概ね良くして頂いていると思いますが、生活面で外へ出ようとする時、障がい者用トイレが使えるかどうか、車椅子を貸して貰えるのか等の情報が少ない。市として店舗等の協力により、写真(トイレ内)付きの冊子を作って欲しいです。情報の少なさが外出機会を少なくしています。個人医院に診察に行っても車椅子が完備している所が少なく、あってもパンクしていたり、こわれていたりで使えない所も多い。医院一軒に付き、せめて一台は整備された車椅子の設置を義務化して欲しいと思う。ちなみに市役所内は障がい者が使いやすい場になっていますか？
- 民生委員の方が老人障がい者地区で何人いるかぐらい調べてほしい。個人情報でお知らせできないと言われます。
- 障がい者が生活しやすい山形市になってほしいです。知らない事が多く、詳しい情報を教えてほしい。
- 施設の全般が理解されていない。広報等もっと充実すべきである。
- 私は障がい者手帳をもらっただけで何事もありませんでした。聞かないと教えてくれない。だけど、何を聞いていいのかわからないことだけでした。市報、新聞を読んで初めてわかることもありました。
- 市、県の情報でうそのない、かくさない本当の公平なる伝達を希望します。

## 行政への要望

- 障がい年金を受けられるようにしてもらいたい。発症したのは57才だが、病気がひどくなったのは65才を過ぎていたため受けられないと言われた。年令は関係なく給付してほしい。
- もし災害に直面した場合、障害者である身は何も出来ず、すべてその機関に頼るしかありません。登録していない場合は、すべてに見放される様な気が致します。その点等について、登録しなくてもその時点に於いて各機関が速やかに身障者に対して善処して頂きたいと思います。何となく登録して居る人が優先して、していない人はその次となる様な気がしてなりません。
- 車の税金免除について。私も車の障がいを受けてますが、等級によって車税の免除は、一律でも、なくてもよいのではと思っています。
- 提出書類の簡単化。
- 是非、至急お願いしたいことがあります。それはタクシー割引券のことで。私は身体障害者(4級)割引と運転免許証返還証明書とを所持している者ですが、タクシー会社によっては片方しか割引かない会社があるのです。是非、それぞれの会社にご指導ください。毎月病院へ行っているのですが、帰る時にいやな気持ちになるのです。よろしくお願いします。
- 長寿支援課担当ですが、病院から病院へ転院する際にストレッチャー式のタクシーを利用すると補助が出ないのはおかしい。病院・自宅間はあることを知っている。他の市町村は補助があるという。

## 障がい者理解の促進

- 障害者をどこかに集めるのではなく、海外の先進国のように健常者と同じように社会のどこにでも居られるよう整備すべきです。
- 障害者のためのナントカ委員会など多くありますが、健常者メンバーが多く、私たちの意見など余り取り入れてもらえない、聞こうとしないのが残念です。障害者の小さな団体からも声を吸いあげて下さい。
- 耳に障害があり、見た目では分からないので、理解されないことが多い。耳マークをどこにでも置くように配慮してほしい。

## アンケートについて

- このようなアンケートを定期的に。障害者を福祉に参加できるような情報の提供を考えるべき。

---
- このアンケートの回答に困っていること。すべての障害者がバリアフリーや福祉施設を必要としていない。全く私は健康な人と同じ生活をしています。利用しない理由等、すでに不便だろうと思っている内容が多く返答に困る。

---
- 全ての資料が、障がい者の手続き等の書類等が、老人の目線にそっていないと思います。もっとわかりやすく、字も大きくしてもらわないと答えられません。このアンケートにしても、書くのがとても大変でした。老人の事をもっと考えて下さい。

---
- アンケートより市役所に手続に行った時に答えるようにしてはどうでしょうか。項目も多く、15問ぐらいにし、要望などを書くようにしてはどうでしょうか。

## その他の意見

- お蔭様で四肢の障碍が今の所困難（膝の痛みはこたえますが）の状態でないで、知識がうすいのですが、街の道路を安全にしてほしいです。心臓もこの頃弱くなっている不安を感じます。医師に大変お世話になっております。老後もとても心配です。

---
- タクシー券、大変助かります。冬期、停留所の積雪は、特に降りる時にうまく立てず、つかまる所もないので大変こわいです。バスにひかれるんじゃないかと思います。横断歩道の積雪も同様で、圧雪のツルツルもこわいです。除雪後の山積りの雪も！

---
- 頸椎損傷のため施設でお世話になっておりますが、電話の受話器も自分で持つ事が出来ません。スカイプのような、タブレットみたいな音声入力で、通話出来る公衆電話があったら行動範囲が広がるのと思っています。

---

## 障がい者施策に関する主なニーズ「身体障がい者」

## 【働き続ける（または将来働く）ために必要だと思うこと】

働き続ける（または将来働く）ために特に必要だと思うことについて、全体では、「特にない・まだよくわからない」が 29.7%と最も高いが、具体的な回答の中では「障がいや病気に対する理解や配慮」が 16.8%、「自分に合った仕事である」が 13.2%と続いている。

## 《身体障がいの部位別》

身体障がいの部位別でみると、いずれの区分でも「特にない・まだよくわからない」が最も高く、3割弱から3割半ばを占めたほか、「障がいや病気に対する理解や配慮」はいずれの区分でも3位以内となった。また、＜聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく＞＜肢体不自由＞では、「自分に合った仕事である」、＜聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく＞で「通勤が自分でできる」、＜内部（心臓・腎臓など）＞で「具合が悪くなった時に気軽に通院できる」が1割以上と他の項目に比べて比較的高くなった。

上段:件数 下段:%		回答件数	勤務時間や 日数の短縮	通勤が自分 でできる	具合が悪く なった時に気 軽に通院で きる	職場の建物 や設備などを 障がい者に 配慮した環 境への整備	自宅で仕事 ができること	給料・賃金が 妥当である	自分に合っ た仕事であ る	職業訓練な どで就労の ための知識・ 技術習得
全 体		310 100.0	20 6.5	28 9.0	24 7.7	21 6.8	23 7.4	11 3.5	41 13.2	4 1.3
身 体 障 が い の 部 位	視覚	22 100.0	0 0.0	2 9.1	1 4.5	1 4.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	聴覚・平衡・音声・ 言語・そしゃく	37 100.0	1 2.7	5 13.5	3 8.1	2 5.4	3 8.1	1 2.7	4 10.8	0 0.0
	肢体不自由	149 100.0	10 6.7	13 8.7	6 4.0	13 8.7	13 8.7	5 3.4	26 17.4	1 0.7
	内部(心臓・腎臓など)	102 100.0	8 7.8	6 5.9	12 11.8	5 4.9	3 2.9	4 3.9	8 7.8	3 2.9

上段:件数 下段:%		回答件数	会社や家族 などの自分 への理解	徐々に仕事 に慣れてい けるようス テップを踏 めること	職場に適切 な助言や指 導、配慮を してくれる 人がいるこ と	障がいや病 気に対する 理解や配慮	その他	特にない・ま だよくわか らない	無回答
全 体		310 100.0	14 4.5	5 1.6	21 6.8	52 16.8	21 6.8	92 29.7	86 27.7
身 体 障 が い の 部 位	視覚	22 100.0	0 0.0	0 0.0	2 9.1	2 9.1	3 13.6	8 36.4	6 27.3
	聴覚・平衡・音声・ 言語・そしゃく	37 100.0	3 8.1	0 0.0	3 8.1	9 24.3	1 2.7	10 27.0	10 27.0
	肢体不自由	149 100.0	5 3.4	2 1.3	13 8.7	23 15.4	15 10.1	45 30.2	39 26.2
	内部(心臓・腎臓など)	102 100.0	5 4.9	3 2.9	4 3.9	17 16.7	2 2.0	34 33.3	30 29.4

1位      2位      3位      の項目

# 「身体障がいの等級別」

身体障がいの等級別でみると、＜１級＞から＜４級＞の区分では「特にない・まだよくわからない」が２割半ばから４割弱を占めて最も高く、＜５級＞では、「自分に合った仕事である」が４割強、＜６級＞では、「障がいや病気に対する理解や配慮」が３割半ばと最も高くなった。また、いずれの区分でも、「障がいや病気に対する理解や配慮」は３位以内となり、関心の高さを示した。

上段：件数 下段：％		回答件数	勤務時間や 日数の短縮	通勤が自分 でできる	具合が悪く なった時に気 軽に通院で きる	職場の建物 や設備などを 障がい者に 配慮した環 境への整備	自宅で仕事 ができること	給料・賃金が 妥当である	自分に合っ た仕事であ る	職業訓練な どで就労の ための知識・ 技術習得
全 体		310 100.0	20 6.5	28 9.0	24 7.7	21 6.8	23 7.4	11 3.5	41 13.2	4 1.3
身体 障 が い の 等 級	1級	94 100.0	3 3.2	4 4.3	6 6.4	5 5.3	5 5.3	4 4.3	9 9.6	1 1.1
	2級	31 100.0	3 9.7	4 12.9	5 16.1	1 3.2	3 9.7	1 3.2	3 9.7	1 3.2
	3級	46 100.0	1 2.2	5 10.9	4 8.7	3 6.5	2 4.3	2 4.3	3 6.5	0 0.0
	4級	80 100.0	7 8.8	8 10.0	6 7.5	4 5.0	8 10.0	3 3.8	13 16.3	2 2.5
	5級	24 100.0	3 12.5	5 20.8	3 12.5	4 16.7	4 16.7	0 0.0	10 41.7	0 0.0
	6級	15 100.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	4 26.7	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0
	不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：件数 下段：％		回答件数	会社や家族 などの自分 への理解	徐々に仕事 に慣れてい けるようス テップを踏 めること	職場に適切 な助言や指 導、配慮を してくれる 人がいるこ と	障がいや病 気に対する 理解や配慮	その他	特にない・ま だよくわか らない	無回答
全 体		310 100.0	14 4.5	5 1.6	21 6.8	52 16.8	21 6.8	92 29.7	86 27.7
身体 障 が い の 等 級	1級	94 100.0	3 3.2	1 1.1	8 8.5	17 18.1	4 4.3	30 31.9	30 31.9
	2級	31 100.0	1 3.2	0 0.0	2 6.5	4 12.9	2 6.5	12 38.7	5 16.1
	3級	46 100.0	4 8.7	0 0.0	2 4.3	5 10.9	4 8.7	11 23.9	17 37.0
	4級	80 100.0	4 5.0	2 2.5	2 2.5	15 18.8	9 11.3	27 33.8	14 17.5
	5級	24 100.0	1 4.2	1 4.2	3 12.5	4 16.7	2 8.3	1 4.2	5 20.8
	6級	15 100.0	0 0.0	1 6.7	3 20.0	5 33.3	0 0.0	4 26.7	5 33.3
	不明	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

1位 2位 3位 の項目



## 【社会のバリアフリー化を推進するために、設備の面で特に力を入れていく必要があると思うこと】

社会のバリアフリー化を推進するために、設備の面で特に力を入れていく必要があると思うことについて、全体では、「建物・乗り物・道路などの出入り口の段差解消」が 37.1%と最も高く、次いで「手すりの設置」が 23.9%、「障がい者用駐車スペースの確保」が 23.2%と続いている。

## 《身体障がいの部位別》

身体障がいの部位別でみると、＜視覚＞＜聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく＞＜肢体不自由＞の区分では、「建物・乗り物・道路などの出入り口の段差解消」が最も高く、いずれの区分でも 4 割以上を占めた。＜内部（心臓・腎臓など）＞では、「休憩スペースの確保」が最も高かった。次に高かった項目は、＜視覚＞では、「音の出る信号機の設置」「スロープの設置」「手すりの設置」「誰もが利用しやすい多機能トイレの設置」「わかりやすい表示」が同率 18.2%で続き、＜聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく＞では、「手すりの設置」が 27.0%、＜肢体不自由＞では、「誰もが利用しやすい多機能トイレの設置」が 28.2%、＜内部（心臓・腎臓など）＞では、「手すりの設置」が 23.5%で続いた。

上段:件数 下段:%	回答件数	障がい者用駐車スペースの確保	建物・乗り物・道路などの出入り口の段差解消	点字ブロックの敷設	音の出る信号機の設置	エレベーターの設置	スロープの設置	自動ドアの設置	手すりの設置
全 体	310	72	115	4	9	43	46	19	74
	100.0	23.2	37.1	1.3	2.9	13.9	14.8	6.1	23.9
身体障がいの部位									
視覚	22	2	11	2	4	1	4	2	4
	100.0	9.1	50.0	9.1	18.2	4.5	18.2	9.1	18.2
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく	37	4	15	1	3	4	3	1	10
	100.0	10.8	40.5	2.7	8.1	10.8	8.1	2.7	27.0
肢体不自由	149	42	71	0	3	28	32	12	38
	100.0	28.2	47.7	0.0	2.0	18.8	21.5	8.1	25.5
内部(心臓・腎臓など)	102	22	23	1	0	9	6	3	24
	100.0	21.6	22.5	1.0	0.0	8.8	5.9	2.9	23.5

上段:件数 下段:%	回答件数	公共施設などで常備してある車いすの数を増やす	車いすの方などが利用しやすい客席・交通機関でのスペースの確保	誰もが利用しやすい多機能トイレの設置	駅やバス停・歩道にベンチを増やす	休憩スペースの確保	わかりやすい表示	その他	特にない	無回答
全 体	310	18	35	69	41	61	27	12	43	34
	100.0	5.8	11.3	22.3	13.2	19.7	8.7	3.9	13.9	11.0
身体障がいの部位										
視覚	22	0	1	4	1	3	4	0	3	3
	100.0	0.0	4.5	18.2	4.5	13.6	18.2	0.0	13.6	13.6
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく	37	1	1	3	5	6	4	3	2	9
	100.0	2.7	2.7	8.1	13.5	16.2	10.8	8.1	5.4	24.3
肢体不自由	149	12	24	42	15	24	8	7	15	10
	100.0	8.1	16.1	28.2	10.1	16.1	5.4	4.7	10.1	6.7
内部(心臓・腎臓など)	102	6	8	20	16	27	10	2	20	15
	100.0	5.9	7.8	19.6	15.7	26.5	9.8	2.0	19.6	14.7

1位 2位 3位 の項目

# ≪身体障がいの等級別≫

身体障がいの等級別でみると、＜５級＞を除く全ての区分では、「建物・乗り物・道路などの出入り口の段差解消」が最も高く、＜５級＞では「障がい者用駐車スペースの確保」が 41.7%と４割以上となった。また、「スロープの設置」「手すりの設置」「誰もが利用しやすい多機能トイレの設置」「休憩スペースの確保」はいずれの区分でも１割以上となった。

上段:件数 下段:%		回答件数	障がい者用駐車スペースの確保	建物・乗り物・道路などの出入り口の段差解消	点字ブロックの敷設	音の出る信号機の設置	エレベーターの設置	スロープの設置	自動ドアの設置	手すりの設置
全 体		310	72	115	4	9	43	46	19	74
		100.0	23.2	37.1	1.3	2.9	13.9	14.8	6.1	23.9
身体障がいの等級	1級	94	21	30	2	2	10	11	5	14
		100.0	22.3	31.9	2.1	2.1	10.6	11.7	5.3	14.9
	2級	31	8	14	0	2	5	4	2	10
		100.0	25.8	45.2	0.0	6.5	16.1	12.9	6.5	32.3
	3級	46	10	20	1	2	7	14	5	14
		100.0	21.7	43.5	2.2	4.3	15.2	30.4	10.9	30.4
	4級	80	18	31	0	1	14	8	2	23
		100.0	22.5	38.8	0.0	1.3	17.5	10.0	2.5	28.8
	5級	24	10	8	0	1	5	4	1	7
		100.0	41.7	33.3	0.0	4.2	20.8	16.7	4.2	29.2
	6級	15	4	9	1	0	1	3	2	4
		100.0	26.7	60.0	6.7	0.0	6.7	20.0	13.3	26.7

上段:件数 下段:%		回答件数	公共施設などで常備してある車いすの数を増やす	車いすの方などが利用しやすい客席・交通機関でのスペースの確保	誰もが利用しやすい多機能トイレの設置	駅やバス停・歩道にベンチを増やす	休憩スペースの確保	わかりやすい表示	その他	特にない	無回答
全 体		310	18	35	69	41	61	27	12	43	34
		100.0	5.8	11.3	22.3	13.2	19.7	8.7	3.9	13.9	11.0
身体障がいの等級	1級	94	5	9	23	14	19	11	4	15	16
		100.0	5.3	9.6	24.5	14.9	20.2	11.7	4.3	16.0	17.0
	2級	31	1	3	5	2	4	3	1	6	4
		100.0	3.2	9.7	16.1	6.5	12.9	9.7	3.2	19.4	12.9
	3級	46	5	12	9	5	11	1	0	7	3
		100.0	10.9	26.1	19.6	10.9	23.9	2.2	0.0	15.2	6.5
	4級	80	5	6	14	13	20	6	4	9	2
		100.0	6.3	7.5	17.5	16.3	25.0	7.5	5.0	11.3	2.5
	5級	24	1	1	10	5	3	3	1	2	1
		100.0	4.2	4.2	41.7	20.8	12.5	12.5	4.2	8.3	4.2
	6級	15	0	3	5	1	2	1	0	1	1
		100.0	0.0	20.0	33.3	6.7	13.3	6.7	0.0	6.7	6.7

1位 2位 3位 の項目

【差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うこと】

差別・偏見や疎外感をなくすために、制度や意識の面で、特に力を入れていく必要があると思うことについて、全体では、「障がいや病気への正しい理解の啓発」が 31.9%と最も高く、次いで「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が 29.4%、「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」が 28.1%と続いている。

《身体障がいの部位別》

身体障がいの部位別でみると、＜視覚＞では「障がいや病気への正しい理解の啓発」および「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」が同率で4割強となり、＜聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく＞では、「障がいや病気への正しい理解の啓発」が3割弱、＜肢体不自由＞では、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」および「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」が同率で3割半ば、＜内部（心臓・腎臓など）＞では、「障がいや病気への正しい理解の啓発」が3割半ばでそれぞれ最も高い結果となった。また、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」「情報提供の充実」「障がいや病気への正しい理解の啓発」「障がい者自身が家族が積極的に社会参加をする」「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」は他の項目に比べて比較的高くなっている。

上段:件数 下段:%	回答件数	子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす	福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす	情報提供の充実	障がいや病気への正しい理解の啓発	支援ボランティアの育成を進める	公共施設などの改善・整備を進める	障がい者の団体組織が積極的な取り組みを進める
全 体	310 100.0	91 29.4	40 12.9	53 17.1	99 31.9	31 10.0	56 18.1	19 6.1
身体障がいの部位								
視覚	22 100.0	5 22.7	3 13.6	3 13.6	9 40.9	5 22.7	0 0.0	1 4.5
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく	37 100.0	8 21.6	1 2.7	7 18.9	10 27.0	4 10.8	6 16.2	2 5.4
肢体不自由	149 100.0	52 34.9	27 18.1	20 13.4	50 33.6	15 10.1	35 23.5	10 6.7
内部(心臓・腎臓など)	102 100.0	26 25.5	11 10.8	21 20.6	34 33.3	8 7.8	16 15.7	5 4.9

上段:件数 下段:%	回答件数	障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする	手話通訳者・要約筆記者の派遣の充実	道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする	補助犬(盲導犬など)の啓発	その他	特にない	無回答
全 体	310 100.0	52 16.8	9 2.9	87 28.1	12 3.9	4 1.3	51 16.5	42 13.5
身体障がいの部位								
視覚	22 100.0	6 27.3	2 9.1	9 40.9	1 4.5	0 0.0	3 13.6	3 13.6
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく	37 100.0	3 8.1	6 16.2	8 21.6	1 2.7	0 0.0	7 18.9	8 21.6
肢体不自由	149 100.0	28 18.8	3 2.0	52 34.9	6 4.0	2 1.3	23 15.4	12 8.1
内部(心臓・腎臓など)	102 100.0	15 14.7	1 1.0	21 20.6	5 4.9	1 1.0	15 14.7	19 18.6

1位 2位 3位 の項目

# 《身体障がいの等級別》

身体障がいの等級別でみると、＜１級＞＜６級＞では、「障がいや病気への正しい理解の啓発」が最も高く、＜２級＞では、「障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする」が３割弱となっており、＜３級＞では、「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」が４割半ば、＜４級＞では、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」が 38.8%、＜５級＞では、「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」が 41.7%となった。全ての等級で、「子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす」「障がいや病気への正しい理解の啓発」「障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする」「道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする」は他の項目に比べて比較的高くなっている。

上段:件数 下段:%		回答件数	子供のときから、学校などで障がい児とのふれあいや助け合いの機会を増やす	福祉イベントなど、障がい者と市民の交流の機会を増やす	情報提供の充実	障がいや病気への正しい理解の啓発	支援ボランティアの育成を進める	公共施設などの改善・整備を進める	障がい者の団体組織が積極的な取り組みを進める
全 体		310 100.0	91 29.4	40 12.9	53 17.1	99 31.9	31 10.0	56 18.1	19 6.1
身体障がいの等級	1級	94 100.0	22 23.4	11 11.7	12 12.8	33 35.1	10 10.6	17 18.1	6 6.4
	2級	31 100.0	7 22.6	5 16.1	5 16.1	8 25.8	2 6.5	5 16.1	1 3.2
	3級	46 100.0	14 30.4	8 17.4	10 21.7	14 30.4	8 17.4	13 28.3	3 6.5
	4級	80 100.0	31 38.8	10 12.5	13 16.3	24 30.0	5 6.3	14 17.5	6 7.5
	5級	24 100.0	9 37.5	5 20.8	7 29.2	9 37.5	1 4.2	5 20.8	2 8.3
	6級	15 100.0	6 40.0	1 6.7	2 13.3	7 46.7	4 26.7	1 6.7	0 0.0
上段:件数 下段:%		回答件数	障がい者自身や家族が積極的に社会参加をする	手話通訳者・要約筆記者の派遣の充実	道路や歩道を整備し、障がい者が外出しやすくする	補助犬(盲導犬など)の啓発	その他	特にない	無回答
全 体		310 100.0	52 16.8	9 2.9	87 28.1	12 3.9	4 1.3	51 16.5	42 13.5
身体障がいの等級	1級	94 100.0	15 16.0	3 3.2	24 25.5	3 3.2	3 3.2	9 9.6	18 19.1
	2級	31 100.0	9 29.0	2 6.5	7 22.6	3 9.7	1 3.2	6 19.4	3 9.7
	3級	46 100.0	5 10.9	2 4.3	17 37.0	2 4.3	0 0.0	11 23.9	2 4.3
	4級	80 100.0	17 21.3	0 0.0	19 23.8	1 1.3	0 0.0	15 18.8	9 11.3
	5級	24 100.0	3 12.5	0 0.0	10 41.7	2 8.3	0 0.0	3 12.5	2 8.3
	6級	15 100.0	2 13.3	2 13.3	6 40.0	1 6.7	0 0.0	2 13.3	0 0.0

1位 2位 3位 の項目

【相談機能を充実させるために必要だと思うこと】

相談機能を充実させるために必要だと思うことについて、全体では、「身近な場所で相談できること」が 38.4%と最も高く、次いで「適切なアドバイスができる人材」が 34.2%、「一か所で用事が済む相談窓口を設置する」が 31.9%と続いている。

《身体障がいの部位別》

身体障がいの部位別でみると、＜視覚＞では、「適切なアドバイスができる人材」が 4 割強で最も高く、＜聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく＞＜肢体不自由＞では、「身近な場所で相談できること」が 4 割弱から 4 割半ばを占め、それぞれ最も高い結果となった。＜内部（心臓・腎臓など）＞では、「適切なアドバイスができる人材」が 4 割弱となり最も高くなった。

上段:件数 下段:%		回答件数	身近な場所 で相談できる こと	プライバシー の配慮	適切なアドバ イスができる 人材	電話やFA X、Eメールな どによりいつ でも相談でき ること	素早い対応 をしてくれる	わかりやす い情報の提 供	たらい回しに されない
全 体		310 100.0	119 38.4	49 15.8	106 34.2	35 11.3	79 25.5	83 26.8	40 12.9
身 体 障 が い の 部 位	視覚	22 100.0	8 36.4	0 0.0	9 40.9	2 9.1	6 27.3	3 13.6	3 13.6
	聴覚・平衡・音声・ 言語・そしゃく	37 100.0	17 45.9	8 21.6	7 18.9	6 16.2	6 16.2	10 27.0	5 13.5
	肢体不自由	149 100.0	57 38.3	23 15.4	49 32.9	17 11.4	44 29.5	39 26.2	22 14.8
	内部(心臓・腎臓など)	102 100.0	33 32.4	19 18.6	39 38.2	10 9.8	23 22.5	31 30.4	10 9.8

上段:件数 下段:%		回答件数	相談員の資 質向上	一か所で用 事が済む相 談窓口を設 置する	市や県、民 間相談機関 の連携	福祉・教育・ 就労などの 一貫した相 談支援体制 を充実	その他	無回答
全 体		310 100.0	47 15.2	99 31.9	26 8.4	34 11.0	6 1.9	40 12.9
身 体 障 が い の 部 位	視覚	22 100.0	6 27.3	7 31.8	1 4.5	5 22.7	1 4.5	5 22.7
	聴覚・平衡・音声・ 言語・そしゃく	37 100.0	5 13.5	7 18.9	1 2.7	2 5.4	1 2.7	8 21.6
	肢体不自由	149 100.0	24 16.1	56 37.6	18 12.1	18 12.1	1 0.7	12 8.1
	内部(心臓・腎臓など)	102 100.0	12 11.8	29 28.4	7 6.9	11 10.8	4 3.9	16 15.7

1位 2位 3位 の項目

# ≪身体障がいの等級別≫

身体障がいの等級別でみると、＜２級＞から＜５級＞の区分では、「身近な場所で相談できること」が最も高く、４割以上を占めた。一方、＜１級＞では、「適切なアドバイスができる人材」が 35.1%と 3 割半ばで最も高くなっており、次いで「身近な場所で相談できること」が 3 割弱で続いた。＜６級＞では、「身近な場所で相談できること」「わかりやすい情報の提供」「一か所で用事が済む相談窓口を設置する」が同率で 4 割となりで最多となった。

上段:件数 下段:%		回答件数	身近な場所 で相談できる こと	プライバシー の配慮	適切なアドバ イスができる 人材	電話やFA X、Eメールな どによりいつ でも相談でき ること	素早い対応 をしてくれる	わかりやす い情報の提 供	たらい回しに されない
全 体		310 100.0	119 38.4	49 15.8	106 34.2	35 11.3	79 25.5	83 26.8	40 12.9
身 体 障 が い の 等 級	1級	94 100.0	29 30.9	13 13.8	33 35.1	11 11.7	19 20.2	26 27.7	11 11.7
	2級	31 100.0	15 48.4	2 6.5	11 35.5	5 16.1	7 22.6	5 16.1	4 12.9
	3級	46 100.0	21 45.7	10 21.7	16 34.8	4 8.7	20 43.5	18 39.1	9 19.6
	4級	80 100.0	29 36.3	20 25.0	28 35.0	10 12.5	17 21.3	20 25.0	12 15.0
	5級	24 100.0	13 54.2	3 12.5	8 33.3	2 8.3	4 16.7	6 25.0	2 8.3
	6級	15 100.0	6 40.0	0 0.0	2 13.3	2 13.3	4 26.7	6 40.0	1 6.7

上段:件数 下段:%		回答件数	相談員の資 質向上	一か所で用 事が済む相 談窓口を設 置する	市や県、民 間相談機関 の連携	福祉・教育・ 就労などの 一貫した相 談支援体制 を充実	その他	無回答
全 体		310 100.0	47 15.2	99 31.9	26 8.4	34 11.0	6 1.9	40 12.9
身 体 障 が い の 等 級	1級	94 100.0	17 18.1	28 29.8	8 8.5	8 8.5	2 2.1	18 19.1
	2級	31 100.0	2 6.5	12 38.7	1 3.2	2 6.5	1 3.2	5 16.1
	3級	46 100.0	8 17.4	15 32.6	7 15.2	4 8.7	0 0.0	3 6.5
	4級	80 100.0	12 15.0	26 32.5	8 10.0	13 16.3	0 0.0	4 5.0
	5級	24 100.0	4 16.7	8 33.3	2 8.3	3 12.5	0 0.0	3 12.5
	6級	15 100.0	1 6.7	6 40.0	0 0.0	3 20.0	1 6.7	2 13.3

1位 2位 3位 の項目

【今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思うこと】

今後、障がい者福祉を充実させるために山形市はどのようなことに特に力を入れていく必要があると思うことについて、全体では、「在宅生活において、介助がいつでも受けられる」が41.3%と最も高く、次いで「経済面での支援が受けられる」が25.8%、「入所施設の整備」が22.9%と続いている。

《身体障がいの部位別》

身体障がいの部位別でみると、全ての区分で、「在宅生活において、介助がいつでも受けられる」が最も高く、関心が高いことを示した。次点は、＜視覚＞では、「災害時の避難支援」で40.9%、＜聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく＞では「入所施設の整備」で24.3%、＜肢体不自由＞では「経済面での支援が受けられる」で30.2%、＜内部（心臓・腎臓など）＞では「入所施設の整備」で26.5%となり、意見が分かれた。

上段：件数 下段：%	回答件数	在宅生活において、介助がいつでも受けられる	通所施設の整備	学校や就職先が選択できる	安心して住めるところがある	入所施設の整備	経済面での支援が受けられる	相談体制	早期発見や予防につながる機会の確保	健康管理や治療・リハビリ	快適で安全なまちづくり	旅行や遊びのための外出が気兼ねなく出来ること
全 体	310 100.0	128 41.3	20 6.5	5 1.6	46 14.8	71 22.9	80 25.8	36 11.6	11 3.5	52 16.8	44 14.2	15 4.8
身体障がいの部位	22 100.0	10 45.5	2 9.1	0 0.0	4 18.2	5 22.7	7 31.8	1 4.5	0 0.0	3 13.6	4 18.2	0 0.0
視覚	37 100.0	13 35.1	3 8.1	1 2.7	6 16.2	9 24.3	4 10.8	3 8.1	1 2.7	7 18.9	7 18.9	0 0.0
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく	149 100.0	70 47.0	8 5.4	2 1.3	19 12.8	35 23.5	45 30.2	16 10.7	6 4.0	31 20.8	21 14.1	11 7.4
肢体不自由	102 100.0	36 35.3	8 7.8	2 2.0	11 10.8	27 26.5	25 24.5	15 14.7	5 4.9	11 10.8	11 10.8	3 2.9
内部（心臓・腎臓など）												

上段：件数 下段：%	回答件数	身体障がい者補助犬（盲導犬など）の普及促進	福祉用具普及促進・啓発・研究開発	障がいや病気について周囲の人の理解	地域での交流の機会	情報の公平な伝達	契約行為や財産など権利が守られること	災害時の避難支援	その他	特にない	無回答
全 体	310 100.0	4 1.3	10 3.2	34 11.0	12 3.9	24 7.7	3 1.0	47 15.2	8 2.6	17 5.5	39 12.6
身体障がいの部位	22 100.0	0 0.0	2 9.1	3 13.6	1 4.5	2 9.1	0 0.0	9 40.9	0 0.0	0 0.0	3 13.6
視覚	37 100.0	0 0.0	0 0.0	8 21.6	2 5.4	2 5.4	0 0.0	6 16.2	0 0.0	2 5.4	6 16.2
聴覚・平衡・音声・言語・そしゃく	149 100.0	1 0.7	5 3.4	20 13.4	6 4.0	7 4.7	3 2.0	21 14.1	6 4.0	6 4.0	12 8.1
肢体不自由	102 100.0	3 2.9	4 3.9	6 5.9	3 2.9	10 9.8	1 1.0	13 12.7	2 2.0	9 8.8	17 16.7
内部（心臓・腎臓など）											

1位 2位 3位 の項目

# ≪身体障がいの等級別≫

身体障がいの等級別でみると、全ての区分で、「在宅生活において、介助がいつでも受けられる」が最も高く、いずれの区分でも3割以上を占め、高い関心を示した。次点は、＜1級＞では、「入所施設の整備」が3割弱となり、＜2級＞＜4級＞＜6級＞では「経済面での支援が受けられる」がいずれも2割以上で続いた。＜3級＞では、「入所施設の整備」「経済面での支援が受けられる」が4割弱、＜5級＞では「快適で安全なまちづくり」が2割半ばで続き、等級により意見が分かれた。

上段: 件数 下段: %	回答件数	在宅生活において、介助がいつでも受けられる	通所施設の整備	学校や就職先が選択できる	安心して住めるところがある	入所施設の整備	経済面での支援が受けられる	相談体制	早期発見や予防につながる機会の確保	健康管理や治療・リハビリ	快適で安全なまちづくり	旅行や遊びのための外出が気兼ねなく出来ること
全 体	310 100.0	128 41.3	20 6.5	5 1.6	46 14.8	71 22.9	80 25.8	36 11.6	11 3.5	52 16.8	44 14.2	15 4.8
身体障がいの等級	1級	94 100.0	33 35.1	8 8.5	2 2.1	12 12.8	27 28.7	20 21.3	13 13.8	5 5.3	13 13.8	1 1.1
	2級	31 100.0	13 41.9	1 3.2	2 6.5	4 12.9	6 19.4	12 38.7	0 0.0	0 0.0	5 16.1	3 9.7
	3級	46 100.0	26 56.5	3 6.5	0 0.0	8 17.4	17 37.0	17 37.0	5 10.9	3 6.5	8 17.4	6 13.0
	4級	80 100.0	36 45.0	3 3.8	0 0.0	14 17.5	11 13.8	21 26.3	10 12.5	3 3.8	15 18.8	7 16.3
	5級	24 100.0	9 37.5	1 4.2	0 0.0	5 20.8	4 16.7	1 4.2	4 16.7	0 0.0	5 20.8	6 25.0
	6級	15 100.0	5 33.3	2 13.3	1 6.7	0 0.0	2 13.3	3 20.0	2 13.3	0 0.0	2 13.3	1 6.7

上段: 件数 下段: %	回答件数	身体障がい者補助犬(盲導犬など)の普及促進	福祉用具普及促進・啓発・研究開発	障がいや病気について周囲の人の理解	地域での交流の機会	情報の公平な伝達	契約行為や財産など権利が守られること	災害時の避難支援	その他	特になし	無回答
全 体	310 100.0	4 1.3	10 3.2	34 11.0	12 3.9	24 7.7	3 1.0	47 15.2	8 2.6	17 5.5	39 12.6
身体障がいの等級	1級	94 100.0	2 2.1	3 3.2	7 7.4	4 4.3	10 10.6	0 0.0	18 19.1	1 1.1	16 17.0
	2級	31 100.0	0 0.0	2 6.5	5 16.1	1 3.2	1 3.2	0 0.0	6 19.4	0 0.0	3 9.7
	3級	46 100.0	0 0.0	1 2.2	4 8.7	3 6.5	3 6.5	0 0.0	3 6.5	1 2.2	4 8.7
	4級	80 100.0	1 1.3	3 3.8	12 15.0	3 3.8	7 8.8	2 2.5	7 8.8	3 3.8	7 8.8
	5級	24 100.0	0 0.0	1 4.2	4 16.7	1 4.2	1 4.2	5 20.8	2 8.3	2 8.3	2 8.3
	6級	15 100.0	1 6.7	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	3 20.0	0 0.0	1 6.7	4 26.7

1位 2位 3位 の項目